

特記仕様書

工事名称 中央公民館長寿命化改修工事（その1）建築主体工事

工事場所 三原市円一町二丁目

工事内容 中央公民館（昭和56年建築）を長寿命化改修する。

【工事概要】

- ・外装改修工事
- ・屋上防水改修工事
- ・内装改修工事
- ・設備基礎等の解体工事
- ・設備基礎、デッキ床の新設工事（杭工事含む）
- ・外構工事
- ・エレベーターの改修工事

準 則 公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書（各 最新版 国土交通省官房官庁営繕部監修）に基づき施工する。

別途発注工事

- ・中央公民館長寿命化改修工事（その1）電気設備工事
- ・中央公民館長寿命化改修工事（その1）機械設備工事

支払条件等 前払金及び中間前金払・部分払等の支払について、令和8年度は契約金額の10分の4以内の額とする。

関係法令等 本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。

- ・建築基準法、同施行令、同施行規則
- ・消防法、同施行令
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則
- ・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則
- ・建設業法、同施行令、同施行規則
- ・建設工事公衆災害防止対策要綱
- ・石綿障害予防規則
- ・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法
- ・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令
- ・その他関係法令

疑義変更 本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。

別途発注工事の設計図書について、取り合いなどの整合を確認すること。

施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらにおいて受注金額の増減はなきものとする。

本設計図書と不整合が確認されて設計変更（増額）が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。

提出書類 施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。

商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。

設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。

工 期 本工事は請負契約締結の後、令和9年11月29日をもって工期とする。

このうち検査期間として13日間を見込んでいます。（工事の完成通知予定日は令和9年11月16日）

(現場の作業完了予定見込み：令和9年11月1日)

留意事項

- ・ 図面に明示されていない事項であっても、工地上必要とされる事は工事範囲とする。
- ・ 入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。
- ・ 作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工日とすること。
- ・ 行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・ 本工事は「発注者指定型」による週休2日適用工事の対象工事であり、「三原市週休2日適用工事等実施要領（建築工事）」（令和7年6月24日改定）により工事を行うこと。
- ・ 工事着手前までに「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
- ・ 「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」である旨の表示を工事現場に設置すること。
- ・ 月単位の週休2日適用工事を達成できなくなった場合は、対象期間中の現場閉所（現場休息）の状況に応じた補正係数により労務費を減額する。
- ・ 当該施設の営業及び運営等への支障を最小限にするため、工事工程及び作業手順等は最大限の配慮をすること。
- ・ 当該施設的全館休館期間は、令和9年5月1日から同年9月30日（5ヶ月）を予定している。現場の工事着手は、全館休館期間より2ヶ月程度前からを想定している。
- ・ 本工事は一部居ながら工事とし、必要に応じて施設使用者の通行制限を行うこととする。工事の詳細については、事前に施設管理者等への説明を行って承諾を得ること。
- ・ デジタル化を積極的に推進すること。
- ・ 生成AIを積極的に活用して工事を進めること。提出書類については、必ず生成AIによるチェックを行った上で提出すること。
- ・ 定例会議の頻度と方法は協議による。
- ・ 紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・ 定例会の資料は、電子データを原則とすること。
- ・ 受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
- ・ 受注者は各定例会後の5日以内に議事録を作成して、所定の場所に提出し、出席者に内容を共有すること。
- ・ 工事着手の10日より前に住民説明会を開催し、工事の概要を説明すること。日時や場所等については発注者との協議により決定する。
- ・ 著しい騒音・振動等の発生が予想される作業については、施設の使用時間を避けるなど配慮して作業をするように計画すること。また、施設使用者の動線作業についても配慮すること。
- ・ 騒音・振動等の発生が予想される作業を含めた工事全般について、近接の学校と協議の上でなるべく児童等に配慮した作業計画すること。授業時間等に十分配慮して作業すること。
- ・ 着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・ 近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・ 近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・ 近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・ 使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
- ・ 解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・ 粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・ 騒音については、騒音規制法(特定建設作業)により、工事中の作業音は許容限度である85デシベルを厳守すること。工事により著しい作業音の発生が想定される期間については、騒音計による記録を行うこと。
- ・ 振動については、振動規制法(特定建設作業)により、工事中の作業振動は許容限度である75デシベルを厳守すること。工事により著しい作業振動の発生が想定される期間については、振動計による記録を行うこと。
- ・ 施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡すること。
- ・ 近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、現状復旧に努めること。
- ・ 周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。

- ・基礎解体、新設部分の敷地境界付近には仮囲い（高さ3m以上）を設置すること。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事期間中は、工所用出入口に交通誘導員を常時配置し、付近の交通の安全を図ること。その他、必要な場所に交通誘導員を配置し、事故及び危険防止に努めること。
- ・交通誘導員は本工事で見込んでいる。実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更（減額）の対象とする。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
- ・敷地への車両動線については、左折入場、左折退場を徹底すること。
- ・特殊車両の搬出入の有無については、工事着手前に発注者に報告すること。
- ・特殊車両の搬出入を夜間や早朝に行う必要がある場合は、発注者との協議の上で、事前に近隣住民等へ案内文のポスティング等を行うこと。
- ・工事車両は、場内を5km/h以下で徐行すること。場内に注意喚起表示を行うこと。
- ・場内に喫煙所を設ける場合は、施設使用者と近隣住民へ配慮し、設置位置と使用方法を協議してから設けること。使用方法を作業員に周知徹底すること。
- ・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。
- ・監視カメラ・仮設照明・養生用鉄板を適切に設置すること。
- ・敷地の出入口付近には、高圧洗浄機・水中ポンプ・ノッチタンク等を適切に設置すること。工事車両のタイヤ洗浄等により、道路を汚さないように配慮すること。
- ・工事中の雨水・湧水・洗浄水等の排水については、ノッチタンクによる汚泥等の処理を行う等した上で、適切に排水すること。定期的にpHを測定し、必要に応じて適宜中和を行うこと。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・仮囲い、足場、山留、型枠支保工、構台等の仮設については、施工者が計算等により責任をもって決定し、計画通りに施工すること。仮設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。
- ・仮囲いは、土壌汚染対策法を考慮した工法を見込んでいる。（H3.0m、H型鋼2列据置式63.5m、ガードフェンス270m）
- ・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって設置、施工すること。
- ・足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
- ・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
- ・足場については、交差筋交い及び外部シートとは別に、高さ15センチメートル以上の幅木を外部・内部の両側に設置すること。（※労働安全衛生法の基準以上の足場とし、安全に配慮する。）
- ・足場については、必要に応じて朝顔を設置すること。
- ・足場については「手すり先行工法等に関するガイドライン」における「手すり先行工法等に関する基準」、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する施工方法にて設置、解体をすること。（親綱は手摺とは扱わない。）
- ・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道使用料金は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・重機が転倒しないように事前検討を行い、安全に作業を行うこと。
- ・配筋検査は、受注者による自主検査を行ったうえ、監理者及び監督員による検査を受検すること。なお、これらの検査は、種類・径・数量についての全数検査を行うこと。
- ・配筋検査前に、上記内容はもとより、継手定着長さ・位置、かぶり厚さ、鉄筋のあき寸法など、設計図書通りに施工されていることを確認してから検査に臨むこと。
- ・コンクリートの調合は、標準仕様書に基づき構造体強度補正を見込む。（原則、外構工事を含む。無筋コンクリートは除く。）
- ・コンクリート打設後の所定期間中は、散水等による湿潤養生を適切に行うこと。
- ・木工事で使用する木材の産出地は、原則、広島県産材（可能な範囲で三原市産材）とすること。
- ・工事完了後に、木工事で使用する木材の産出地について、数量を整理して提出すること。
- ・家具については転倒防止対策のため、床及び壁へ固定すること。
- ・雨水の浸入を防止する部分、屋根、外壁又はこれらの開口部に設ける戸、枠その他の建具周り等からの雨水の浸入に関する瑕疵については、引渡しの日から10年間責任を負うこと。このことについて、保証書を作成して提出すること。（改修工事については、本工事の範囲）

- ・図面に水勾配がある箇所については、施工図に勾配のパーセントを記載すると共に、完成図にも勾配のパーセントを計測して記載すること。計測する箇所については監督員と協議すること。
- ・塗装の下塗り、中塗り、上塗りは原則的に色を塗り分けること。
- ・改修した防火設備の作動状況の確認及び運動する煙感知器等の作動状況の確認については、資格者（建築基準法第12条4項）による総合試験とすること。
- ・外壁劣化状況の調査費用は本工事で見込んでいる。
- ・本敷地は、土壤汚染対策法に基づく「形質変更所要届出区域（自然由来特例）」の指定を受けている。
- ・土壤汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（最新版）に沿って作業をすること。
- ・土地の形質を変更する際、汚染の拡散を防ぐため、広島県へ「土地の形質の変更の届出」が必要となる。
- ・土壤汚染対策法に基づく指定区域外への汚染拡散を防ぐための対策を行い、施工すること。
- ・本工事には、土砂（汚染土）の搬出を見込んでいない（一部汚染廃棄物を除く）。掘削した汚染土については、汚染の拡散を防ぐ対策をした上で場内に保管し、埋戻土として再利用すること。既存砂利地業についても再利用すること。（杭施工に伴う汚泥を除く）
- ・土砂（汚染土）に接している既存コンクリートや既存アスファルト等の処分は、洗浄して処分すること。
- ・土壤汚染対策法に基づく指定区域であることを作業員に十分周知をして適切に作業を行うこと。
- ・地質調査（ボーリング調査）を見込んでいる。調査深さは15mを見込んでいる。
- ・「①建築物を解体する作業を伴う建設工事であって、当該作業の対象となる床面積の合計が80㎡以上であるもの」、「②建築物を改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」、「③工作物を解体し、改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」については、事前調査結果を労働基準監督署及び広島県東部厚生環境事務所環境管理課に石綿等に関する事項を報告すること。
- ・石綿含有建材の調査（書面・目視調査、分析調査調査及び検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、または特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- ・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を見込んでいる。分析は定性（JIS A 1481-1。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）による。（3検体）
- ・外壁の石綿除去作業については、全館休館期間中に施工すること。
- ・作業員に対して、新規入場教育時に石綿含有建材の使用位置を確認させること。
- ・石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル（最新版）に基づくこと。
- ・石綿含有建材の除去専門業者については、建設技術審査証明協議会による「建設技術審査証明事業」の提出、又は本工事に相応した技術を有することが分かる施工実績証明等が確認できること。
- ・石綿含有建材の除去作業員については、一般健康診断・石綿健康診断・じん肺健康診断の3種類を定期的に受診していることが確認できること。
- ・石綿を含有する建築物の解体等を行う際には届出を行うこと。レベル1・2については「工事計画届」「特定粉じん排出等作業届書」「事前届出の実施」「建築物解体等作業届」等遅滞なく提出すること。
- ・請負契約の締結後から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、現場代理人及び主任（監理）技術者の専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、監督職員との打合せにおいて定める。（専任想定期間：令和9年3月1日～令和9年11月29日）
- ・仮使用申請、道路使用、道路改築申請等の工事に必要な各種手続きは、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・昇降機その他の建築設備について、計画通知等の申請手続き等を行うこと。
- ・その他、工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・本工事は別途契約の工事と施工上密接に関連するため、本工事の受注者が調整を行うこと。
- ・工程計画、取り合い工事及び工事用車両の出入り等については、当該別途契約の工事関係者と互いに協力し合い、相互の工事を考慮した上で十分調整し、工事の円滑な施工に務めること。
- ・足場、交通誘導員、工事関係者駐車場用地等は、建築主体工事に見込んでいるが、別途発注工事業者も使用できるものとする。（維持管理上必要な費用は、各業者で協議の上分担すること。）
- ・品質証明員（技術士、1級施工管理技士もしくは1級建築士の資格を有するもので、当該工事に従事していない者）を定める場合は、「総合施工計画書」に品質証明計画と品質証明員の氏名・資格を記載し、資格証明書の写しを添付すること。
- ・品質証明員を定める場合は、品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般に行うこと。また、社内検査を実施し、報告書等を適宜提出すること。
- ・大雨等の警報が発令した場合、また台風及び強風等による自然災害の発生が予測される場合は、現場代理人等は現場事務所等へ待機のうえ、現場及び周囲の巡回を行うとともに必要に応じて対策を講じ報告すること。

- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。（理由については、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注できない具体的な理由を明記すること。）
- ・熱中症対策として、従業員及び作業員が必要に応じて水分を補給できるよう作業所に給水設備を設置すること。
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・各工程の状況（写真、進捗率等を月2回程度）を工事中情報共有システムの連絡事項にて報告すること。
- ・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-R(2部)にて提出すること。
- ・書面での提出が必要なもの（建退共の掛金収納書、試験結果、保証書等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
- ・完成写真（竣工写真）の撮影を外注する場合は、撮影データを三原市が利用することについての承諾書を提出すること。（押印した原本）
- ・製本図面（A3縮小版・二つ折り）として完成図を3部提出すること。
（契約図について、変更があれば変更部分を修正し、完成図であることを明記して一式を製本する。）
- ・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

中央公民館長寿命化改修工事（その1）建築主体工事

設計図



中電技術コンサルタント株式会社
CHUDEN ENGINEERING CONSULTANTS INC.

3 防水改修工事

① 降雨等に対する養生方法 ※ 改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による。 [3.1.3]

② 既存防水の処理 既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示) [3.1.4] [3.2.3、4、6]
 既存防水層の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示) ・ 行わない
 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (・ M4S ・ M4SI ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X)

③ 既存下地の処理 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示 [3.2.6]
 POS工法及びPSSI工法 (機械的固定工法) の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4)(g)①～③による
 設備機器架台、配管等、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸線の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する

4 アスファルト防水 屋根保護防水 防水層の種類 [3.3.2～5]

工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
・P2A	・A-1			※ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラット ヤーングロス 70g/m ² 程度	・乾式保護材 ・コンクリート 押え ・れんが押え ※JIS R 1250
	※A-2				
・A-3					
・P1B	・B-1				
	※B-2				
・P2A1	・A1-1	(材質) JISA9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材3種bA (スキ層付き) (厚さ) (mm) ※25・50		※フラット ヤーングロス 70g/m ² 程度	
	※A1-2				
	・A1-3				
・P1B1	・B1-1				
	※B1-2				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
 ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
 ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
 用途による区分 ※ R種
 厚さ (mm以上)

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
 ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.9による
 ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
 用途による区分 ※ R種
 厚さ (mm以上)

平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ
 こて仕上げ ※ 水下 80mm以上
 床タイル張り ※ 水下 60mm以上

乾式保護材
 窯業系パネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。
 金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの。

(品質・性能)

分類・規格	・ 窯業系パネル I類	・ 金属複合板
寸法 (mm)	厚さ (mm) 幅 (mm)	
寸法の許容差	厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%	
出荷時の含水率	厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%	
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準値 550以上	300以上
凍結融解劣化 (スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)	凍結融解劣化 400以上 (300)	250以上 (300)
吸水率 (%)	20以下	1以下
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.01以下
難燃性	不燃	表面材は不燃
耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 (明らかに吸水しなさと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 (明らかに吸水しなさと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)
耐衝撃性能	質量500g (窯業系パネルI類は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の頂点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の頂点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。
剛性 (E×I)	—	80,000N・cm ² 以上

(試験方法)
 (1) 寸法の測定方法
 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めパネルの厚さとする。
 (幅) 供試体を平らな面に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量1mmの1級コンパックスルール又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量1mmの級直尺を用いて測定する。
 (2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系パネルII類は200サイクルまでとする。) なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。
 (3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
 (4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

(5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体 (幅40mm×長さ160mm×素材厚さ) を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム (試験)」に規定する塩化カルシウム又は JIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する高質に適合するシリカゲルで調製したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験体の縦線間隔が140mmになるように縦線を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて縦線間の長さ (L1) を測定し、それを基準 (L1) とする。次に試験体の長さ方向を水平にこぼして、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水の中に浸せきする。24時間経過した後、試験体を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び縦線間の長さ (L2) を測る。
 吸水による長さ変化率 (ΔL) は、次式によって求める。
 (ΔL) = (L2 - L1) / L1 × 100 ΔL: 吸水による長さ変化率 (%)
 L1: 乾燥時の縦線間の長さ (mm) L2: 吸水時の縦線間の長さ (mm)

(6) 耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の凍結融解試験方法によって行う。100、200、300サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(窯業系パネルII類は200サイクルまでとする。)
 凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5～35℃の清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の空气中で約2時間の凍結20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。

(7) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃試験に準じて行う。試験体の支持装置は、図中S2対辺単純支持方法による。
 試験体の大きさは、4号 (長さ400mm、幅300mm) とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号 (W1-1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の頂点部に自然落下させ、裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。

5 改質アスファルトシート防水 [3.4.2、3]

屋根露出防水 防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反 射率の防 水	備考
				種類	使用量		
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4			※製造所の仕様	-	-	適用する
・M3D ・P0D	・D-1 ※D-2			※製造所の仕様	-	-	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・P0D1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ※D1-2		JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) (mm) ※25・50	※製造所の仕様	-	-	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
 ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
 ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
 用途による区分 ※ R種
 材料構成による区分 ※ R種
 厚さ (mm以上)

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
 ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.9による
 ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
 用途による区分 ※ R種
 材料構成による区分 ※ R種
 厚さ (mm以上)

脱気装置の種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定
 脱気装置の設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトラン回り及び立上り部周辺の断熱材の張り
 じまい位置 ※ 図示

屋内防水

工法	種別	施工箇所
・P1E	・E-1	
・P2E	※E-2	

E-1の場合で工程3を行う部位 (※貯水槽、浴槽等架台時に接する部位)
 保護層 ・ 設ける (※図示) ・ 設けない

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
 ※ アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度
 壁・上縁水溝 ・ 図示

屋根露出防水 防水層の種類 [3.4.2、3]

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反 射率の防 水	備考
				種類	使用量		
・M4S	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			※製造所の仕様	-	-	適用する
・M3AS ・P0AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			※製造所の仕様	-	-	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・M3ASI ・M4ASI ・P0ASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) ※25mm ・50mm	※製造所の仕様	-	-	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ・ 設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
 ※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
 ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
 用途による区分 ※ R種
 材料構成による区分 ※ R種
 厚さ (mm以上)

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
 ※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
 ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
 用途による区分 ※ R種
 材料構成による区分 ※ R種
 厚さ (mm以上)

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
 ※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
 ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
 用途による区分 ※ R種
 材料構成による区分 ※ R種
 厚さ (mm以上)

脱気装置の種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
 脱気装置の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個)

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
 ※ アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度

絶縁断熱工法の防水シート
 ・ 設置する
 ・ 設置しない

6 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2～4] [表3.5.1～3]

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反 射率の防 水	備考
				種類	使用量		
・POS ・S4S	・S-F1			※製造所の仕様	-	-	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・S-F2 ・S-M1				※製造所の仕様	-	-	適用する
・S-M2				※製造所の仕様	-	-	適用する
・S-S	・S-F1			※製造所の仕様	-	-	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
・M4S	・S-M1			※製造所の仕様	-	-	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
・S-M2				※製造所の仕様	-	-	適用する
・P0S1 ・SSS1 ・S4S1 ・M4S1	・SI-F1		改修標準仕様書3.5.2 (3) (a) (b) による (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) (mm) ※25・50	※製造所の仕様	-	-	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・SI-F2 ・SI-M1			改修標準仕様書3.5.2 (3) (a) による (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) (mm) ※25・50	※製造所の仕様	-	-	適用する
・SI-M2				※製造所の仕様	-	-	適用する

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
 ※ 非歩行用 ・ 軽歩行用
 S-I-M1及びS-I-M2における防湿用フィルムの設置
 ※ 設置しない ・ 設置する
 S-I-M2の絶縁用シートの材質
 ※ 発泡ポリエチレンシート
 S-M2及びS-I-M2の立上り部の工法
 ※ 接着工法 (立ち上がり面のシートの厚さ ※ 1.5mm) ・ 機械的固定工法

屋内防水 防水層の種類

種別	施工箇所	保護層		立上り部の保護モ ルタルの塗厚
		変厚	平場のモルタル塗り 工法	
・S-C1		・床塗り	・下地モルタル塗り	※7mm以下

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ
 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
 ※ 改修標準仕様書3.5.1から表3.5.3による
 ・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
 用途による区分 ※ R種
 材料構成による区分 ※ R種
 厚さ (mm以上)

固定金具の材質及び寸法形状
 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの

脱気装置の種類及び設置数量
 接着工法の場合の脱気装置の種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様
 接着工法の場合の脱気装置の設置数量 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 (個)
 プレキャストコンクリート部材下の目地処理 (接着工法の場合)
 ・ 行う (・ 図示) ・ 行わない
 プレキャストコンクリート部材の隅部増張り (種別S-F1、SI-F1の場合)
 ・ 行う (・ 図示) ・ 行わない
 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
 1号 適用区分による風圧力の (・ 1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

7 塗膜防水 防水層の種類 [3.6.2、3]

工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反 射率の防 水	備考
			種類	使用量		
・P O X	※X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H		※2成分アクリルウレタン樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・アクリルシリコン樹脂系	※主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・L4X	※X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H			※主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
・P1Y	※Y-2					保護層 ・ 設ける ・ 設けない
・P2Y	※Y-2					保護層 ・ 設ける ・ 設けない

X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類 ※ 主材料の製造所の仕様
 X-1 (絶縁工法) の脱気装置の設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 (個)

8 シーリング シーリング改修工法の種類 [3.7.2、3、3.7.7]
 ・ シーリング充填工法
 ・ シーリング再充填工法
 ・ 拡張シーリング再充填工法
 ・ フリッジ工法
 ・ ボンドプレーカー張り ・ 適用する ・ 適用しない
 ・ エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない
 シーリング材の種類、施工箇所
 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.11による

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)
サッシ廻り	M-2
打継目地	P U-2

仕上げを行わない施工箇所
 ・ 図示による ・ 打継目地
 シーリング材の目地寸法 ※ 改修標準仕様書3.7.3(1)による
 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験

9 とい といの材種
 ・ 配管用鋼管
 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管
 ・ ルーフドレン
 ・ 表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類) (個)

ルーフトレン
 種別
 ・ ろく屋根用 (・ 縦型 ・ 横型)
 ・ バルコニー用
 ・ バルコニー中継用

10 アルミニウム製笠木 とい受け金物及び足金物の材種、形状及び取付け関係 [3.9.2、3]
 ※ 改修標準仕様書3.8.2により、溶融亜鉛めっきを行ったもの
 ・
 ・ 多雪地域 ・ 適用する
 防露材のホルムアルデヒド放散量
 ※ F☆☆☆☆
 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※ 図示
 鋼管製との防露巻き ※ 改修標準仕様書3.8.4による
 たてどい受金物の取付け ※ 図示

種類 ・ オープン形式 (・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形)
 ・ 板材折曲げ形 (・ オープン形式 ・ シール形式)
 本体幅 () mm 板厚 (※ 2.0mm) mm

表面処理 種別 () 種
 色合等 ・ 標準色 () ・ 特注色 ()
 既存笠木等の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示) ・ 行わない

下地補修の工法 ※ 図示
 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※ 図示
 笠木の固定金具の工法等
 1号 適用区分による風圧力の (・ 1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

防水改修フロー及び数量
 ① 既存保護層の補修及び処理

防水面調査 (施工数量調査)

ひび割れ部補修		欠損部改修		浮き部補修		げい弱部補修		既存目地欠損部補修		既存目地欠損部補修 (脱気利用する場合)	
アスファルト 防水工事用 シール材 (縦 mm未満)	Uカットのうえ ポリウレタン系 シーリング材 (幅2mm以上)	ポリマーセ メントモル タル補修	ポリマーセ メントモル タル補修	除去のうえ ポリマーセ メントモル タル補修	ケレン等のう え、ポリマー セメントベ ース補修	アスファルト 防水工事用 シール材	ポリマーセ メントモル タル補修	既存目地撤去 のうえポリウ レタン系シー リング材	既存目地撤去 のうえポリウ レタン系シー リング材	既存目地撤去 のうえポリウ レタン系シー リング材	既存目地撤去 のうえポリウ レタン系シー リング材
0m	0m	0m	0m	0m	0m	0m	0m	0m	0m	0m	0m

シーリング改修
 シーリング再充填工法

mm × mm	mm × mm	mm × mm	mm × mm
0m	0m	0m	0m

Table with 2 columns: Item (ポリマーセメントモルタル), and Properties (品質・性能). Includes details on strength, durability, and application methods.

4-2 外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

Table for repair methods (ひび割れ部改修工法, 欠損部改修工法). Includes resin injection and filling techniques with material specifications.

4-3 外壁改修工事（モルタル塗仕上げ外壁）

Table for repair methods (ひび割れ部改修工法, 欠損部改修工法). Includes mortar removal and replacement procedures.

4-4 外壁改修工事（モルタル塗仕上げ外壁）

Table for repair methods (ひび割れ部改修工法, 欠損部改修工法). Includes detailed resin injection and filling instructions.

4-5 外壁改修工事（モルタル塗仕上げ外壁）

Table for repair methods (ひび割れ部改修工法, 欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

4-6 外壁改修工事（モルタル塗仕上げ外壁）

Table for repair methods (ひび割れ部改修工法, 欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

4-7 外壁改修工事（モルタル塗仕上げ外壁）

Table for repair methods (ひび割れ部改修工法, 欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

4-8 外壁改修工事（モルタル塗仕上げ外壁）

Table for repair methods (ひび割れ部改修工法, 欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Table for repair methods (欠損部改修工法). Includes resin injection and filling instructions with material details.

Project information section including client name (御注文先), address (三原市), and contractor (御承認).

Record section (記事) with a table for dates and notes.

Company information section for 中電技術コンサルタント株式会社, including address and contact details.

Project details section including school name (校閲), design name (設計), project name (工事名称), and drawing scale (縮尺).

19 ガラス (3. 7. 5. 14. 2~4) (図5. 14. 1) 下のガラス以外の種類、厚さの呼びによる種類等 ※ 建築による 合わせガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※ 下記以外は建築による

材料板ガラスの種類、組合せ	落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
フロート板、フロート板合わせガラス	Ⅰ類、Ⅱ-1類、Ⅱ-2類、Ⅲ類

強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※ 下記以外は建築による

材料板ガラスによる種類	材料板ガラス	破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
フロート強化ガラス	フロート板ガラス	Ⅰ類、Ⅲ類

熱線吸収ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ※ 下記以外は建築による

材料板ガラスによる種類	性能による種類	色 調
熱線吸収フロート板ガラス	Ⅰ類、Ⅱ類	グリーン
熱線吸収入り磨き板ガラス		

複層ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※ 下記以外は建築による

断熱性による区分	T1、T2、T3、T4、T5、T6
----------	-------------------

乾燥気体の種類

乾燥気体の種類	空気、アルゴン
---------	---------

日射取得性、日射遮蔽性による区分

日射取得性、日射遮蔽性による区分	G、S
------------------	-----

熱線反射ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※ 下記以外は建築による

材料板ガラスによる種類	日射熱遮蔽性による区分	耐久性による区分
色調 (ブルー、グレー)	Ⅰ類、Ⅱ類、Ⅲ類	A類、B類

反射皮膜面

反射皮膜面	内面、外面
映像調整	行わない、行う

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)
アルミニウム製	※ シーリング材、ガスケット、グレイジングチャンネル形	※ 建具の製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による
ステンレス製	※ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による
樹脂製	※ シーリング材、ガスケット、グレイジングチャンネル形	※ 建具の製造所の仕様による

耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能
正方形	160×160	95、125	乳白	※8~15	※6mm以下	・無し
	200×200	95、125			※標準仕様書5.14.5(2)(a)②	・有り

壁用金属枠及び補強材の材質・形状 ※ 図示

力骨 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※ 径5.9mm 形状 ※ はしご形状模倣及び準防

化粧目地モルタルの色 (シーリングの種類)

金属製化粧カバー 材質 ※ ステンレス製、アルミニウム製 寸法 ※ 図示 形状 ※ 図示

工法 1章 適用区分による風圧力の (1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 目地の横力骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様による 図示

21 ガラス用フィルム

種類	記号	その他性能等
日射調整フィルム	内張り用 SC-1、外張り用 SC-2	日射遮蔽性能による区分 A・B・C・D・E
低放射フィルム	LE	熱遮断率による区分 A・B・C・D
衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	G1-1、G1-2	
相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	GD-1、GD-2	
ガラス貫通防止フィルム	SF	ガラスの貫通防止性能による区分 A・B

品質 JIS A5759による

6 内装改修工事

1 他の部位との取り合い等

2 既存床の撤去及び下地補修

3 既存壁の撤去及び下地補修

4 製材

5 造作用集成材

6 造作用単板積層材

7 合板等

8 接合具等

9 防霉・防蟻処理

10 内部間仕切り軸及び床組み

11 窓、出入口その他

12 床板張り

13 壁及び天井下地

既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲 [6. 1. 3] ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示 既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま 図示

ビニル床シート等の撤去 ※ 仕上材のみ (接着剤とも) [6. 2. 2] ○ 下地モルタルとも (○ 図示の範囲、撤去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目貫し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。

間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の修繕 [6. 3. 2] ※ 改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り (仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処置 ※ 図示)

ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1)(b)による [6. 5. 2] ・ JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※2級	※A種・B種		
		※2級	※A種・B種		

・ JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面	※上小節		※A種・B種		
見え掛り面以外	※小節以上		※A種・B種		

・ JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等	※10%以下・A種・B種		
		※1等	※10%以下・A種・B種		

・ JAS 1083 (製材) 以外の製材

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		(造作材の場合) ※A種・B種	・適用する ・適用しない	※A種・B種	

・ 「集成材の日本農林規格」による特殊加工集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法	化粧薄板の見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等、2等	

・ 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法	化粧薄板の見付け材面	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下	

・ 「集成材の日本農林規格」による化粧張り造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法	化粧薄板の見付け材面	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下	

・ 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法	化粧薄板の見付け材面	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下	

ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1)(b)による [6. 5. 2] ・ 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法	化粧薄板の見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用	
						※1等、2等	

・ 「集成材の日本農林規格」による化粧張り造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法	化粧薄板の見付け材面	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下	

・ 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法	化粧薄板の見付け材面	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下	

造作材の化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭隠し 諸食物 ※ かつがひ、塵盒、箱食物、短冊食物 (標準仕様書 表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.10F種程度) (形状: 寸法: 材質:)

・ 薬剤の加圧注入による防霉防蟻処理 [6. 5. 5]

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
		※ JIS K 1571に適合又は同等品

・ 薬剤の接着剤への混入による防霉、防蟻処理

適用部位	処理の方法	薬剤の種類
		※ JIS K 1571に適合又は同等品

・ 合板等の加圧注入処理等の適用

適用部位	処理の方法	薬剤の種類
		※ JIS K 1571に適合又は同等品

・ 間仕切り軸組に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) [6. 5. 6] ※ 杉又は松

・ 床組みに用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) ※ 杉又は松

・ 窓、出入口その他に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) [6. 5. 7] ※ 吊元幹、水掛りの下幹及び敷居はひのき、その他は杉又は松

・ 床板張り及び上がりこまに用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) [6. 5. 8] ※ ひのき

・ 壁間線、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) [6. 5. 9] ※ 杉又は松

6 造作用単板積層材 [6. 5. 2]

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用
			・有り (加工: 天然木化粧加工・塗装加工) ・適用する ・無し (等級) ・適用しない		

・ JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
			・有り (加工: 天然木化粧加工・塗装加工) ・適用する ・無し () ・適用しない		※14%以下	

・ JAS 3079に基づく直交集積板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用

ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1)(b)による [6. 5. 2] ・ 普通合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5	※1類	広葉樹	※2等以上	・適用する ・適用しない	

・ 構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※2級以上	※1類	※C-D	※12以上	・適用する ・適用しない			

・ 「合板の日本農林規格」による化粧張り構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			※1類・特類	・適用する ・適用しない	

・ 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			※1類・2類	・適用する ・適用しない	

・ 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理	間伐材等の適用
		※1類・2類			・適用する ・適用しない	

・ パーティクルボード

施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
		※13タイプ	※P又はM		※15

・ JAS 0360Iに基づく構造用パネル

施工箇所	等級	寸法 (mm)
	Ⅰ級、Ⅱ級、Ⅲ級、Ⅳ級	

・ ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)

施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用

造作材の化粧面の釘打ち [6. 5. 3] ※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭隠し 諸食物 ※ かつがひ、塵盒、箱食物、短冊食物 (標準仕様書 表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.10F種程度) (形状: 寸法: 材質:)

・ 薬剤の加圧注入による防霉防蟻処理 [6. 5. 5]

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
		※ JIS K 1571に適合又は同等品

・ 薬剤の接着剤への混入による防霉、防蟻処理

適用部位	処理の方法	薬剤の種類
		※ JIS K 1571に適合又は同等品

・ 合板等の加圧注入処理等の適用

適用部位	処理の方法	薬剤の種類
		※ JIS K 1571に適合又は同等品

・ 間仕切り軸組に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) [6. 5. 6] ※ 杉又は松

・ 床組みに用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) ※ 杉又は松

・ 窓、出入口その他に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) [6. 5. 7] ※ 吊元幹、水掛りの下幹及び敷居はひのき、その他は杉又は松

・ 床板張り及び上がりこまに用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) [6. 5. 8] ※ ひのき

・ 壁間線、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) [6. 5. 9] ※ 杉又は松

14 軽量鉄骨天井下地 [6. 6. 2~4]

野縁等の種類 [6. 6. 2~4]

屋外 (※25形) 屋内 (※19形・25形)

・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等

工法

1章 適用区分による風圧力の (1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

野縁受、つりボルト及びインサートの間隔 図示

周辺部の端からの間隔 図示

野縁の間隔 図示

既存の埋込みインサート ○ 使用する ・ 使用しない

あと施工工法による施工後の確認試験

・ 行う (試験箇所数 ※ 屋内の場合、当該階において3箇所) (確認強度 ※ 改修標準仕様書6.6.4(1)(g)による)

・ 行わない

・ つりボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※ 図示

・ 天井のふとところが3.0mを超える場合 補強方法 ※ 図示

・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※ 高さが6mを超える天井 図示 補強方法 ※ 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」(平成25年国土交通省告示第771号)第3第2項第二号に適合させる。 図示

耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

15 軽量鉄骨壁下地 [6. 7. 3. 4] [表6. 7. 1]

スタッド、ランナーの種類 [6. 7. 3. 4] [表6. 7. 1] ※ 改修標準仕様書6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 図示

スタッドの高さが5.0mを超える場合 図示

出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 改修標準仕様書6.7.4.(5)による

16 ビニル床シート [6. 8. 2. 3]

種類の記号	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考
※FS	・無し ・マーブル柄 ・柄物	・帯電防止 ・耐動荷重性 ・防汚性	※2.0	

※ 接合部の処理 (工法 ※ 熱溶接工法) ・ 突付け (施工箇所:)

特殊機能

帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^{10} \Omega$ 程度

17 ビニル床タイル [6. 8. 2]

種類の記号	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考
※KT	○ 無地	○ 300×300	・帯電防止	※2.0	
・TT	・柄物	・450×450	・防汚性	・2.5	
・FOA	・FOB	・500×500		・3.0	

特殊機能

帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^{10} \Omega$ 程度

18 接着剤 [6. 5. 3. 4] [6. 8. 2] [6. 9. 3] [6. 11. 4. 5]

接着剤は可塑性 (難揮発性の可塑性を除く) が追加されていないものとする。

ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 図示

19 ビニル幅木 [6. 8. 2]

材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質

高さ (mm) ○ 60 ・ 75 ・ 100

厚さ (mm) ※ 1.5以上

20 ゴム床タイル [6. 8. 2]

種類 ・ 単層品 ・ 複層品

色柄 ()

厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0

寸法 (mm) ()

21 カーペット敷き [6. 9. 2. 3] [表6. 9. 1]

・ 織じゅうたん

織り方	パイルの形状	帯電性	備考
・ ウルトンカーペット	・ カットパイル	・ 適用する	
・ ダブルフェースカーペット	・ ルーフパイル	・ 適用しない	
・ アクミンターカーペット	・ カット、ループ併用		

色柄 ※ 模様のない無地

パイル糸の繊維種等 ※ 無地の織りじゅうたんの種類 (A種・B種・C種)

織じゅうたんの接合方法 ※ ヒートボンド工法 ・ つづり縫い

・ タフテッドカーペット

パイルの形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考
・ カットパイル	・ 5~7	※ 全面接着工法	・ 適用する	
・ ルーフパイル	・ 4~6	・ グリッパー工法	・ 適用しない	
・ カット、ループ併用				

タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆

・ タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考
※ルーフパイル	※第一種		※500×500	※6.5	
	※第二種				
・ カットパイル	・ 第一種		※500×500	※6.5	
	・ 第二種				
・ カット、ループ併用	・ 第一種		※500×500	※6.5	
	・ 第二種				

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆

タイルカーペットの敷き方 平 場 ※ 市松敷き ・ 模様流し ・ 階段部分 ※ 模様流し ・ 市松敷き

見切り、押入敷きの材質、種類及び形状 ※ 図示

下敷き材 ※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm

22	合成樹脂塗床	[6. 1. 0. 2. 3]			
		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
23	防じ用塗床	材料 水性アクリル系樹脂塗料とし、製造所の指定する製品とする 製造所の指定する工法とする なお、上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m ² 以上とする 仕上げの種類(※平滑仕上げ・防滑仕上げ)(※標準色)			
		JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆			
24	フローリング張り	[6. 1. 1. 2 ~ 6]			
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)
25	畳敷き	[6. 1. 2. 2]			
		種別	A種	B種	C種
26	せつこうボードその他ボード及び合板張り	[6. 1. 3. 2. 3]			
		種別	A種	B種	C種

27	壁紙張り	[6. 1. 4. 2. 3]			
		種別	壁紙の種類	防火性能	備考
28	モルタル塗り	[6. 1. 5. 3. 5. 6]			
		種別	A種	B種	C種
29	タイル張り	[6. 1. 6. 2 ~ 4]			
		種別	A種	B種	C種

30	セルフレベリング材塗り	[6. 1. 7. 2. 3]			
		種別	A種	B種	C種

7	塗装改修工事	[7. 1. 3]			
		種別	A種	B種	C種
8	耐震改修工事	[7. 2. 1 ~ 7]			
		種別	A種	B種	C種

9 環境配慮改修工事
① 石綿含有建材の除去工事
・石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点
適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点(各施工箇所ごと)
測定1 処理作業前 処理作業室内 ・計2点
測定2 調査対象室外部の付近 ・計2点
測定3 処理作業中 処理作業室内 ・計2点
測定4 セキュリティゾーン入口 ・計1点
測定5 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/s以下(処理作業室内の場合) ・計1点
測定6 処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界 ・計4点
測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内(シート撤去前) ・計2点
測定8 処理作業後(シート撤去後1週間以降) 処理作業室内 ・計1点
測定9 調査対象室外部の付近 ・計4点
測定方法
・自動測定器による測定
測定1~9 粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定
・JIS K 3850-1に基づいた測定
測定名称 メンブレンフィルタ直径(mm) 試料の吸引流量(l/min) 試料の吸引時間(min)
測定1~9 25 5 30
測定() 47 10 120
測定() 47 10 240
石綿含有建材の処理
① 石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去方法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場) ※ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議すること。
・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去方法 ※ 原形のまま、手ばらし ・ 破砕して除去
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
② 石綿含有成形板等(石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外)の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去方法 ※ 図示
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有石膏ボード ※ 埋立処分(管理型最終処分場)
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・ 埋立処分(安定型最終処分場)
・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
・石綿含有成形板等(石綿含有けい酸カルシウム板第1種)の除去
除去対象範囲 ※ 図示
養生方法
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
③ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去
下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による
除去方法
※ 石綿障害予防規則(平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号)第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法
・集じん装置併用手工具ケレン工法
・集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30~50MPa程度)
・集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上)
・超音波ケレン工法(HEPAフィルター付き掃除機併用)
・剥離剤併用手工具ケレン工法
・剥離剤併用高圧水洗工法(30~50MPa程度)
・剥離剤併用超高圧水洗工法(100MPa以上)
・剥離剤併用超音波ケレン工法
・集じん装置付きキスクラインダーケレン工法
除去対象範囲 ※ 図示
作業場の隔離 ※ 行わない ・ 行う
試験施工 ※ 行わない ・ 行う
養生方法
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立処分(安定型最終処分場) ・ 埋立処分(管理型最終処分場)
・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分
※ 改修標準仕様書9.1.3(3)による
確認及び後片付け ※ 改修標準仕様書9.1.3(4)の(7)、(8)、(9)及び(10)による
石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示
断熱材
断熱材の種類()、断熱材の厚さ(mm)
施工箇所 ※ 図示
ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆
外装材
種類 防火性能 備考
既存外壁の処置
既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし
下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない
欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による
工法
1章 適用区分による風圧力(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整 ・ 図示
通気層の有無 ・ あり(mm) ・ なし
断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け
※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による

3 断熱・防露改修工事
フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量
※ F☆☆☆☆
・断熱材打込み工法
種類 厚さ(mm) 施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ※ 25 ・
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 ※ 2種 b A ※ 25 ※ 外壁
※ 3種 b A ※ 25 ※ スラブ
・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・
・フェノールフォーム断熱材 ・ 25 ・
施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による
断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ※ A種1 ・ A種1H
吹付け厚さ(mm) ・ 25 ・ 30
※ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・ 図示
現場発泡断熱材(品質・性能)
項目 品質・性能
難燃性 下記のいずれかによっていること
(1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。
(2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コーンカリリ試験)に適合していること。
発熱性 準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)~(3)に適合していること。
(1) 総発熱量が8MJ/m2以下であること。
(2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。
(3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200kW/m2を超えないこと。
(試験方法)
(1) 原液試験(原液粘度試験)
JIS K 717-1「プラスチック-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-ブルックフィールド回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。
(2) 発泡品試験
1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。
2) 試料の状態調整は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。
3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。
4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。
5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。
6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。
7) 透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。
(3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。
1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。
2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。
断熱材後張り工法
断熱材の種類()
断熱材の厚さ(mm)
断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル(材質 厚さ mm)
張り付け工法
断熱材の張り付け工法
断熱材へのボードの張り付け工法
植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない
芝及び地被類の種類等 ※ 図示
見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 ※ 図示
(品質・性能等)
項目 品質・性能
透水、排水層等構成材の主要材質 合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。(排水層を有する場合は、排水層材)
透水層 目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補込み用土を流出させない構造であること。
排水層 植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。
排水層の鉛直方向の排水性能 240L/m2・h以上
耐荷重性能 一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。(排水層の許容 圧縮強度) 3x10^6 N/m2以上の載荷重で破損・有害な変形がないこと。
耐根層 重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。
耐根層保護層 材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート(絶縁シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。
(試験方法)
(1) 排水基盤の耐荷重性能
(イ) 3x10^6 N/m2の等分布荷重による加圧試験を行い、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。(排水層を有する場合は保水層も対象とする。)
(ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態でセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。
1章 適用区分による風圧力(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法
かん水装置 ・ 設置する(種類)
既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない
新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年
下記以外は、10章その他による
既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示

10 その他
1 フリーアクセスフロア
(2.0.2.2)
構造 ※ 置数式 ・ 支柱調整式
所定荷重 ※ 3,000N ・ 5,000N ※ 3,000N ・ 5,000N
耐震性能 ・ 1.0 ・ 0.6 ・ 1.0 ・ 0.6
パネル寸法(mm)
高さ(mm)
表面仕上材 ※ タイルカーペット ※ タイルカーペット
※ 帯電防止タイル ・ 帯電防止タイル
施工箇所 ※ 図示
寸法精度
※ 標準仕様書20.2.2(2)(イ)~(ロ)による
スロープ及びボーダー ※ 製造所の仕様による ・ 図示
配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※ 製造所の仕様による ・ 20~30パーセント
配線取り出し開口 ※ 製造所の仕様による
・ パネル枚につき、40mmx80mm程度の開口1箇所以上
空調用吹き出し(吸い込み)パネル ・ なし ・ あり(形式、施工箇所: ※ 図示)
(性能)
(1) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下
(2) 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと
(3) ローリングロード性能
所定荷重1,000N(5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意)による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下
(4) 耐震性能
イ) 固定台試験による耐震性能
項目 性能
① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき 水平荷重の1/2が下記<適用地震時水平力>以上
② 上記①以外の部分耐力に達したとき 水平荷重の1/1.5が下記<適用地震時水平力>以上
③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位 構造床面からの高さの1/50以下
<適用地震時水平力>
3,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m2当り自重+3,000N)/m2当りの支柱本数]x0.6
3,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m2当り自重+3,000N)/m2当りの支柱本数]x1.0
5,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m2当り自重+5,000N)/m2当りの支柱本数]x0.6
5,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m2当り自重+5,000N)/m2当りの支柱本数]x1.0
ロ) 振動台試験による耐震性能(設計床高さ<=300mmの場合のみ)
振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。
(5) 耐燃性能
建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炎時間が0秒
(6) 帯電防止性能評価値(U) 0.6以上
(7) 感電防止性能 漏えい抵抗(R) >= 1x10^6 Ω
(8) 歩行感 通常の歩行において空音やがたつきがなく、歩行感に違和感がない
(9) メンテナンス性 交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。
(試験方法)
(1) 耐震性能
1) 設計床高さ<=300mmの場合
試験体ユニット1000mmx2500mm程度
所定の重りの質量 3000N:200kg 5000N:350kg
加振 0.6:所定加速度600cm/S2 1.0:所定加速度1000cm/S2
2) 300mm<設計床高さ<=600mmの場合
① 固定台による耐震性能試験
イ、支柱調整式-支柱分組型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1又は、試験方法-2による。
ロ、原則として、試験方法-1はパネル単体設置(Aタイプ)に適用し、試験方法-2はパネル連続設置(Bタイプ)に適用するものとする。
② 試験方法-1
イ、試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類:N300)に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。
ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。
③ 試験方法-2
イ、試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類:N300)に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。
ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。又、800mmx800mmに荷重1,900N(3,000N/1m2相当)を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。
④ 帯点補正及び測定記録
試験体と試験機の隙間等を除去するため、最初に適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して"0"にした状態を帯点とする。又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。
(2) 共通事項
試験に使用する表面仕上げ材
種類: タイルカーペット 繊維素材: ナイロン100%
パイル形態: ループパイル
パイル長: 3.0mm~4.0mm
全厚: 6.0mm~7.0mm
単位質量: 4.0kg/m2~6.0kg/m2
人体耐電圧: 2KV以下

2 表示
(2.0.2.1.1)
案内用図記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用出入口等の表示 ※ 消防法に適合する市販品
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示
(2.0.2.1.4)
形式 操作方法 種類 スラットの材質 スラット幅(mm) ボックスレールの材質 幅・高さ
・横形 ※ 手動 ※ ギア式 ※ アルミニウム合金製 ※ 25 ※ 鋼製 ※ 図示
・電動 -
・縦形 ※ 手動 ※ 2本操作コード式 ※ アルミスラット ・ クロススラット ・ 80 ・ アルミニウム合金製 ※ 図示
・ 1本操作コード式
・電動 -
アルミスラットの材質 焼付け塗装仕上げ
クロススラットの材質 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
(2.0.2.1.5)
材料 操作方式 透光性能 寸法(mm) 取付箇所 備考
・ ガラス繊維製 ・ 電動式 ・ 1級 ※ 図示 ※ 図示
・ 合成・天然繊維製 ・ スプリング式 ・ 2級 ・
・ 木製 ※ チェーン式 ・ 3級 ・
巻取りパイプ、ウエイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料
※ 製造所の仕様
(2.0.2.1.6)
形式 開閉操作 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取付箇所 備考
・ シングル ・ 片引き ・ 手引き ・ つまみひだ
・ ダブル ・ 引分け ・ ひも引き ・ 箱ひだ、片ひだ ※ 図示
・ 電動 ・ プレーンひだ (暗幕)
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上
(2.0.2.1.6)
材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材
・ ステンレス製
強さによる区分 ※ 10-90
仕上げ ※ アルミマイト
形状 ※ 角形
ブラインドボックス及びカーテンボックス
溝幅x深さ(mm) ・ 90x150 ・ 120x80 ・ 120x150 ・ 150x80 ・ 図示
材質 ・ 集材材(仕上げ:)
・ アルミニウム製 押出し型材(市販品)
表面処理 ・ B0-1 ・ B0-2(※標準色()) ・ 特注色())
・ 鋼製(仕上げ:)
天井点検口
材質 寸法(mm) 形式 外枠 内枠
※ アルミニウム製 ※ 450x450 ※ 一般形 ・ 屋内外用 ※ 隠蔽タイプ ※ 隠蔽タイプ
・ 600x600 ※ 屋内用 ・ 目地タイプ ・ 目地タイプ
(品質・性能)
内外枠の材質 アルミニウム製
JIS H 4100 A603S-5又は同等の性能を有するもの
表面処理 隣接酸化皮膜JIS H 8601(A6)又は同等の性能を有するもの
(外部に用いる場合は、JIS H 8602の6種又は同等以上の性能を有するもの)
内枠及び外枠のコーナースペース
鋼板に垂れつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの
外枠の取付け金物
鋼板に垂れつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの
内枠の仕上げ材留付金物
アルミニウム及びアルミニウム合金押出し型材、垂れつき鋼板又は同等の性能を有するもの
耐久性能(繰り返し開閉試験)
(1) 50回、100回、300回の内蔵の垂れ下りが、0.5mm以内。
(2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。
枠の寸法許容差 ±0.5mm以内
外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内
(試験方法)
内蔵(内枠)の繰り返し開閉試験
(1) 試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。
吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接留付ける方式(天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式)とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下地開口補強材試験体の天井点検口450mmx450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。なお、野縁の種類は、19形と仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm(JIS A 6901「せっこうボードの種類」のGB-Rの難燃2級又は発熱性2級以上)二重張りとする。
(2) 試験は、内蔵を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。
(3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回に内蔵の垂れ下り状態を測定する。

※A3:50%縮小

9	床点検口	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製</td> <td>・ 450×450 ※ 600×600</td> <td>・ 一般形 ・ 密閉形 ・ 屋内外用 ・ 屋内用</td> <td>・ 鍵付き</td> </tr> </table> <p>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>部材名</th> <th>材質</th> <th>屋内外用</th> <th>屋内用</th> </tr> <tr> <td>受枠材 蓋枠材</td> <td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材 ステンレス製</td> <td>JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15 JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> <td>JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼製</td> <td>-</td> <td>標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>二重蓋の中蓋</th> <td>鋼製</td> <td>JIS G 5501のFC150、FC200</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="2">塩化ビニル樹脂製等</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>目地材</th> <td>黄銅</td> <td>JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ステンレス</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>底板材コーナーステンレス鋼板</th> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td>JIS G 4305のSUS430</td> </tr> <tr> <th>ビス底板補強材</th> <td>アルミニウム板</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼材</td> <td>鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> </table> <p>パッキン材 塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等特の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの</p> <p>アンカー材 鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの</p> <p>取手 黄銅鋼製、黄銅製、アルミニウム押出成形材・合金鋼製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする</p> <p>鍵 黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする</p> <p>蓋の耐荷重性能 蓋中央部が荷重P=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。</p> <p>受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法)</p> <p>耐荷重試験 試験体は、強物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返し返す。</p>	材種	寸法 (mm)	形式	備考	・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600	・ 一般形 ・ 密閉形 ・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 鍵付き	部材名	材質	屋内外用	屋内用	受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材 ステンレス製	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15 JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度		鋼製	-	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	二重蓋の中蓋	鋼製	JIS G 5501のFC150、FC200	その他	塩化ビニル樹脂製等		目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604		ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304	底板材コーナーステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430	ビス底板補強材	アルミニウム板	-		鋼材	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの
		材種	寸法 (mm)	形式	備考																																						
・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600	・ 一般形 ・ 密閉形 ・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 鍵付き																																								
部材名	材質	屋内外用	屋内用																																								
受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材 ステンレス製	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15 JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度																																								
	鋼製	-	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																								
二重蓋の中蓋	鋼製	JIS G 5501のFC150、FC200																																									
その他	塩化ビニル樹脂製等																																										
目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604																																									
	ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304																																									
底板材コーナーステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430																																									
ビス底板補強材	アルミニウム板	-																																									
	鋼材	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																									
10	手すり	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 集成材 ・ ステンレスパイプ ・ 鋼製パイプ ・ ビニル製ハンドル</td> <td>・ クリアラッカー ・ HL程度 ・ S O P ・ E P - G</td> <td>・ 35 ・ 45</td> <td></td> </tr> </table>	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	・ 集成材 ・ ステンレスパイプ ・ 鋼製パイプ ・ ビニル製ハンドル	・ クリアラッカー ・ HL程度 ・ S O P ・ E P - G	・ 35 ・ 45																																		
材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所																																								
・ 集成材 ・ ステンレスパイプ ・ 鋼製パイプ ・ ビニル製ハンドル	・ クリアラッカー ・ HL程度 ・ S O P ・ E P - G	・ 35 ・ 45																																									
11	天井見切り縁等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材種 ・ アルミニウム既製品 ○ ビニル既製品																																									
12	視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導用ブロック)	(11.2.2、19.2.2) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">屋内</td> <td>・ 塩化ビニル製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・ 7.0</td> </tr> <tr> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外</td> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による</p>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・	・ コンクリート製			屋外	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・	・ コンクリート製																
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																								
屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0																																								
	・ セラミックタイル	※ 300×300	・																																								
	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・																																								
	・ コンクリート製																																										
屋外	・ セラミックタイル	※ 300×300	・																																								
	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・																																								
	・ コンクリート製																																										
13	鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1)(表5.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ S D 2 9 5 A</td> <td>※ D 1 6 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ S D 3 4 5</td> <td>※ D 1 9 以上</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名	備考	※ S D 2 9 5 A	※ D 1 6 以下		※ S D 3 4 5	※ D 1 9 以上																																	
種類の記号	呼び名	備考																																									
※ S D 2 9 5 A	※ D 1 6 以下																																										
※ S D 3 4 5	※ D 1 9 以上																																										
14	溶接金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 溶接金網</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考	※ 溶接金網			・ 鉄筋格子																																		
種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考																																									
※ 溶接金網																																											
・ 鉄筋格子																																											
15	鉄筋の継手及び定着	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4) 鉄筋の継手の方法等 ※ 重ね継ぎ手 鉄筋の重ね継ぎ手の長さ ※ 40dと標準仕様書表5.3.2の重ね継ぎ手の長さのうち大きい値とする 鉄筋の定着長さ ※ 柱に取り付ける梁の引っ張り鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所 図示による 種類 摩擦圧接接合 ・ 蝶合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定																																									

16	コンクリートの気乾 単位容積質量による 種類及び強度等	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4) ※ 普通コンクリート <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 24</td> <td>※ 標準仕様書表6.2.2による</td> <td>※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)</td> </tr> </table>	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (cm)	適用箇所	※ 24	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)																																															
設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (cm)	適用箇所																																																					
※ 24	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)																																																					
17	セメント	種類 (6.3.1) ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種																																																					
18	型枠	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2) せき板の材料 ※ 合板 厚さ (※ 12mm) ・ メッシュ型枠 ・ 断熱材を兼用した型枠 厚さ25mm以下かつ熱抵抗値1mh ² C/kCa以上																																																					
19	無筋コンクリート	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スランプ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 普通コンクリート</td> <td>※ 18</td> <td>※ 15</td> <td>※ 標準仕様書表6.14.1(4)(7)~(8)による</td> </tr> </table> <p>種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種</p>	種類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (mm)	施工箇所	※ 普通コンクリート	※ 18	※ 15	※ 標準仕様書表6.14.1(4)(7)~(8)による																																													
種類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (mm)	施工箇所																																																				
※ 普通コンクリート	※ 18	※ 15	※ 標準仕様書表6.14.1(4)(7)~(8)による																																																				
20	床コンクリート 直均し仕上げ	(8.1.4)(表8.1.5) 仕上げの平たんさは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5による平たんさの種類別 <table border="1"> <tr> <th>a種</th> <th>合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>b種</td> <td>カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>c種</td> <td>タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式)</td> <td></td> </tr> </table>	a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式)	施工箇所	b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り		c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式)																																													
a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式)	施工箇所																																																					
b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り																																																						
c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式)																																																						
21	あと施工アンカー	(14.1.3) 6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記によるあと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない																																																					
22	トイレブース	(20.2.5) <table border="1"> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>脚部形状</th> <th>ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td>※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※ 幅木タイプ</td> <td>※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材</td> </tr> </table> <p>(品質・性能) (1) パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>表面材</td> <td>メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。</td> </tr> <tr> <td>裏材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>心材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>枠材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき</td> </tr> <tr> <td>エッジ材</td> <td>処理を施した材料とする。</td> </tr> <tr> <td>小口</td> <td>防水処理を施す。</td> </tr> </table> <p>(2) 構造金物</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>脚部 (脚具、幅木)</td> <td>JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。</td> </tr> </table> <p>(3) 付属金物</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>ヒンジ</td> <td>耐蝕性のあるものとする。</td> </tr> <tr> <td>ラッチセット</td> <td>戸当り</td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。</td> </tr> </table> <p>(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による。</p> <p>(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">品質・性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>耐薬品性及び耐汚染性</td> <td>耐ひっかき性</td> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材</td> <td>JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>低圧メラミン樹脂系化粧板</td> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>ポリエス</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板</td> <td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残ら</td> <td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐ひっかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧MD F</td> <td>JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。</td> <td></td> </tr> </table> <p>(試験方法) (1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法-第2部: ドア用金物」に規定する試験による。 (2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上</p>	表面材の材料	脚部形状	ドアエッジ	※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材	項目	品質・性能	表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。	裏材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき	エッジ材	処理を施した材料とする。	小口	防水処理を施す。	項目	品質・性能	脚部 (脚具、幅木)	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。	項目	品質・性能	ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。	ラッチセット	戸当り	戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。	項目	品質・性能			耐薬品性及び耐汚染性	耐ひっかき性	メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。	-	低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧板	ポリエス	ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残ら	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐ひっかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。	ポリエステル樹脂系化粧MD F	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。		ポリエステル樹脂系化粧板	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。	
表面材の材料	脚部形状	ドアエッジ																																																					
※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材																																																					
項目	品質・性能																																																						
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。																																																						
裏材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																																						
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																																						
枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき																																																						
エッジ材	処理を施した材料とする。																																																						
小口	防水処理を施す。																																																						
項目	品質・性能																																																						
脚部 (脚具、幅木)	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。																																																						
項目	品質・性能																																																						
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。																																																						
ラッチセット	戸当り																																																						
戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。																																																						
項目	品質・性能																																																						
	耐薬品性及び耐汚染性	耐ひっかき性																																																					
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。	-																																																					
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧板	ポリエス																																																					
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残ら	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐ひっかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。																																																					
ポリエステル樹脂系化粧MD F	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。																																																						
ポリエステル樹脂系化粧板	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。																																																						

御注文先	三原市殿	御承認	<table border="1"> <tr> <th>日</th> <th>月</th> <th>年</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	日	月	年	・	・	・	 中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685 号 藤本 誠二 1級建築士登録 第 262345 号 坂本 薫	校閲  設計 	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事 (その1) 建築主体工事 図面番号 A-08 設計年月日 2025.03 図面名称 建築改修工事特記仕様書 (8)	縮尺 -
日	月	年												
・	・	・												

特記仕様書 (構造関係)

8 耐震改修工事 共通事項

8-1 鉄筋工事

8-2 コンクリート工事

8-3 鉄骨工事

Table with 4 columns: Item No., Description, Reference, and Remarks. Contains detailed specifications for reinforcement and concrete work.

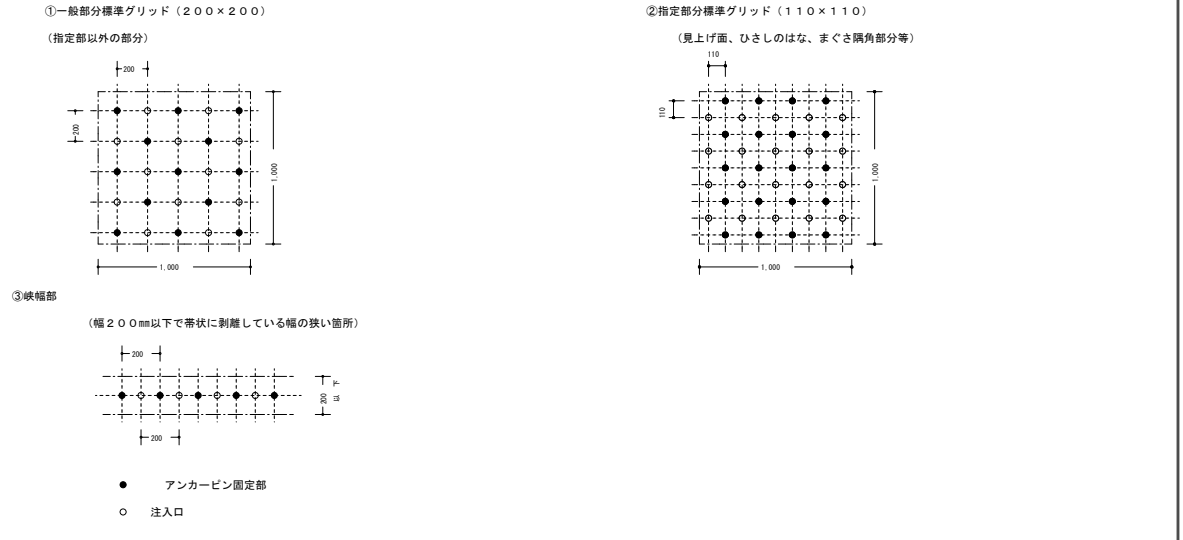
Table with 4 columns: Item No., Description, Reference, and Remarks. Contains detailed specifications for concrete and masonry work.

Table with 4 columns: Item No., Description, Reference, and Remarks. Contains detailed specifications for formwork, reinforcement, and steelwork.

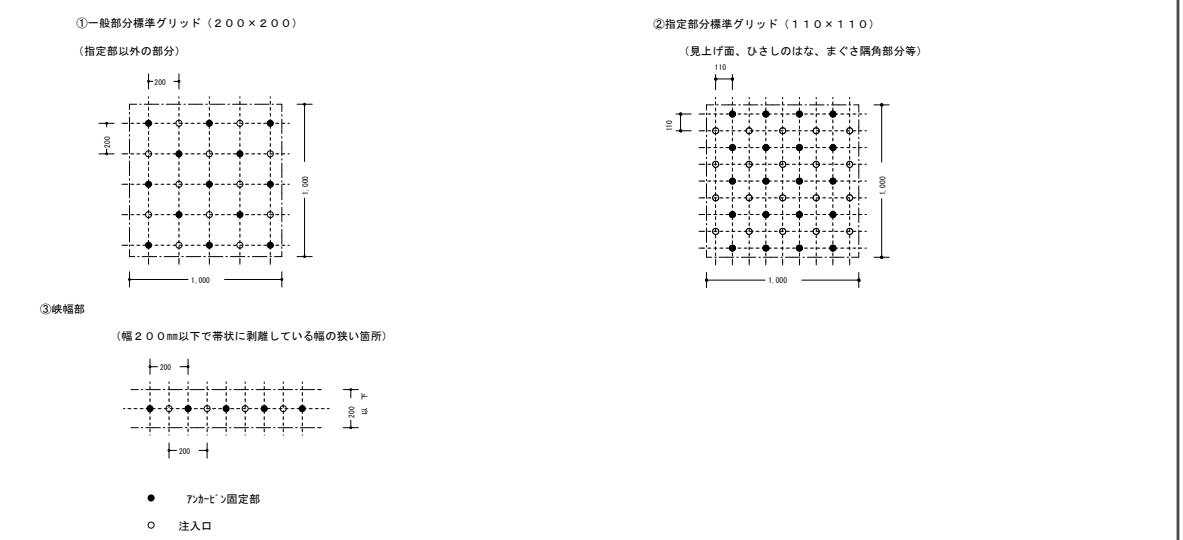
4	高カボルト	高カボルトの種類 ※トルシア形高カボルト 2種 (S10T) ・ JIS形高カボルト 2種 (F10T) ・ () ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 線端距離及びボルト間隔 ・ 構造図による [8. 13. 2] 摩擦面の処理方法 [8. 14. 2] ※自然発錆 (黒皮等を除去した後自然放置して表面に赤さびが発生した状態) ・ プラスト処理 (表面粗度50 μ mRz以上) ・ すべり試験の実施 ※すべり係数試験 ・ すべり耐力試験 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8. 14. 2(1) (イ) による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。	[8. 2. 9] [8. 13. 2] [8. 14. 2]	
	5	溶融亜鉛めっき高カボルト	セツトの種類 ※1種 (F8T) 相当 ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 線端距離及びボルト間隔 ・ 構造図による [8. 13. 2] 摩擦面の処理方法等 [8. 20. 5] ※プラスト処理 (表面粗度50 μ mRz以上) 又はりん酸塩処理 ・ 構造図による ・ すべり試験の実施 ※すべり係数試験 ・ すべり耐力試験 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8. 14. 2(1) (イ) による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。	[8. 13. 2] [8. 20. 5]
	6	普通ボルト	ボルト及びナットの材料 [7. 2. 3] ※標準仕様書 表7. 2. 3 (JIS附録書品) 又は次による ボルトの規格は、JIS B 1180とする。ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4. 6又は4. 8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の1. 2倍以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。ナットの種類は、六角ナットとし、材料は鋼とする。 [7. 2. 3] ※JIS B 1256による ・ 構造図による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8. 13. 2] ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 線端距離及びボルト間隔 ・ 構造図による 母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径 [7. 3. 8] ※ねじの呼び径+1. 0mm ・ 構造図による	[7. 2. 3] [8. 13. 2] [7. 3. 8]
	7	アンカーボルト	・ 構造用アンカーボルト [7. 2. 4] [7. 3. 2] セツトの種類 (JIS B1220) ・ ABR400 ・ ABR490 ・ () ○難方用アンカーボルト 種類 ○SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7. 2. 3による ・ 構造図による ・ 標準仕様書7. 2. 4以外のアンカーボルト 適用箇所 ・ 図示による () 種類 ・ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7. 2. 3による	[7. 2. 4] [7. 3. 2]
	8	溶接材料	溶接材料 ○改修標準仕様書 8. 2. 10(1) (2) による ・ 構造図による [8. 2. 10]	[8. 2. 10]
	9	スタッド	種類等 [8. 2. 11] 呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所 ・ 16 ・ 19 ・ 22 JIS B1198 (隠付スタッド)	[8. 2. 11]
	10	製作精度	鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準] に加えて、次による [8. 13. 3] 通しダイアグラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ○H12建告第1464号第二号イ(2) による ・ 構造図による アンダーカットの寸法 ○H12建告第1464号第二号イ(3) による ・ 構造図による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 構造図による	[8. 13. 3]
	11	溶接作業を行う技術資格者の技量付加試験	試験の要領 ※構造図による [8. 15. 3] 開先の形状 [8. 15. 4] ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-2 ・ 鋼製エンドタブの切断部分 切断する箇所 ※構造図による 切断する範囲 ・ 構造図による ・ 鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する 切断面の仕上げ ※改修標準仕様書8. 15. 7(1) (カ) (h) ②による ・ 構造図による スカラップの形状 [8. 15. 7] ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-4	[8. 15. 3] [8. 15. 4] [8. 15. 7] [8. 15. 7]
	12	溶接接合	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-4 ・ 構造図による 適用箇所 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 ・ 構造図による	[8. 15. 4]
	13	入熱、バス間温度の溶接条件	平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 [8. 15. 12] ・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」 3. 5. 2 受入検査による ・ 抜き取り検査① ・ 抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準] の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・ JASS 6 10. 4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1) から(5) までによる。ただし、完全溶け込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7. 6. 13による補修を行い、再試験する 完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験 ・ 工場溶接の場合 ※全数 ・ 工場現場溶接の場合 ※全数	[8. 15. 12]
14	溶接部の試験	塗料の種類 下記以外の鉄鋼面は、7章 [塗装改修工事] による ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止塗料の種類 ※A種 ・ B種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 [8. 18. 2~8]	[8. 18. 2~8]	
15	錆止め塗装	塗料の種類 [8. 17. 4] 下記以外の鉄鋼面は、7章 [塗装改修工事] による ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止塗料の種類 ※A種 ・ B種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 [8. 18. 2~8]	[8. 17. 4]	
16	耐火被覆	種類、材料、工法等 種類 材料・工法 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分) ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ () ・ () ・ 繊維混入けい酸カルシウム板 ・ () ・ 高断熱ロックウール ・ () ・ ラス張りモルタル塗り ・ () ・ 耐火塗料 ・ ()	[8. 17. 2] [8. 17. 4] [8. 18. 2~8]	
17	アンカーボルト等の設置等	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 [7. 10. 3] ※構造図による 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 [7. 10. 3] ※構造図による 難方用アンカーボルトの形状及び寸法 ※構造図による 難方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 [7. 10. 3] 種類 ・ A種 ・ B種 柱底均しモルタル厚さ及び工法の種類 [7. 10. 3] 厚さ ・ () 種類 ※A種 ・ B種	[7. 10. 3] [7. 10. 3] [7. 10. 3] [7. 10. 3]	
18	鉄骨ブレース設置後の仕上げ	※意匠図による [8. 22. 9]	[8. 22. 9]	
8-4	あと施工アンカー工事	1 あと施工アンカー [8. 2. 4] 材料等 ・ 接着系アンカー アンカーの種類 ※カプセル方式回転・打撃式 ・ () 接着剤の品質 ・ 有機系 ・ 無機系 アンカー筋の径及び埋込み長さ ※構造図による アンカー筋の種類 ・ () アンカー筋の新設型内への定着の長さ ※構造図による ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ※構造図による ・ 金属系アンカー アンカー本体の径及び埋込み長さ ※構造図による セツト方式 ※本体打込み式改良型 ・ () 接合筋の種類、径、長さ ※構造図による ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ※構造図による 埋込み配管等の探査方法 [8. 12. 4] ※鉄筋探知器 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつり出しによる ・ () 3 施工確認試験 [8. 12. 7] 試験方法 ※引張試験機による引張試験 確認強度 ※構造図による 4 施工管理技術者 [8. 12. 1] (社) 日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー技術管理士」の 資格以上の能力を有する者とする。	[8. 2. 4] [8. 12. 4] [8. 12. 7] [8. 12. 1]	
8-5	グラウト工事	1 柱底均しモルタル及びグラウト材 [8. 2. 12] ・ 柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・ () ブリーディング 練り混ぜ2時間後のブリーディング率: 2. 0%以下 無収縮性 材齢 7日: 収縮しない。 圧縮強度 材齢 3日: 25 N/mm ² 以上 材齢 28日: 45 N/mm ² 以上 試験方法 NEXCO試験方法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。 [8. 2. 12] ・ グラウト材 無収縮グラウト材 実験等の資料を監督職員に提出する。	[8. 2. 12]	
8-6	連続繊維補強工事	1 連続繊維シート [8. 2. 13] 連続繊維の材料 ・ 炭素繊維 ・ アラミド繊維 ・ () 引張強度 (含浸硬化後) [8. 2. 13] ・ () N/mm ² ヤング係数 (含浸硬化後) [8. 2. 13] ・ () N/mm ² ・ 下地処理 [8. 24. 6] ・ ひび割れ部改修 範囲 ※構造図による 工法の種類 ※構造図による ・ 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ [8. 24. 6] ※構造図による 連続繊維補強材の強度試験 [8. 24. 6] ・ 引張強度試験 ※JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法) による ・ 構造図による 試験数量 ※構造図による ・ 付着強度試験 [8. 24. 6] ※JIS A 6909 (建築用仕上塗材) による ・ 構造図による 試験数量 ※構造図による 2 仕上げ [8. 24. 7] 補強工事後の仕上げ ※構造図による	[8. 2. 13] [8. 2. 13] [8. 24. 6] [8. 24. 6] [8. 24. 6] [8. 24. 6] [8. 24. 7]	
8-7	耐震スリット新設工事	1 耐震スリットの方式、幅及び深さ [8. 25. 2] 方式 ・ 完全 ・ 部分 幅及び深さ ※構造図による 設置箇所 ※構造図による 2 耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探査 [8. 12. 4] ※鉄筋探知器 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつりだしによる 3 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 [8. 25. 2] ・ 耐火材 使用箇所及び仕様 ※構造図による [8. 25. 2] ・ 遮音材 使用箇所及び仕様 ※構造図による 撤去部の補修 [8. 25. 2] ※撤去材と同一材で補修 ・ 構造図による	[8. 25. 2] [8. 12. 4] [8. 25. 2] [8. 25. 2] [8. 25. 2]	
8-8	土工事及び地業工事	1 埋戻し及び盛土 [8. 28. 3] 埋戻し及び盛土の材料及び工法 ※改修標準仕様書 8. 28. 3(2) (ウ) (b) 表8. 28. 11による ・ A種 適用場所 () ・ B種 適用場所 () ・ C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・ D種 適用場所 () ・ 品質 細粒分 (75 μ m以下) の含有率 (重力百分率) の上限を50%未満とする ・ 材料 () 工法 () 2 山留めの撤去 [8. 28. 3] 鋼矢板等の抜き跡の処理 ※直ちに砂で充填する ・ 意匠図による 山留めの存置 ・ 行う 存置範囲 ※現場説明書の施工条件明示による 3 杭地業 [8. 28. 4] 支持層の位置及び土質 (基礎ぐいの先端位置含む) ※構造図による 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 [8. 2. 14] [8. 28. 4] ※構造図による ・ 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 [8. 28. 4] ・ 構造図による ・ 杭の継手の箇所数、材料、工法等 [8. 2. 14] ※構造図による ・ 杭の接続継手 [8. 28. 4] 技能資格者の技量 ※構造図による 溶接部の確認 ※構造図による [8. 28. 4] ・ 杭頭を処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による [8. 28. 4] ・ 杭頭の中詰め材料 ・ 基礎のコンクリートと同調合のもの ・ 構造図による [4. 3. 7] 杭の精度 [8. 28. 4] 水平方法の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 構造図による 杭の鉛直度 ・ 1/100以内 ・ 構造図による 記録する施工状況等 [8. 28. 4] ・ 構造図による	[8. 28. 3] [8. 28. 3] [8. 28. 4] [8. 28. 4] [8. 28. 4] [8. 28. 4] [8. 28. 4] [8. 28. 4] [8. 28. 4] [8. 28. 4]	
4	砂利地業	材料 [8. 2. 15] ・ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利又は切込砕石 砂利厚さ [8. 28. 4] ※60mm ・ () mm	[8. 2. 15] [8. 28. 4]	
5	捨コンクリート地業	捨コンクリートの厚さ [8. 28. 4] ※50mm ・ () mm コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ () 設計基準強度 [8. 11. 1] ※18N/mm ² ・ () N/mm ² スラブ [8. 11. 1] ※15cm又は18cm ・ () cm	[8. 28. 4] [8. 11. 1] [8. 11. 1]	

名称		A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		C 錆防部処理	
記号・仕様		A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]	A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]	B-1 打放し面樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [標仕4.2.5]	B-2 打放し面Uカット工法 ひび割れ幅 1.0mm以上 [標仕4.2.6]	B-3 打放し面Uカット工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [標仕4.2.6]	B-4 モルタル面樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [標仕4.3.6]	B-5 モルタル面樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [標仕4.3.6]	B-6 モルタル面Uカット工法 ひび割れ幅 1.0mm以上 [標仕4.3.6]	B-7 モルタル面Uカット工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [標仕4.3.6]	C-1 打放し面錆防部処理
改修前	改修後										
改修後											
工程		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 参考数量:	①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 参考数量:	①サンダーケレン ②ひび割れ部シーリング材打設 ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合は、①、④の工程はA-1工法に含む。 参考数量: 719m	①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-1工法に含む。 参考数量: 10.8m	①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③可とう性エポキシ樹脂充填後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合は、②、④の工程はA-1工法に含む。 参考数量:	①サンダーケレン ②ひび割れ部シーリング材打設 ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、①、④の工程はA-2工法に含む。 参考数量: 5.5m	①ひび割れ部周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シーリング材打設 ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、③、⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量:	①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量:	①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③可とう性エポキシ樹脂充填後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、②、④の工程はA-2工法に含む。 参考数量:	①錆防部周囲のはつり ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、③、⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量: 47.3m 365箇所 整形部: 5.8m
名称		C 錆防部処理		D 浮き部処理		D 浮き部処理		D 浮き部処理		D 浮き部処理	
記号・仕様		C-2 モルタル面錆防部処理	D-1 モルタル面はつり	D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.3.11]	D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]	D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]	D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]	D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]	D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]	D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]	D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]
改修前	改修後										
改修後											
工程		①カッター線切り ②浮き部はつり ③錆落とし ④高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA-2工法に含む。 参考数量:	①カッター線切り ②浮き部はつり ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、③、⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量:	①穿孔 ②孔内エア清掃 ③エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入 一般部 ケ所 指定部 ケ所 一般部 ケ所 指定部 ケ所 一般部 ケ所 指定部 ケ所 一般部 ケ所 指定部 ケ所	⑤穿孔埋戻し [パテ状エポキシ樹脂] 一般部 16 ケ所 指定部 25 ケ所 ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量: ①一般部分: 1.1m ² ②指定部分: ③収縮部: 4.0m	①一般部分標準グリッド (250×250) (指定部以外の部分) ②指定部分標準グリッド (200×200) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③収縮部 (幅200mm以下で茶状に割離している幅の狭い箇所) ● アンカーピン固定部					

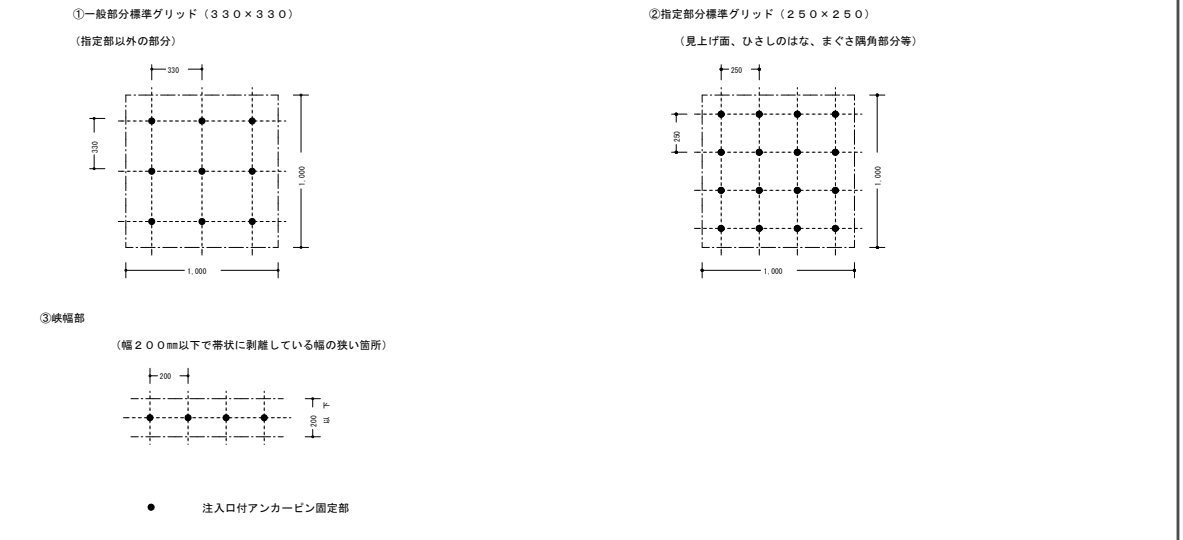
名称		D 浮き部処理	
記号・仕様		D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 12] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 10]	
改修前	改修後		
工程	①c'固定部穿孔 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ③Eポキシ樹脂注入 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑤穿孔跡隠し [Eポキシ樹脂] 一般部 ケ所 指定部 ケ所	⑥注入口穿孔 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑧Eポキシ樹脂注入 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑨穿孔跡隠し [Eポキシ樹脂] 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑩サドルパッド 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 一般部 ケ所 指定部 ケ所	⑫セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：24.0m
名称		D 浮き部処理	
記号・仕様		D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 12] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 10]	
改修前	改修後		
工程	①c'固定部穿孔 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ③Eポキシ樹脂注入 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑤穿孔跡隠し [Eポキシ樹脂] 一般部 ケ所 指定部 ケ所	⑥注入口穿孔 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑧Eポキシ樹脂注入 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑨穿孔跡隠し [Eポキシ樹脂] 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑩サドルパッド 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 一般部 ケ所 指定部 ケ所	⑫セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：24.0m



名称		D 浮き部処理	
記号・仕様		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 13] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 11]	
改修前	改修後		
工程	①ピン固定部穿孔 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ③Eポキシ樹脂注入 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑤穿孔跡隠し [Eポキシ樹脂] 一般部 ケ所 指定部 ケ所	⑥注入口穿孔 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑧Eポキシ樹脂注入 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑨穿孔跡隠し [Eポキシ樹脂] 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑩サドルパッド 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 一般部 ケ所 指定部 ケ所	⑫セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：
名称		D 浮き部処理	
記号・仕様		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 13] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 11]	
改修前	改修後		
工程	①ピン固定部穿孔 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ③Eポキシ樹脂注入 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑤穿孔跡隠し [Eポキシ樹脂] 一般部 ケ所 指定部 ケ所	⑥注入口穿孔 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑧Eポキシ樹脂注入 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑨穿孔跡隠し [Eポキシ樹脂] 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑩サドルパッド 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 一般部 ケ所 指定部 ケ所	⑫セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：



名称		D 浮き部処理	
記号・仕様		D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]	
改修前	改修後		
工程	①穿孔 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 ケ所 指定部 ケ所	⑤穿孔跡隠し [エポキシ樹脂] 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 ⑥サンダーケレン 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 ⑧セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm) 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：	⑨セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：
名称		D 浮き部処理	
記号・仕様		D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]	
改修前	改修後		
工程	①穿孔 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 ケ所 指定部 ケ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 ケ所 指定部 ケ所	⑤穿孔跡隠し [エポキシ樹脂] 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 ⑥サンダーケレン 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 ⑧セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm) 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：	⑨セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：

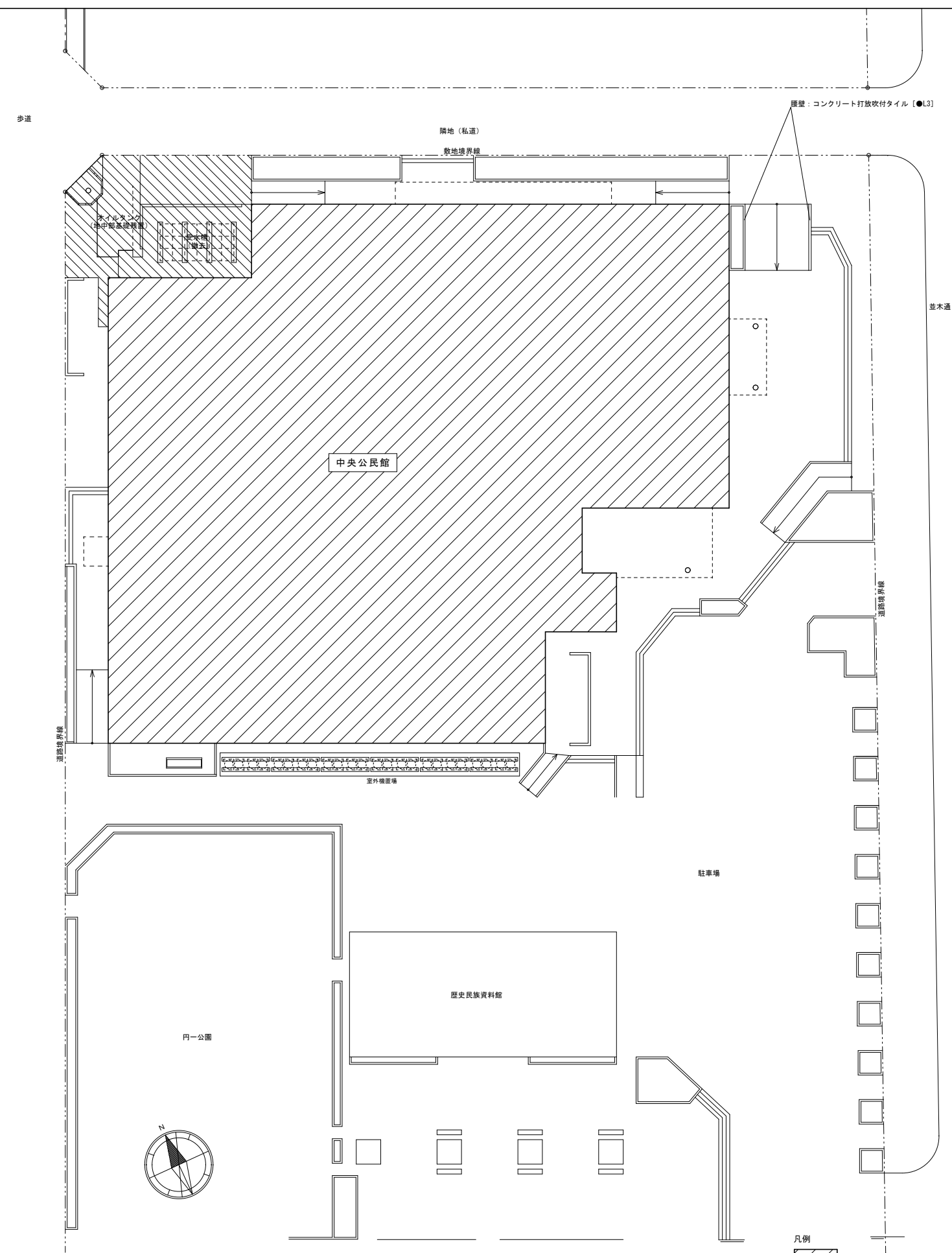


御注文先	三原市殿	御承認	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL: (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第262345号 坂本 薫	校閲 設計 	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事 (その1) 建築主体工事 図面名称 外壁改修工事特記仕様書 (2)	図面番号 A-13 縮尺 -
------	------	-----	----------------------	--	--	-----------------------	------------------	---	-------------------------

名称	D 浮き部処理			
記号・仕様	D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 15] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 13]			
改修前				
工程	①ピン固定部穿孔 一般部 ケ所 ②孔内エアークリーニング 指定部 ケ所 ③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 ケ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 ケ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 ケ所 ⑥注入口穿孔 一般部 ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 指定部 ケ所 ⑧エポキシ樹脂注入 指定部 ケ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 ケ所 ⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 一般部 ケ所 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む	③嵌幅部 一般部 ケ所 ④嵌幅部 指定部 ケ所
名称	D 浮き部処理			
記号・仕様	D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 16] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ			
改修前				
工程	①ピン固定部穿孔 一般部 ケ所 ②孔内エアークリーニング 指定部 ケ所 ③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 ケ所 ④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [※'ワ-セメントパテ'] 指定部 ケ所	⑥注入口穿孔 一般部 ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 指定部 ケ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 ケ所 ⑨穿孔跡埋戻し [※'ワ-セメントパテ'] 指定部 ケ所 ⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 一般部 ケ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 一般部 ケ所 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む	①穿孔 一般部 ケ所 ②孔内エアークリーニング 指定部 ケ所 ③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 ケ所 ④エポキシ樹脂注入 指定部 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調整樹脂パテ] 指定部 ケ所
名称	D 浮き部処理			
記号・仕様	D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法（小口タイル以上） [標仕4. 4. 15]			
改修前				
工程	①ピン固定部穿孔 一般部 ケ所 ②孔内エアークリーニング 指定部 ケ所 ③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 ケ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [※'ワ-セメントパテ'] 指定部 ケ所	⑥注入口穿孔 一般部 ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 指定部 ケ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 ケ所 ⑨穿孔跡埋戻し [※'ワ-セメントパテ'] 指定部 ケ所 ⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 一般部 ケ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 一般部 ケ所 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む	①穿孔 一般部 ケ所 ②孔内エアークリーニング 指定部 ケ所 ③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 ケ所 ④エポキシ樹脂注入 指定部 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調整樹脂パテ] 指定部 ケ所

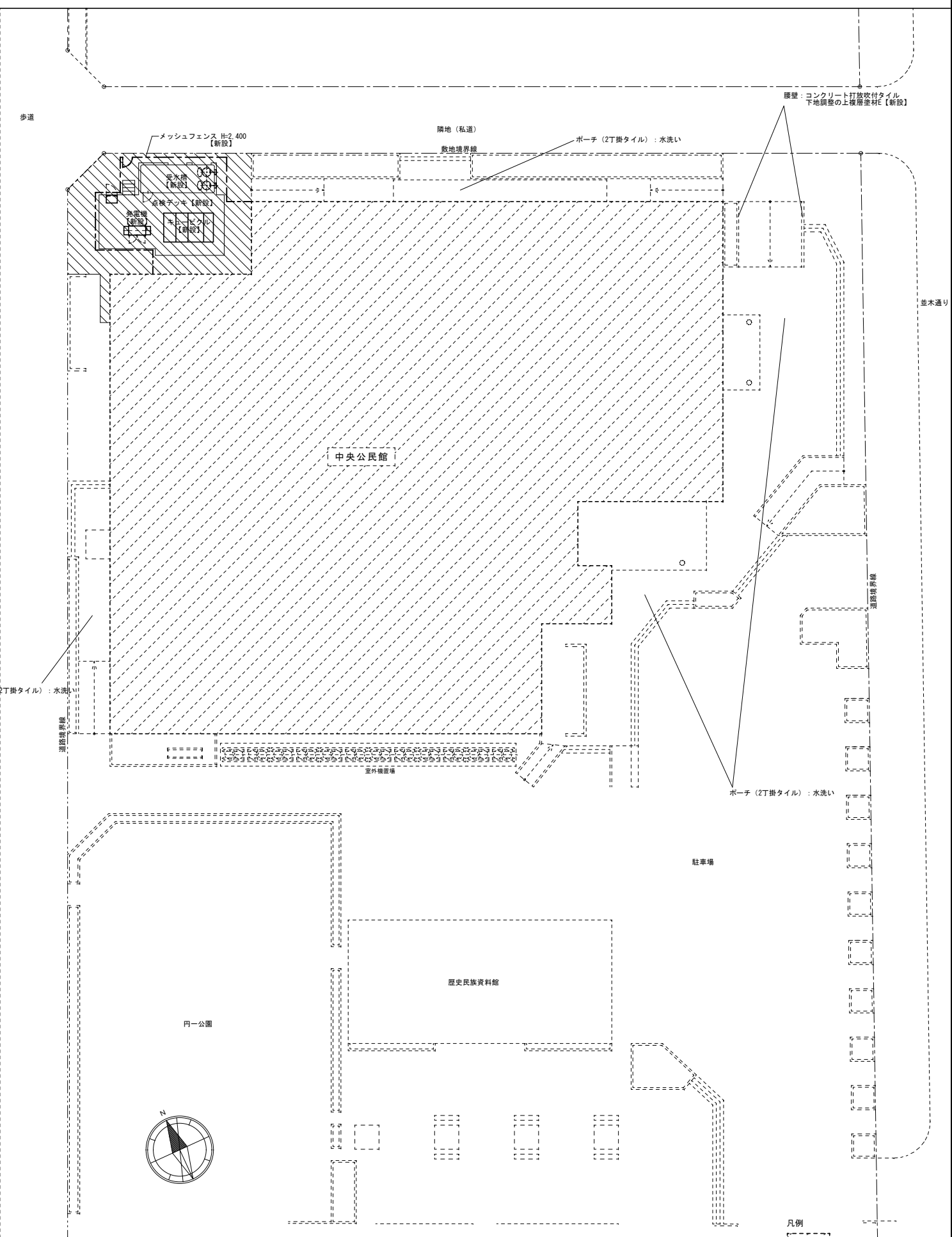
名称	E 欠損部処理			
記号・仕様	E-1 打放し面充填工法 [標仕4. 2. 8]	E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4. 2. 3]	E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4. 3. 3]	F 外壁複合改修工法
改修前				
工程	①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③欠損部はつり部埋戻し [※'ワ-セメントパテ'・エポキシ樹脂モルタル] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 一般部 ケ所 ※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む 参考数量：6.5㎡	①欠損部・錆跡周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤欠損部はつり部埋戻し [※'ワ-セメントパテ'・エポキシ樹脂モルタル] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 一般部 ケ所 ※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む 参考数量：8.9㎡	①カッター縁切り ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④欠損部はつり部埋戻し [※'ワ-セメントパテ'・エポキシ樹脂モルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による) 一般部 ケ所 ※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む 参考数量：-	下地補修後 ①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三輪ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止@450) ⑦シーリング打設 (MS-2) 一般部 ケ所 *印寸法は80程度とする
名称	F 外壁複合改修工法			
記号・仕様	F 外壁複合改修工法			
改修前				
工程	①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③欠損部はつり部埋戻し [※'ワ-セメントパテ'・エポキシ樹脂モルタル] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 一般部 ケ所 ※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む 参考数量：6.5㎡	①欠損部・錆跡周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤欠損部はつり部埋戻し [※'ワ-セメントパテ'・エポキシ樹脂モルタル] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 一般部 ケ所 ※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む 参考数量：8.9㎡	①カッター縁切り ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④欠損部はつり部埋戻し [※'ワ-セメントパテ'・エポキシ樹脂モルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による) 一般部 ケ所 ※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む 参考数量：-	下地補修後 ①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三輪ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止@450) ⑦シーリング打設 (MS-2) 一般部 ケ所 *印寸法は80程度とする

御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第262345号 坂本 薫	校閲 藤本 誠二 設計 坂本 薫	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事（その1）建築主体工事 図面名称 外壁改修工事特記仕様書（3）	図面番号 A-14 縮尺 -
参考数量	ネット張り	㎡	水切	m						



改修前 配置図 S=1/200

凡例
 工事建物場所を示す。
 外構工事部分を示す。

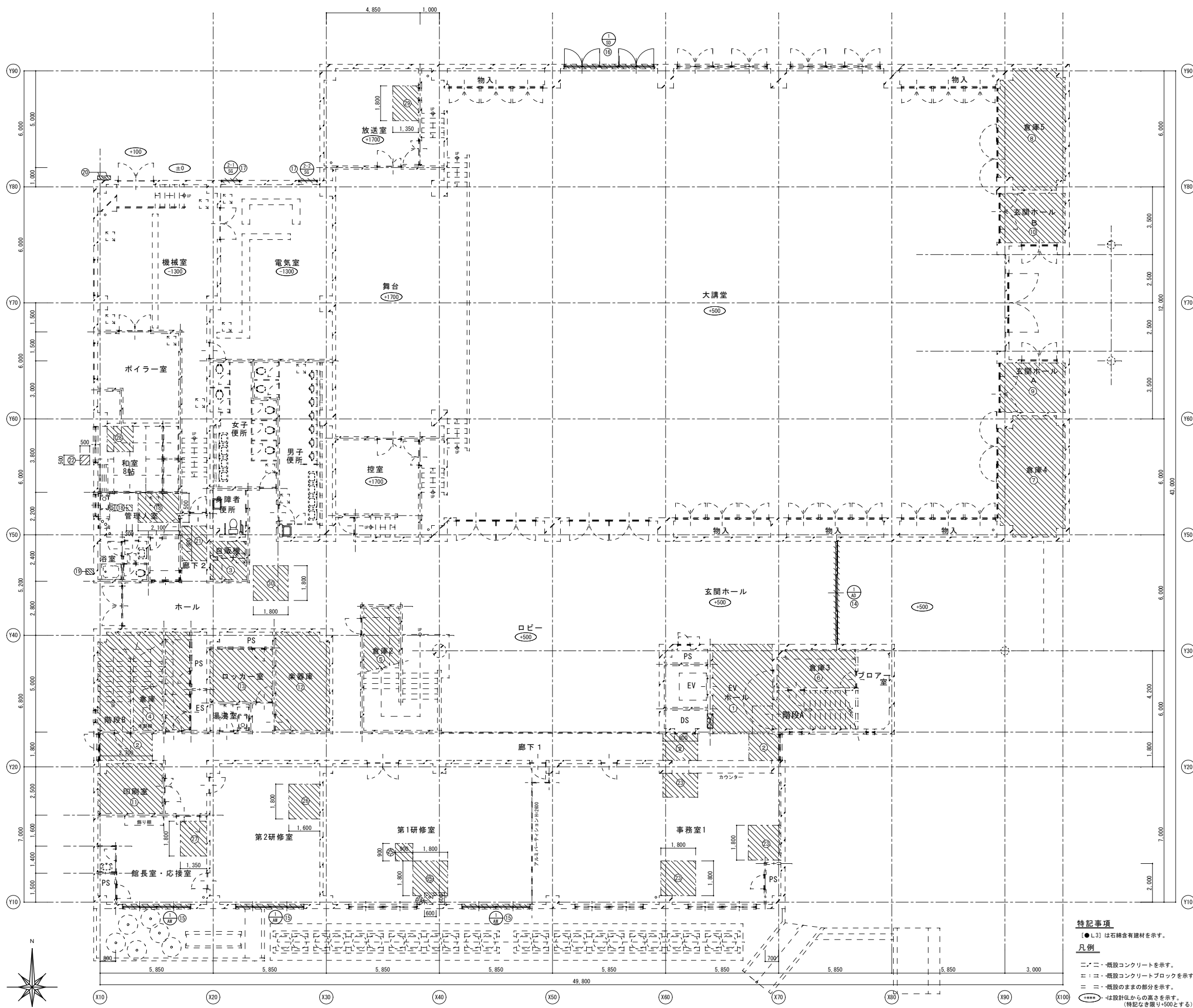


改修後 配置図 S=1/200

凡例
 工事建物場所を示す。
 外構工事部分を示す。

御注文先	三原市殿	御承認	記	月 日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号	1級建築士登録 第 293685 号	1級建築士登録 第 262345 号	坂本 薫	校閲	藤本	工事名称	中央公民館長寿命化改修工事(その1) 建築主体工事	図面番号	A-16		
			事				1級建築士事務所 登録23(1)第1252号	1級建築士登録 第 293685 号	1級建築士登録 第 262345 号	坂本 薫	設計	坂本	設計年月日	2025.03	図面名称	配置図・付近見取図	縮尺

※A3: 50%縮小



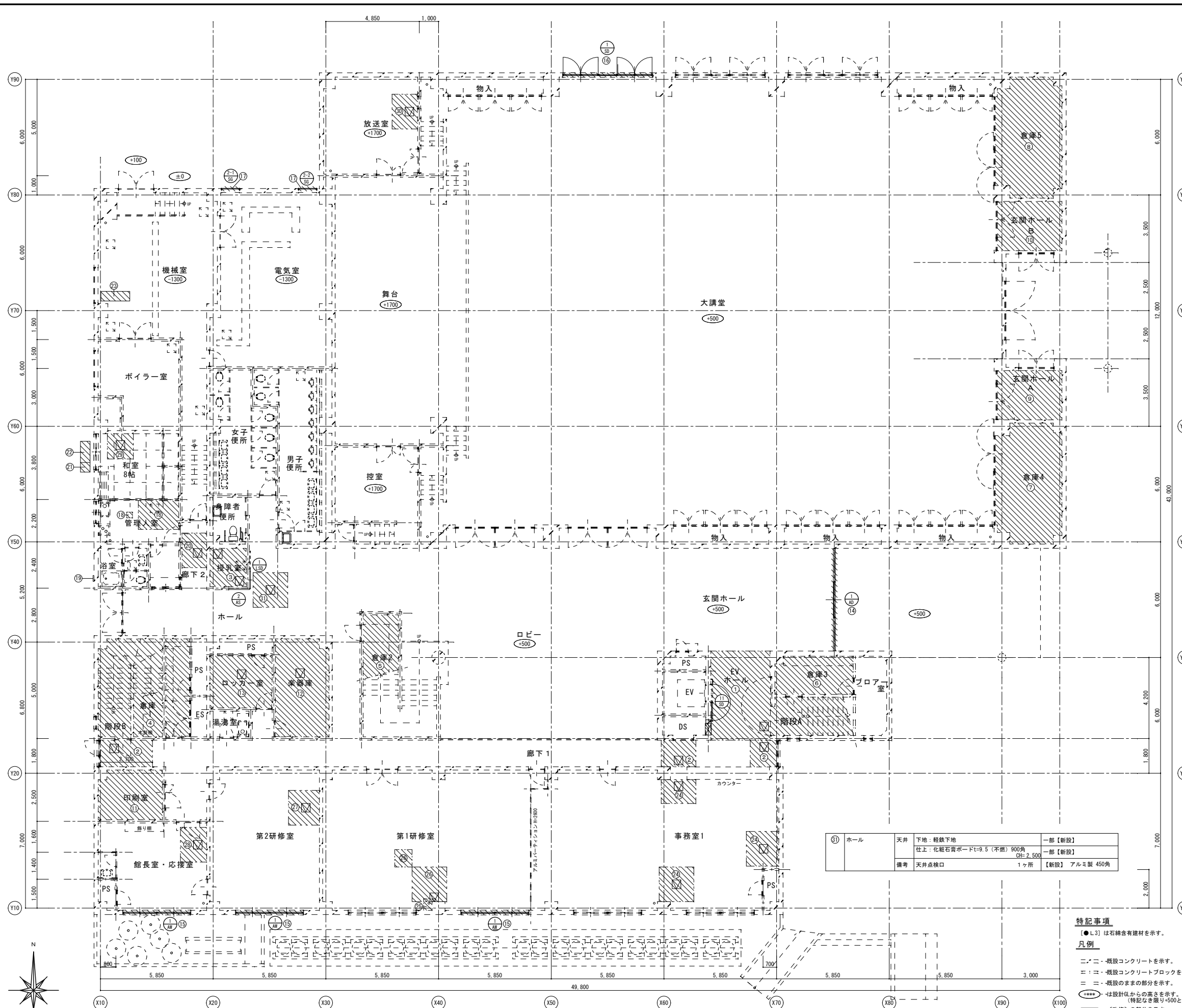
改修前 1階平面図 1/100

※ 床改修範囲は既存仕上タイル割付に合わせて改修する。
 ※ 天井改修範囲は既存ボード割付に合わせて改修する。

特記事項
 ●L3 は石綿含有建材を示す。
凡例
 〃〃 既設コンクリートを示す。
 〃〃 既設コンクリートブロックを示す。
 〃〃 既設のままの部分を示す。
 ●●●● は設計値からの高さを示す。(特記なき限り+500とする)
 --- (改修) の部分を示す。
 --- (改修) の部分を示す。

改修項目 (撤去)				
記号	室名	部位	仕上	改修内容
①	EVホール	床	二丁掛タイル	一部 (撤去)
		巾木	コンクリート打ち放しA-Emp	一部 (撤去)
		壁	コンクリート打ち放しA-Emp	一部 (撤去)
		天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボード t=9.0 (不燃) 900角 ●L3 CH=2,700	一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り縁 消火栓ボックス	【既設のまま】 【撤去】 (設備工事)
②	廊下1	床	二丁掛タイル	【既設のまま】
		巾木	コンクリート打ち放しA-Emp	【既設のまま】
		壁	コンクリート打ち放しA-Emp	【既設のまま】
		天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボード t=9.0 (不燃) 900角 ●L3 CH=2,200	一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り縁 天井点検口 1ヶ所	一部 (撤去) 【撤去】
③	自動販売機3ヶ所	床	二丁掛タイル	【既設のまま】
		巾木	コンクリート打ち放しA-Emp	【既設のまま】
		壁	コンクリート打ち放しA-Emp	【既設のまま】
		天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボード t=9.0 (不燃) 900角 ●L3 CH=2,300	【撤去】
		備考	塩ビ張り縁 天井点検口 2ヶ所	【撤去】 【撤去】
④	倉庫 1、階段B	天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L1	直天 【既設のまま】
⑤	倉庫 2	天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L1	直天 【撤去】
⑥	倉庫 3、階段A	天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L1	直天 【既設のまま】
⑦	倉庫 4	天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L1	直天 【撤去】
⑧	倉庫 5	天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L1	直天 【既設のまま】
⑨	玄関ホール A	天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L1	直天 【既設のまま】
⑩	玄関ホール B	天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L1	直天 【撤去】
⑪	印刷室	天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L1	直天 【既設のまま】
⑫	楽器庫	天井	下地: 軽鉄下地石膏ボード t=9.0 ●L3 仕上: ヒル石吹付 ●L1 CH=2,300	下地共 (撤去) 【撤去】
⑬	ロッカー室	天井	下地: 軽鉄下地石膏ボード t=9.0 ●L3 仕上: ヒル石吹付 ●L1 CH=2,300	下地共 (撤去) 【撤去】
		備考	塩ビ張り縁 天井点検口 1ヶ所	【撤去】 【撤去】
⑭	玄関ホール AD/1	天井	排煙用オベレーター 一式	【撤去】
⑮	第1研修室 第2研修室 館長室・応接室	天井	排煙用オベレーター 一式 計3ヶ所	【撤去】
⑯	大講堂	SD/1	外部塗装	【改修】
⑰	電気室	S0/2-1 S0/2-2	ガラリ部分	【撤去】
⑱	管理人室	床	Pタイル ●L3	一部 (撤去)
⑲	管理人室浴室	浴室	浴室バランス釜排気筒	【撤去】 (設備工事)
⑳	機械室外部	消火器ボックス	計2個	【撤去】
㉑	廊下2	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボード t=9.0 (不燃) 900角 ●L3 CH=2,200	一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り縁	一部 (撤去)
㉒	外部室外機置き場	アスファルト舗装		一部 (撤去)
㉓	事務室1	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボード t=9.0 (不燃) 900角 ●L3 CH=2,600	一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り縁	一部 (撤去)
㉔	第一研修室	床	Pタイル ●L3	一部 (撤去)
		天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボード t=9.0 (不燃) 900角 ●L3 CH=2,600	一部 (撤去)
㉕	第二研修室	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボード t=9.0 (不燃) 900角 ●L3 CH=2,600	一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り縁	一部 (撤去)
㉖	館長室・応接室	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボード t=9.0 (不燃) 900角 ●L3 CH=2,600	一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り縁	一部 (撤去)
㉗	和室8帖	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 杉板合板敷目強 (雑塗) CH=2,300	一部 (撤去)
		備考		【撤去】
㉘	放送室	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボード t=9.0 (不燃) 900角 ●L3 CH=3,000	一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り縁	一部 (撤去)
㉙	ホール	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボード t=9.0 (不燃) 900角 ●L3 CH=2,500	一部 (撤去)
		備考		【撤去】

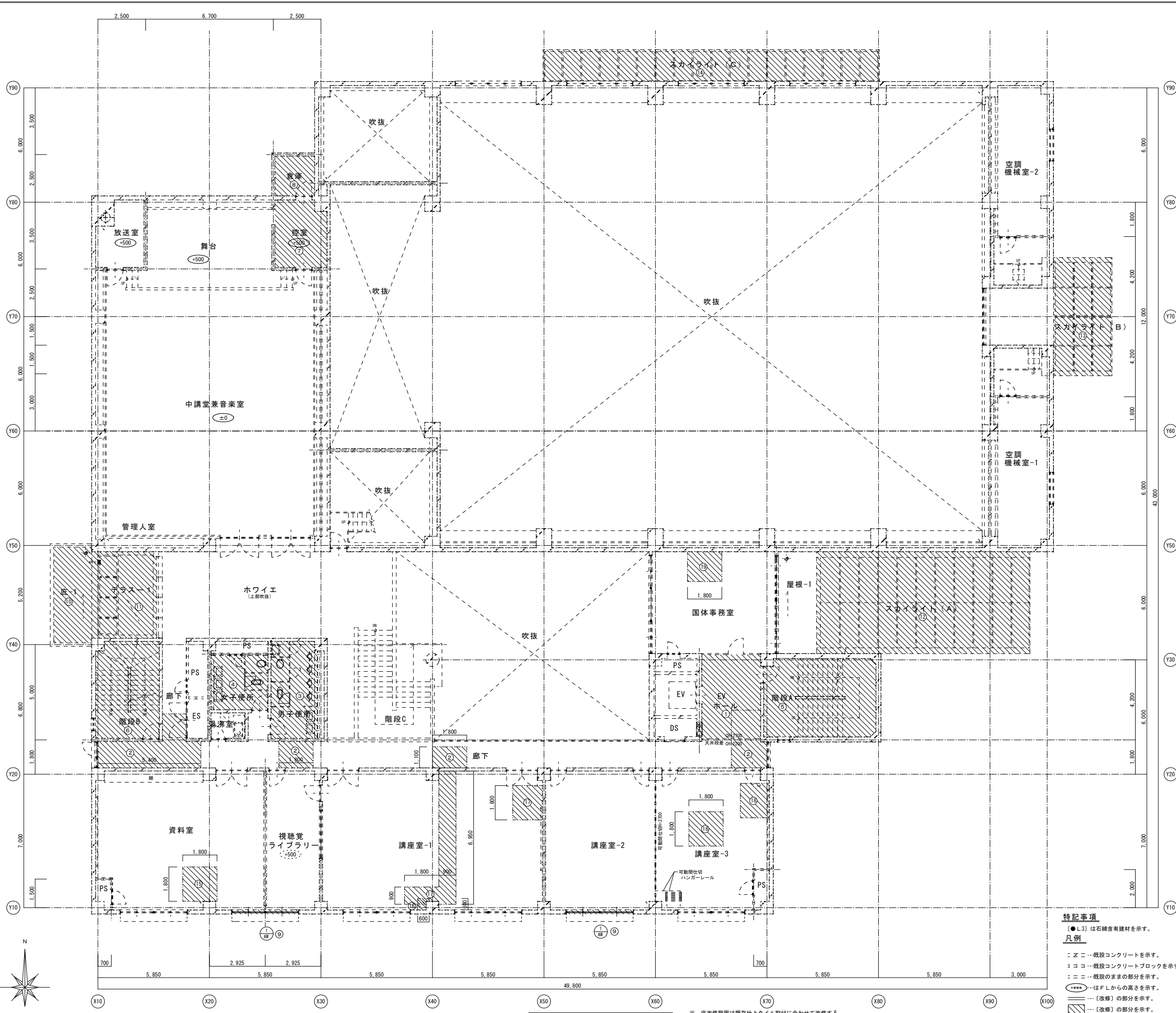
※77㎡を除去作業 (L-1) については、A-60-A-63図面を参照のこと



改修項目【新設】				
記号	室名	部位	仕上	改修内容
①	EVホール	床	二丁掛タイル	一部【新設】
		巾木	コンクリート打ち放しEP-G	一部【新設】
		壁	コンクリート打ち放しEP-G	一部【新設】
		天井	下地：軽鉄下地 仕上：化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=2,700	一部【新設】
		備考	消火栓ボックス EV扉前特定防火設備：スチール製片開き扉 戸袋付き	【新設】 (設備工事) 【新設】
		天井点検口	1ヶ所	【新設】 アルミ製 450角
②	廊下1	天井	下地：軽鉄下地 仕上：化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=2,200	一部【新設】 一部【新設】
		備考	塩ビ廻り縁 天井点検口	一部【新設】 3ヶ所 【新設】 アルミ製 450角
③	授乳室	天井	下地：軽鉄下地 仕上：化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=2,300	【新設】 【新設】
		備考	塩ビ廻り縁 天井点検口	【新設】 2ヶ所 【新設】 アルミ製 450角
			アルミ製パーテーション 片引戸 カーテン・カーテンレール	【新設】 【新設】 【新設】
④	倉庫 1、階段B	天井	下地：コンクリート 仕上：下地調整の上外装薄塗材E吹付 直天	【既設のまま】 【新設】
⑤	倉庫 2	天井	下地：コンクリート 仕上：下地調整の上外装薄塗材E吹付 直天	【既設のまま】 【新設】
⑥	倉庫 3、階段A	天井	下地：コンクリート 仕上：下地調整の上外装薄塗材E吹付 直天	【既設のまま】 【新設】
⑦	倉庫 4	天井	下地：コンクリート 仕上：下地調整の上外装薄塗材E吹付 直天	【既設のまま】 【新設】
⑧	倉庫 5	天井	下地：コンクリート 仕上：下地調整の上外装薄塗材E吹付 直天	【既設のまま】 【新設】
⑨	玄関ホール A	天井	下地：コンクリート 仕上：下地調整の上外装薄塗材E吹付 直天	【既設のまま】 【新設】
⑩	玄関ホール B	天井	下地：コンクリート 仕上：下地調整の上外装薄塗材E吹付 直天	【既設のまま】 【新設】
⑪	印刷室	天井	下地：コンクリート 仕上：下地調整の上外装薄塗材E吹付 直天	【既設のまま】 【新設】
⑫	楽器庫	天井	下地：軽鉄下地 仕上：化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=2,300	【新設】 【新設】
		備考	塩ビ廻り縁 天井点検口	アルミ製 450 【新設】 【新設】
⑬	ロッカー室	天井	下地：軽鉄下地 仕上：化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=2,300	【新設】 【新設】
		備考	塩ビ廻り縁 天井点検口	アルミ製 450 【新設】 【新設】
⑭	玄関ホール	AD-1	排煙用オペレーター 一式	【新設】
⑮	第1研修室	ALL-1	排煙用オペレーター 一式	計3ヶ所 【新設】
⑯	大講堂	SD-1	外部塗装	下地調整の上 DP塗【新設】
⑰	電気室	SG/2-1 SG/2-2	ガラリ部分	プレートt=1.6 種DP塗 設置開口部有【新設】
⑱	管理入室	床	Pタイルt=2.0	一部【新設】
⑲	管理入室浴室	浴室バランス弁排気筒開口		ステンレスプレートt=1.6 曲げ加工【新設】
⑳	廊下2	天井	下地：軽鉄下地 仕上：化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=2,200	一部【新設】 一部【新設】
		備考	塩ビ廻り縁 天井点検口	一部【新設】 1ヶ所 【新設】 アルミ製 450角
			外部室外機置き場	アスファルト舗装
㉑	外部室外機置き場	基礎	コンクリート基礎	500X1,000H200【新設】
㉒	機械室	基礎	消火ポンプ基礎 500X1,500	ポンプ撤去後基礎天端 モルタルにて【改修】
㉓	事務室1	天井	下地：軽鉄下地 仕上：化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=2,600	一部【新設】 一部【新設】
		備考	天井点検口 塩ビ廻り縁	3ヶ所 【新設】 アルミ製 450角 一部【新設】
			床	Pタイルt=2.0
㉔	第一研修室	天井	下地：軽鉄下地 仕上：化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=2,600	一部【新設】 一部【新設】
		備考	天井点検口 塩ビ廻り縁	1ヶ所 【新設】 アルミ製 450角 一部【新設】
㉕	第二研修室	天井	下地：軽鉄下地 仕上：化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=2,600	一部【新設】 一部【新設】
		備考	天井点検口 塩ビ廻り縁	1ヶ所 【新設】 アルミ製 450角 一部【新設】
			天井	下地：軽鉄下地 仕上：化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=2,600
㉖	館長室・応接室	天井	下地：軽鉄下地 仕上：化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=2,600	一部【新設】 一部【新設】
		備考	天井点検口 塩ビ廻り縁	1ヶ所 【新設】 アルミ製 450角 一部【新設】
㉗	和室8帖	天井	下地：軽鉄下地 仕上：石膏ボード t=9.5 (準不燃) ビニルクロス貼付 CH=2,300	一部【新設】 一部【新設】
		備考	天井点検口	1ヶ所 【新設】 アルミ製 450角
			天井	下地：軽鉄下地 仕上：化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=3,000
㉘	放送室	天井	下地：軽鉄下地 仕上：化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=3,000	一部【新設】 一部【新設】
		備考	天井点検口	1ヶ所 【新設】 アルミ製 450角

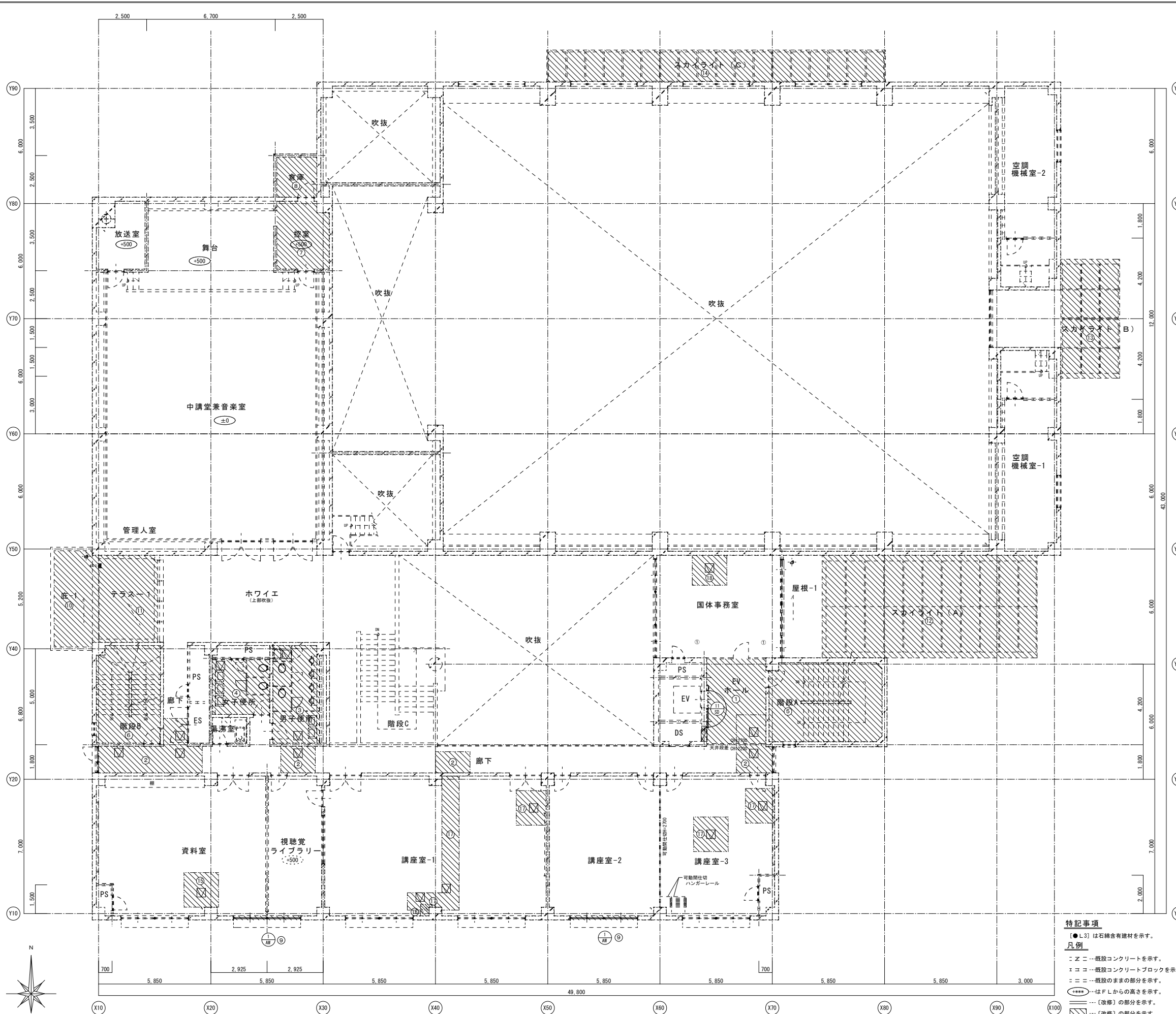
特記事項
 ●L3は石綿含有建材を示す。
凡例
 ニニニ-概設コンクリートを示す。
 ニニニ-概設コンクリートブロックを示す。
 ニニニ-概設のままの部分を示す。
 ○は設計図からの高さを示す。
 (特記なき限り+500とする)
 ---[改修]の部分を示す。
 ---[改修]の部分を示す。
 ---[改修]天井点検口を示す。
 (仕上：天井仕上材に準ずる。)

改修後 1階平面図 1/100 ※ 床改修範囲は既存仕上タイル割付に合わせて改修する。
 ※ 天井改修範囲は既存ボード割付に合わせて改修する。



改修項目 (撤去)				
記号	室名	部位	仕上	改修内容
①	E Vホール	床	P系タイル	一部 (撤去)
		巾木	ソフト巾木 H=60	一部 (撤去)
		壁	コンクリート打ち放しA-Emp	一部 (撤去)
		天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボードt=9.0 (不燃) 900角 ●L.3) CH=2,700	一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り縁	一部 (撤去)
			消火栓ボックス	(撤去) (設備工事)
②	廊下	床	P系タイル	[既設のまま]
		巾木	ソフト巾木 H=60	[既設のまま]
		壁	コンクリート打ち放しA-Emp	[既設のまま]
		天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボードt=9.0 (不燃) 900角 ●L.3) CH=2,200	一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り縁	一部 (撤去)
			天井点検口 1ヶ所	(撤去)
③	男子便所	床	2.5角モザイクタイル	一部 (撤去)
		巾木	2.5角モザイクタイル H=50	[既設のまま]
		壁	モルタル下地吹付タイル仕上	[既設のまま]
		天井	下地: 軽鉄下地 仕上: フレキシブルボード t=4.0 AEP ●L.3) CH=2,300	一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り縁	(撤去)
			天井点検口 1ヶ所	(撤去)
④	女子便所	床	2.5角モザイクタイル	一部 (撤去)
		巾木	2.5角モザイクタイル H=50	[既設のまま]
		壁	モルタル下地吹付タイル仕上	[既設のまま]
		天井	下地: 軽鉄下地 仕上: フレキシブルボード t=4.0 AEP ●L.3) CH=2,300	一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り縁	(撤去)
			天井点検口 1ヶ所	(撤去)
⑤	階段 A	天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L.1) 直天	[既設のまま]
		天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L.1) 直天	[既設のまま]
⑥	階段 B	天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L.1) 直天	[既設のまま]
		天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L.1) 直天	[既設のまま]
⑦	控室	天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L.1) 直天	[既設のまま]
		天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L.1) 直天	[既設のまま]
⑧	倉庫	天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L.1) 直天	[既設のまま]
		天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L.1) 直天	[既設のまま]
⑨	講義室-2 資料室	天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L.1) 直天	[既設のまま]
		天井	下地: コンクリート 仕上: ヒル石吹付 ●L.1) 直天	[既設のまま]
⑩	廊下-1	床	防水モルタル金コテ	[改修]
		床	75kg防水の上発泡断熱材 t=25 軽量コンクリート下地吹付タイル仕上	[改修]
⑪	テラス-1	立上り	防水モルタル	[改修]
		窓木	コンクリート金コテ吹付タイル仕上 ●L.3)	[改修]
⑫	ｽﾀｲﾌﾟ (A)	備考	ブラケット 1,000X1,000X600-4個	(撤去)
		鉄部	F.P.塗	[改修]
⑬	ｽﾀｲﾌﾟ (B)	鉄部	F.P.塗	[改修]
		鉄部	F.P.塗	[改修]
⑭	ｽﾀｲﾌﾟ (C)	鉄部	F.P.塗	[改修]
		鉄部	F.P.塗	[改修]
⑮	資料室	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボードt=9.0 (不燃) 900角 ●L.3) CH=2,700	一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り縁	一部 (撤去)
⑯	講義室-1	床	Pタイル ●L.3)	一部 (撤去)
		壁	スチールパイプ 125φ 壁巻込み金物・SGP管ジョイント	一部 (撤去)
⑰	講義室-1	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボードt=9.0 (不燃) 900角 ●L.3) CH=2,700	一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り縁	一部 (撤去)
⑱	講義室-3	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボードt=9.0 (不燃) 900角 ●L.3) CH=2,700	一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り縁	一部 (撤去)
⑲	団体事務室	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボードt=9.0 (不燃) 900角 ●L.3) CH=2,700	一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り縁	一部 (撤去)

特記事項
 ●L.3) は石綿含有建材を示す。
凡例
 - Z - 既設コンクリートを示す。
 - M - 既設コンクリートブロックを示す。
 - N - 既設のままである部分を示す。
 - F - F.L.からの高さを示す。
 - ... (改修) の部分を示す。
 - ... (改修) の部分を示す。



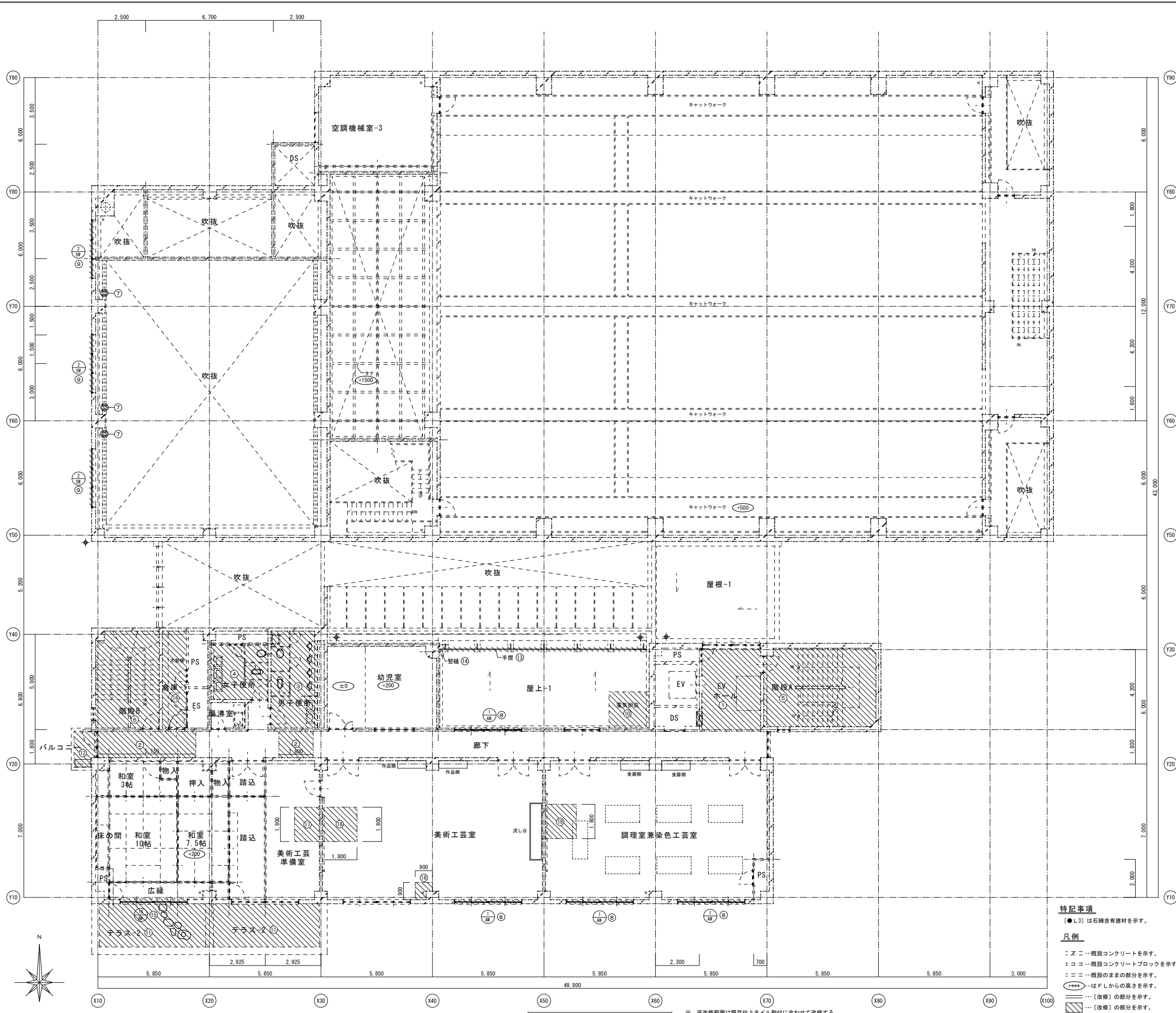
特記事項

- L3 は石綿含有建材を示す。
- 凡例
- 概設コンクリートを示す。
- 概設コンクリートブロックを示す。
- 概設の部分を示す。
- F.L.からの高さを示す。
- (改修)の部分を示す。
- (改修)の部分を示す。
- 【新設】天井点検口を示す。(仕上: 天井仕上材に準ずる。)

改修項目【新設】				
記号	室名	部位	仕上	改修内容
①	EVホール	床	P系タイル	一部【新設】
		巾木	ソフト巾木 H=60	一部【新設】
		壁	コンクリート打ち放しEP-G	一部【新設】
		天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=2,700	一部【新設】
		備考	消火栓ボックス EV扉前特定防火設備: スチール製片開き戸 戸袋付き	【新設】 (設備工事) 【新設】
		天井点検口	1ヶ所	【新設】 アルミ製 450
		塩ビ廻り縁	一部【新設】	
②	廊下	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=2,200	一部【新設】 一部【新設】
		備考	塩ビ廻り縁	一部【新設】
		天井点検口	5ヶ所	【新設】 アルミ製 450
		呼称	硬質ポリ塩化ビニル管 125φ 塩ビ管継手	1ヶ所 一部【新設】
		床	2.5角モザイクタイル	一部【新設】 (設備工事)
③	男子便所	床	2.5角モザイクタイル	一部【新設】 (設備工事)
		巾木	2.5角モザイクタイル H=50	【既設のまま】
		壁	モルタル下地吹付タイル仕上	【既設のまま】
		天井	下地: 軽鉄下地 仕上: フレキシブルボード t=4.0 AEP CH=2,300	【新設】 【新設】
		備考	塩ビ廻り縁	【新設】
		天井点検口	2ヶ所	【新設】 アルミ製 450
		プース扉	【新設】 1ヶ所	
④	女子便所	床	2.5角モザイクタイル	一部【新設】 (設備工事)
		コンクリートスラブ		一部【新設】 (設備工事)
		巾木	2.5角モザイクタイル H=50	【既設のまま】
		壁	モルタル下地吹付タイル仕上	【既設のまま】
		天井	下地: 軽鉄下地 仕上: フレキシブルボード t=4.0 AEP CH=2,300	【新設】 【新設】
		備考	塩ビ廻り縁	【新設】
		天井点検口	1ヶ所	【新設】 アルミ製 450
⑤	階段 A	天井	下地: コンクリート	
		仕上: 下地調整の上外装薄塗材E吹付 直天	【新設】	
⑥	階段 B	天井	下地: コンクリート	
		仕上: 下地調整の上外装薄塗材E吹付 直天	【新設】	
⑦	控室	天井	下地: コンクリート	
		仕上: 下地調整の上外装薄塗材E吹付 直天	【新設】	
⑧	倉庫	天井	下地: コンクリート	
		仕上: 下地調整の上外装薄塗材E吹付 直天	【新設】	
⑨	講座室-2 資料室	天井	排煙用オペレーター 一式 計2カ所	【新設】 【新設】
		床		【既設のまま】
⑩	応-1	床	防水モルタル金コテ	下地調整の上 ウレタン塗膜防水 【新設】
		床	防水モルタルの上発泡断熱材 t=25 硬質ポリ塩化ビニル下地吹付タイル	下地調整の上 ウレタン塗膜防水 【新設】
		立上り	防水モルタル	下地調整の上 ウレタン塗膜防水
⑪	テラス-1	床	コンクリート金コテ吹付タイル仕上	下地調整の上 ウレタン塗膜防水
		鉄部	F.P.塗	下地調整の上D.P.塗 【新設】
		繊維	スチールプレート t=1.6 F.P.塗	ガルバリウム鋼板 t=0.6 曲げ加工 【新設】
		壁	スチールパイプ 40φ F.P.塗	下地調整の上D.P.塗 【新設】
		備考	磨き入りガラス t=6.8	水洗い清掃 【新設】
⑫	3x4付 (A)	鉄部	F.P.塗	下地調整の上D.P.塗 【新設】
		繊維	スチールプレート t=1.6 F.P.塗	ガルバリウム鋼板 t=0.6 曲げ加工 【新設】
		壁	スチールパイプ 40φ F.P.塗	下地調整の上D.P.塗 【新設】
		備考	磨き入りガラス t=6.8	水洗い清掃 【新設】
		鉄部	F.P.塗	下地調整の上D.P.塗 【新設】
⑬	3x4付 (B)	鉄部	F.P.塗	下地調整の上D.P.塗 【新設】
		繊維	スチールプレート t=1.6 F.P.塗	ガルバリウム鋼板 t=0.6 曲げ加工 【新設】
		壁	スチールパイプ 40φ F.P.塗	下地調整の上D.P.塗 【新設】
		備考	磨き入りガラス t=6.8	水洗い清掃 【新設】
		鉄部	F.P.塗	下地調整の上D.P.塗 【新設】
⑭	3x4付 (C)	鉄部	F.P.塗	下地調整の上D.P.塗 【新設】
		繊維	スチールプレート t=1.6 F.P.塗	ガルバリウム鋼板 t=0.6 曲げ加工 【新設】
		壁	スチールパイプ 40φ F.P.塗	下地調整の上D.P.塗 【新設】
		備考	磨き入りガラス t=6.8	水洗い清掃 【新設】
		鉄部	F.P.塗	下地調整の上D.P.塗 【新設】
⑮	資料室	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=2,700	一部【新設】 一部【新設】
		備考	塩ビ廻り縁	一部【新設】
		天井点検口	1ヶ所	【新設】 アルミ製 450
		呼称	硬質ポリ塩化ビニル管 125φ 異種管継手 2ヶ所 配管吊金物	【新設】 【新設】
⑯	講座室-1	床	Pタイルt=2.0	一部【新設】
		天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=2,700	一部【新設】 一部【新設】
		備考	塩ビ廻り縁	一部【新設】
⑰	講座室-1・3	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=2,700	一部【新設】 一部【新設】
		備考	塩ビ廻り縁	一部【新設】
		天井点検口	1ヶ所	【新設】 アルミ製 450
⑱	団体事務室	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 900角 CH=2,700	一部【新設】 一部【新設】
		備考	塩ビ廻り縁	一部【新設】
		天井点検口	1ヶ所	【新設】 アルミ製 450

改修後 2階平面図 1/100

※A3: 50%縮小



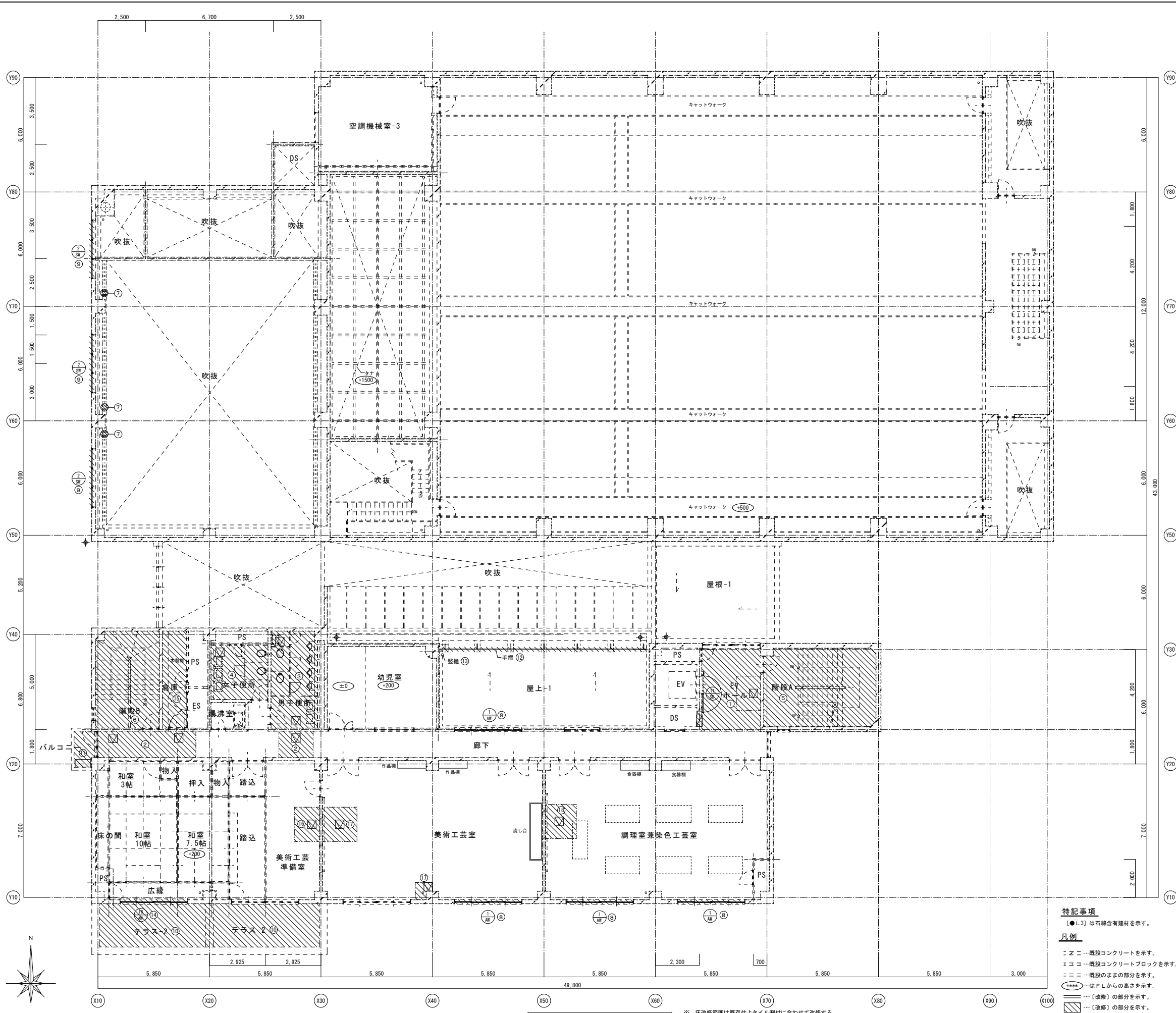
特記事項
 ●L3は石含有建材を示す。
凡例
 □---既設コンクリートを示す。
 ○---既設コンクリートブロックを示す。
 ○---既設のままの部分を示す。
 ○---F.L.からの高さを示す。
 ---〔改修〕の部分を示す。
 ---〔改修〕の部分を示す。

改修項目 (撤去)			
記号	室名	部位	改修内容
①	E.V.ホール	床	P系タイル 一部 (撤去)
		巾木	ソフト巾木 H=60 一部 (撤去)
		壁	コンクリート打ち放しA-Emp 一部 (撤去)
		天井	下地: 軽鉄下地 一部 (撤去) 仕上: 化粧石膏ボードt=9.0 (不燃) 900角 ●L3 CH=2,700 一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り線 (撤去) (設備工事)
		備考	消火栓ボックス (撤去)
②	廊下	床	P系タイル [既設のまま]
		巾木	ソフト巾木 H=60 [既設のまま]
		壁	コンクリート打ち放しA-Emp [既設のまま]
		天井	下地: 軽鉄下地 一部 (撤去) 仕上: 化粧石膏ボードt=9.0 (不燃) 900角 ●L3 CH=2,150 一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り線 一部 (撤去)
		備考	天井点検口 1ヶ所 (撤去)
③	男子便所	床	2.5角モザイクタイル 一部 (撤去)
		壁	コンクリートスラブ 一部 (撤去) (設備工事)
		巾木	2.5角モザイクタイル H=50 [既設のまま]
		壁	モルタル下地吹付タイル仕上 [既設のまま]
		天井	下地: 軽鉄下地 (撤去) 仕上: フレキシブルボード t=4.0 AEP ●L3 CH=2,300 (撤去)
		備考	塩ビ張り線 (撤去)
		備考	天井点検口 1ヶ所 (撤去)
		備考	ブース扉 (撤去) 1ヶ所
		備考	和式便器 (撤去) (設備工事)
		備考	照明器具・換気扇 (撤去) (設備工事)
④	女子便所	床	2.5角モザイクタイル 一部 (撤去)
		壁	コンクリートスラブ 一部 (撤去) (設備工事)
		巾木	2.5角モザイクタイル H=50 [既設のまま]
		壁	モルタル下地吹付タイル仕上 [既設のまま]
		天井	下地: 軽鉄下地 (撤去) 仕上: フレキシブルボード t=4.0 AEP ●L3 CH=2,300 (撤去)
		備考	塩ビ張り線 (撤去)
		備考	天井点検口 1ヶ所 (撤去)
		備考	ブース扉 (撤去) 1ヶ所
		備考	和式便器 (撤去) (設備工事)
		備考	照明器具・換気扇 (撤去) (設備工事)
⑤	階段 A	天井	下地: コンクリート [既設のまま]
		仕上: ヒル石吹付 ●L1 直天 (撤去)	
⑥	階段 B	天井	下地: コンクリート [既設のまま]
		仕上: ヒル石吹付 ●L1 直天 (撤去)	
⑦	中講堂	壁	ルーバー: サンドイッチパネル t=50 2本X3カ所=6本 (撤去)
⑧	調理室 美術工芸室 廊下	天井	排煙用オペレーター 一式 計4カ所 (撤去)
		天井	排煙用オペレーター 一式 計3カ所 (撤去)
⑩	テラス-2	床	鉄筋コンクリートスラブ (撤去)
		壁	75mm防水の上乗透湿バリア t=25 軽量コンクリート下地吹付タイル張 玉砂利敷 (撤去)
		立上り	防水モルタル (改修)
		壁	コンクリート金コテ吹付タイル仕上 ●L3 (改修)
		壁	コンクリート金コテ吹付タイル仕上 ●L3 (改修)
		手摺	スチールパイプ 48.6φ SOP (改修)
		天井	コンクリート金コテ吹付タイル仕上 (改修)
		備考	底石 踏石: 約300X350XH200 5個 (撤去)
		備考	手水鉢: 約400X500XH400 1個 (撤去)
		⑫	バルコニー
壁	コンクリート金コテ吹付タイル仕上 ●L3 (改修)		
壁	コンクリート金コテ吹付タイル仕上 ●L3 (改修)		
備考	避難器具 (取外し)		
⑬	屋上手摺	手摺	スチールパイプ 48.6φ SOP (改修)
		支柱	スチールパイプ 42.7φ SOP (改修)
		控柱	スチールパイプ 43φ SOP (改修)
		手摺子	丸鋼 16φ#150 SOP (改修)
⑭	壁礎	壁礎	スチールパイプ 125φ SOP (改修)
		掃み金物: スチール製 SOP (改修)	
⑮	縁側	天井	排煙用オペレーター 一式 1ヶ所 (撤去)
⑯	倉庫-1	天井	下地: コンクリート [既設のまま]
		仕上: ヒル石吹付 ●L1 直天 (撤去)	
⑰	美術工芸室準備室	天井	下地: 軽鉄下地 一部 (撤去) 仕上: 化粧石膏ボードt=9.0 (不燃) 900角 ●L3 CH=2,600 一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り線 一部 (撤去)
⑱	美術工芸室	天井	下地: 軽鉄下地 一部 (撤去) 仕上: 化粧石膏ボードt=9.0 (不燃) 900角 ●L3 CH=2,600 一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り線 一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り線 一部 (撤去)
		備考	天井点検口 1ヶ所 (撤去)
⑲	調理室兼 染色工芸室	天井	下地: 軽鉄下地 一部 (撤去) 仕上: 化粧石膏ボードt=9.0 (不燃) 900角 ●L3 CH=2,500 一部 (撤去)
		備考	塩ビ張り線 一部 (撤去)

※7A'除去作業 (16'1)については、A-60~A-63図面を参照のこと

改修前 3階平面図 1/100
 ※床改修範囲は既存仕上タイル剥付に合わせて改修する。
 ※天井改修範囲は既存ボード剥付に合わせて改修する。

※A3: 50%縮小

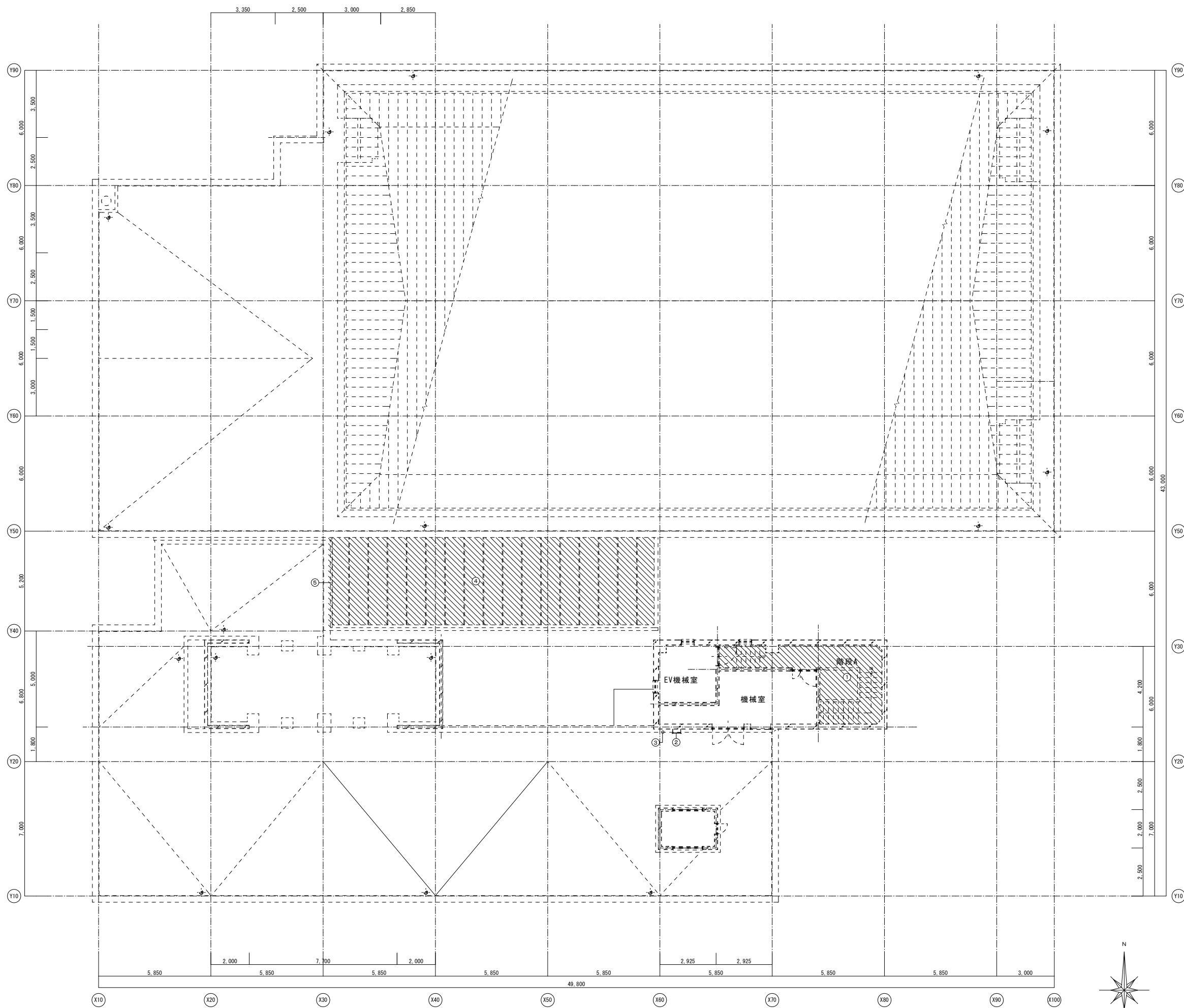


特記事項
 ●L3は石綿含有建材を示す。
凡例
 〃〃〃 既設コンクリートを示す。
 〃〃〃 既設コンクリートブロックを示す。
 〃〃〃 既設の部分を示す。
 〃〃〃 改修の部分を示す。
 〃〃〃 改修の部分を示す。
 〃〃〃 既設天井点検口を示す。
 (仕上: 天井仕上に準ずる。)

改修後 3階平面図 1/100
 ※ 床改修範囲は既存仕上タイル割付に合わせて改修する。
 ※ 天井改修範囲は既存ボード割付に合わせて改修する。

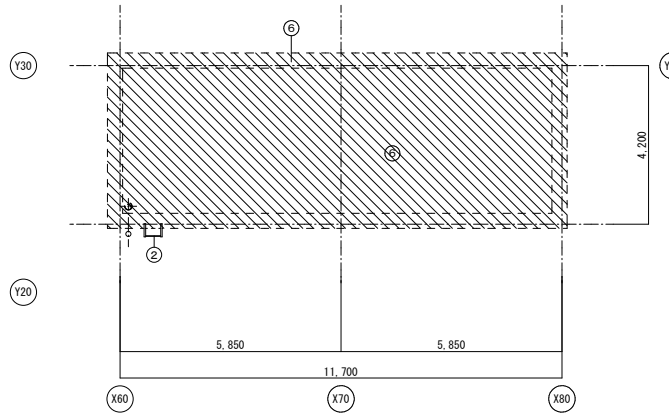
改修項目【新設】				
記号	室名	部位	仕上	改修内容
①	EVホール	床	P系タイル	一部【新設】
		巾木	ソフト巾木 H=60	一部【新設】
		壁	コンクリート打ち放しEP-G	一部【新設】
		天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボードt=9.5(不燃)900角 CH=2,700	一部【新設】
		備考	消火栓ボックス EV扉前特定防火設備: スチール製片開き戸 戸袋付き	【新設】(設備工事)
			塩ビ廻り縁	一部【新設】
			天井点検口	1ヶ所【新設】 アルミ製 450角
②	廊下	床	P系タイル	【既設のまま】
		巾木	ソフト巾木 H=60	【既設のまま】
		壁	コンクリート打ち放しEP-G	【既設のまま】
		天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボードt=9.5(不燃)900角 CH=2,150	一部【新設】
		備考	塩ビ廻り縁	一部【新設】
			天井点検口	3ヶ所【新設】 アルミ製 450角
③	男子便所	床	2.5角モザイクタイル	一部【新設】
		コンクリートスラブ		一部【新設】(設備工事)
		巾木	2.5角モザイクタイル H=50	【既設のまま】
		壁	モルタル下地吹付タイル仕上	【既設のまま】
		天井	下地: 軽鉄下地 仕上: フレキシブルボード t=4.0 AEP CH=2,300	【新設】
		備考	塩ビ廻り縁	【新設】
			天井点検口	2ヶ所【新設】 アルミ製 450角
			ブース扉	【新設】 1ヶ所
			洋式便器	【新設】(設備工事)
			照明器具・換気扇	【新設】(設備工事)
④	女子便所	床	2.5角モザイクタイル	一部【新設】
		コンクリートスラブ		一部【新設】(設備工事)
		巾木	2.5角モザイクタイル H=50	既設のまま
		壁	モルタル下地吹付タイル仕上	既設のまま
		天井	下地: 軽鉄下地 仕上: フレキシブルボード t=4.0 AEP CH=2,300	【新設】
		備考	塩ビ廻り縁	【新設】
			天井点検口	1ヶ所【新設】 アルミ製 450角
			ブース扉	【新設】 1ヶ所
			洋式便器	【新設】(設備工事)
			照明器具・換気扇	【新設】(設備工事)
⑤	階段 A	天井	下地: コンクリート 仕上: 下地調整の上外装薄塗材E吹付 直天	【既設のまま】 【新設】
⑥	階段 B	天井	下地: コンクリート 仕上: 下地調整の上外装薄塗材E吹付 直天	【既設のまま】 【新設】
⑦	中講堂	壁	ルーバー: サンドイッチパネル t=50 2本X3カ所=6本	【新設】
⑧	調理室 美術工芸室 廊下	AV/1	排煙用オペレーター 一式 計4カ所	【新設】
⑨	中講堂	SG/2	排煙用オペレーター 一式 計3カ所	【新設】
⑩	テラス-2	床	773が防水の上乗池*1119 t=25 軽量コンクリート下地2/10吹付	下地調整の上 ウレタン塗膜防水 【新設】
		立上り 防水モルタル		下地調整の上 ウレタン塗膜防水 【新設】
		壁	コンクリート金コテ吹付タイル仕上	水洗い工法 撥水塗料E仕上 【新設】
		窓	コンクリート金コテ吹付タイル仕上	下地調整の上 ウレタン塗膜防水 【新設】
		手摺	スチールパイプ 48.6φ SOP コンクリート金コテ吹付タイル仕上	下地調整の上DP塗 水洗い工法 撥水塗料E仕上 【新設】
⑪	バルコニー	床	防水モルタル金コテ	下地調整の上 ウレタン塗膜防水 【新設】
		壁	コンクリート金コテ吹付タイル仕上	水洗い工法 撥水塗料E仕上 【新設】
		窓	コンクリート金コテ吹付タイル仕上	水洗い工法 撥水塗料E仕上 【新設】
		備考	避難器具	【再取付】
⑫	屋上テラス	手摺	スチールパイプ 48.6φ SOP	下地調整の上DP塗【新設】
		支柱	スチールパイプ 42.7φ SOP	下地調整の上DP塗【新設】
		控柱	スチールパイプ 43φ SOP	下地調整の上DP塗【新設】
		手摺子	丸鋼 16φ#150 SOP	下地調整の上DP塗【新設】
		壁	スチールパイプ 125φ SOP 掘り金物: スチール製 SOP	下地調整の上DP塗【新設】
⑬	壁	排煙用オペレーター 一式 1ヶ所	【新設】	
⑭	倉庫-1	天井	下地: コンクリート 仕上: 下地調整の上外装薄塗材E吹付 直天	【既設のまま】 【新設】
		備考		
⑮	美術工芸準備室	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボードt=9.5(不燃)900角 CH=2,600	一部【新設】 一部【新設】
		備考	塩ビ廻り縁	一部【新設】
			天井点検口	1ヶ所【新設】 アルミ製 450角
⑯	美術工芸室	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボードt=9.5(不燃)900角 CH=2,600	一部【新設】 一部【新設】
		備考	塩ビ廻り縁	一部【新設】
			天井点検口	2ヶ所【新設】 アルミ製 450角
⑰	調理室兼染色工芸室	天井	下地: 軽鉄下地 仕上: 化粧石膏ボードt=9.5(不燃)900角 CH=2,500	一部【新設】 一部【新設】
		備考	塩ビ廻り縁	一部【新設】
			天井点検口	1ヶ所【新設】 アルミ製 450角

※A3: 50%縮小



改修項目 (撤去)				
記号	室名	部位	仕上	改修内容
①	階段 A	天井	下地: コンクリート	【既設のまま】
			仕上: ヒル石吹付 (●L1) 遮天	【撤去】
②	タラップ	手摺	鉄骨 L-40 X 40 X 5 SOP	【撤去】
		踏子	丸鋼 19φ #400 SOP	【撤去】
③	壁柱	壁柱	スチールパイプ 125φ SOP	【改修】
			揺み金物: スチール製 SOP	【改修】
④	スカイライト	天井	スカイライトガラス 網入りガラス t=6.8	【改修】
⑤	スカイライト	カバー	スチール鉄板 SOP	【改修】
⑥	PHR階	床	シート防水	【改修】
		立上り	シート防水	【改修】
		葺木	下地: コンクリート打放	【既設のまま】

※7Aベ ス撤去作業 (レベル1) については、A-60~A-63図面を参照のこと



改修前 PHR階平面図 1/100

特記事項

●L3は石納倉有建材を示す。

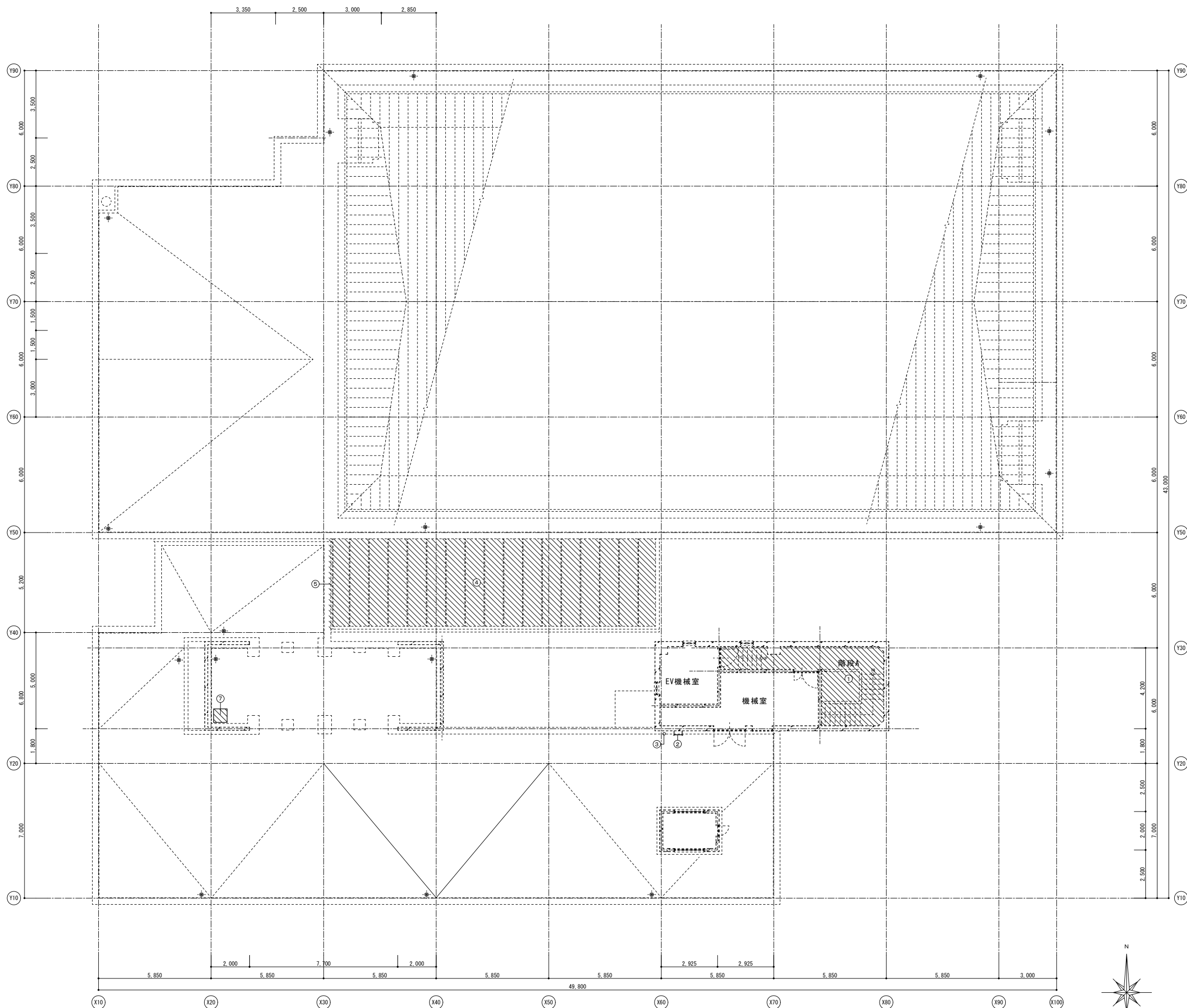
凡例

- ☒ ☒ ☒...既設コンクリートを示す。
- ☒ ☒ ☒...既設コンクリートブロックを示す。
- ☒ ☒ ☒...既設のままの部分を示す。
- *****...はF.Lからの高さを示す。
- 【改修】の部分を示す。
- ///...【改修】の部分を示す。

※ 床改修範囲は既存仕上タイル割付に合わせて改修する。
 ※ 天井改修範囲は既存ボード割付に合わせて改修する。

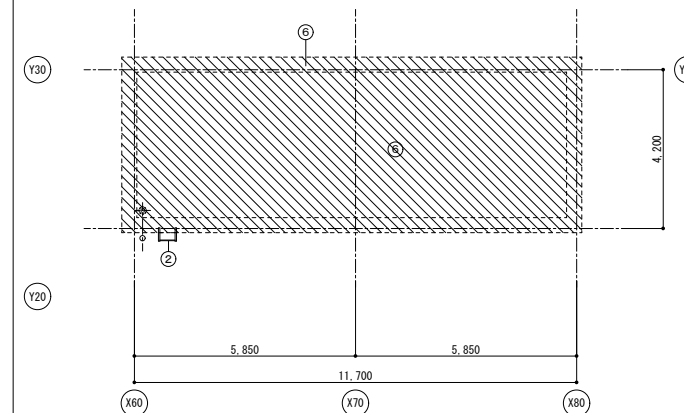
改修前 R階平面図 1/100

※A3: 50%縮小



改修前 R階平面図 1/100

改修項目【新設】			
記号	室名	部位	改修内容
①	階段 A	天井	下地：コンクリート 仕上：下地調整の上外壁薄塗材E吹付 直天
			直天
②	タラップ	手摺	鉄骨L-40 X 40 X 5 亜鉛メッキ
		踏み	丸鋼 19φ #400 亜鉛メッキ
③	壁補	壁補	スチールパイプ 125φ SOP
		掘み金物	スチール製 SOP
④	スカイライト	天井	スカイライトガラス 網入りガラス t=6.8
⑤	スカイライト	カバー	スチール鉄板 SOP
⑥	PHR階	床	シート防水
		立上り	シート防水
		笠木	下地：コンクリート打放
		笠木	仕上：下地調整の上ウレタン塗膜防水
⑦	設備基礎		補給水槽基礎 700X700

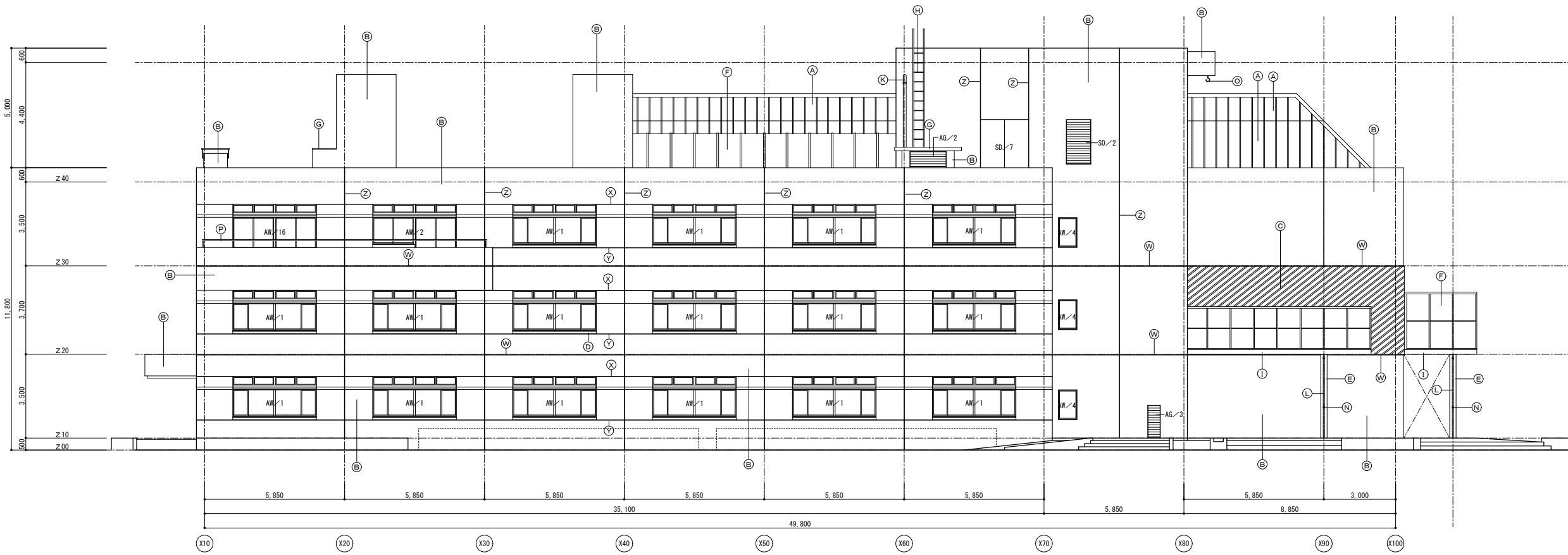


改修前 PHR階平面図 1/100

- 凡例
- 既設コンクリートを示す。
 - 既設コンクリートブロックを示す。
 - 既設のままの部分を示す。
 - はFからの高さを示す。
 - [改修]の部分を示す。
 - [改修]の部分を示す。

※ 床改修範囲は既存仕上タイル割付に合わせて改修する。
 ※ 天井改修範囲は既存ボード割付に合わせて改修する。

御注文先	三原市殿	御承認	記	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL.(082)(255)5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第262345号 坂本 薫	校閲	藤本	工事名称	中央公民館長寿化改修工事(その1)建築主体工事	図面番号	A-24	
			事				設計	坂本	設計年月日	2025.03	図面名称	改修後 R階平面図	縮尺	1/100



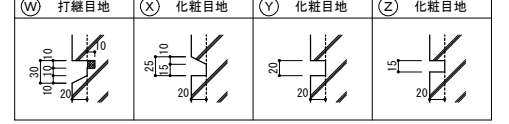
改修前 南立面図 1/100

改修項目 (撤去)		
記号	仕 上	改修内容
(A)	屋根: ALC版 t=120 下地ステンレス鋼瓦葺き	[既設のまま]
(B)	外壁: コンクリート打放吹付タイル [●L3]	[改修]
(C)	外壁: コンクリート打放化粧目地横棧付吹付タイル [●L3]	[改修]
(D)	面台: 防水モルタルコテ押え	[改修]
(E)	スカイライト: 鉄部 SOP	[改修]
(F)	スカイライトガラス窓: 網入りガラス t=6.8	[改修]
(G)	天端: モルタル下地塗布防水	[既設のまま]
(H)	タラップ: スチール製 SOP塗	[撤去]
(I)	軒種: スチールプレート t=1.6 F P 塗	[改修]
(J)	軒種: スチールプレート t=1.6 曲げ加工 F P 塗	[改修]
(K)	壁種: スチールパイプ 125φ SOP	[改修]
(L)	壁種: スチールパイプ 40φ SOP	[改修]
(M)	壁種: 塩ビ製パイプ 50φ	[改修]
(N)	壁種: 塩ビ製パイプ 40φ SOP	[改修]
(O)	フック: ステンレス製	[既設のまま]
(P)	手摺: スチールパイプ 48.6φ SOP	[改修]
(Q)	支柱・控え柱: スチールパイプ 42.7φ SOP	[改修]
(R)	手摺子: 丸鋼 16φ #150 SOP	[改修]
(S)	館名文字: ステンレス製箱文字 200角 8文字	[既設のまま]
(T)	館名文字: ステンレス製 W1.650 X H165	[既設のまま]
(U)	バランス垂排気筋	[撤去] (設備工事)
(V)	庇: コンクリートスラブ吹付タイル仕上 [●L3]	[撤去]
(W)	打継目地 W30~20 X D20 シーリング 10X10	[撤去]
(X)	化粧目地 W25~15 X D20	
(Y)	化粧目地 W20 X D20	
(Z)	化粧目地 W15 X D20	
(A1)	カバー鉄板	[改修]
(B1)	壁種: 塩ビ製パイプ: スチール製	[撤去]
(C1)	消火器ボックス 計2個	[撤去]
(D1)	SG/2-1・2	[改修]

特記事項

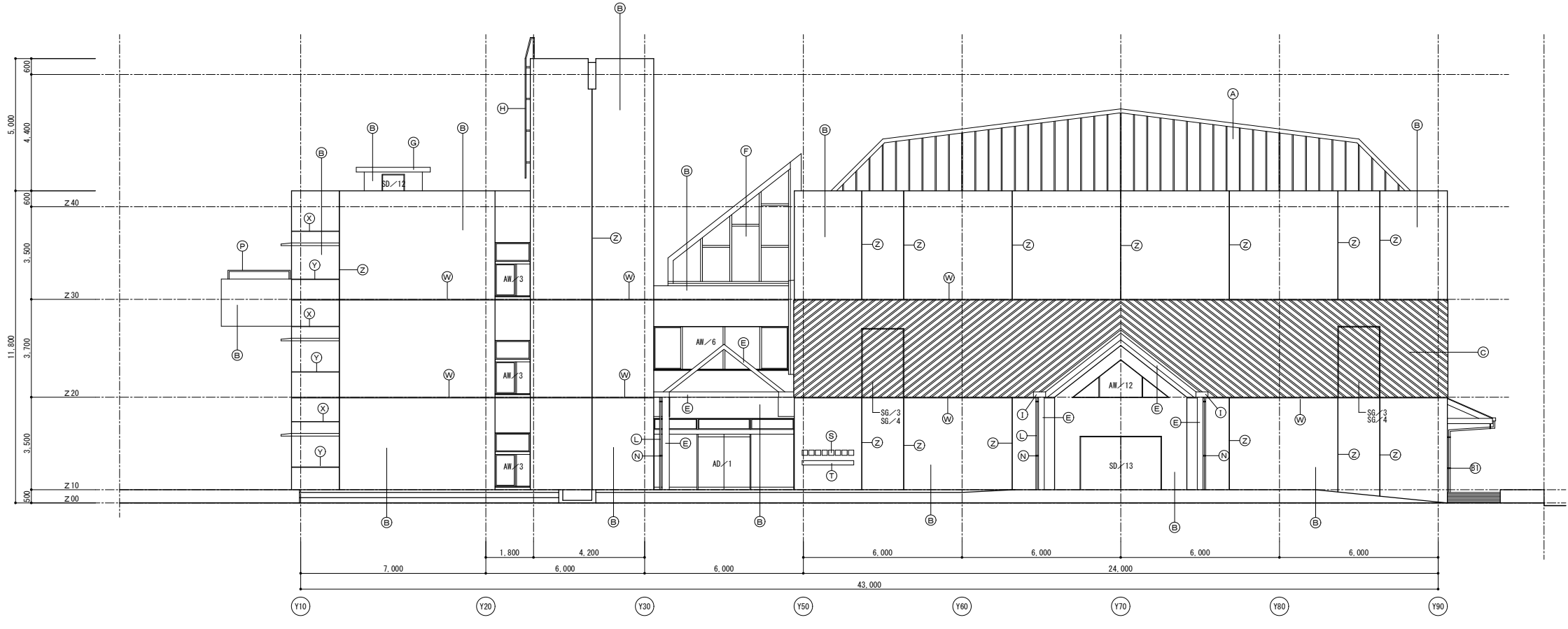
●L3 は石積含有建材を示す。

目地詳細図



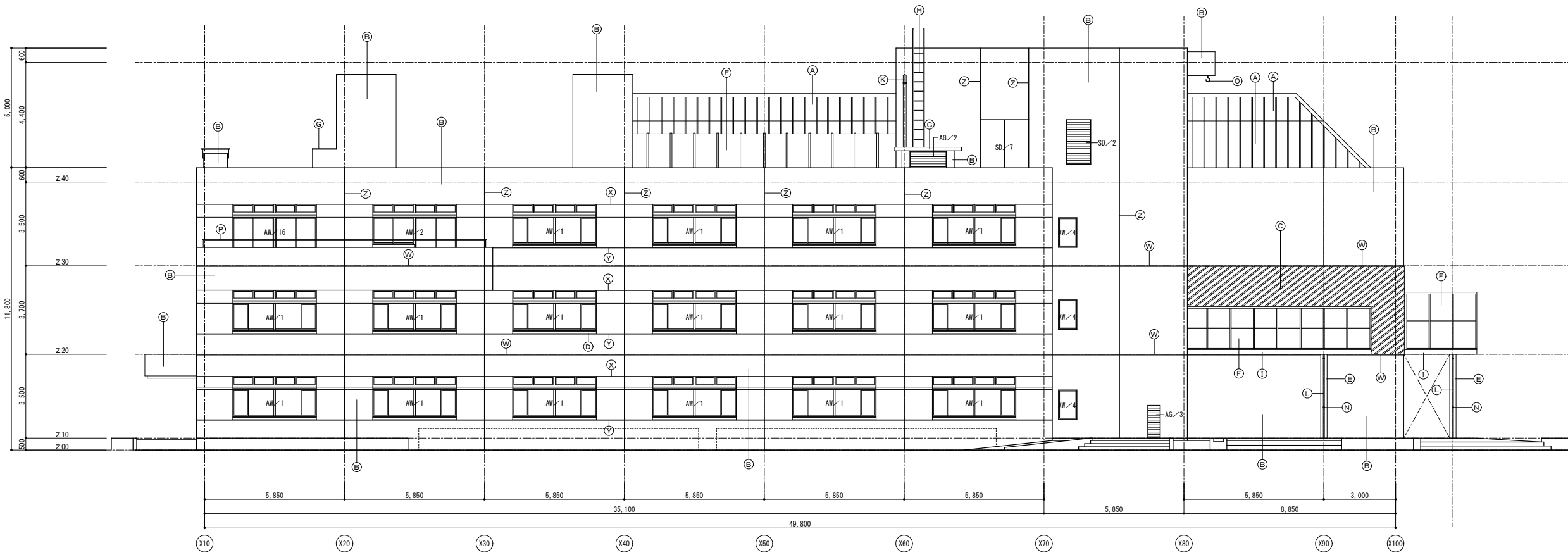
凡例 建具廻りシリング (撤去)

符号	建 具 内 法 寸 法		数量	面台寸法	
	W	H		奥行	見付
AW/1	3,470	X 1,600	17	165	X 115
AW/2	3,470	X 2,500	1	—	—
AW/3	1,285	X 2,000	6	300	X 20
AW/4	750	X 1,200	7	190	X 20
AW/6	5,060	X 1,600	1	165	X 20
AW/7	2,470	X 1,000	1	165	X 20
AW/8	2,995	X 1,600	1	190	X 20
AW/9	600	X 1,010	2	190	X 20
AW/10	1,800	X 1,800	1	165	X 20
AW/11	1,200	X 1,100	1	165	X 20
AW/12	3,600	X 1,400 (三角)	1	—	—
AW/16	3,470	X 2,350	1	防水アゴ	—
AD/1	5,290	X 2,685	1	—	—
AD/2	2,275	X 2,485	1	—	—
AD/3	2,295	X 2,635	2	—	—
AD/4	4,950	X 2,500	2	165	X 50
AD/6	1,800	X 1,800	1	—	—
CW/1	4,330	X 5,080	1	防水アゴ	—
AG/2	1,500	X 600	2	防水アゴ	—
AG/3	500	X 1,300	1	190	X 20
SD/1	4,920	X 2,500	1	165	X 50
SD/7	2,000	X 2,000	2	PH 防水アゴ IF 165 X 50	—
SD/12	800	X 600	1	防水アゴ	—
SD/13	3,000	X 2,000	1	—	—
SG/1	1,800	X 1,800	2	160	X 20
SG/2	1,000	X 1,800	3	160	X 20
SG/2-1・2	1,600	X 2,680	2	—	—
SG/3	1,600	X 2,600	3	—	—
SG/4	1,600	X 2,600	3	—	—
SW/1	3,400	X 800	5	—	—
SW/2	3,000	X 500	3	—	—

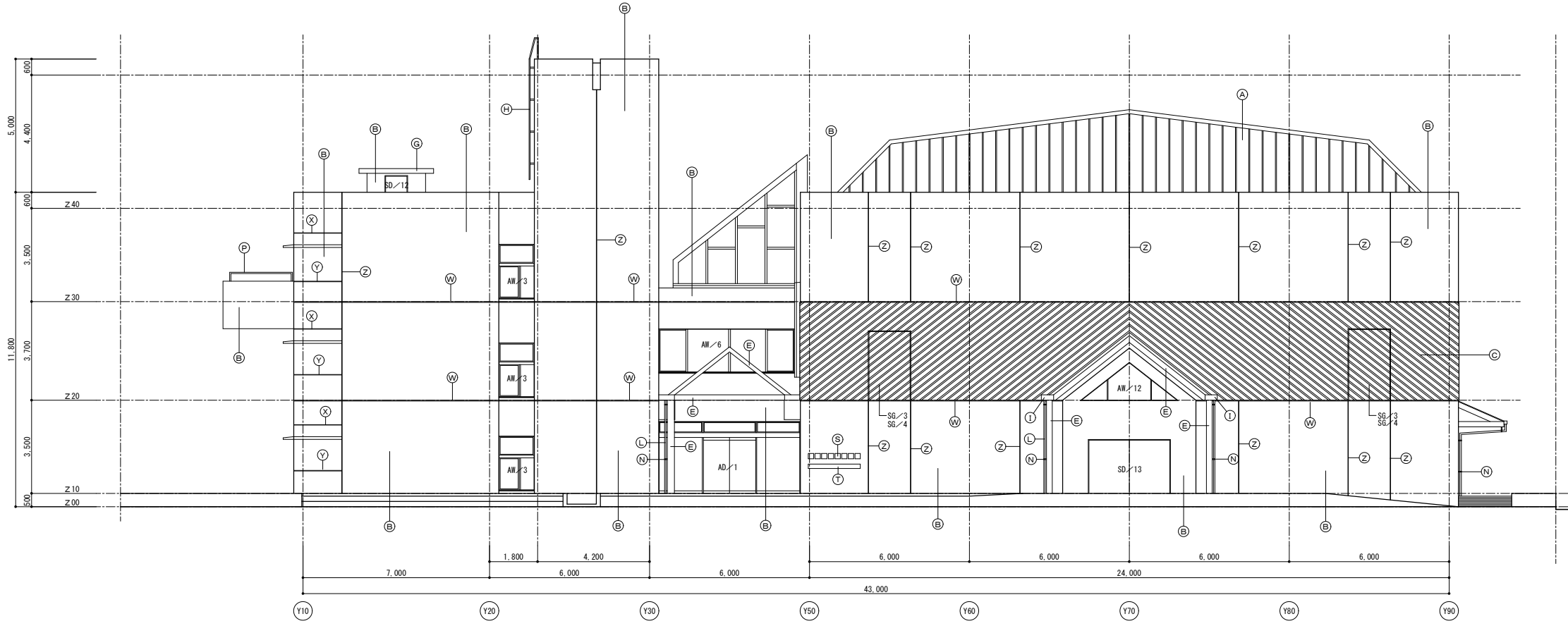


改修前 東立面図 1/100

※A3: 50%縮小



改修後 南立面図 1/100



改修後 東立面図 1/100

改修項目【新設】		
記号	仕上	改修内容
(A)	屋根: ALC版 t=120 下地ステンレス鋼瓦葺き	【既設のまま】
(B)	外壁: コンクリート打放吹付タイル	水洗い工法 覆層塗材E【新設】
(C)	外壁: コンクリート打放化粧目地模様付吹付タイル	水洗い工法 覆層塗材E【新設】
(D)	面台: 防水モルタルコナ押え	下地調整の上塗り防水
(E)	スカイライト: 鉄部 SOP	下地調整の上DP塗
(F)	スカイライトガラス窓: 網入りガラス t=6.8	水洗い清掃+シリカ SR-1【新設】
(G)	天端: モルタル下地塗布防水	【既設のまま】
(H)	タラップ: スチール製屋根メッキ	【新設】
(I)	軒樋: ガルバリウム鋼板曲げ加工 t=0.6 カバー	【新設】
(J)	軒樋: スチールプレート t=1.6 曲げ加工 F P 塗	下地調整の上DP塗
(K)	壁樋: スチールパイプ 125φ SOP	下地調整の上DP塗
(L)	壁樋: スチールパイプ 40φ SOP	下地調整の上DP塗
(M)	壁樋: 塩ビ製パイプ 50φ	DP塗【新設】
(N)	壁樋: 塩ビ製パイプ SOP	下地調整の上DP塗
(O)	フック: ステンレス製	【既設のまま】
(P)	手摺: スチールパイプ 48.6φ SOP	下地調整の上DP塗
(Q)	支柱: 控え柱: スチールパイプ 42.7φ SOP	下地調整の上DP塗
(R)	手摺子: 丸鋼 16φ #150 SOP	下地調整の上DP塗
(S)	銘名文字: ステンレス製箱文字 200角 B文字	【既設のまま】
(T)	銘名文字: ステンレス製 W1.650 X H165	【既設のまま】
(U)	バルコニー差排気筒撤去後 (開口約 250X400)	ステンレスプレート t=1.6
(V)	庇撤去後	下地調整の上 覆層塗材E【新設】
(W)	打継目地 W30~20 X D20 シーリング 10X10	シーリング PU-2【新設】
(X)	化粧目地 W25~15 X D20	
(Y)	化粧目地 W20 X D20	
(Z)	化粧目地 W15 X D20	
(A1)	カバー鉄板	下地調整の上DP塗

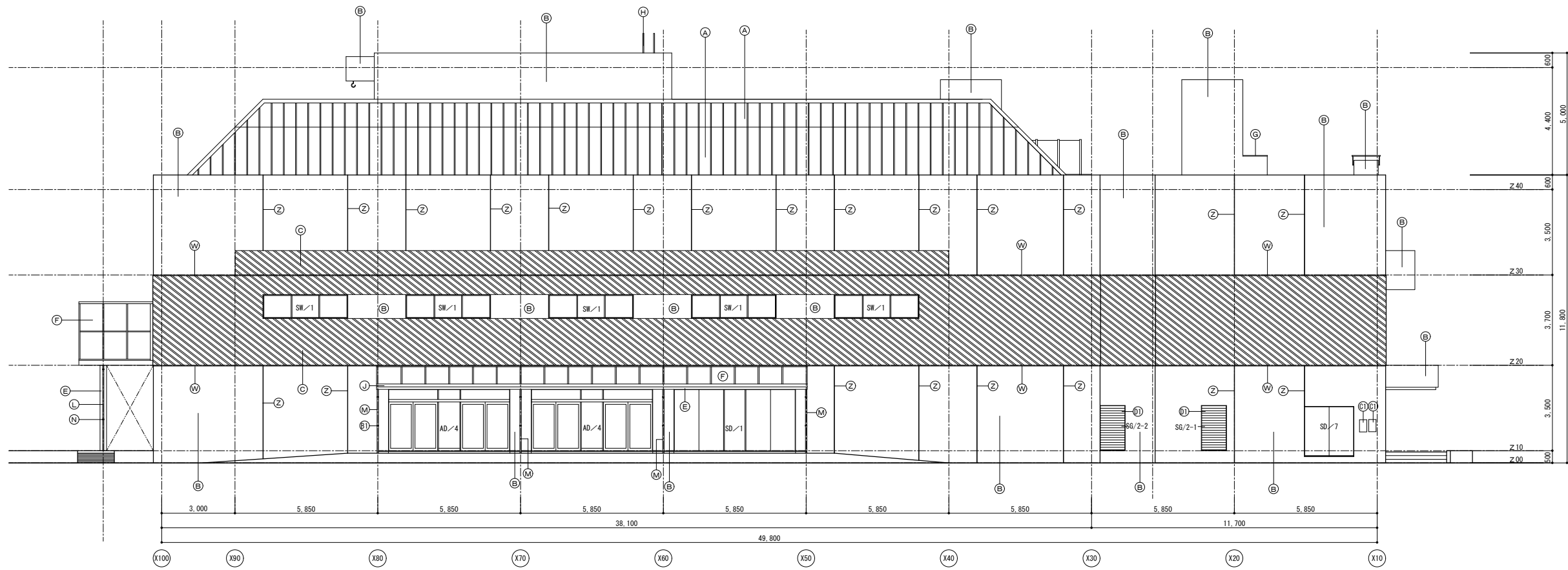
※F 可能な範囲で十分なシリカの充填を行うこと

目地詳細図			
(W) 打継目地	(X) 化粧目地	(Y) 化粧目地	(Z) 化粧目地

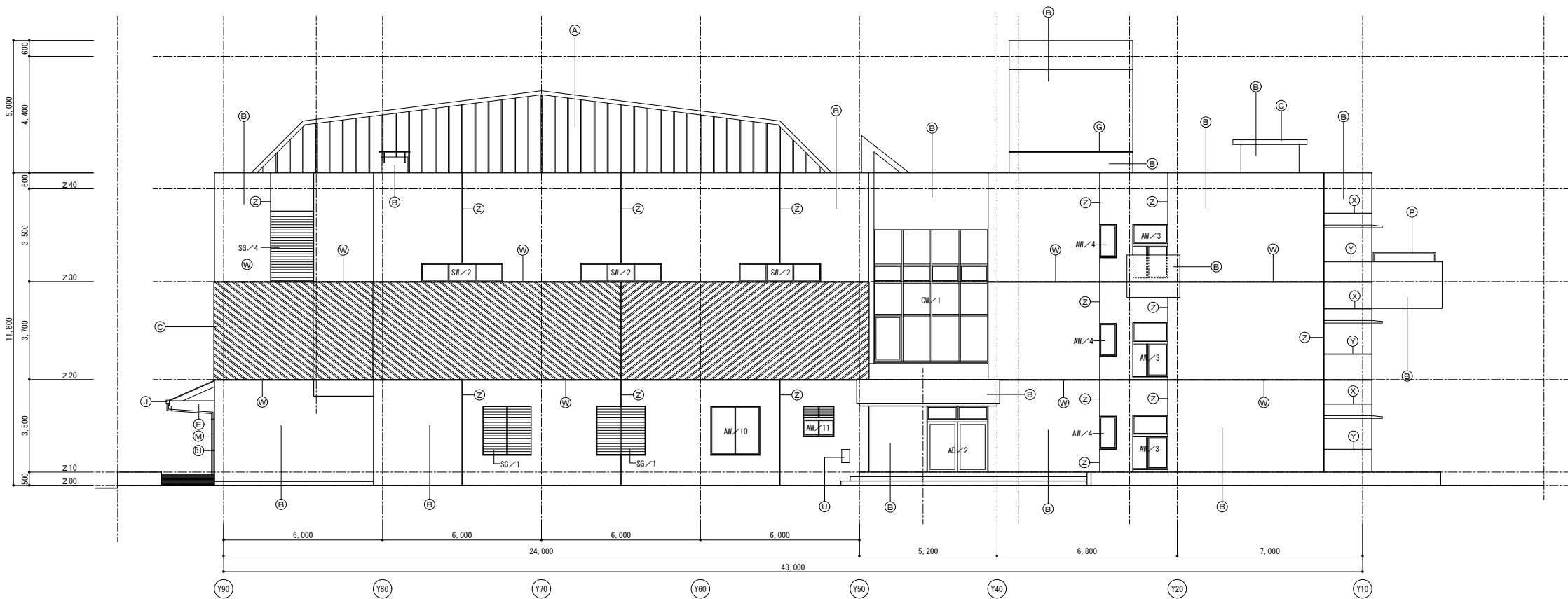
外壁改修工事補修部	
ひび割れ改修部	※ 樹脂注入工法(自動式) (ひび割れ0.2mm以上1.0mm未満)
剥離浮き補修	アクリル樹脂部分※ 樹脂充填工法

凡例 建具廻りシリリング MS-2【新設】 面台部分: 塗膜防水【新設】				
符号	建具内法寸法 W H	数量	面台寸法 奥行 見付	
AW/1	3,470 X 1,600	17	165 X 115	
AW/2	3,470 X 2,500	1	—	
AW/3	1,285 X 2,000	6	300 X 20	
AW/4	750 X 1,200	7	190 X 20	
AW/6	5,060 X 1,600	1	165 X 20	
AW/7	2,470 X 1,000	1	165 X 20	
AW/8	2,995 X 1,600	1	190 X 20	
AW/9	600 X 1,010	2	190 X 20	
AW/10	1,800 X 1,800	1	165 X 20	
AW/11	1,200 X 1,100	1	165 X 20	
AW/12	3,600 X 1,400 (三角)	1	—	
AW/16	3,470 X 2,350	1	防水アゴ	
AD/1	5,290 X 2,685	1	—	
AD/2	2,275 X 2,485	1	—	
AD/3	2,295 X 2,635	2	—	
AD/4	4,950 X 2,500	2	165 X 50	
AD/6	1,800 X 1,800	1	—	
CW/1	4,330 X 5,080	1	防水アゴ	
AG/2	1,500 X 600	2	防水アゴ	
AG/3	500 X 1,300	1	190 X 20	
SD/1	4,920 X 2,500	1	165 X 50	
SD/7	2,000 X 2,000	2	PH 防水アゴ IF 165 X 50	
SD/12	800 X 600	1	防水アゴ	
SD/13	3,000 X 2,000	1	—	
SG/1	1,800 X 1,800	2	160 X 20	
SG/2-1-2	1,000 X 1,800	3	160 X 20	
SG/3	1,600 X 2,680	2	—	
SG/4	1,600 X 2,600	3	—	
SW/1	3,400 X 800	5	—	
SW/2	3,000 X 500	3	—	

御注文先	三原市殿	御承認	月日	中電技術コンサルタント株式会社 1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二 1級建築士登録 第262345号 坂本 薫 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL.(082)(255)5501-8	校閲		工事名称	中央公民館長寿化改修工事(その1)建築主体工事	図面番号	A-26
			記事		設計		設計年月日	2025.03	図面名称	改修後 南・東立面図
									縮尺	1/100



改修前 北立面図 1/100



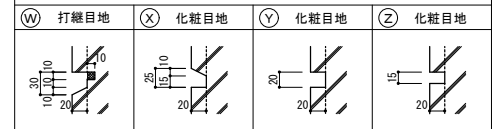
改修前 西立面図 1/100

改修項目 (撤去)		
記号	仕上	改修内容
(A)	屋根: ALC版 t=120 下地ステンレス鋼瓦葺き	[既設のまま]
(B)	外壁: コンクリート打放吹付タイル [●L3]	[改修]
(C)	外壁: コンクリート打放化粧目地横種付吹付タイル [●L3]	[改修]
(D)	面台: 防水モルタルコテ押え	[改修]
(E)	スカイライト: 鉄部 SOP	[改修]
(F)	スカイライトガラス窓: 網入りガラス t=6.8	[改修]
(G)	天端: モルタル下地塗布防水	[既設のまま]
(H)	タラップ: スチール製 SOP塗	[撤去]
(I)	軒種: スチールプレート t=1.6 F P 塗	[改修]
(J)	軒種: オリエンタルメタル曲げ加工	[既設のまま]
(K)	壁種: スチールパイプ 125φ SOP	[改修]
(L)	壁種: スチールパイプ 40φ SOP	[改修]
(M)	壁種: 塩ビ製パイプ 50φ	[改修]
(N)	壁種組み金物: スチール製 SOP	[改修]
(O)	フック: ステンレス製	[既設のまま]
(P)	手摺: スチールパイプ 48.6φ SOP	[改修]
(Q)	支柱・控え柱: スチールパイプ 42.7φ SOP	[改修]
(R)	手摺子: 丸鋼 16φ #150 SOP	[改修]
(S)	銘名文字: ステンレス製箱文字 200角 白文字	[既設のまま]
(T)	銘名文字: ステンレス製 W1.650 X H165	[既設のまま]
(U)	パランス差排気筒	[撤去] (設備工事)
(V)	庇: コンクリートスラブ吹付タイル仕上 [●L3]	[撤去]
(W)	打継目地 W30-20 X D20 シーリング 10X10	[撤去]
(X)	化粧目地 W25-15 X D20	[撤去]
(Y)	化粧目地 W20 X D20	[撤去]
(Z)	化粧目地 W15 X D20	[撤去]
(A1)	カバー鉄板	[改修]
(B1)	壁種組み金物: スチール製	[撤去]
(C1)	消火器ボックス 計2個	[撤去]
(D1)	SG/2-1・2	[改修]

特記事項

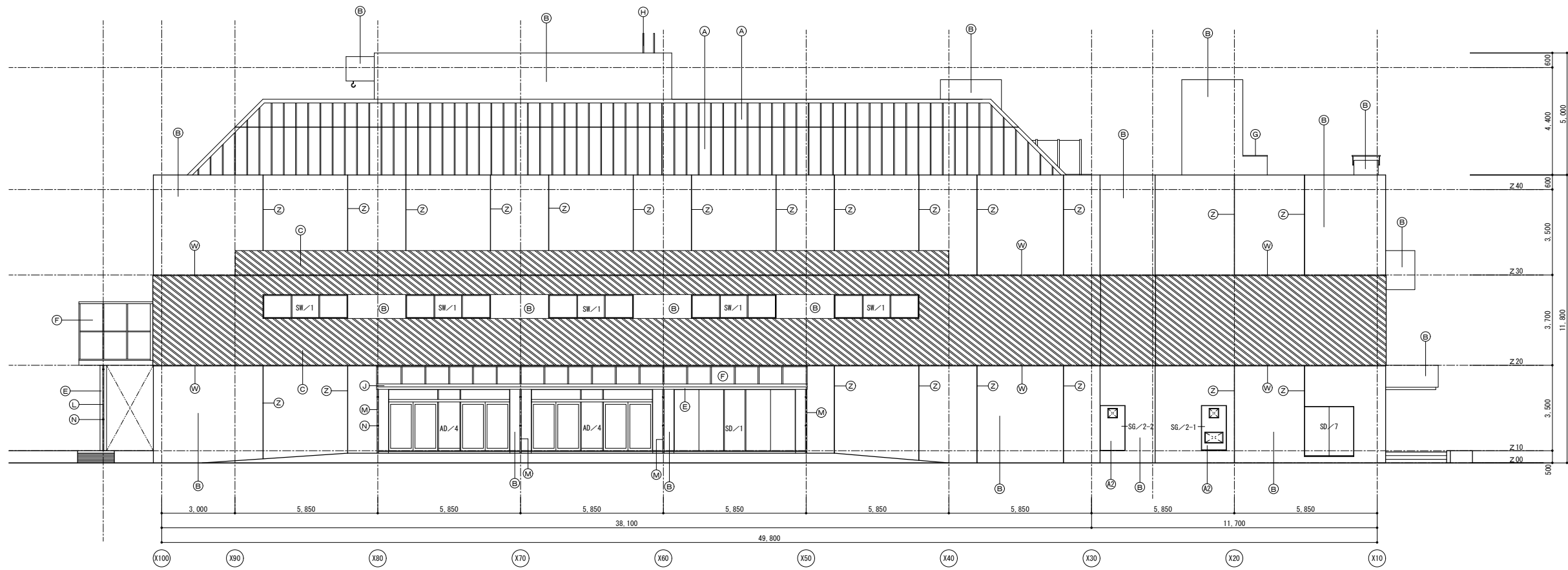
●L3] は右軸含有建材を示す。

目地詳細図

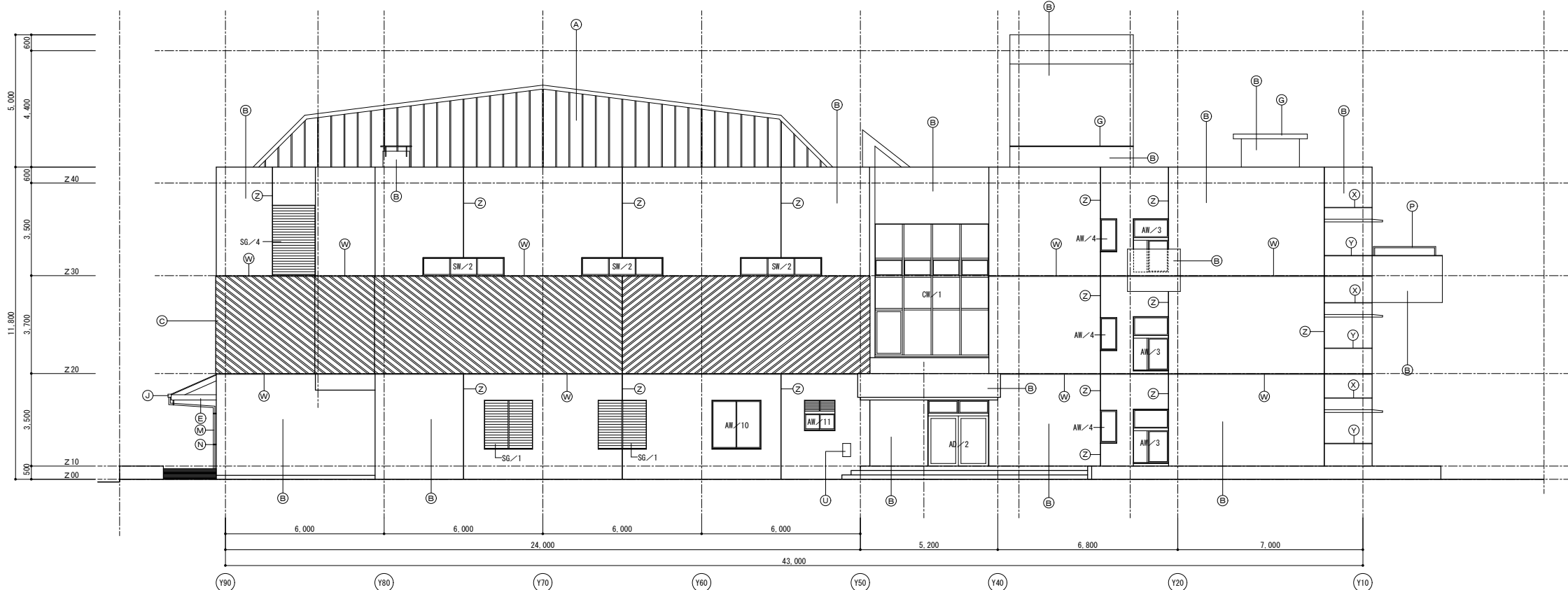


凡例 建具廻りシリング (撤去)

符号	建具内法寸法		数量	面台寸法	
	W	H		奥行	見付
AW/1	3,470	X 1,600	17	165	X 115
AW/2	3,470	X 2,500	1	—	—
AW/3	1,285	X 2,000	6	300	X 20
AW/4	750	X 1,200	7	190	X 20
AW/6	5,060	X 1,600	1	165	X 20
AW/7	2,470	X 1,000	1	165	X 20
AW/8	2,995	X 1,600	1	190	X 20
AW/9	600	X 1,010	2	190	X 20
AW/10	1,800	X 1,800	1	165	X 20
AW/11	1,200	X 1,100	1	165	X 20
AW/12	3,600	X 1,400 (三角)	1	—	—
AW/16	3,470	X 2,350	1	防水アゴ	—
AD/1	5,290	X 2,685	1	—	—
AD/2	2,275	X 2,485	1	—	—
AD/3	2,295	X 2,635	2	—	—
AD/4	4,950	X 2,500	2	165	X 50
AD/6	1,800	X 1,800	1	—	—
CW/1	4,330	X 5,080	1	防水アゴ	—
AG/2	1,500	X 600	2	防水アゴ	—
AG/3	500	X 1,300	1	190	X 20
SD/1	4,920	X 2,500	1	165	X 50
SD/7	2,000	X 2,000	2	PH 防水アゴ	—
SD/12	800	X 600	1	IF 165 X 50	防水アゴ
SD/13	3,000	X 2,000	1	—	—
SG/1	1,800	X 1,800	2	160	X 20
SG/2	1,000	X 1,800	3	160	X 20
SG/2-1・2	1,600	X 2,680	2	—	—
SG/3	1,600	X 2,680	2	—	—
SG/4	1,600	X 2,600	3	—	—
SW/1	3,400	X 800	5	—	—
SW/2	3,000	X 500	3	—	—



改修後 北立面図 1/100



改修後 西立面図 1/100

改修項目【新設】		
記号	仕上	改修内容
(A)	屋根: ALC版 t=120 下地ステンレス鋼瓦葺き	【既設のまま】
(B)	外壁: コンクリート打放吹付タイル	水洗い工法 覆層塗材E【新設】
(C)	外壁: コンクリート打放化粧目地模様の吹付タイル	水洗い工法 覆層塗材E【新設】
(D)	面台: 防水モルタルコナ押え	下地調整の上塗り防水
(E)	スカイライト: 鉄部 SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(F)	スカイライトガラス窓: 網入りガラス t=6.8	水洗い清掃【新設】
(G)	天端: モルタル下地塗布防水	【既設のまま】
(H)	タラップ: スチール製重畳メッキ	【新設】
(I)	軒樋: ガルバリウム鋼板曲げ加工 t=0.6 カバー	【新設】
(J)	軒樋: スチールプレート t=1.6 曲げ加工 F P 塗	下地調整の上DP塗【新設】
(K)	壁樋: スチールパイプ 125φ SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(L)	壁樋: スチールパイプ 40φ SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(M)	壁樋: 塩ビ製パイプ 50φ	DP塗【新設】
(N)	壁樋: 塩ビ製パイプ SOP	下地調整の上DP塗
(O)	フック: ステンレス製	【既設のまま】
(P)	手摺: スチールパイプ 48.6φ SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(Q)	支柱・控え柱: スチールパイプ 42.7φ SOP	下地調整の上DP塗
(R)	手摺子: 丸鋼 16φ #150 SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(S)	銘名文字: ステンレス製箱文字 200角 B文字	【既設のまま】
(T)	銘名文字: ステンレス製箱文字 W1.650 X H165	【既設のまま】
(U)	パランス差排気筒撤去後 (開口約 250X400)	ステンレスプレート t=1.2
(V)	庇撤去後	下地調整の上 覆層塗材E【新設】
(W)	打継目地 W30-20 X D20 シーリング 10X10	シーリング PU-2【新設】
(X)	化粧目地 W25-15 X D20	
(Y)	化粧目地 W20 X D20	
(Z)	化粧目地 W15 X D20	
(A1)	カバー鉄板	下地調整の上DP塗【新設】
(A2)	SG/2-1・2 プレート 1.6 DP塗	【新設】設備開口【新設】

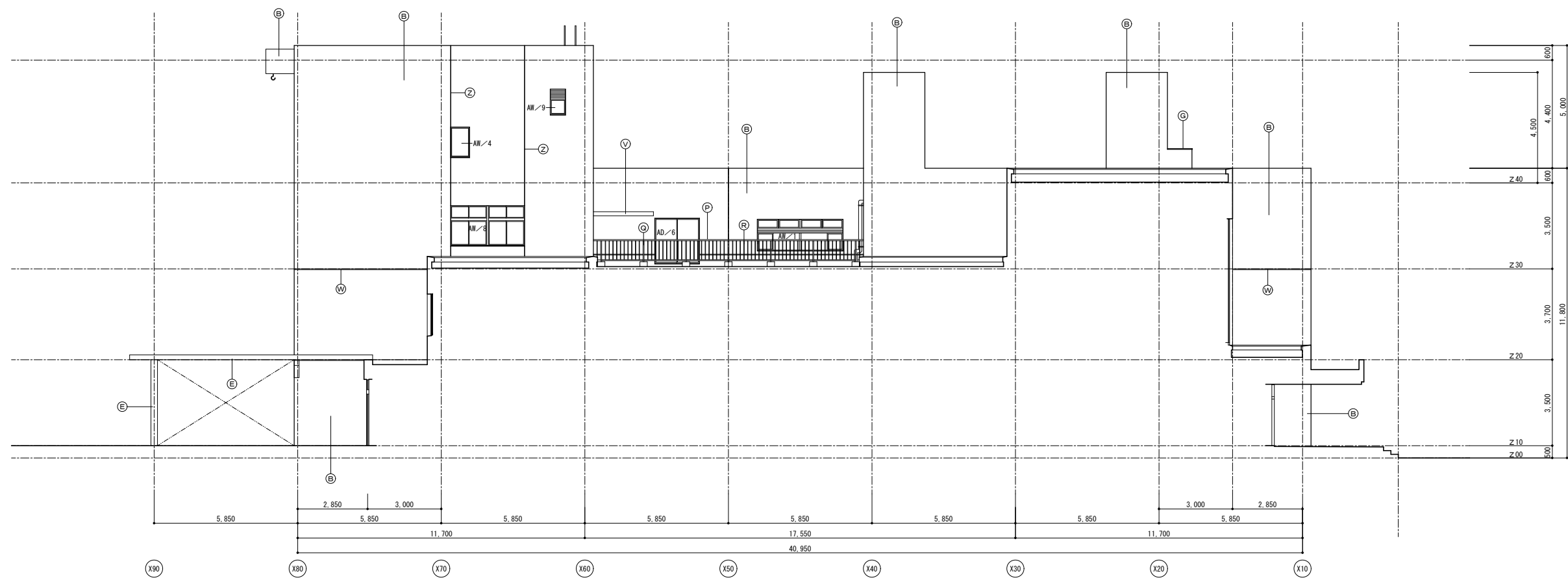
目地詳細図			
(W)	(X)	(Y)	(Z)

外壁改修工事補修部	
ひび割れ改修部	※ 樹脂注入工法(自動式)(ひび割れ0.2mm以上1.0mm未満)
剥離浮き補修	アクリル樹脂部分※ 樹脂充填工法

凡例 建具廻りシーリングM-2【新設】面台部分: 塗布防水【新設】				
符号	建具内法寸法 W H	数量	面台寸法 奥行 見付	
AW/1	3,470 X 1,600	17	165 X 115	
AW/2	3,470 X 2,500	1	—	
AW/3	1,285 X 2,000	6	300 X 20	
AW/4	750 X 1,200	7	190 X 20	
AW/6	5,060 X 1,600	1	165 X 20	
AW/7	2,470 X 1,000	1	165 X 20	
AW/8	2,995 X 1,600	1	190 X 20	
AW/9	600 X 1,010	2	190 X 20	
AW/10	1,800 X 1,800	1	165 X 20	
AW/11	1,200 X 1,100	1	165 X 20	
AW/12	3,600 X 1,400 (三角)	1	—	
AW/16	3,470 X 2,350	1	防水アゴ	
AD/1	5,290 X 2,685	1	—	
AD/2	2,275 X 2,485	1	—	
AD/3	2,295 X 2,635	2	—	
AD/4	4,950 X 2,500	2	165 X 50	
AD/6	1,800 X 1,800	1	—	
CW/1	4,330 X 5,080	1	防水アゴ	
AG/2	1,500 X 600	2	防水アゴ	
AG/3	500 X 1,300	1	190 X 20	
SD/1	4,920 X 2,500	1	165 X 50	
SD/7	2,000 X 2,000	2	PH 防水アゴ IF 165 X 50	
SD/12	800 X 600	1	防水アゴ	
SD/13	3,000 X 2,000	1	—	
SG/1	1,800 X 1,800	2	160 X 20	
SG/2	1,000 X 1,800	3	160 X 20	
SG/2-1・2	1,600 X 2,680	2	—	
SG/3	1,600 X 2,600	3	—	
SG/4	1,600 X 2,600	3	—	
SW/1	3,400 X 800	5	—	
SW/2	3,000 X 500	3	—	

御注文先	三原市殿	御承認	記	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL.(082)(255)5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第262345号 坂本 薫	校閲	設計	設計年月日 2025.03	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1)建築主体工事	図面番号 A-28
										図面名称 改修後 北・西立面図	縮尺 1/100	

※A3: 50%縮小



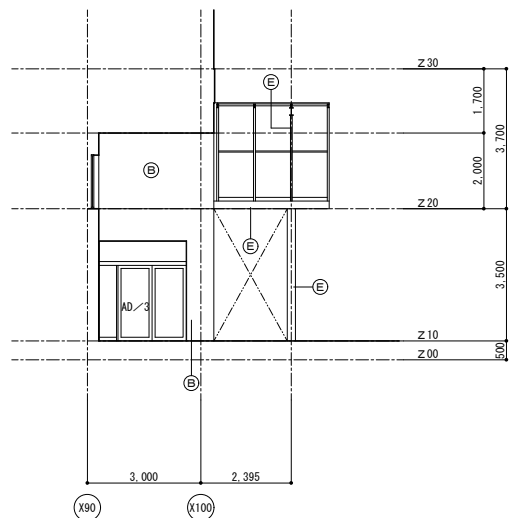
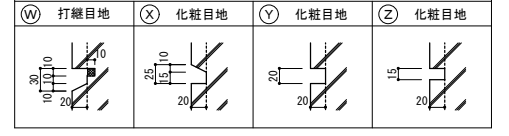
改修前 Y30通 北立面図 1/100

改修項目 (撤去)		
記号	仕上	改修内容
(A)	屋根: ALC版 t=120 下地ステンレス鋼瓦葺き	[既設のまま]
(B)	外壁: コンクリート打放吹付タイル [●L3]	[改修]
(C)	外壁: コンクリート打放化粧目地模様の吹付タイル [●L3]	[改修]
(D)	面台: 防水モルタルコナ押え	[改修]
(E)	スカイライト: 鉄部 SOP	[改修]
(F)	スカイライトガラス窓: 網入りガラス t=6.8	[改修]
(G)	天端: モルタル下地塗布防水	[既設のまま]
(H)	タラップ: スチール製 SOP塗	[撤去]
(I)	軒種: スチールプレート t=1.6 F P 塗	[改修]
(J)	軒種: スチールプレート t=1.6 曲げ加工 F P 塗	[改修]
(K)	壁種: スチールパイプ 125φ SOP	[改修]
(L)	壁種: スチールパイプ 40φ SOP	[改修]
(M)	壁種: 塩ビ製パイプ 50φ	[改修]
(N)	壁種: 鋼金物: スチール製 SOP	[改修]
(O)	フック: ステンレス製	[既設のまま]
(P)	手摺: スチールパイプ 48.6φ SOP	[改修]
(Q)	支柱・控え柱: スチールパイプ 42.7φ SOP	[改修]
(R)	手摺子: 丸鋼 16φ #150 SOP	[改修]
(S)	館名文字: ステンレス製箱文字 200角 白文字	[既設のまま]
(T)	館名文字: ステンレス製箱文字 W1.650 X H165	[既設のまま]
(U)	バランス差排気筒	[撤去] (設備工事)
(V)	庇: コンクリートスラブ吹付タイル仕上 [●L3]	[撤去]
(W)	打錠目地 W30-20 X D20 シーリング 10X10	[撤去]
(X)	化粧目地 W25-15 X D20	
(Y)	化粧目地 W20 X D20	
(Z)	化粧目地 W15 X D20	
(A)	カバー鉄板	[改修]

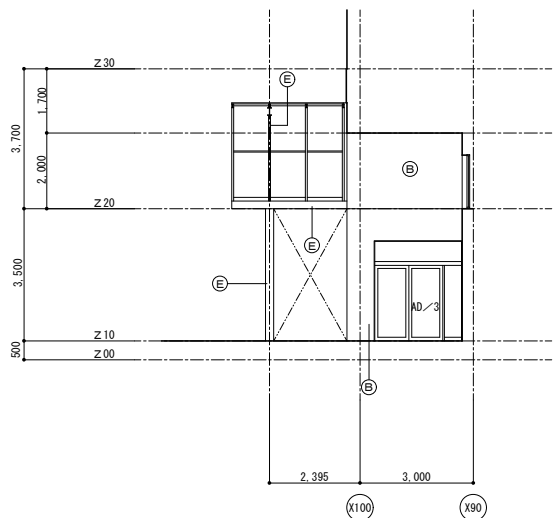
特記事項

●L31 は石綿含有建材を示す。

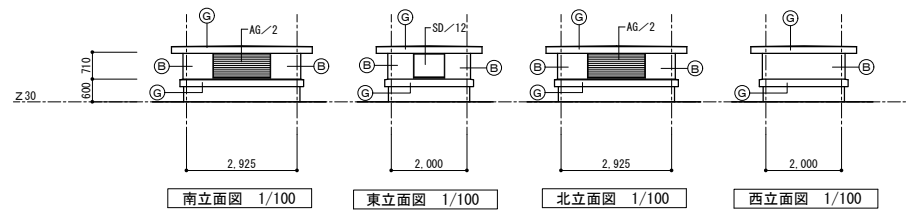
目地詳細図



改修前 Y70通 南立面図 1/100



改修前 Y70通 北立面図 1/100

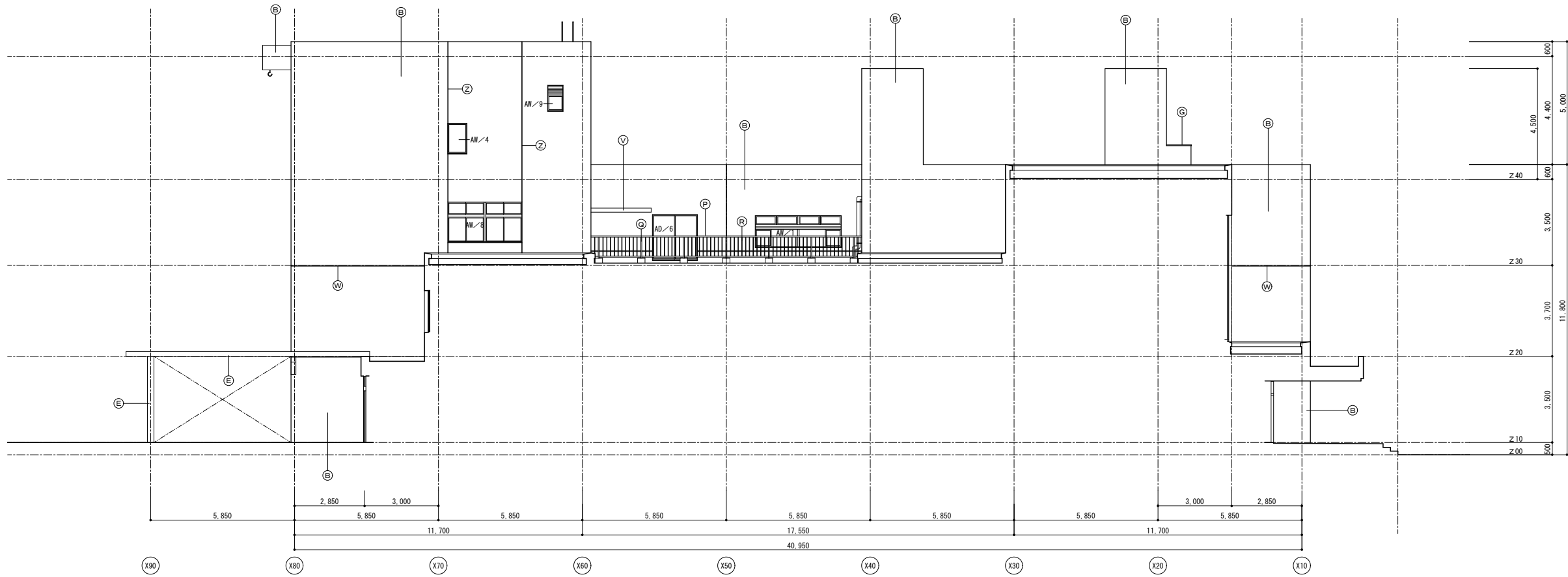


改修前 ハト小屋立面図 1/100

凡例 建具廻りシリング (撤去)

符号	建具内法寸法		数量	面台寸法 奥行 見付
	W	H		
AW/1	3,470	X 1,600	17	165 X 115
AW/2	3,470	X 2,500	1	—
AW/3	1,285	X 2,000	6	300 X 20
AW/4	750	X 1,200	7	190 X 20
AW/6	5,060	X 1,600	1	165 X 20
AW/7	2,470	X 1,000	1	165 X 20
AW/8	2,995	X 1,600	1	190 X 20
AW/9	600	X 1,010	2	190 X 20
AW/10	1,800	X 1,800	1	165 X 20
AW/11	1,200	X 1,100	1	165 X 20
AW/12	3,600	X 1,400 (三角)	1	—
AW/16	3,470	X 2,350	1	防水アゴ
AD/1	5,290	X 2,685	1	—
AD/2	2,275	X 2,485	1	—
AD/3	2,295	X 2,635	2	—
AD/4	4,950	X 2,500	2	165 X 50
AD/6	1,800	X 1,800	1	—
CW/1	4,330	X 5,080	1	防水アゴ
AG/2	1,500	X 600	2	防水アゴ
AG/3	500	X 1,300	1	190 X 20
SD/1	4,920	X 2,500	1	165 X 50
SD/7	2,000	X 2,000	2	防水アゴ PH 165 X 50
SD/12	800	X 600	1	防水アゴ
SD/13	3,000	X 2,000	1	—
SG/1	1,800	X 1,800	2	160 X 20
SG/2	1,000	X 1,800	3	160 X 20
SG/2-1-2	—	—	—	—
SG/3	1,600	X 2,680	2	—
SG/4	1,600	X 2,600	3	—
SW/1	3,400	X 800	5	—
SW/2	3,000	X 500	3	—

御注文先	三原市殿	御承認	記	月 日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL. (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第262345号 坂本 薫	校閲	設計	設計年月日 2025.03	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事 (その1) 建築主体工事	図面番号 A-29
										図面名称 改修前 Y30通 北立面図・Y70通 立面図	縮尺 1/100	



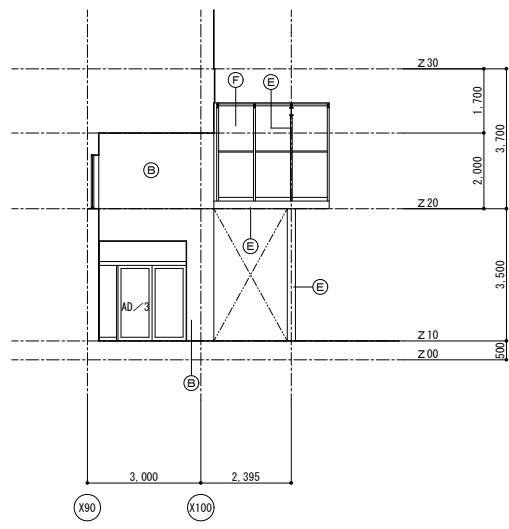
改修後 Y30通 北立面図 1/100

改修項目【新設】		
記号	仕上	改修内容
(A)	屋根: ALC版 t=120 下地ステンレス鋼瓦葺き	【既設のまま】
(B)	外壁: コンクリート打放吹付タイル	水洗い工法 覆層塗材E【新設】
(C)	外壁: コンクリート打放化粧目地模様吹付タイル	水洗い工法 覆層塗材E【新設】
(D)	面台: 防水モルタルコナ押え	下地調整の上塗り防水【新設】
(E)	スカイライト: 鉄部 SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(F)	スカイライトガラス窓: 網入りガラス t=6.8	水洗い清掃【新設】
(G)	天端: モルタル下地塗布防水	【既設のまま】
(H)	タラップ: スチール製重箱メッキ	【新設】
(I)	軒樋: ガルバリウム鋼板曲げ加工 t=0.6 カバー	【新設】
(J)	軒樋: スチールプレート t=1.6 曲げ加工 F P 塗	下地調整の上DP塗【新設】
(K)	壁樋: スチールパイプ 125φ SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(L)	壁樋: スチールパイプ 40φ SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(M)	壁樋: 塩ビ製パイプ 50φ	DP塗【新設】
(N)	壁樋: 塩ビ製パイプ 50φ	下地調整の上DP塗【新設】
(O)	フック: ステンレス製	【既設のまま】
(P)	手摺: スチールパイプ 48.6φ SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(Q)	支柱・控え柱: スチールパイプ 42.7φ SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(R)	手摺子: 丸鋼 16φ #150 SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(S)	銘名文字: ステンレス製箱文字 200角 B文字	【既設のまま】
(T)	銘名文字: ステンレス製箱文字 W1.650 X H165	【既設のまま】
(U)	バランス差排気筒撤去後 (開口約 250X400)	ステンレスプレート t=2【新設】
(V)	庇撤去後	下地調整の上塗り防水【新設】
(W)	打継目地 W30~20 X D20 シーリング 10X10	シーリング PU-2【新設】
(X)	化粧目地 W25~15 X D20	
(Y)	化粧目地 W20 X D20	
(Z)	化粧目地 W15 X D20	
(A1)	カバー鉄板	下地調整の上DP塗【新設】

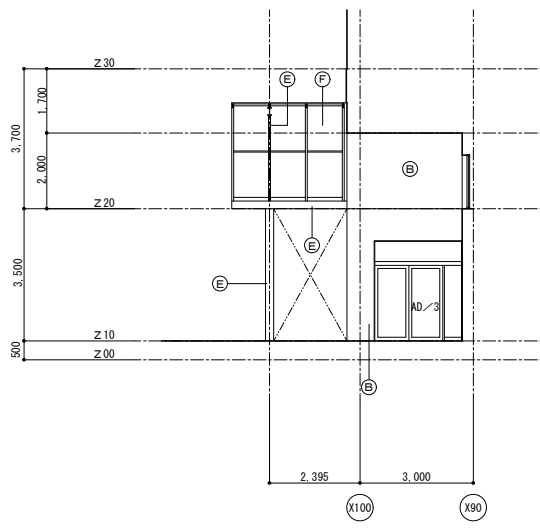
目地詳細図			
(W) 打継目地	(X) 化粧目地	(Y) 化粧目地	(Z) 化粧目地

外壁改修工事補修部	
ひび割れ改修部	※ 樹脂注入工法(自動式)(ひび割れ0.2mm以上1.0mm未満)
剥離浮き補修	アクリル樹脂部分※ 樹脂充填工法

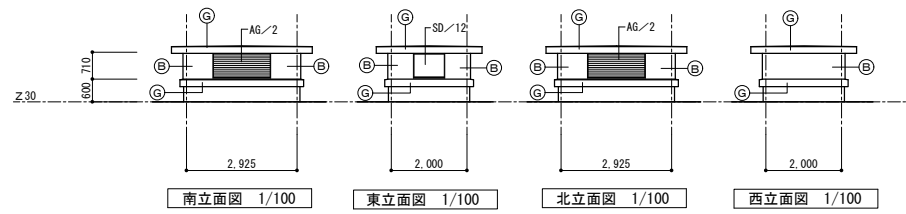
凡例 建具廻りシーリング M-2【新設】 面台部分: 塗布防水【新設】				
符号	建具内法寸法 W H	数量	面台寸法 奥行 見付	
AW/1	3,470 X 1,600	17	165 X 115	
AW/2	3,470 X 2,500	1		
AW/3	1,285 X 2,000	6	300 X 20	
AW/4	750 X 1,200	7	190 X 20	
AW/6	5,060 X 1,600	1	165 X 20	
AW/7	2,470 X 1,000	1	165 X 20	
AW/8	2,995 X 1,600	1	190 X 20	
AW/9	600 X 1,010	2	190 X 20	
AW/10	1,800 X 1,800	1	165 X 20	
AW/11	1,200 X 1,100	1	165 X 20	
AW/12	3,600 X 1,400 (三角)	1		
AW/16	3,470 X 2,350	1		防水アゴ
AD/1	5,290 X 2,685	1		
AD/2	2,275 X 2,485	1		
AD/3	2,295 X 2,635	2		
AD/4	4,950 X 2,500	2	165 X 50	
AD/6	1,800 X 1,800	1		
CW/1	4,330 X 5,080	1		防水アゴ
AG/2	1,500 X 600	2		防水アゴ
AG/3	500 X 1,300	1	190 X 20	
SD/1	4,920 X 2,500	1	165 X 50	
SD/7	2,000 X 2,000	2	165 X 50	IF 防水アゴ
SD/12	800 X 600	1		防水アゴ
SD/13	3,000 X 2,000	1		
SG/1	1,800 X 1,800	2	160 X 20	
SG/2	1,000 X 1,800	3	160 X 20	
SG/3	1,600 X 2,680	2		
SG/4	1,600 X 2,600	3		
SW/1	3,400 X 800	5		
SW/2	3,000 X 500	3		



改修後 Y70通 南立面図 1/100

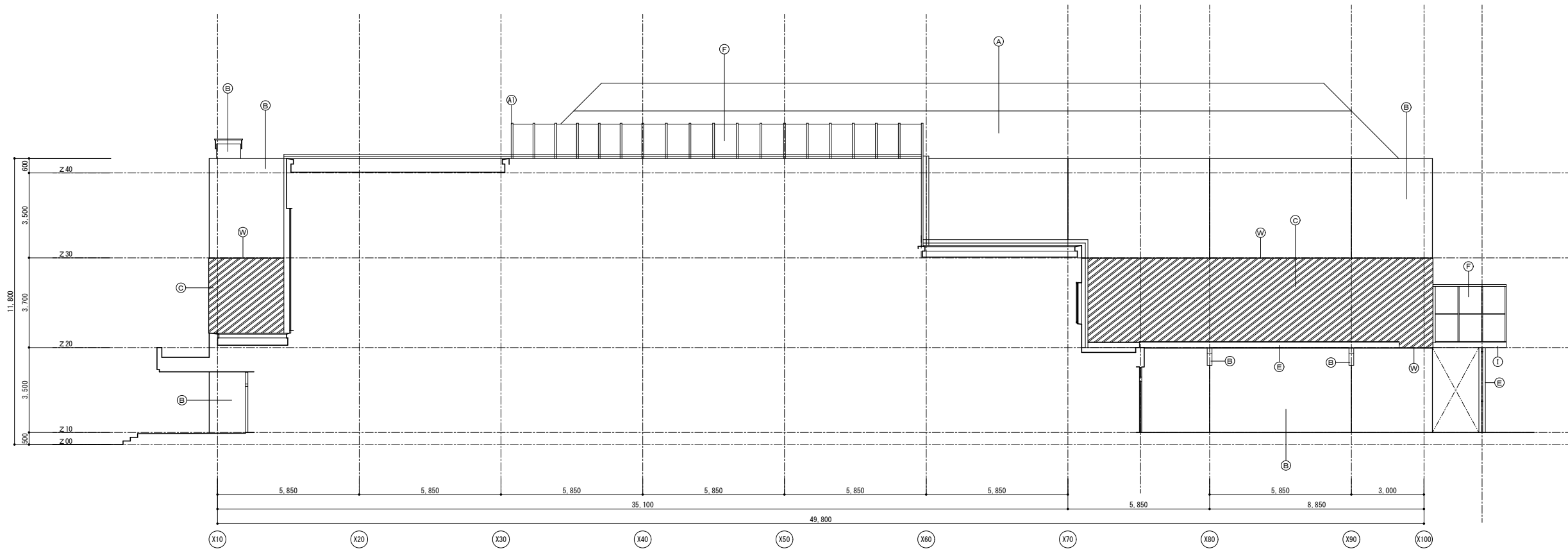


改修後 Y70通 北立面図 1/100



改修後 ハト小屋立面図 1/100

御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL. (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二 1級建築士登録 第262345号 坂本 薫	校閲 藤本 設計 坂本	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1)建築主体工事 図面名称 改修後 Y30通 北立面図・Y70通 立面図 設計年月日 2025.03	図面番号 A-30 縮尺 1/100
------	------	-----	----	----	--	---	------------------	---	-----------------------



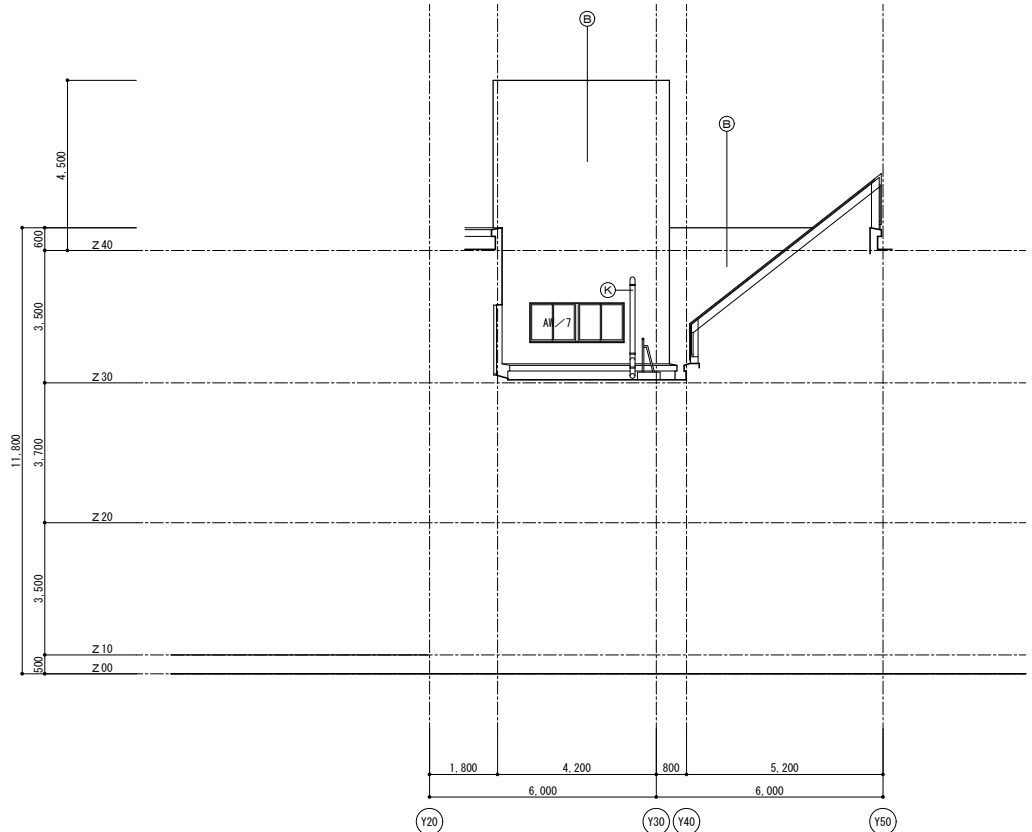
改修前 Y50通 南立面図 1/100

改修項目 (撤去)		
記号	仕上	改修内容
(A)	屋根: ALC版 t=120 下地ステンレス銅瓦葺き	[既設のまま]
(B)	外壁: コンクリート打放吹付タイル [●L3]	[改修]
(C)	外壁: コンクリート打放化粧目地横種付吹付タイル [●L3]	[改修]
(D)	面台: 防水モルタルコナ押え	[改修]
(E)	スカイライト: 鉄部 SOP	[改修]
(F)	スカイライトガラス窓: 網入りガラス t=6.8	[改修]
(G)	天端: モルタル下地塗布防水	[既設のまま]
(H)	タラップ: スチール製 SOP塗	[撤去]
(I)	軒種: スチールプレート t=1.6 F P塗	[改修]
(J)	軒種: スチールプレート t=1.6 曲げ加工 F P塗	[改修]
(K)	壁種: スチールパイプ 125φ SOP	[改修]
(L)	壁種: スチールパイプ 40φ SOP	[改修]
(M)	壁種: 塩ビ製パイプ 50φ	[改修]
(N)	壁種組み金物: スチール製 SOP	[改修]
(O)	フック: ステンレス製	[既設のまま]
(P)	手摺: スチールパイプ 48.6φ SOP	[改修]
(Q)	支柱・控え柱: スチールパイプ 42.7φ SOP	[改修]
(R)	手摺子: 丸鋼 16φ #150 SOP	[改修]
(S)	館名文字: ステンレス製箱文字 200角 田文字	[既設のまま]
(T)	館名文字: ステンレス製 W1.650 X H165	[既設のまま]
(U)	バランス差排気筒	[撤去] (設備工事)
(V)	庇: コンクリートスラブ吹付タイル仕上 [●L3]	[撤去]
(W)	打錠目地 W30~20 X D20 シーリング 10X10	[撤去]
(X)	化粧目地 W25~15 X D20	
(Y)	化粧目地 W20 X D20	
(Z)	化粧目地 W15 X D20	
(A)	カバー鉄板	[改修]

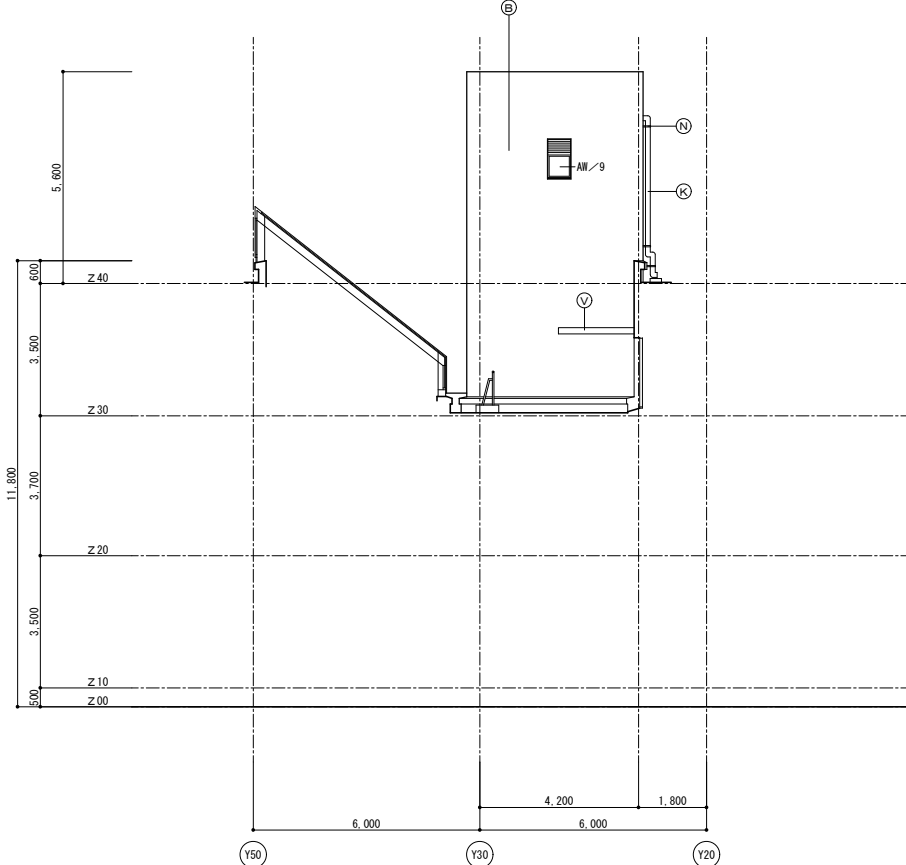
特記事項
 ●L3は石綿含有建材を示す。

目地詳細図

(W) 打錠目地	(X) 化粧目地	(Y) 化粧目地	(Z) 化粧目地



改修前 X40通 東立面図 1/100

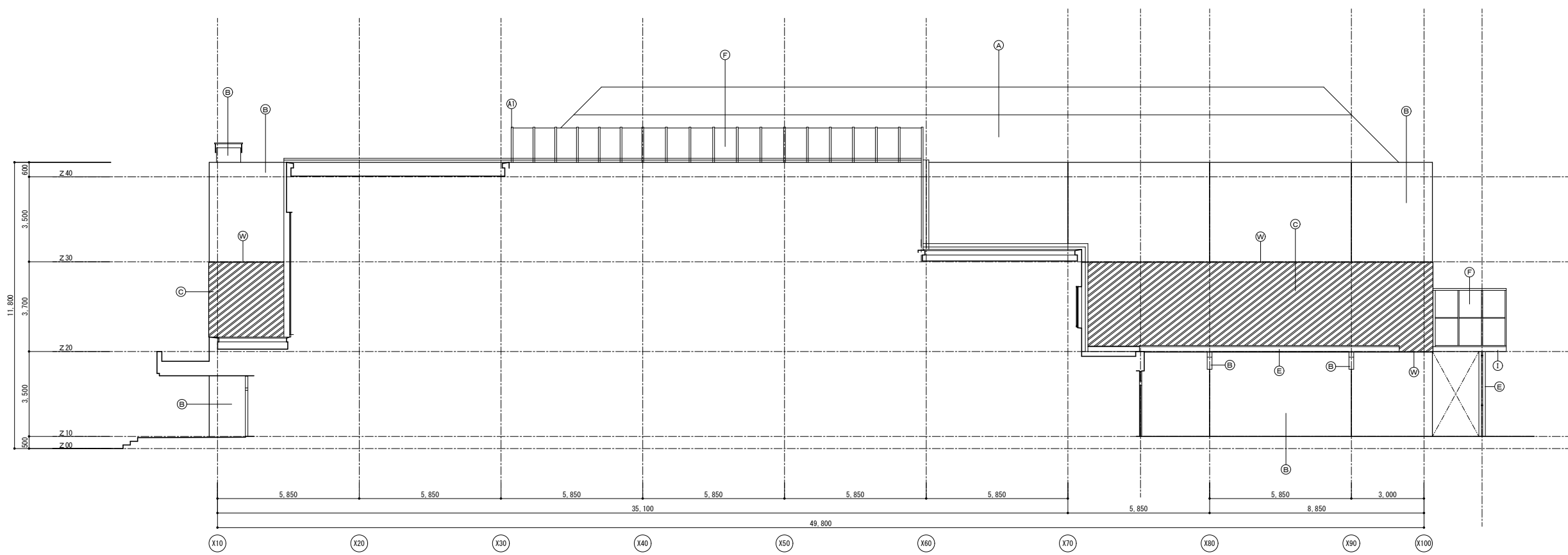


改修前 X60通 西立面図 1/100

凡例 建具廻りシリング (撤去)

符号	建具内法寸法		数量	面台寸法 奥行 見付
	W	H		
AW/1	3,470	X 1,600	17	165 X 115
AW/2	3,470	X 2,500	1	—
AW/3	1,285	X 2,000	6	300 X 20
AW/4	750	X 1,200	7	190 X 20
AW/6	5,060	X 1,600	1	165 X 20
AW/7	2,470	X 1,000	1	165 X 20
AW/8	2,995	X 1,600	1	190 X 20
AW/9	600	X 1,010	2	190 X 20
AW/10	1,800	X 1,800	1	165 X 20
AW/11	1,200	X 1,100	1	165 X 20
AW/12	3,600	X 1,400 (三角)	1	—
AW/16	3,470	X 2,350	1	防水アゴ
AD/1	5,290	X 2,685	1	—
AD/2	2,275	X 2,485	1	—
AD/3	2,295	X 2,635	2	—
AD/4	4,950	X 2,500	2	165 X 50
AD/6	1,800	X 1,800	1	—
CW/1	4,330	X 5,080	1	防水アゴ
AG/2	1,500	X 600	2	防水アゴ
AG/3	500	X 1,300	1	190 X 20
SD/1	4,920	X 2,500	1	165 X 50
SD/7	2,000	X 2,000	2	PH 防水アゴ IF 165 X 50
SD/12	800	X 600	1	防水アゴ
SD/13	3,000	X 2,000	1	—
SG/1	1,800	X 1,800	2	160 X 20
SG/2-1-2	1,000	X 1,800	3	160 X 20
SG/3	1,600	X 2,680	2	—
SG/4	1,600	X 2,600	3	—
SW/1	3,400	X 800	5	—
SW/2	3,000	X 500	3	—

※A3: 50%縮小



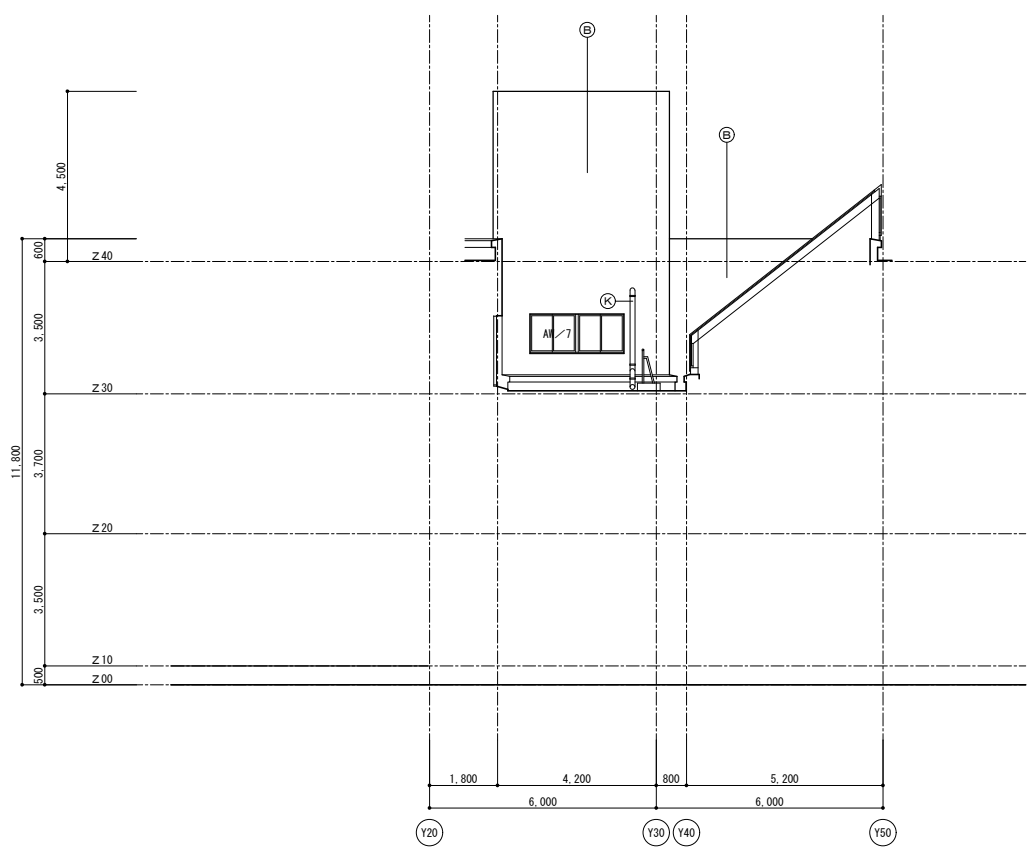
改修後 Y50通 南立面図 1/100

改修項目【新設】		
記号	仕上	改修内容
(A)	屋根: ALC版 t=120 下地ステンレス銅瓦葺き	【既設のまま】
(B)	外壁: コンクリート打放吹付タイル	水洗い工法 覆層塗材E【新設】
(C)	外壁: コンクリート打放化粧目地横線付吹付タイル	水洗い工法 覆層塗材E【新設】
(D)	面台: 防水モルタルコテ押え	下地調整の上DP塗【新設】
(E)	スカイライト: 鉄部 SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(F)	スカイライトガラス窓: 網入りガラス t=6.8	水洗い清掃【新設】
(G)	天端: モルタル下地塗布防水	【既設のまま】
(H)	タラップ: スチール製車輪メッキ	【新設】
(I)	軒樋: ガルバリウム鋼板曲げ加工 t=0.6 カバー	【新設】
(J)	軒樋: スチールプレート t=1.6 曲げ加工 F P 塗	下地調整の上DP塗【新設】
(K)	壁樋: スチールパイプ 125φ SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(L)	壁樋: スチールパイプ 40φ SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(M)	壁樋: 塩ビ製パイプ 50φ	DP塗【新設】
(N)	壁樋締め金物: スチール製 SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(O)	フック: ステンレス製	【既設のまま】
(P)	手摺: スチールパイプ 48.6φ SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(Q)	支柱・控え柱: スチールパイプ 42.7φ SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(R)	手摺子: 丸鋼 16φ #150 SOP	下地調整の上DP塗【新設】
(S)	銘名文字: ステンレス製箱文字 200角 B文字	【既設のまま】
(T)	銘名文字: ステンレス製 W1.650 X H165	【既設のまま】
(U)	パランス差排気筒撤去後 (開口約 250X400)	ステンレスプレート t=1.2【新設】
(V)	庇撤去後	下地調整の上DP塗【新設】
(W)	打錠目地 W30~20 X D20 シーリング 10X10	シーリング PU-2【新設】
(X)	化粧目地 W25~15 X D20	
(Y)	化粧目地 W20 X D20	
(Z)	化粧目地 W15 X D20	
(A1)	カバー鉄板	下地調整の上DP塗【新設】

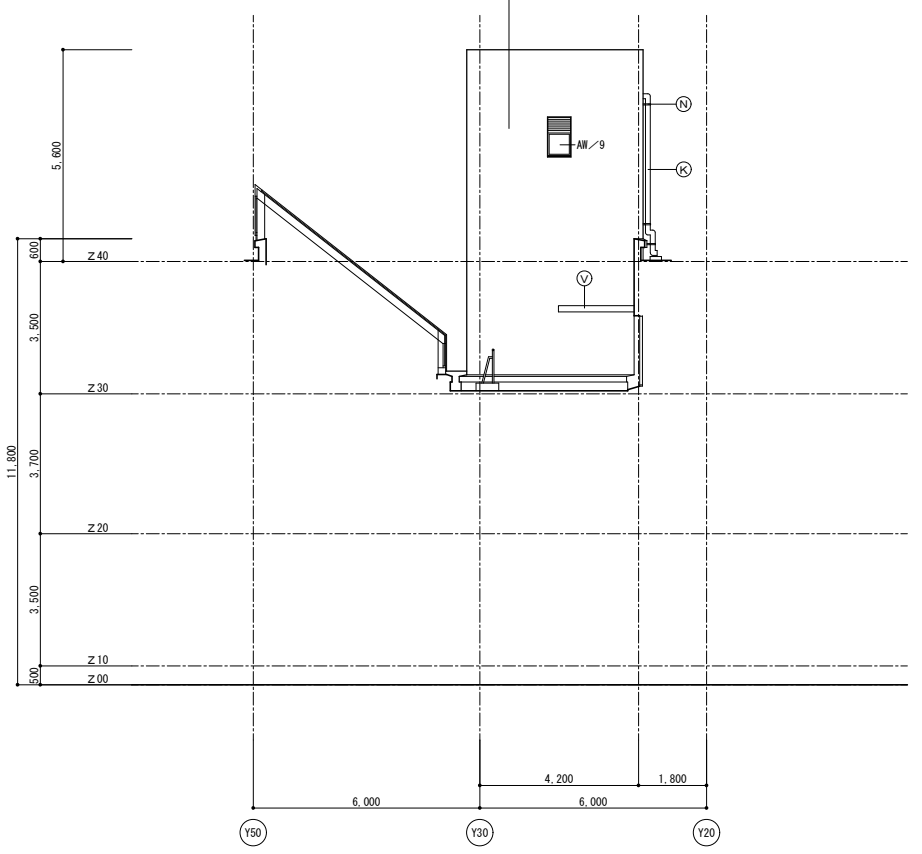
目地詳細図			
(W) 打錠目地	(X) 化粧目地	(Y) 化粧目地	(Z) 化粧目地

外壁改修工事補修部	
ひび割れ改修部	※ 樹脂注入工法(自動式) (ひび割れ0.2mm以上1.0mm未満)
剥離浮き補修	アクリル樹脂部分※ 樹脂充填工法

凡例 建具廻りシーリングM-2【新設】 面台部分: 塗布防水【新設】				
符号	建具内法寸法 W X H	数量	面台寸法	奥行 見付
AW/1	3,470 X 1,600	17	165 X 115	
AW/2	3,470 X 2,500	1	—	
AW/3	1,285 X 2,000	6	300 X 20	
AW/4	750 X 1,200	7	190 X 20	
AW/6	5,060 X 1,600	1	165 X 20	
AW/7	2,470 X 1,000	1	165 X 20	
AW/8	2,995 X 1,600	1	190 X 20	
AW/9	600 X 1,010	2	190 X 20	
AW/10	1,800 X 1,800	1	165 X 20	
AW/11	1,200 X 1,100	1	165 X 20	
AW/12	3,600 X 1,400 (三角)	1	—	
AW/16	3,470 X 2,350	1	防水アゴ	
AD/1	5,290 X 2,685	1	—	
AD/2	2,275 X 2,485	1	—	
AD/3	2,295 X 2,635	2	—	
AD/4	4,950 X 2,500	2	165 X 50	
AD/6	1,800 X 1,800	1	—	
CW/1	4,330 X 5,080	1	防水アゴ	
AG/2	1,500 X 600	2	防水アゴ	
AG/3	500 X 1,300	1	190 X 20	
SD/1	4,920 X 2,500	1	165 X 50	
SD/7	2,000 X 2,000	2	PH 防水アゴ IF 165 X 50	
SD/12	800 X 600	1	防水アゴ	
SD/13	3,000 X 2,000	1	—	
SG/1	1,800 X 1,800	2	160 X 20	
SG/2-1-2	1,000 X 1,800	3	160 X 20	
SG/3	1,600 X 2,680	2	—	
SG/4	1,600 X 2,600	3	—	
SW/1	3,400 X 800	5	—	
SW/2	3,000 X 500	3	—	



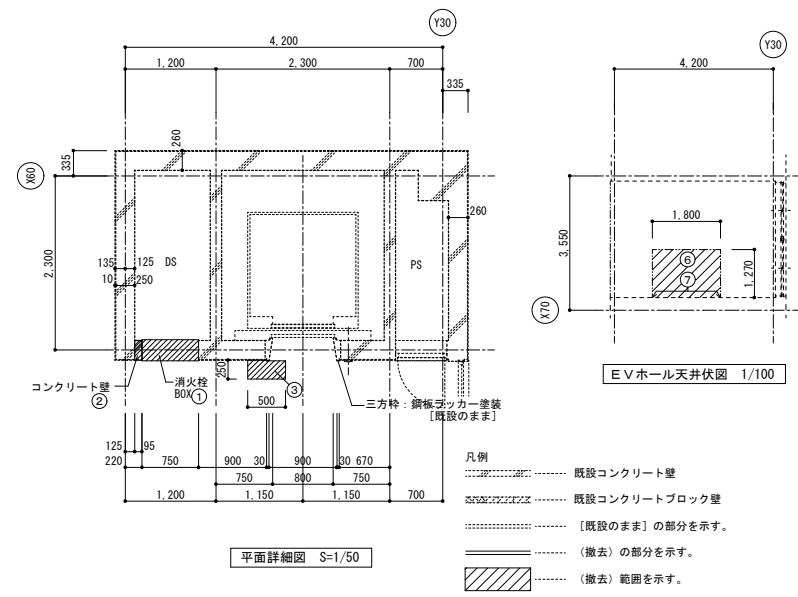
改修後 X40通 東立面図 1/100



改修後 X60通 西立面図 1/100

御注文先	三原市殿	御承認	記	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第262345号 坂本 薫	校閲	設計	設計年月日 2025.03	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1) 建築主体工事	図面番号 A-32
										図面名称 改修後 Y50通 南・X40通 東・X60通 西立面図	縮尺 1/100	

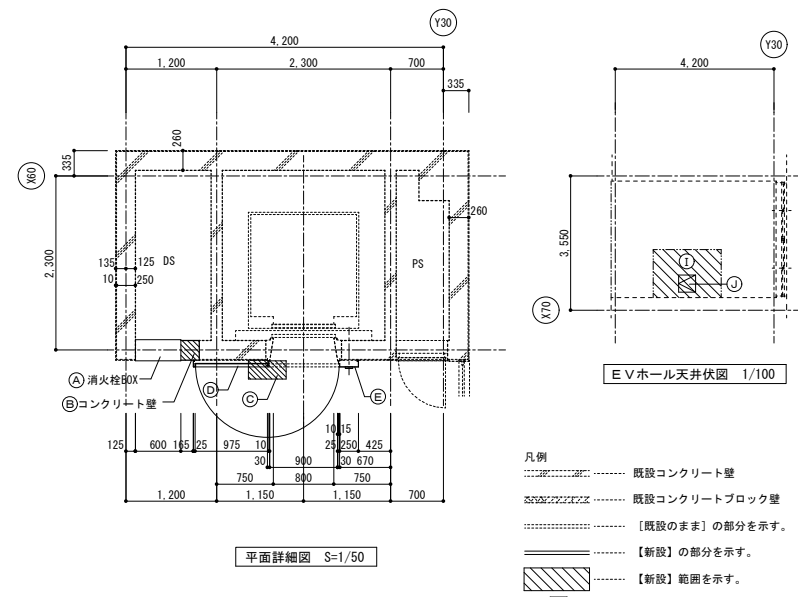
改修前 E V扉設置改修詳細図 (撤去) 1/50・1/100



改修項目 (撤去)

記号	撤去処分	改修内容
	下地材	仕上げ材
①	消火栓ボックス	(設備工事)
②	コンクリート打放	A-EmP 塗
③	モルタル下地	Pタイル貼
④	インジケータボタン	EV工事
⑤	既設のまま	ソフト巾木 H=60
⑥	軽鉄下地	化粧石膏ボード t=9.0 900角 (●L3)
⑦	天井廻縁 一部	(撤去)

改修後 E V扉設置改修詳細図【新設】 1/50・1/100



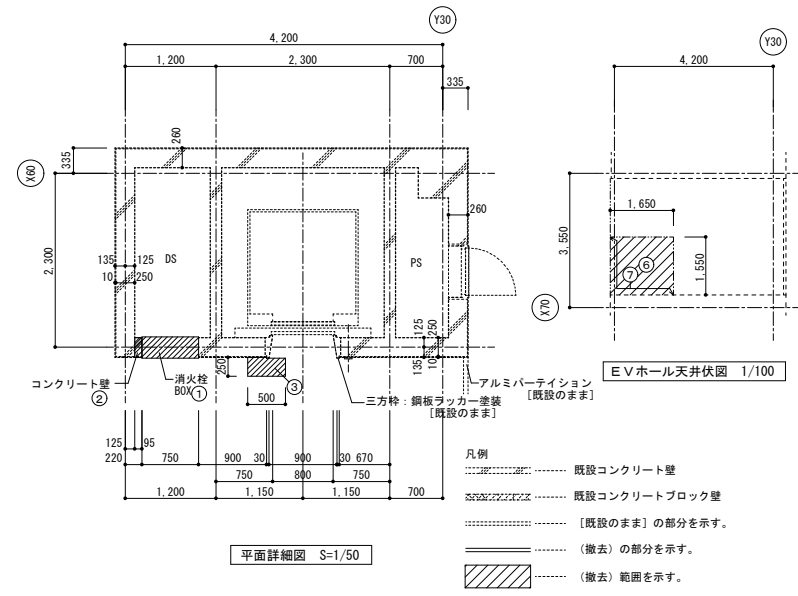
改修項目【新設】

記号	新設部分	改修内容
	下地材	仕上げ材
A	消火栓ボックス	(設備工事)
B	コンクリート打放	EP-6 塗
C	モルタル下地	Pタイル
D	防火扉	特定防火設備 (戸袋付き)
E	三方枠	プレート t=1.6 焼付塗装
F	インジケータボタン	EV工事
G	既設のまま	EP-6 塗
H	既設のまま	ソフト巾木 H=60
I	軽鉄下地	化粧石膏ボード t=9.5 900角
Q	天井点検口	1ヶ所 アルミ製 450角

3階

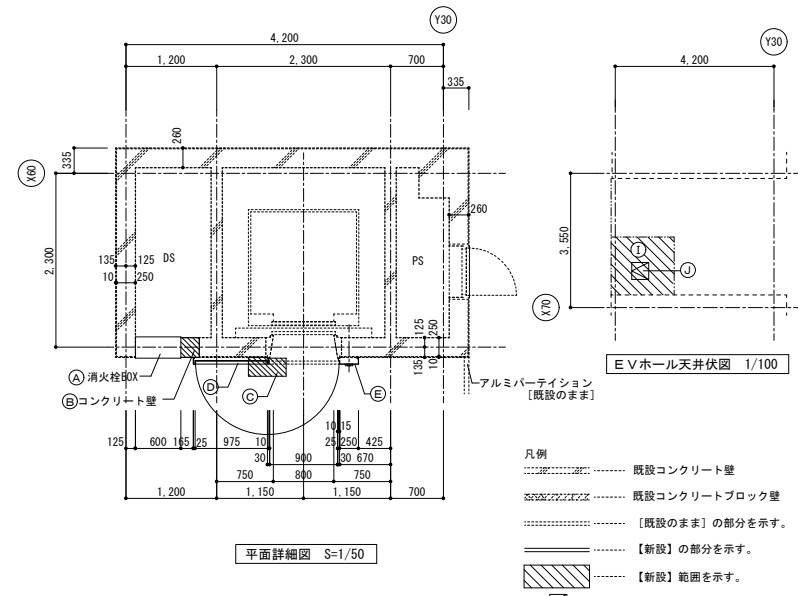
2階

1階



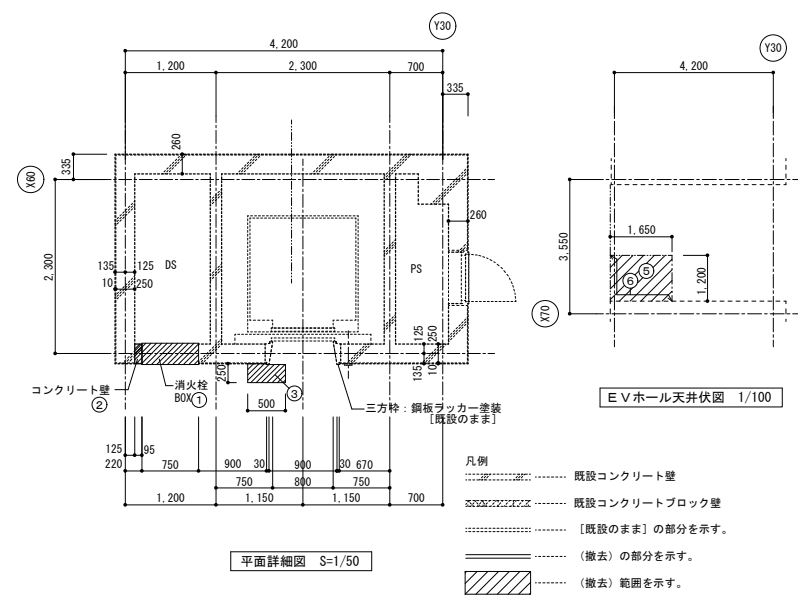
改修項目 (撤去)

記号	撤去処分	改修内容
	下地材	仕上げ材
①	消火栓ボックス	(設備工事)
②	コンクリート打放	A-EmP 塗
③	モルタル下地	Pタイル貼
④	インジケータボタン	EV工事
⑤	既設のまま	ソフト巾木 H=60
⑥	軽鉄下地	化粧石膏ボード t=9.0 900角 (●L3)
⑦	天井廻縁 一部	(撤去)



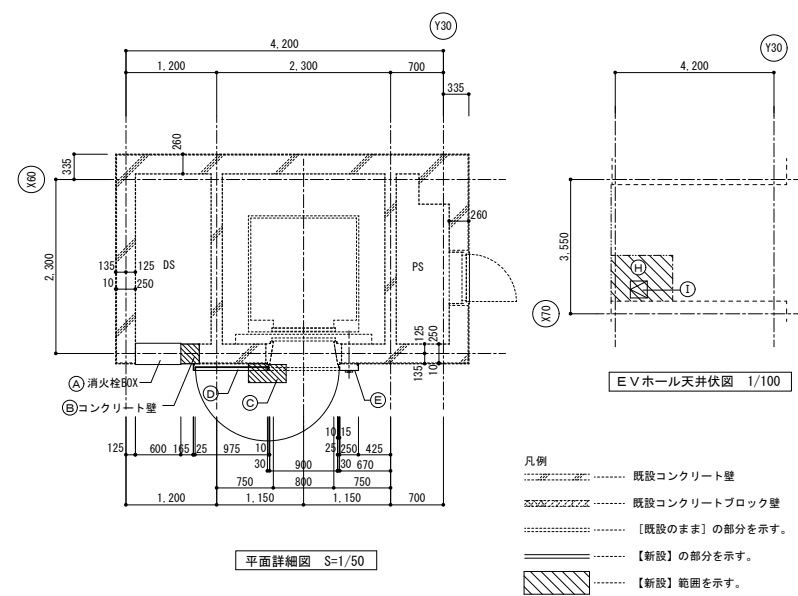
改修項目【新設】

記号	新設部分	改修内容
	下地材	仕上げ材
A	消火栓ボックス	(設備工事)
B	コンクリート打放	EP-6 塗
C	モルタル下地	Pタイル
D	防火扉	特定防火設備 (戸袋付き)
E	三方枠	プレート t=1.6 焼付塗装
F	インジケータボタン	EV工事
G	既設のまま	EP-6 塗
H	既設のまま	ソフト巾木 H=60
I	軽鉄下地	化粧石膏ボード t=9.5 900角
Q	天井点検口	1ヶ所 アルミ製 450角



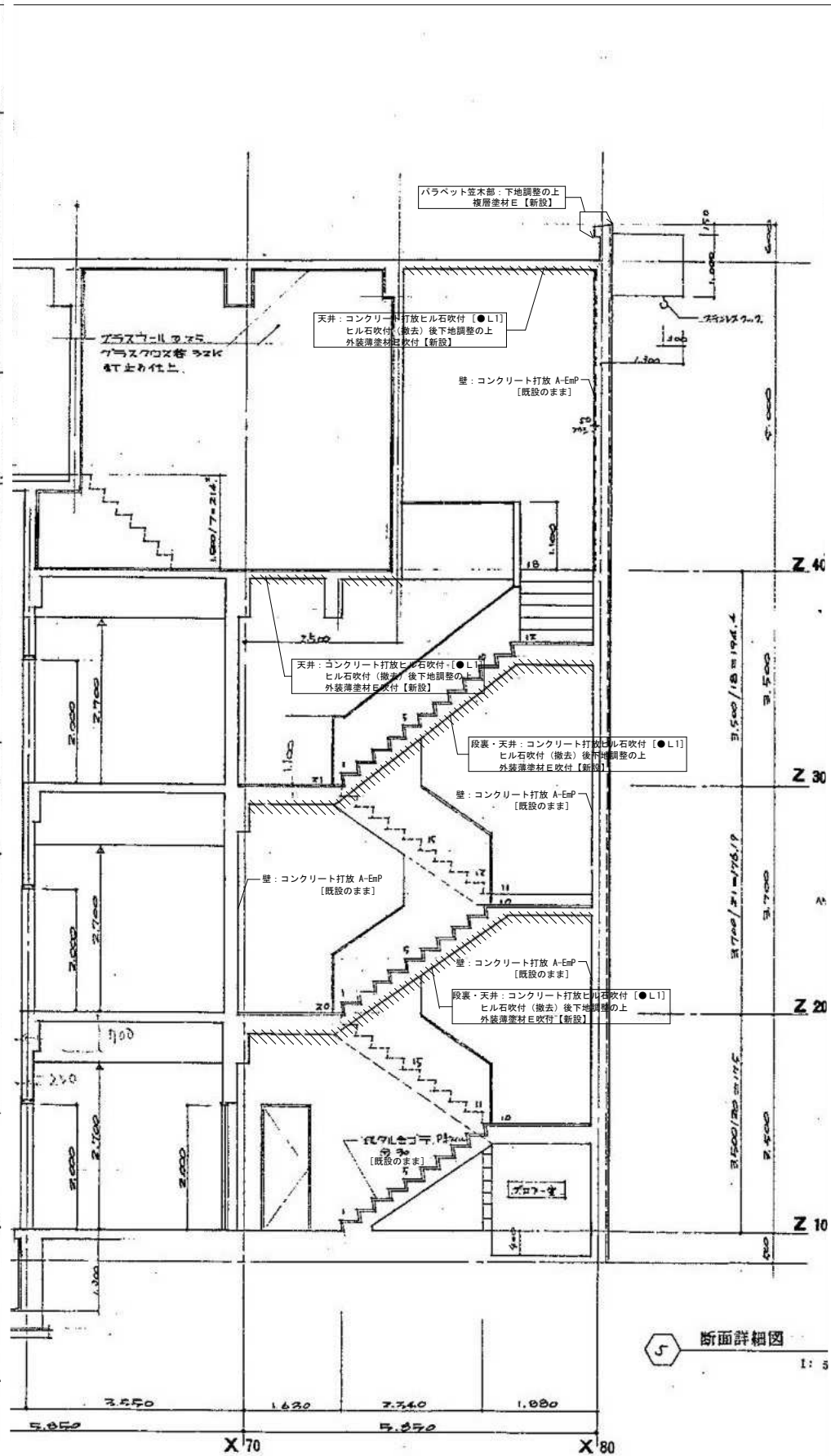
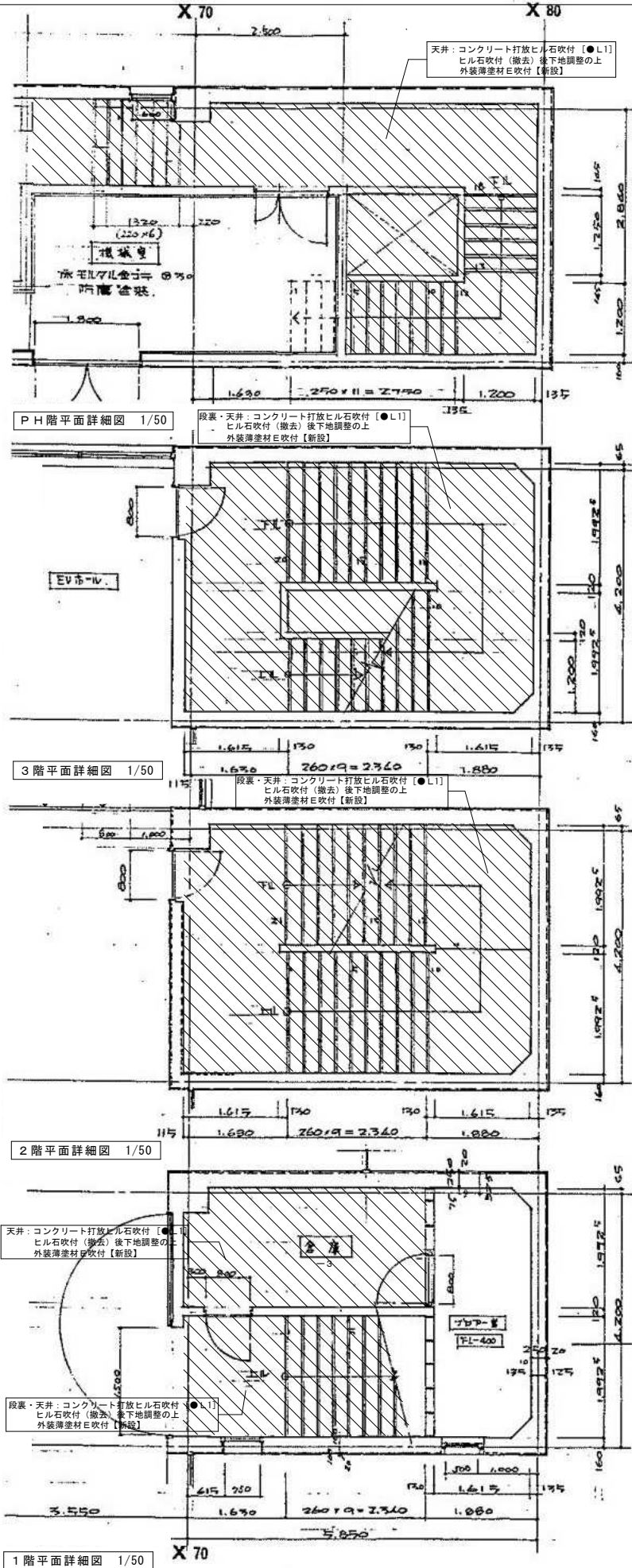
改修項目 (撤去)

記号	撤去処分	改修内容
	下地材	仕上げ材
①	消火栓ボックス	(設備工事)
②	コンクリート打放	A-EmP 塗
③	モルタル下地	二丁掛タイル
④	インジケータボタン	EV工事
⑤	軽鉄下地	化粧石膏ボード t=9.0 900角 (●L3)
⑥	天井廻縁 一部	(撤去)



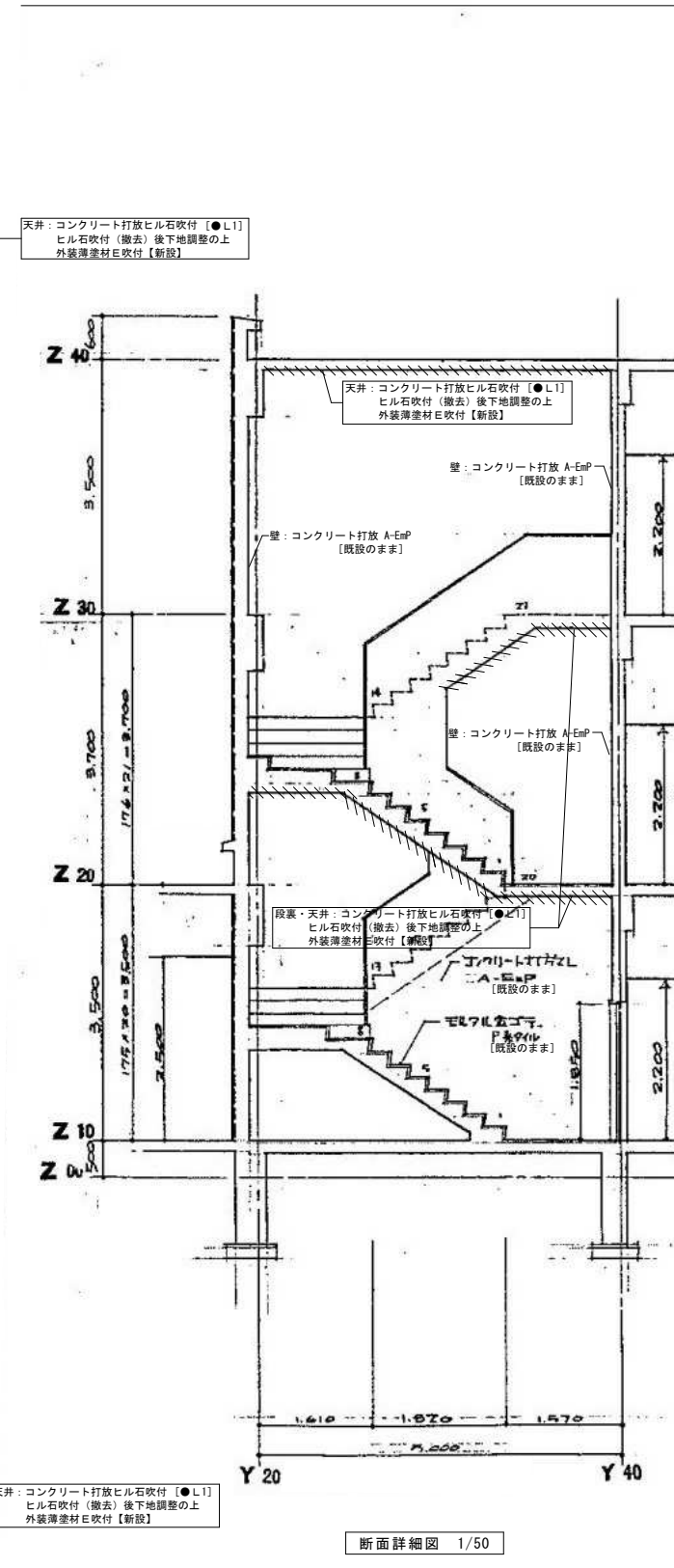
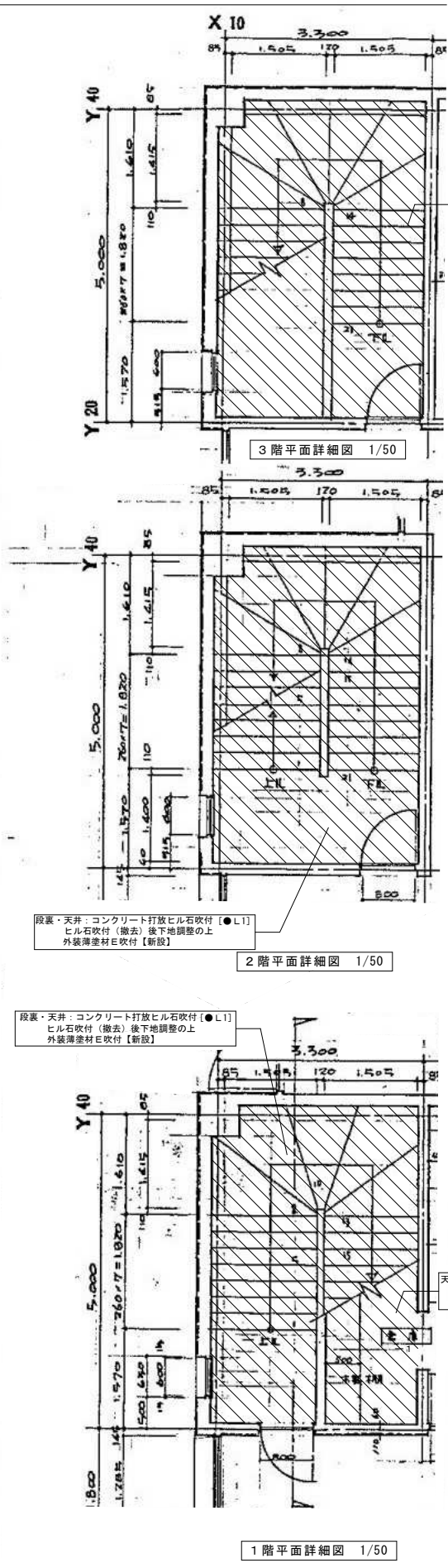
改修項目【新設】

記号	新設部分	改修内容
	下地材	仕上げ材
A	消火栓ボックス	(設備工事)
B	コンクリート打放	EP-6 塗
C	モルタル下地	二丁掛タイル
D	防火扉	特定防火設備 (戸袋付き)
E	三方枠	プレート t=1.6 焼付塗装
F	インジケータボタン	EV工事
G	既設のまま	EP-6 塗
H	軽鉄下地	化粧石膏ボード t=9.5 900角
I	天井点検口	1ヶ所 アルミ製 450角



特記事項
●L1) は石含有建材を示す。

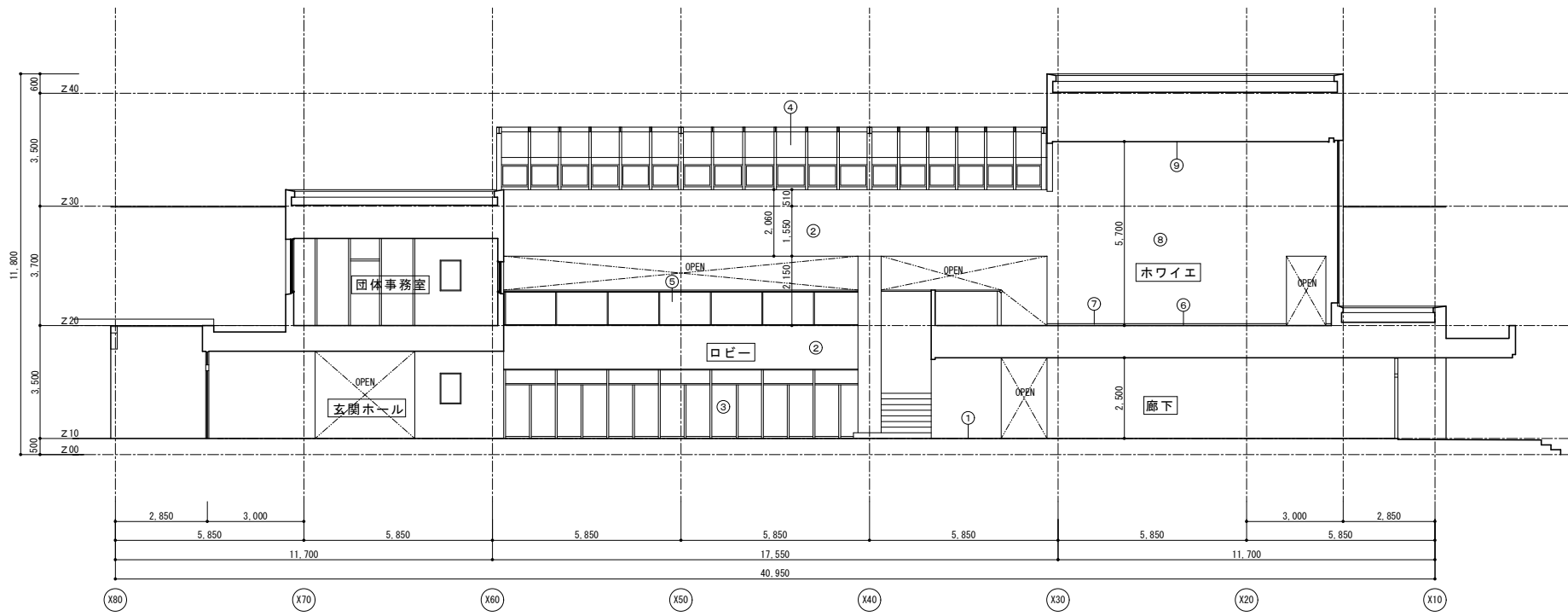
凡例
---天井 [改修] 範囲を示す。
改修内容 [改修] 部分仕上を示す。



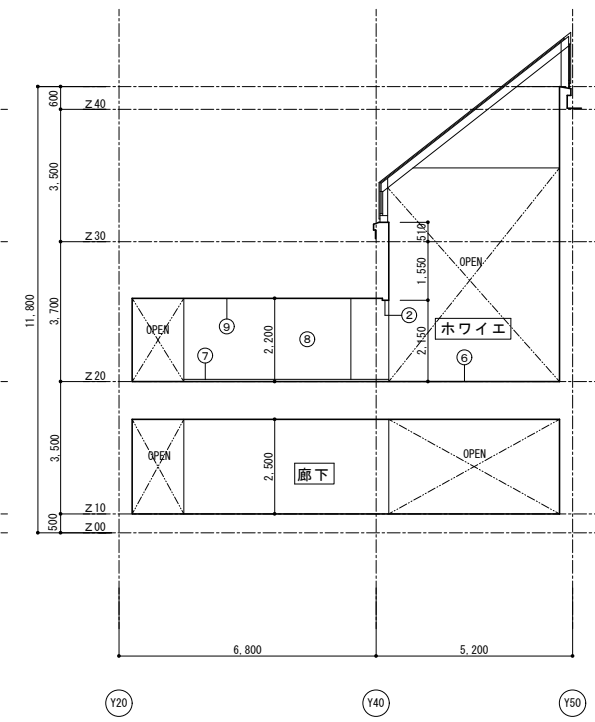
特記事項
●L1) は石含有建材を示す。

凡例
---天井 [改修] 範囲を示す。
改修内容 [改修] 部分仕上を示す。

御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出歩 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第 262345号 坂本 薫	校閲 藤本	工事名称 中央公民館長寿寿命化改修工事 (その1) 建築主体工事	図面番号 A-34
								設計 坂本	図面名称 改修前・後 階段室A・階段室B 改修詳細図	縮尺 1/50
								設計年月日 2025.03		※A3: 50%縮小

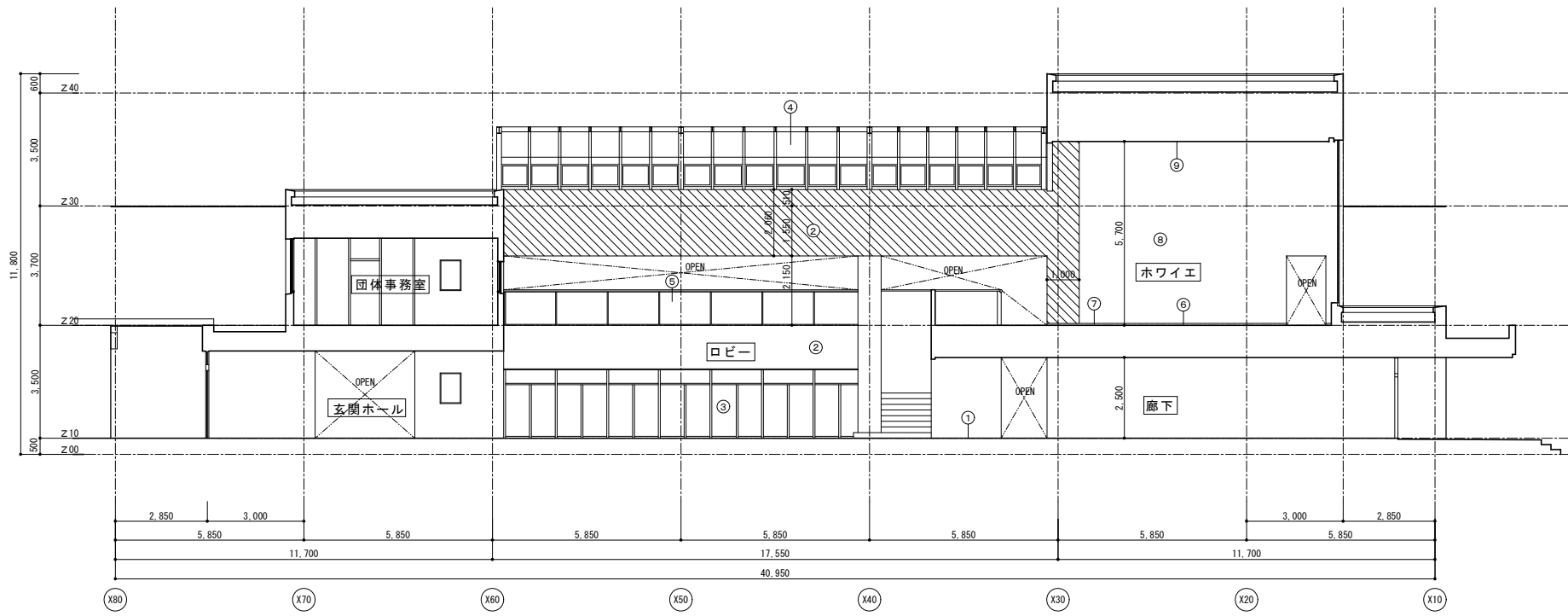


改修前 Y40通 展開図 1/100

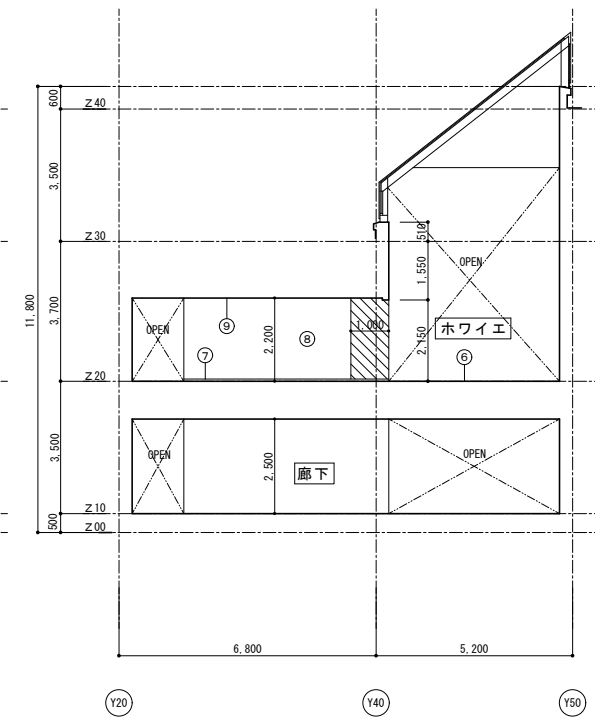


改修前 X30通 展開図 1/100

改修項目【改修】				
記号	室名	部位	仕上	改修内容
①	ロビー	床	コンクリート 二丁掛タイル張	【既設のまま】
②	ロビー	壁	コンクリート打放 A-EP	一部【改修】
③	ロビー	壁	アルミパーテーション	【既設のまま】
④	ロビー	天井	スカイライト：磨き網入りガラスt=6.8	【改修】
⑤	ロビー	手摺	角 60X30 ハイブアクリル板	【既設のまま】
⑥	ホワイエ	床	モルタル下地Pタイル貼	【既設のまま】
⑦	ホワイエ	巾木	ソフト巾木 H=60	【既設のまま】
⑧	ホワイエ	壁	コンクリート打放 A-EP	一部【改修】
⑨	ホワイエ	天井	軽鉄下地化粧石膏ボード t=9.0 ●L3 CH=5.700	【既設のまま】



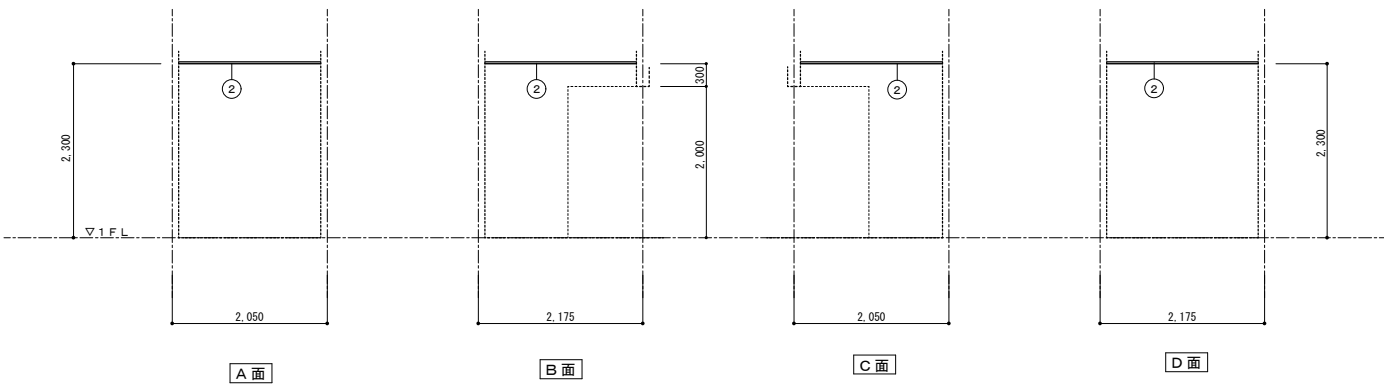
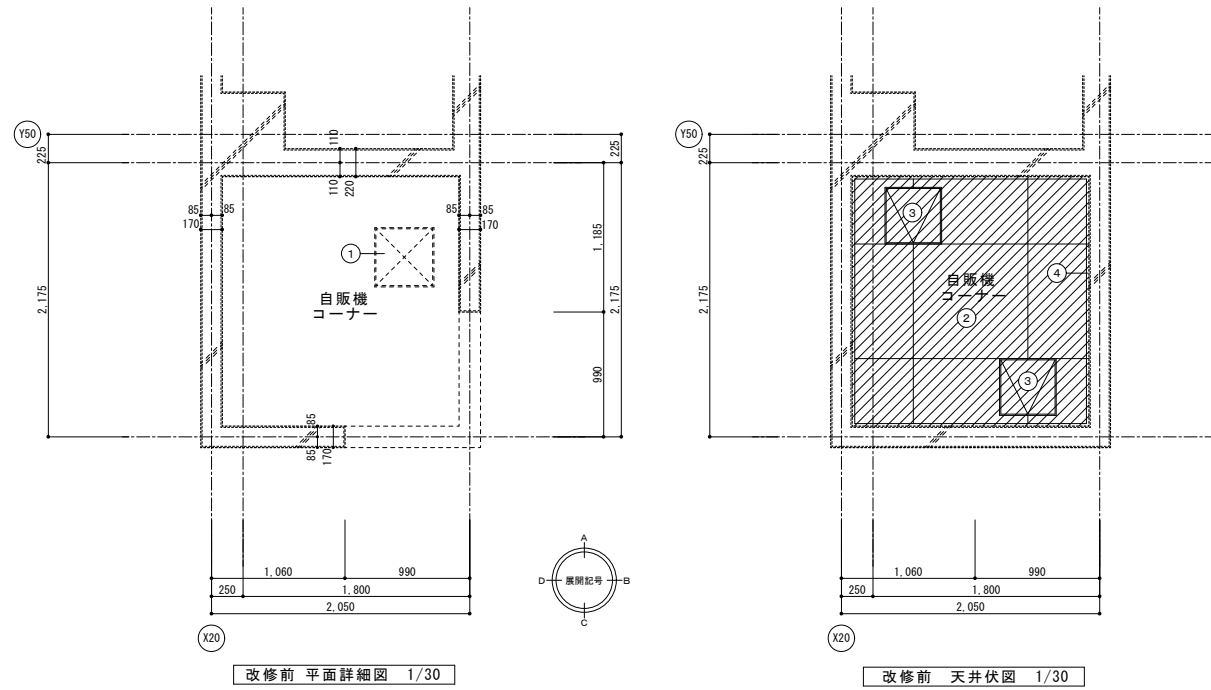
改修後 Y40通 展開図 1/100



改修後 X30通 展開図 1/100

改修項目【新設】				
記号	室名	部位	仕上	改修内容
①	ロビー	床	コンクリート 二丁掛タイル張	【既設のまま】
②	ロビー	壁	コンクリート打放 EP-G	下地調整の上 EP-G 塗【新設】
③	ロビー	壁	アルミパーテーション	【既設のまま】
④	天井	スカイライト：磨き網入りガラスt=6.8		ガラスクリーニング【新設】
⑤	ロビー	手摺	角 60X30 ハイブアクリル板	【既設のまま】
⑥	ホワイエ	床	モルタル下地Pタイル貼	【既設のまま】
⑦	ホワイエ	巾木	ソフト巾木 H=60	【既設のまま】
⑧	ホワイエ	壁	コンクリート打放 EP-G	下地調整の上 EP-G 塗【新設】
⑨	ホワイエ	天井	軽鉄下地化粧石膏ボード t=9.0 ●L3 CH=5.700	【既設のまま】

凡例
 -改修部分を示す。



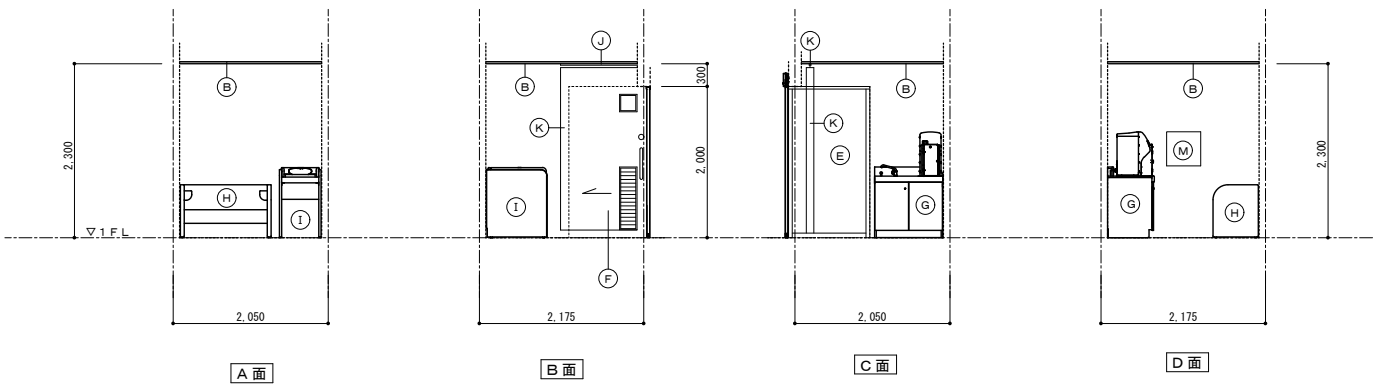
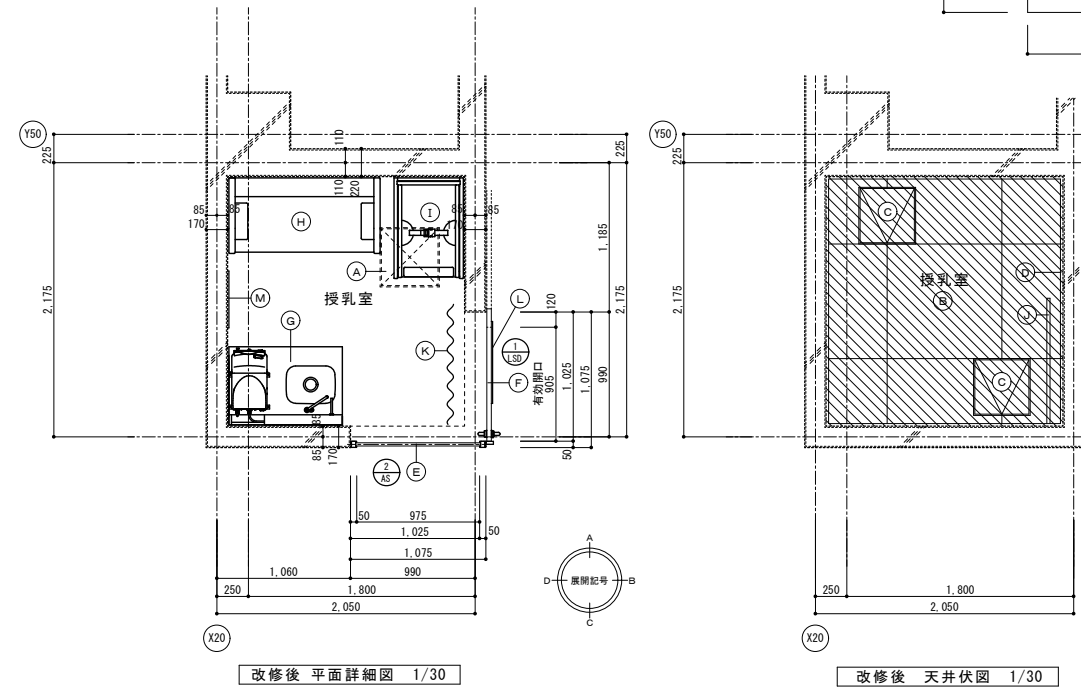
改修前 展開図 1/50

■ 撤去項目

番号	撤去部分	仕上材	備考
①	床下換気口		[既設のまま]
②	軽鉄下地	化粧石膏ボード t=9.0 900角	【●】L3
③	天井点検口		アルミ製 450角 計 2ヶ所
④	天井廻縁		塩ビ製

凡例

- 既設コンクリート壁
- 既設コンクリートブロック壁
- [既設のまま]の部分を示す。
- (撤去)の部分を示す。
- (撤去)範囲を示す。
- (撤去)天井点検口を示す。



改修後 展開図 1/50

■ 改修項目

番号	新設	仕上材	備考
(A)	床下換気口		[既設のまま]
(B)	軽鉄下地	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃材) 900角	【新設】
(C)	天井点検口		アルミ製 450角 計 2ヶ所 【新設】
(D)	天井廻縁		塩ビ製 【新設】
(E)	アルミパーテーション (パネル)		AS/2 【新設】
(F)	軽量スチール製片引ハンガー戸		LSD/1 【新設】
(G)	流し台 W900xD619xH1.398	1ヶ所	Combi 調乳用温水器CH22-3 シンク一体型 又は同等品
(H)	授乳ソファ 1,200 X 600	1ヶ所	Combi エンジェルK授乳ソファダブルJS41D又は同等品
(I)	おむつ交換台 550 X 800	1ヶ所	Combi エンジェルおむつ交換台単体又は同等品
(J)	天井カーテンレール: アルミ製D型		
(K)	カーテン: 防塵タイプ		
(L)	室名案内図 (カッティングシート張)		扉に直貼り 650 X 350
(M)	利用案内板 (ステンレス t=3.0の上カッティングシート張)		450 X 450 X t=3.0

凡例

- 既設コンクリート壁
- 既設コンクリートブロック壁
- [既設のまま]の部分を示す。
- 【新設】の部分を示す。
- 【新設】範囲を示す。
- 【新設】天井点検口を示す。



室名案内図 1/5

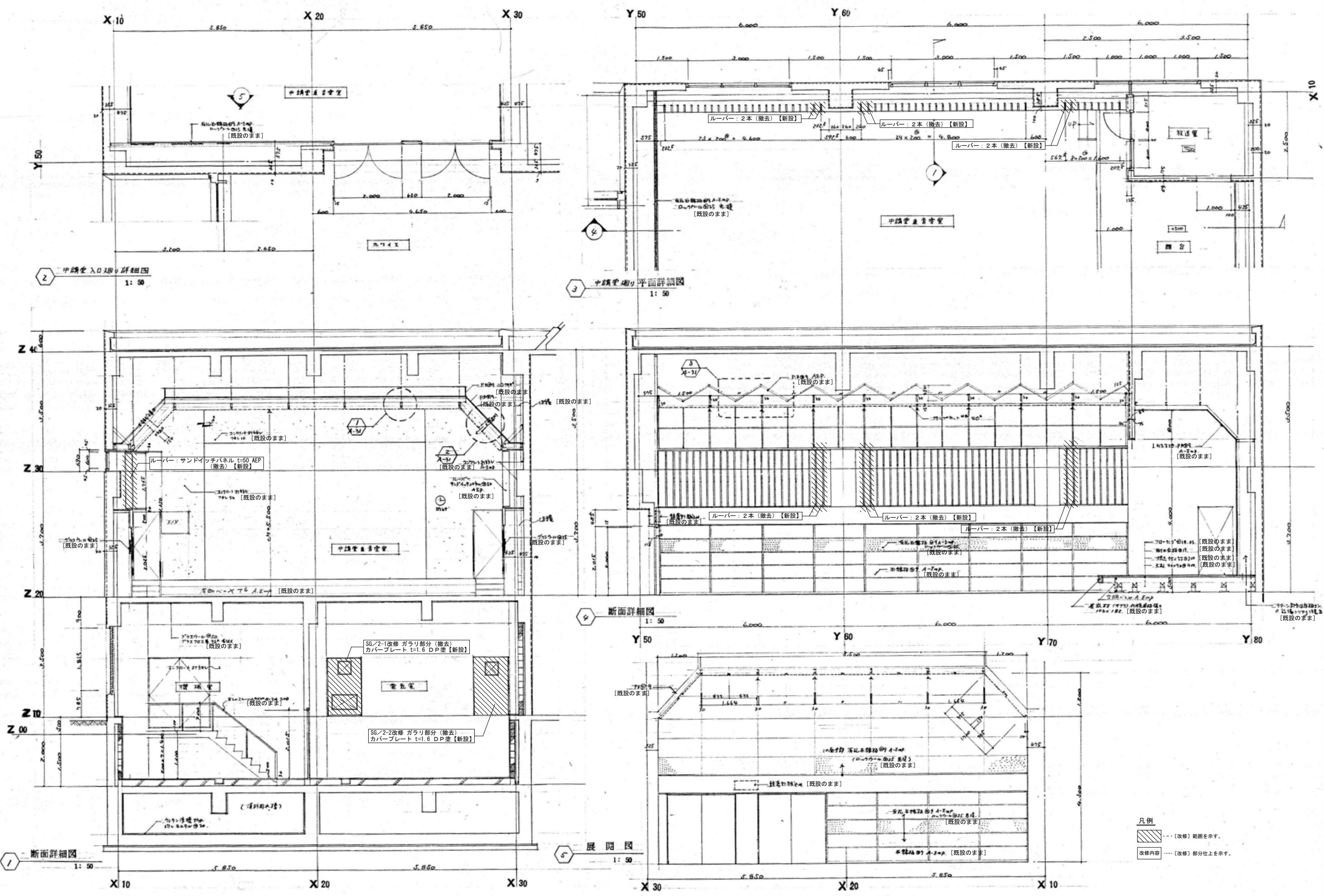
ベビールーム 利用のご案内

この部屋は、小さなお子さんの授乳・おむつ替えなどのために利用できる場所です。
入室されましたら必ず「鍵をかけて」ご利用ください。
必要ときは、カーテンを開けてください。
利用が終わりましたら、次のお子さんのために部屋をお譲りください。
使用済のおむつやゴミなどは、各自でお持ち帰りください。
ミルク用のお湯が必要な方は職員にお声を掛けてください。

三原市

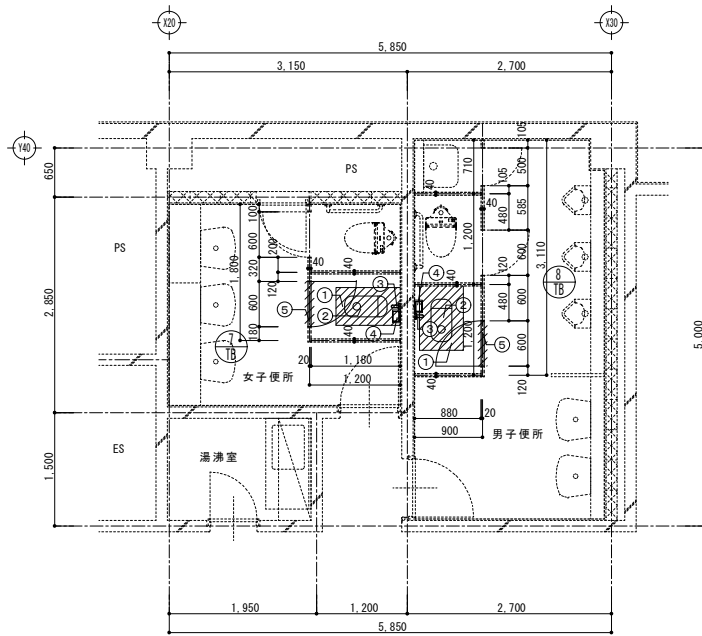
利用案内板 1/5

※A3: 50%縮小

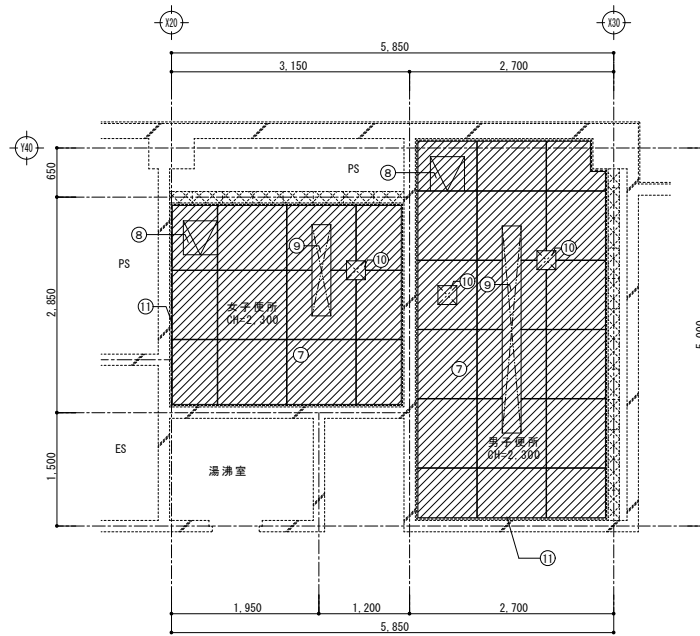


凡例
 --- (改修) 範囲を示す。
 --- (改修) 内容 --- (改修) 部分仕上を示す。

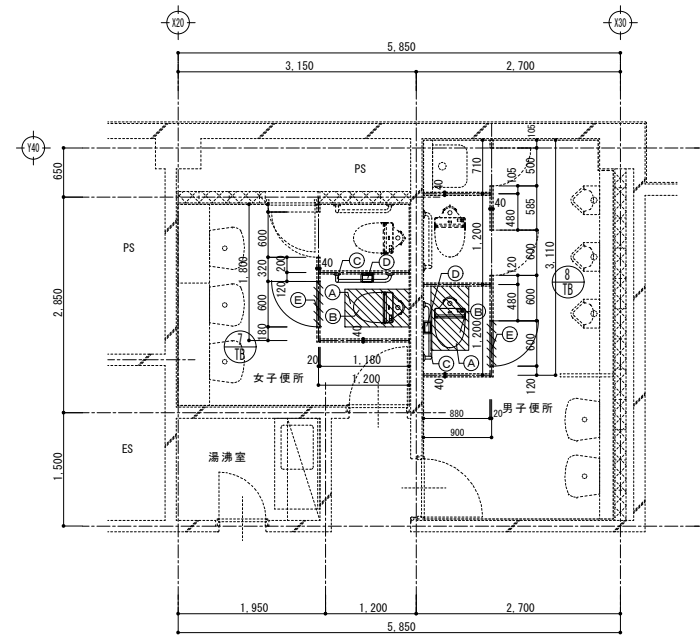
御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第23685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第262345号 坂本 薫	校閲 設計	設計年月日 2025.03	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1) 建築主体工事	図面名称 改修前・後 中講堂改修詳細図	図面番号 A-37	縮尺 1/50
------	------	-----	----	----	--	---	-----------------------	----------	------------------	-----------------------------------	------------------------	--------------	------------



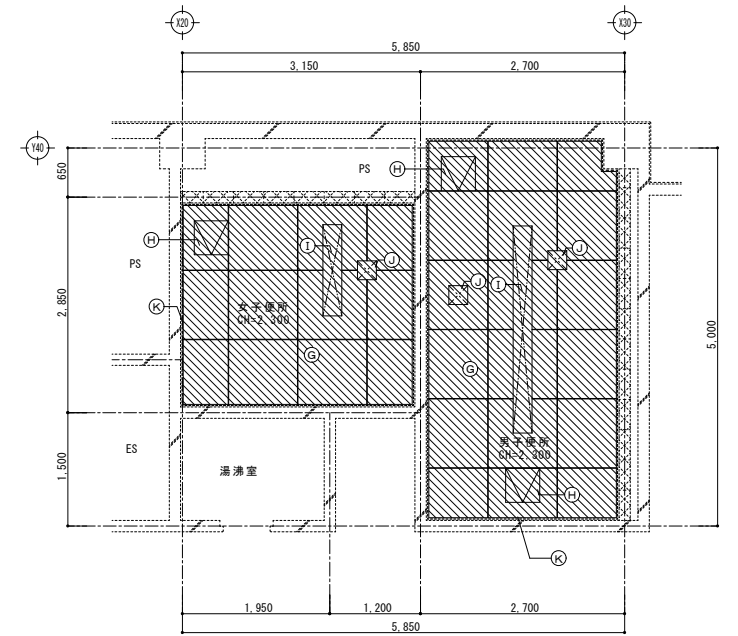
改修前 平面詳細図 1/50



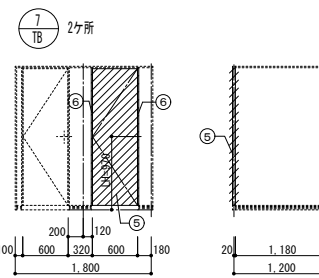
改修前 天井伏図 1/50



改修後 平面詳細図 1/50



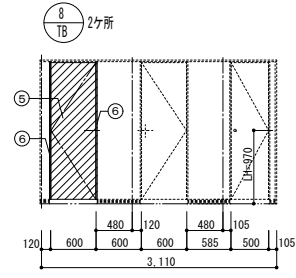
改修後 天井伏図 1/50



正面図

仕切図

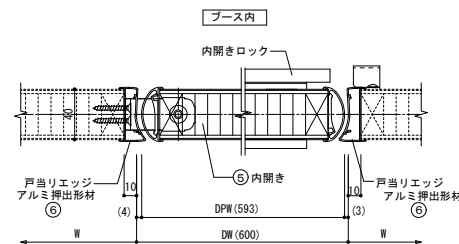
改修前 女子便所ブース姿図 1/50



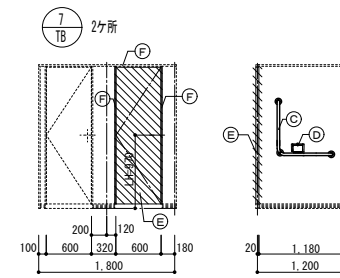
正面図

仕切図

改修前 男子便所ブース姿図 1/50



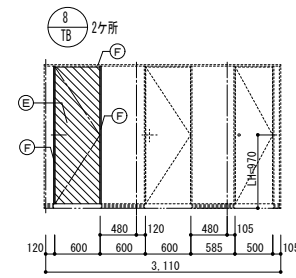
改修前 便所ブース扉詳細図 1/3



正面図

仕切図

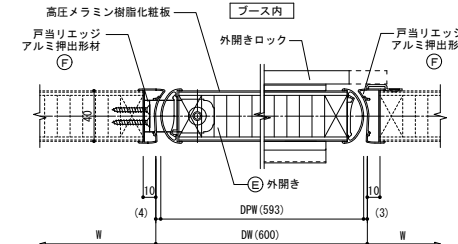
改修後 女子便所ブース姿図 1/50



正面図

仕切図

改修後 男子便所ブース姿図 1/50



改修後 便所ブース扉詳細図 1/3

■ 撤去項目

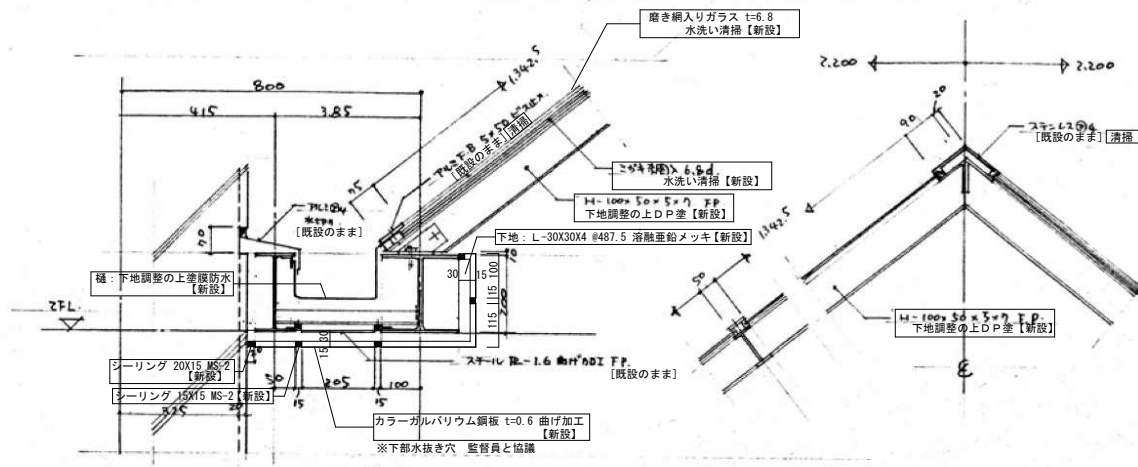
番号	撤去部分	備考
①	鉄筋コンクリートスラブ	撤去範囲 850 X 500 仕上下地共 (設備工事)
②	和式便器	(機械設備工事)
③	手摺	計 4ヶ所
④	ペーパーホルダー	計 4ヶ所 (機械設備工事)
⑤	ブース扉	計 4ヶ所 TB/7-2ヶ所 TB/8-2ヶ所
⑥	戸当り・エッジ	計 4ヶ所
⑦	軽鉄下地	既設天井下地: LGS下地
⑧	天井点検口	アルミ製 450角 計 4ヶ所
⑨	照明器具	(設備工事)
⑩	換気口	(設備工事)
⑪	天井廻縁・塩ビ	

- 凡例
- 既設コンクリート壁
 - 既設コンクリートブロック壁
 - [既設のまま]の部分を示す。
 - (撤去)の部分を示す。
 - (撤去)範囲を示す。
 - (撤去)天井点検口を示す。

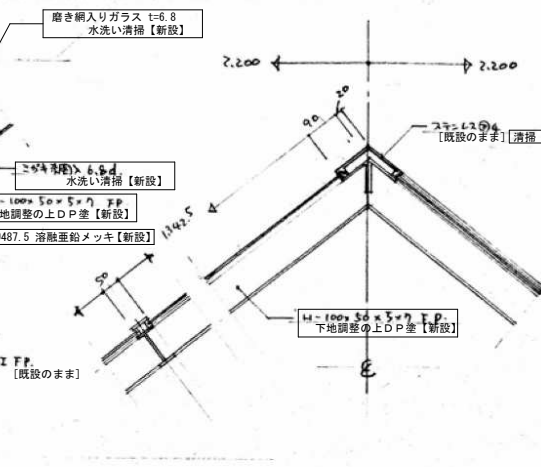
■ 改修項目

番号	新設	備考
A	鉄筋コンクリートスラブ	下地材: (設備工事) 仕上材: (建築工事)
B	洋式便器	(機械設備工事)
C	L型手摺	計 4ヶ所
D	ペーパーホルダー	計 4ヶ所 (機械設備工事)
E	ブース扉 (高圧メラミン樹脂化粧板)	計 4ヶ所 TB/7-2ヶ所 TB/8-2ヶ所
F	戸当り・エッジ	計 4ヶ所 既設頭ツナギ改修共
G	軽鉄下地	ケイ酸カルシウム板 t=4.0 AEP
H	天井点検口	アルミ製 450角 計 6ヶ所
I	照明器具	(設備工事)
J	換気口	(設備工事)
K	天井廻縁・塩ビ	

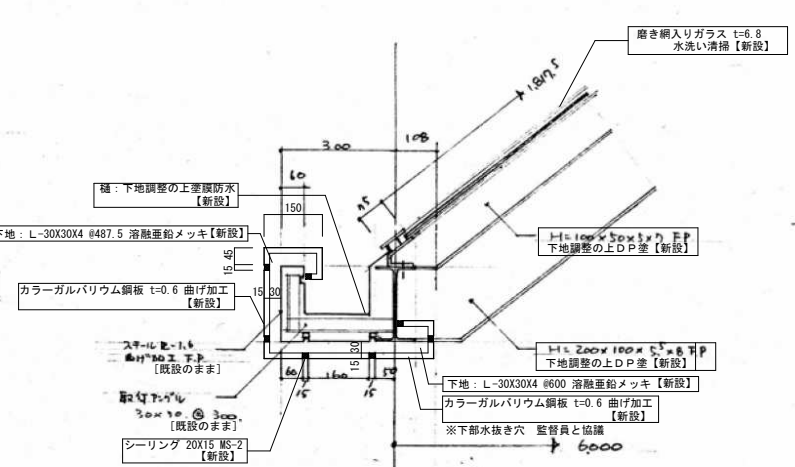
- 凡例
- 既設コンクリート壁
 - 既設コンクリートブロック壁
 - [既設のまま]の部分を示す。
 - 【新設】の部分を示す。
 - 【新設】範囲を示す。
 - 【新設】天井点検口を示す。



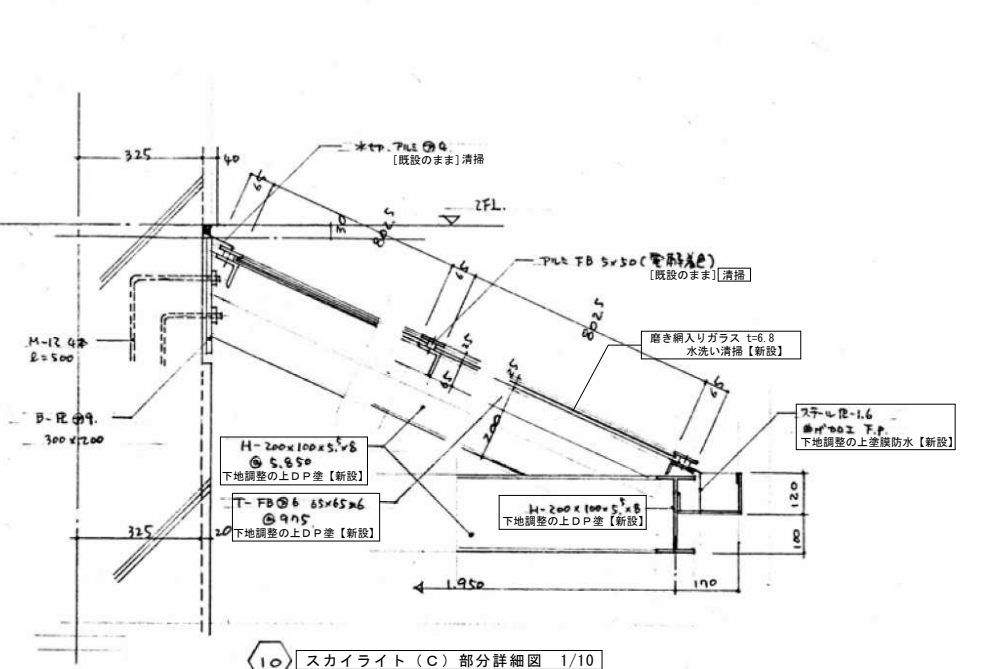
7 スカイライト (A) 横断詳細図 1/10



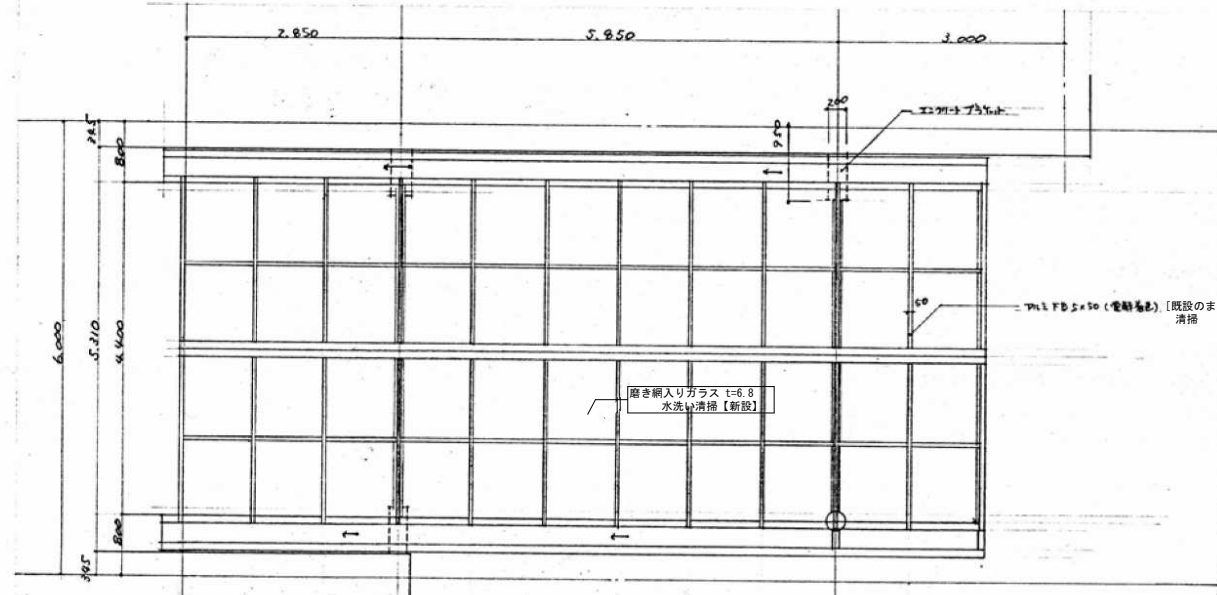
8 棟部分詳細図 1/10



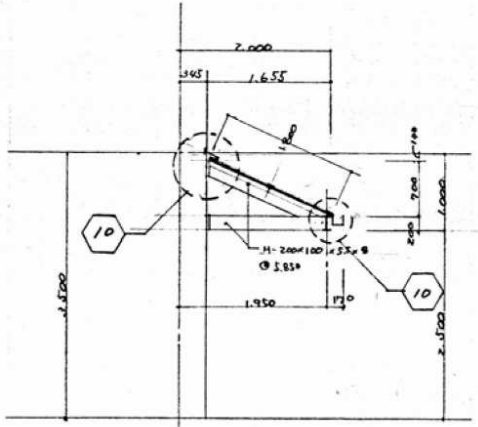
9 スカイライト (B) 横断詳細図 1/10



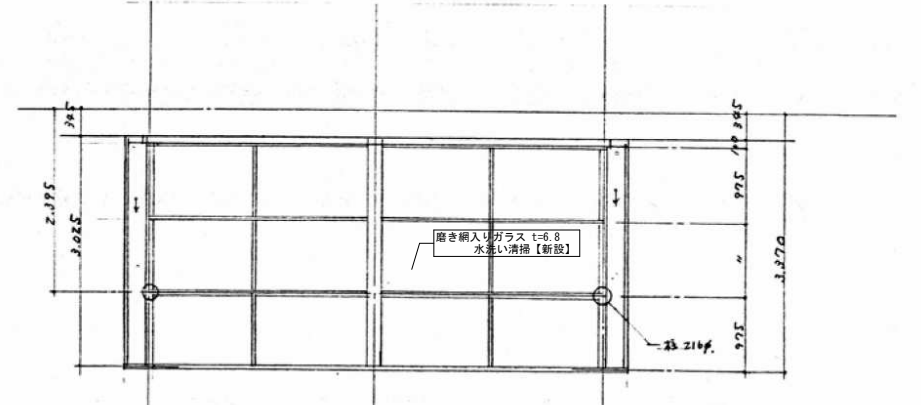
10 スカイライト (C) 部分詳細図 1/10



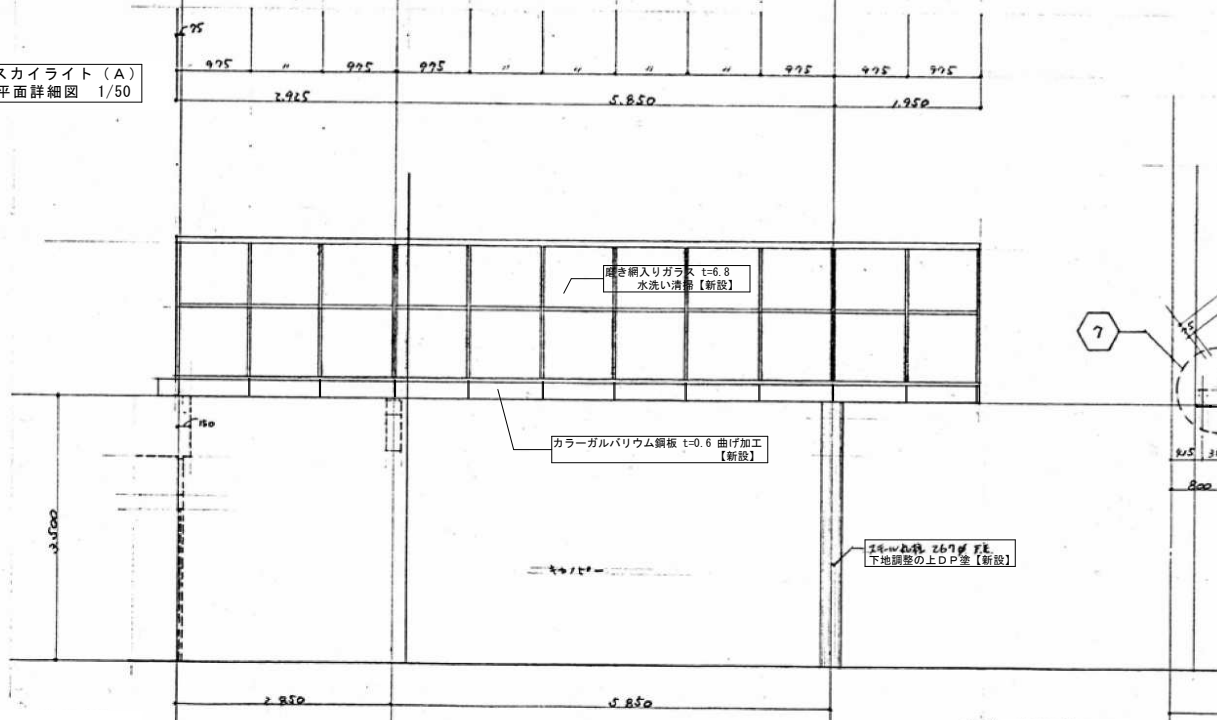
1 スカイライト (A) 平面詳細図 1/50



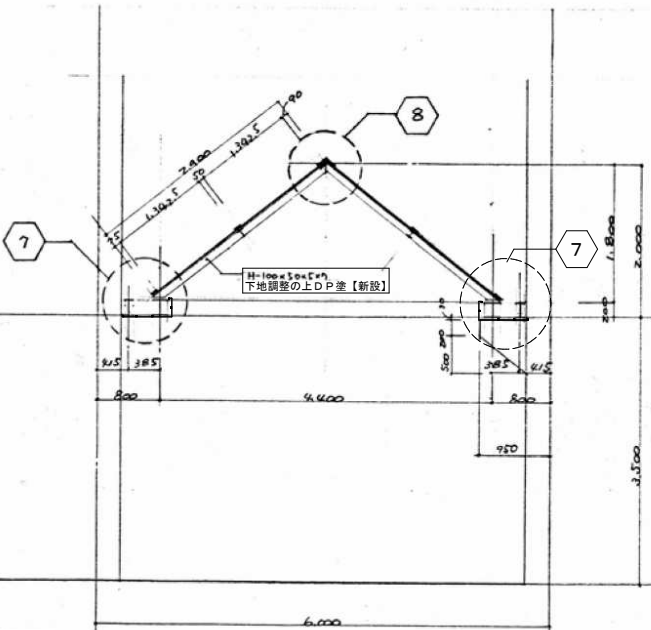
6 スカイライト (C) 断面詳細図 1/50



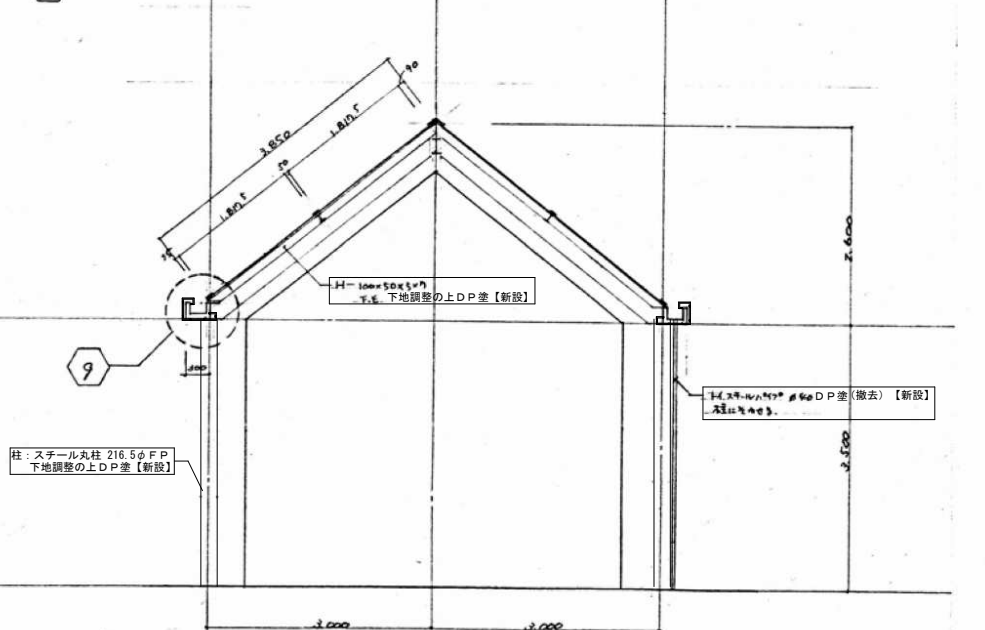
4 スカイライト (B) 平面詳細図 1/50



2 スカイライト (A) 立面図 1/50



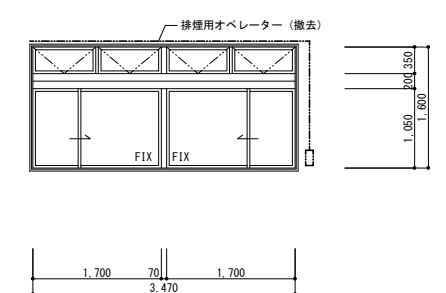
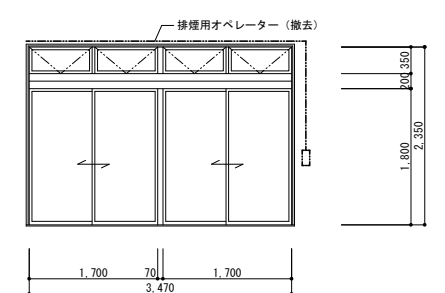
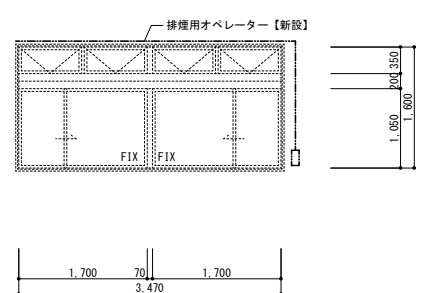
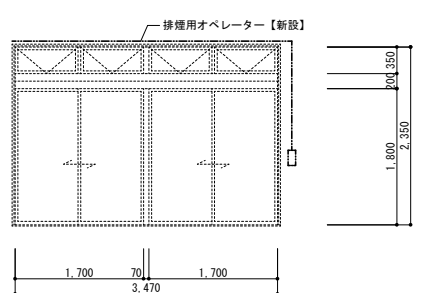
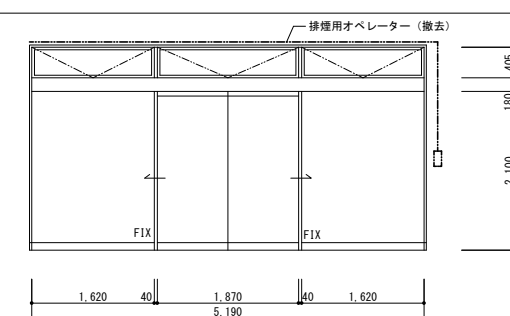

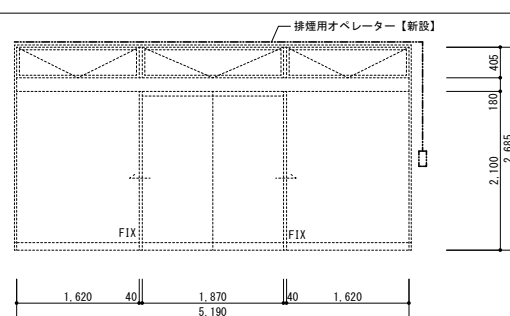
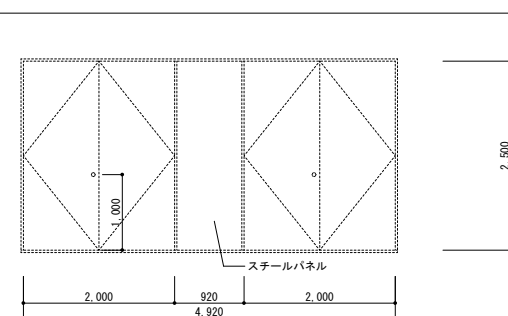
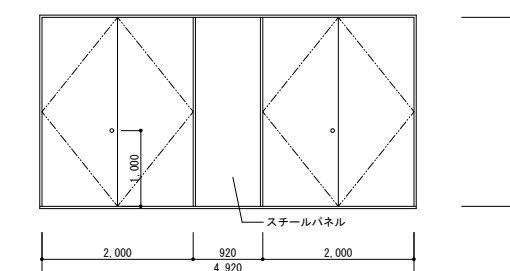

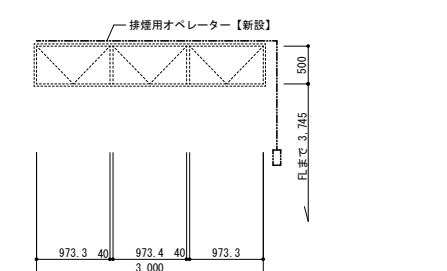
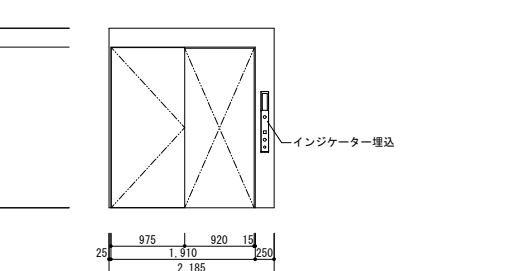
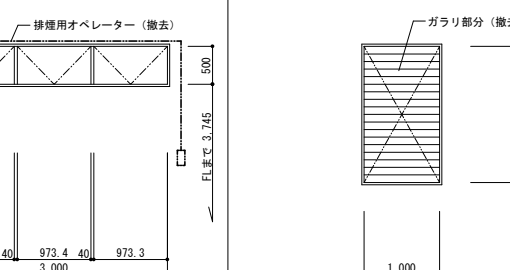
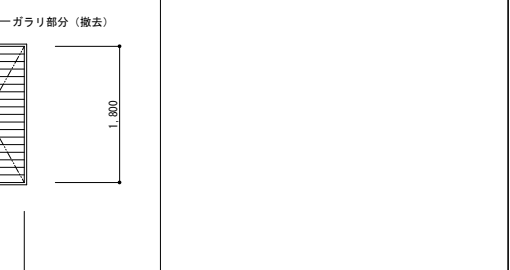
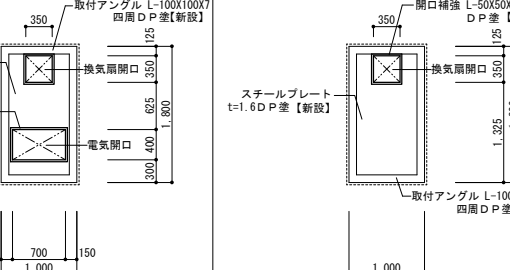
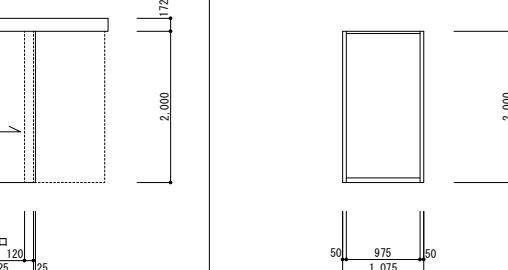
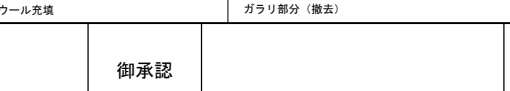

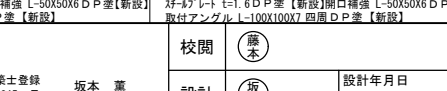
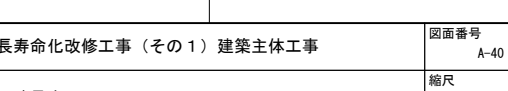
3 スカイライト (A) 断面詳細図 1/50

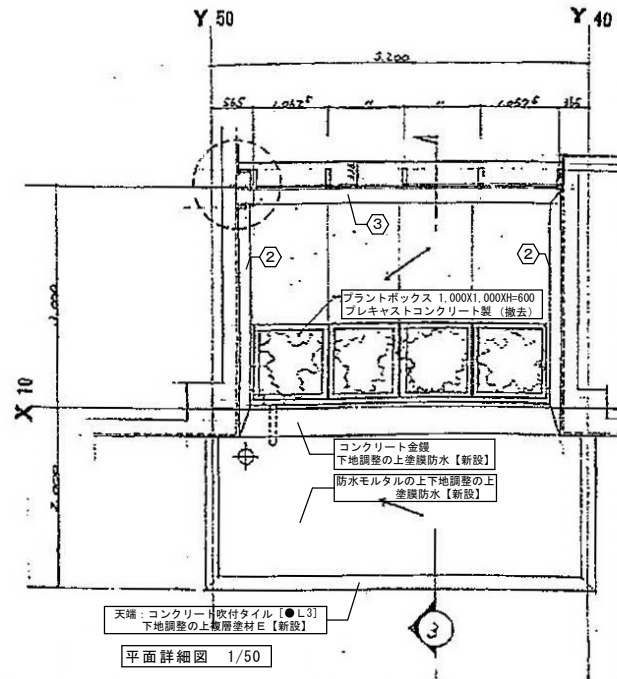


5 スカイライト (B) 断面詳細図 1/50

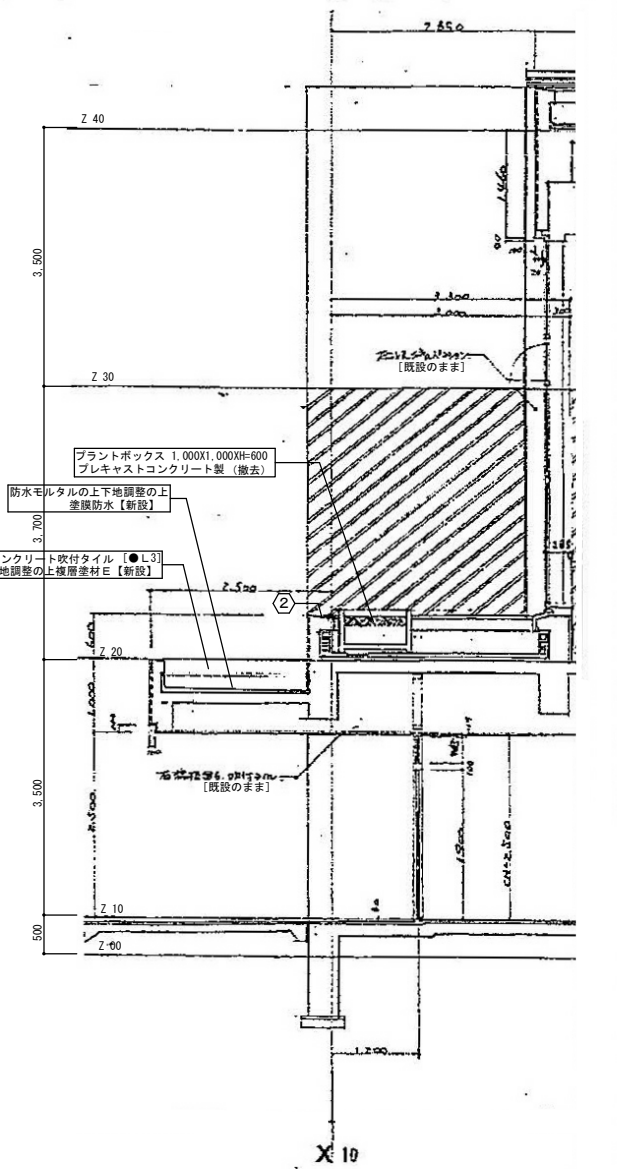
凡例
改修内容 (改修) 部分仕上を示す。

御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出歩 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第 262345号 坂本 薫	校閲 藤本	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事 (その1) 建築主体工事	図面番号 A-39	
								設計 坂本	設計年月日 2025.03	図面名称 改修前・後 スカイライト (A) (B) (C) 改修詳細図	縮尺 1/50 1/10

改修前 建具表				改修後 建具表				凡例							
[改修] ① AM 2連片引きサッシ 上段外側しサッシ付 中段に底付				[改修] ② AM 2連引違サッシ 上段外側しサッシ付 中段に底付				[改修] ③ AM 2連片引きサッシ 上段外側しサッシ付 中段に底付				[改修] ④ AM 2連引違サッシ 上段外側しサッシ付 中段に底付			
															
場所	数量	事務室・研修室・館長室・講義室・資料室・調理室・廊下	9	3階和室前縁側	数量	1	場所	数量	事務室・研修室・館長室・講義室・資料室・調理室・廊下	9	3階和室前縁側	数量	1		
枠見込	建具見込	70		70	枠見込	建具見込	70	建具見込	70		70	建具見込	70		
材質・仕上	硝子	アルミ電解2次着色	トーメイ t=5.0 一部延焼の恐れある部分トーメイ納入 t=6.8	アルミ電解2次着色	硝子	アルミ電解2次着色	アルミ電解2次着色	アルミ電解2次着色	アルミ電解2次着色	アルミ電解2次着色	アルミ電解2次着色	アルミ電解2次着色	アルミ電解2次着色		
金物	付属金物一式	排煙用オペレーター付 (撤去)		付属金物一式	排煙用オペレーター付 (撤去)		金物	付属金物一式	排煙用オペレーター付 (撤去)		付属金物一式	排煙用オペレーター付 (撤去)			
備考	底: アルミ t=2.3 アルマイト 力骨			底: アルミ t=2.3 アルマイト 力骨	備考	底: アルミ t=2.3 アルマイト 力骨	備考	底: アルミ t=2.3 アルマイト 力骨	底: アルミ t=2.3 アルマイト 力骨	備考	底: アルミ t=2.3 アルマイト 力骨	備考	底: アルミ t=2.3 アルマイト 力骨		
[改修] ⑤ AM 引分けオートドア 上段外側しサッシ付				[改修] ⑥ AM 引分けオートドア 上段外側しサッシ付				[改修] ⑦ AM 引分けオートドア 上段外側しサッシ付				[改修] ⑧ AM 引分けオートドア 上段外側しサッシ付			
															
場所	数量	玄関ホール	1	玄関ホール	数量	1	場所	数量	玄関ホール	1	1階大講堂	数量	1		
枠見込	建具見込	110		110	枠見込	建具見込	110	建具見込	110		100	建具見込	100		
材質・仕上	硝子	アルミ電解2次着色	トーメイ t=10 強化ガラス ランマ部分 トーメイ t=6.0	アルミ電解2次着色	硝子	アルミ電解2次着色	アルミ電解2次着色	アルミ電解2次着色	アルミ電解2次着色	アルミ電解2次着色	アルミ電解2次着色	アルミ電解2次着色	アルミ電解2次着色		
金物	自動ドア用金物一式	マットスイッチ 排煙用オペレーター付 (撤去)		自動ドア用金物一式	マットスイッチ	排煙用オペレーター付 (撤去)	金物	自動ドア用金物一式	マットスイッチ	排煙用オペレーター付 (撤去)	自動ドア用金物一式	マットスイッチ	排煙用オペレーター付 (撤去)		
備考					備考		備考								
[改修] ⑨ AM 両開きスチールドア (AT)				[改修] ⑩ AM 両開きスチールドア (AT)				[改修] ⑪ AM 両開きスチールドア (AT)				[改修] ⑫ AM 両開きスチールドア (AT)			
															
場所	数量	1階大講堂	1	1階大講堂	数量	1	場所	数量	中講堂	3	各階EVホール	数量	3		
枠見込	建具見込	100		100	枠見込	建具見込	100	建具見込	100		90	建具見込	90		
材質・仕上	硝子	スチール t=1.6 SOP	外部改修	スチール t=1.6 SOP	硝子	スチール t=1.6 SOP	硝子	スチール t=1.2 SOP	スチール t=1.2 SOP	スチール t=1.2 SOP	スチール t=1.6 SOP	硝子	スチール t=1.6 SOP		
金物	フロアーヒンジ・ドアチェック・シリンドーモノロック錠			フロアーヒンジ・ドアチェック・シリンドーモノロック錠	金物	フロアーヒンジ・ドアチェック・シリンドーモノロック錠	金物	付属金物一式	排煙用オペレーター付 (撤去)		付属金物一式	排煙用オペレーター付 (撤去)			
備考	ドア: パネル内部にロックワール充填			ドア: パネル内部にロックワール充填	備考	ドア: パネル内部にロックワール充填	備考	サッシ内部にロックワール充填	サッシ内部にロックワール充填	備考	サッシ内部にロックワール充填	備考	サッシ内部にロックワール充填		
[改修] ⑬ AM 3連外側しスチール排煙サッシ (AT)				[改修] ⑭ AM スチールガラリ				[改修] ⑮ AM スチールガラリ				[改修] ⑯ AM スチールガラリ			
															
場所	数量	中講堂	3	電気室・機械室	数量	1	場所	数量	電気室・機械室	1	電気室・機械室	数量	1		
枠見込	建具見込	80		80	枠見込	建具見込	80	建具見込	80		80	建具見込	80		
材質・仕上	硝子	スチール t=1.2 SOP		スチール t=1.6 SOP	硝子	スチール t=1.6 SOP	硝子	スチール t=1.6 SOP	スチール t=1.6 SOP	スチール t=1.6 SOP	スチール t=1.6 SOP	スチール t=1.6 SOP	スチール t=1.6 SOP		
金物	付属金物一式	排煙用オペレーター付 (撤去)		付属金物一式	付属金物一式	排煙用オペレーター付 (撤去)	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式		
備考	サッシ内部にロックワール充填			ガラリ部分 (撤去)	備考	ガラリ部分 (撤去)	備考	ガラリ部分 (撤去)	ガラリ部分 (撤去)	備考	ガラリ部分 (撤去)	備考	ガラリ部分 (撤去)		
[改修] ⑰ AM 軽量スチール製片開きハンガー戸				[改修] ⑱ AM アルミパーティション				[改修] ⑲ AM アルミパーティション				[改修] ⑳ AM アルミパーティション			
															
場所	数量	授乳室	1	授乳室	数量	1	場所	数量	授乳室	1	授乳室	数量	1		
枠見込	建具見込	67		67	枠見込	建具見込	67	建具見込	67		67	建具見込	67		
材質・仕上	硝子	化粧鋼板 t=0.8 枠: SOP	型板ガラス t=4.0	アルミ製化粧鋼板パネル	硝子	化粧鋼板 t=0.8 枠: SOP	硝子	化粧鋼板 t=0.8 枠: SOP	型板ガラス t=4.0	アルミ製化粧鋼板パネル	硝子	化粧鋼板 t=0.8 枠: SOP	型板ガラス t=4.0		
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式		
備考	ドア: パネル内部にロックワール充填			ドア: パネル内部にロックワール充填	備考	ドア: パネル内部にロックワール充填	備考	ドア: パネル内部にロックワール充填	ドア: パネル内部にロックワール充填	備考	ドア: パネル内部にロックワール充填	備考	ドア: パネル内部にロックワール充填		
符号・名称	御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日		校閲	設計	校閲	設計	工事名称	図面番号	A-40		
											中央公民館長寿命化改修工事 (その1) 建築主体工事	縮尺	1/50		
											改修前・後 建具表				

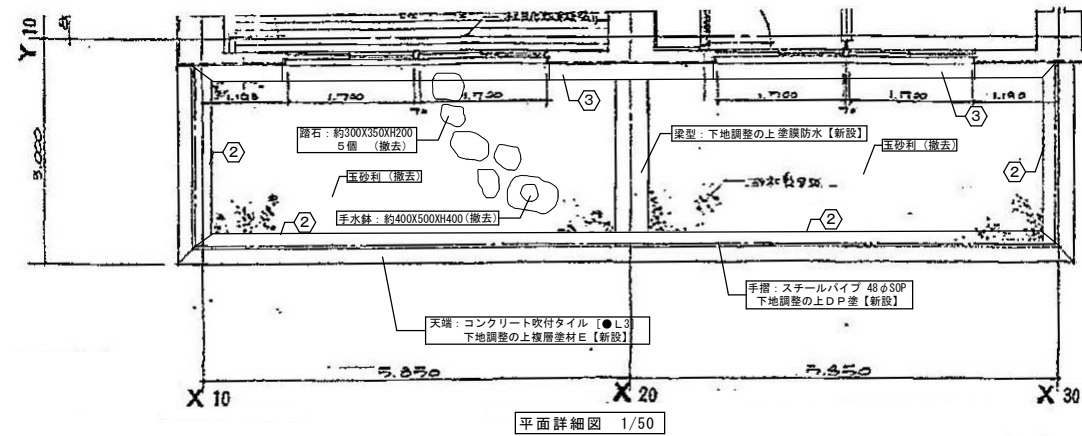


平面詳細図 1/50

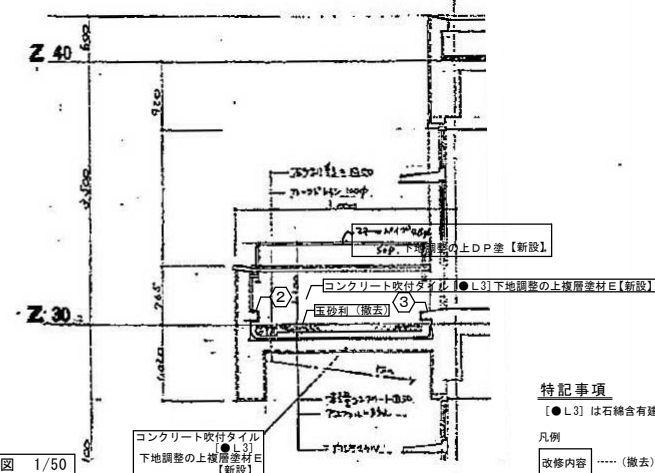


断面詳細図 1/50

特記事項
●L3は石含有建材を示す。
凡例
改修内容【新設】部分仕上を示す。

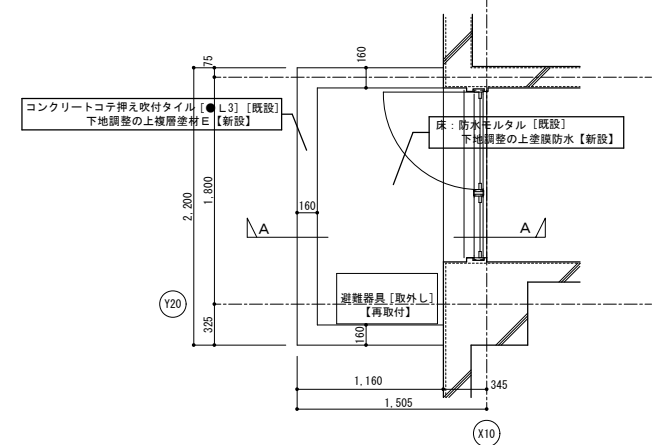


平面詳細図 1/50

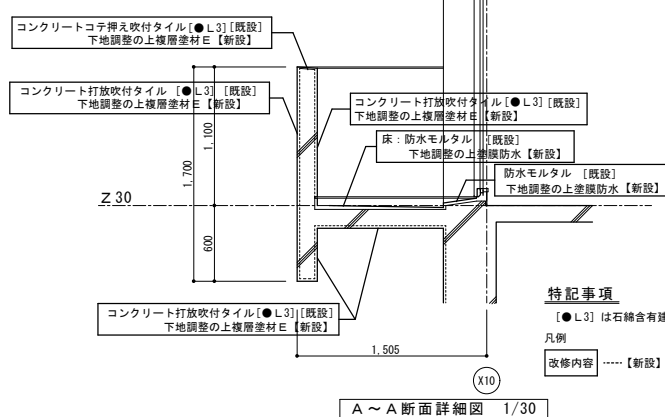


断面詳細図 1/50

特記事項
●L3は石含有建材を示す。
凡例
改修内容【新設】部分仕上を示す。

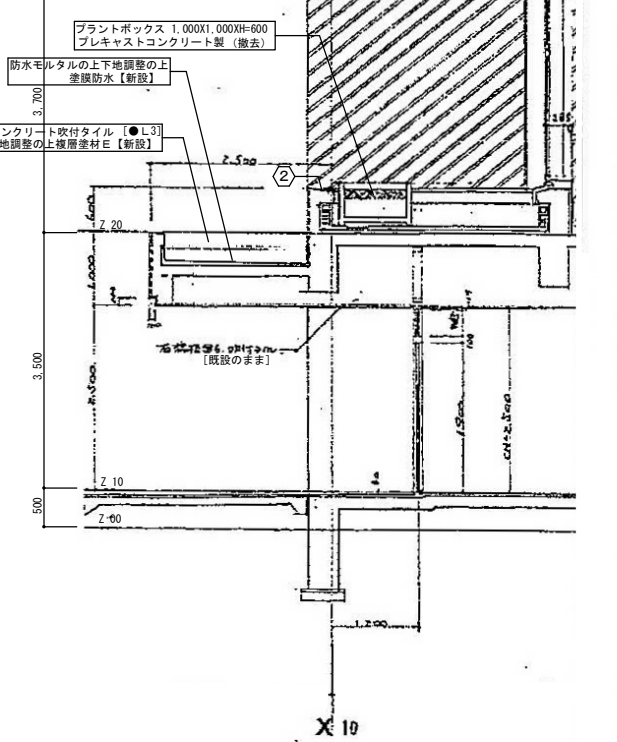


平面詳細図 1/30



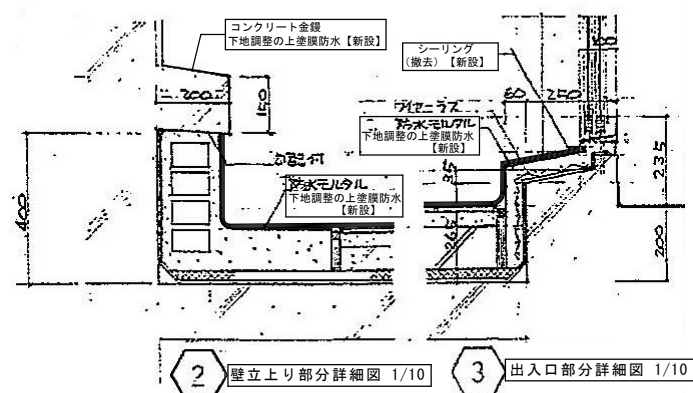
A~A断面詳細図 1/30

特記事項
●L3は石含有建材を示す。
凡例
改修内容【新設】部分仕上を示す。



断面詳細図 1/50

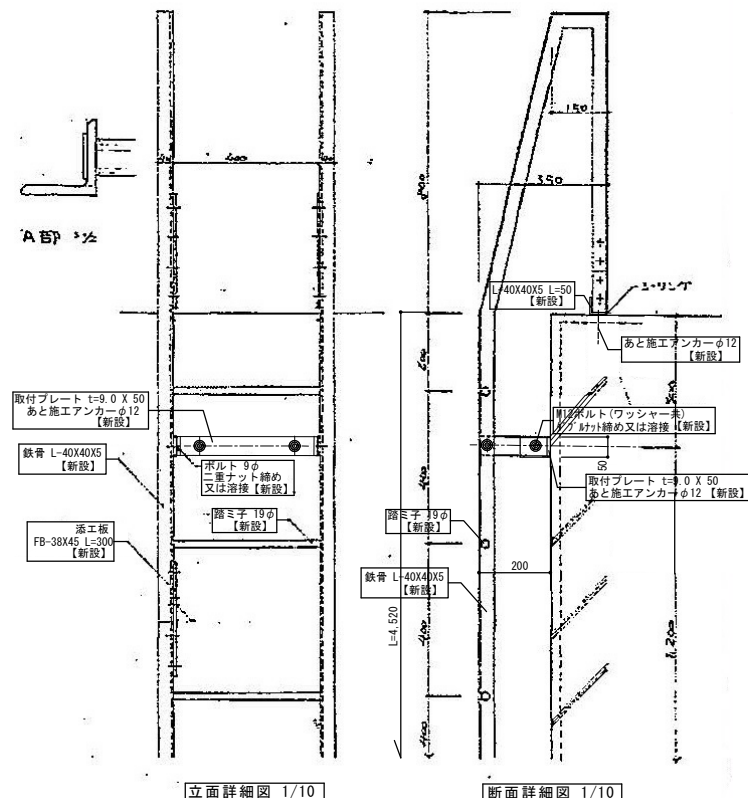
特記事項
●L3は石含有建材を示す。
凡例
改修内容【新設】部分仕上を示す。



2 壁立上り部分詳細図 1/10

3 出入口部分詳細図 1/10

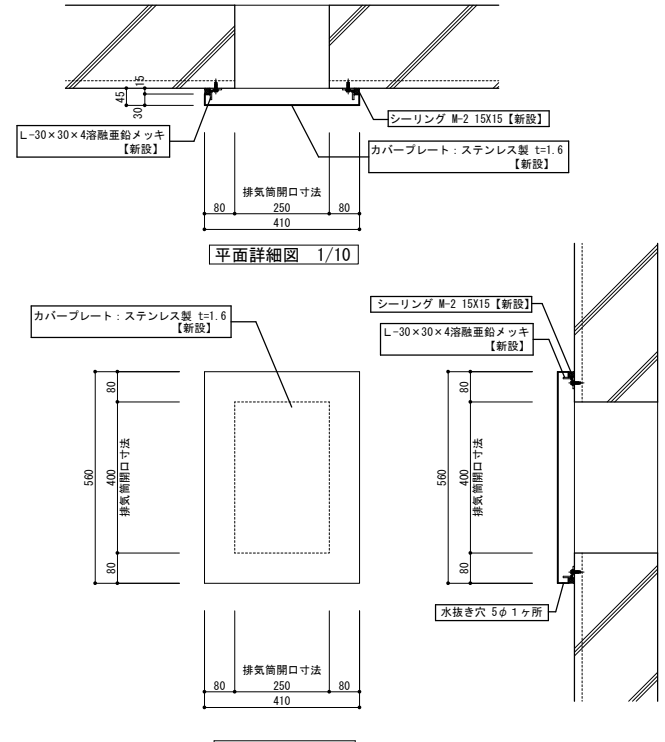
凡例
改修内容【新設】部分仕上を示す。



立面詳細図 1/10

断面詳細図 1/10

特記事項
【新設】タラップの金属は全て溶融亜鉛メッキとする。

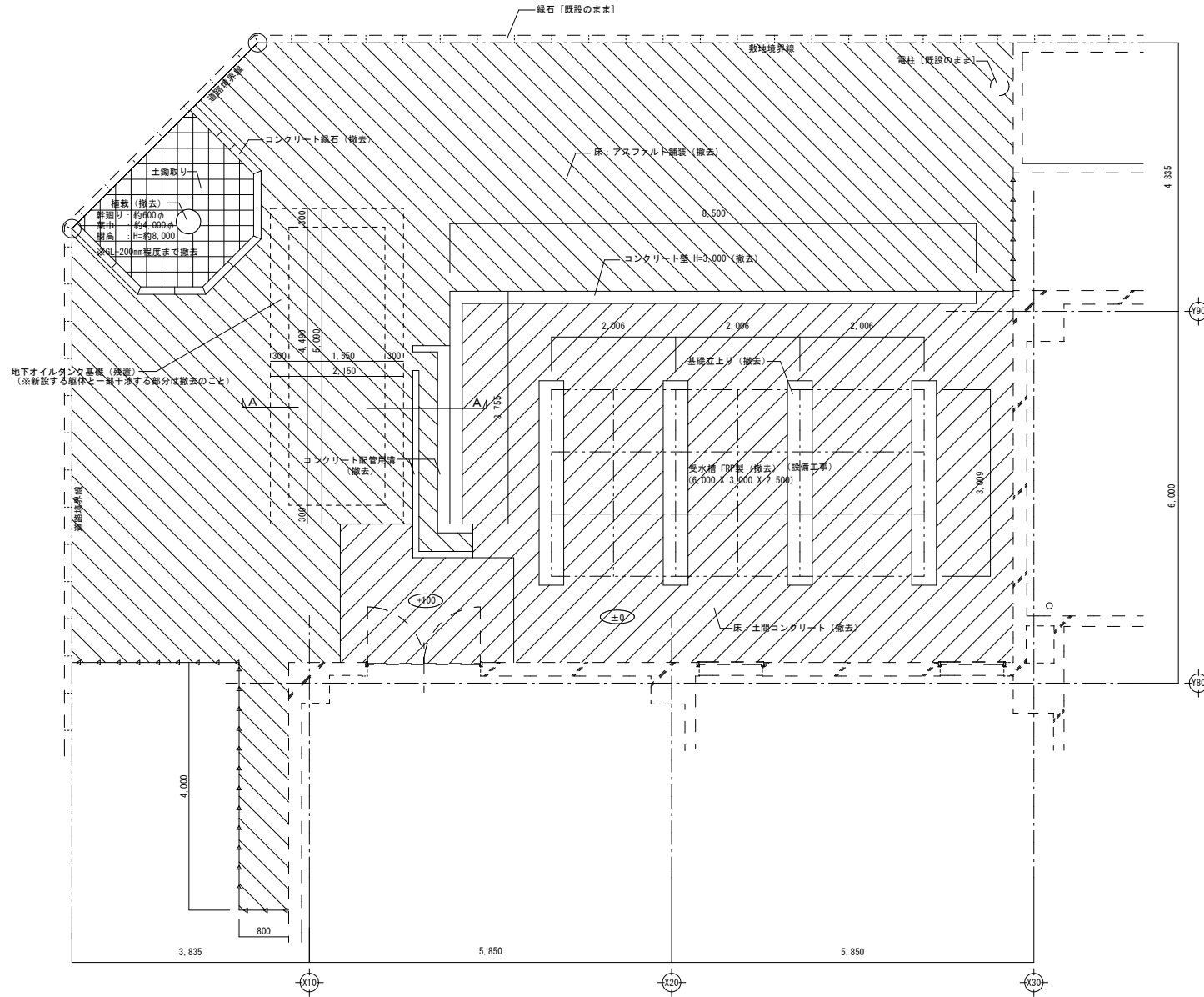


立面図 1/10

断面詳細図 1/10

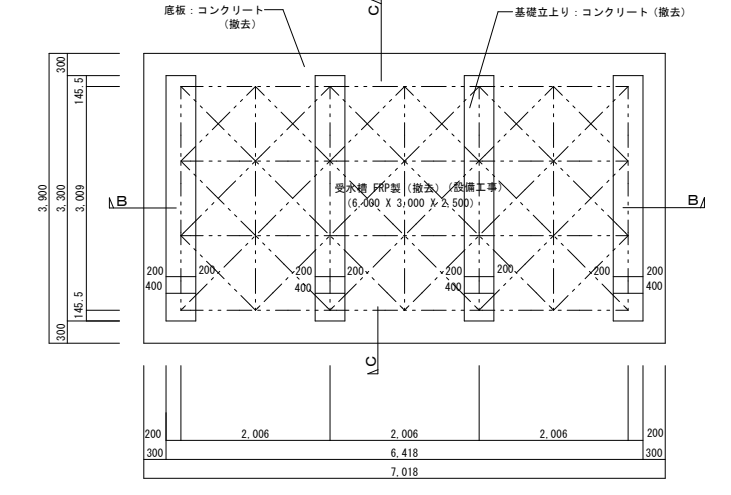
凡例
改修内容【新設】部分仕上を示す。

御注文先	三原市殿	御承認	月 日	中電技術コンサルタント株式会社 1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	校閲 藤本 設計 坂本 1級建築士登録 第262345号 坂本 薫	校閲 藤本 設計 坂本 1級建築士登録 第262345号 坂本 薫	工事名称 中央公民館長寿寿命化改修工事(その1) 建築主体工事 図面名称 改修前・後 改修部分詳細図	図面番号 A-41 縮尺 1/50 1/30 1/10
------	------	-----	-----	---	---	---	---	--

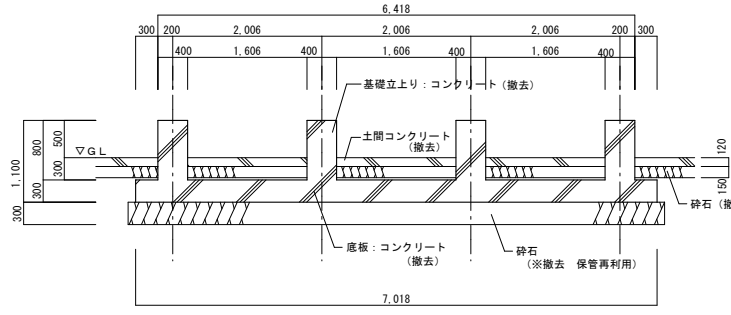


改修前 平面図 1/50

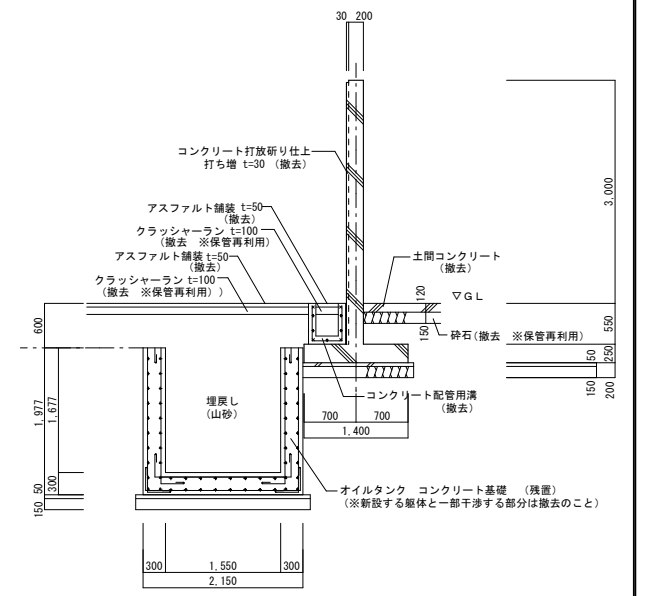
- 凡例
- 既設コンクリート壁 [既設のまま]
 - ← 切断切りの位置を示す。
 - == 既設のままの部分を示す。
 - 土間コンクリート (撤去) 範囲を示す。
 - アスファルト舗装 (撤去) 範囲を示す。
 - 土間取り (撤去) 範囲を示す。



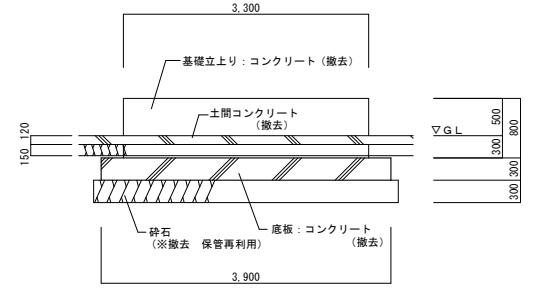
改修前 受水槽基礎平面詳細図 1/50



改修前 受水槽基礎B~B断面詳細図 1/50



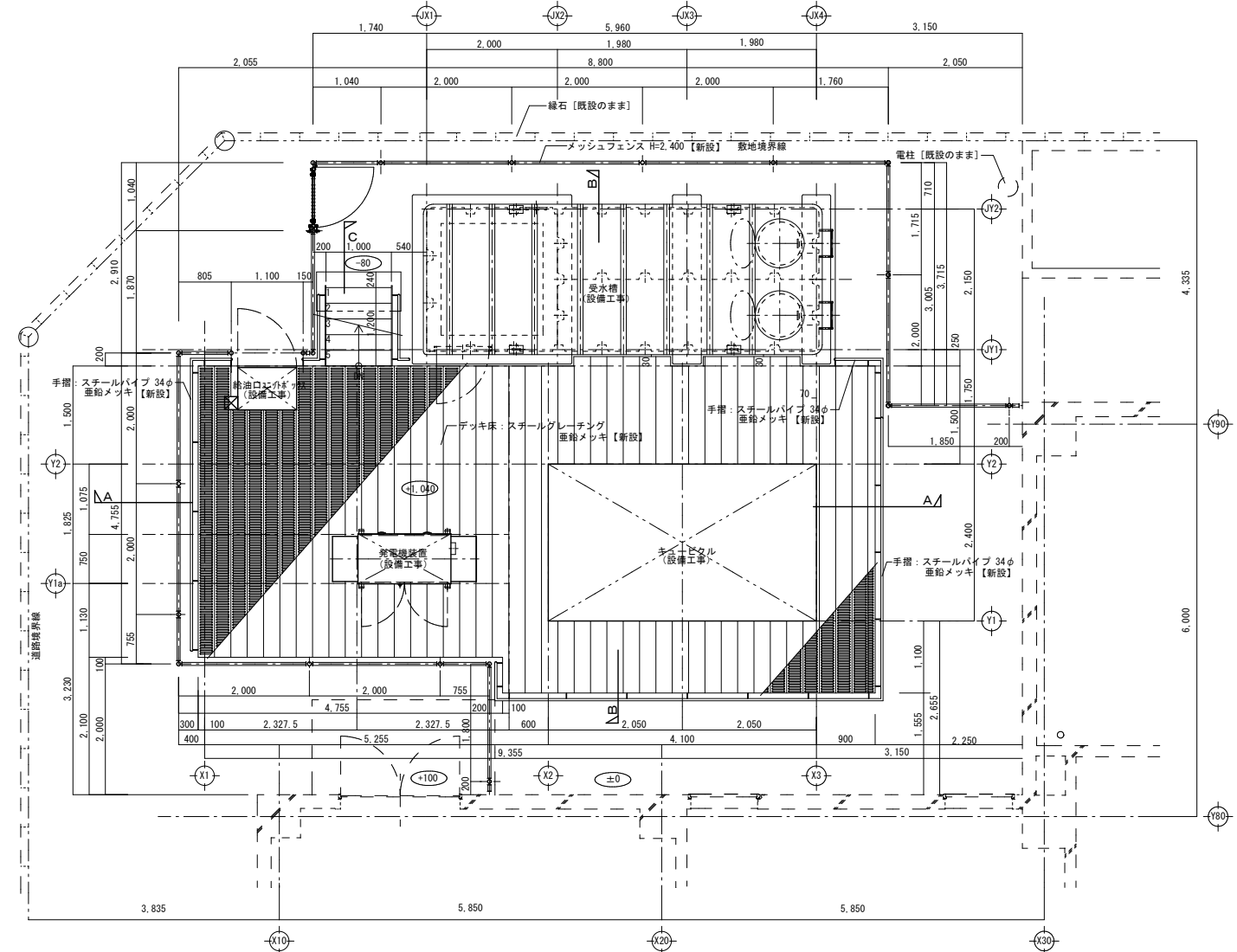
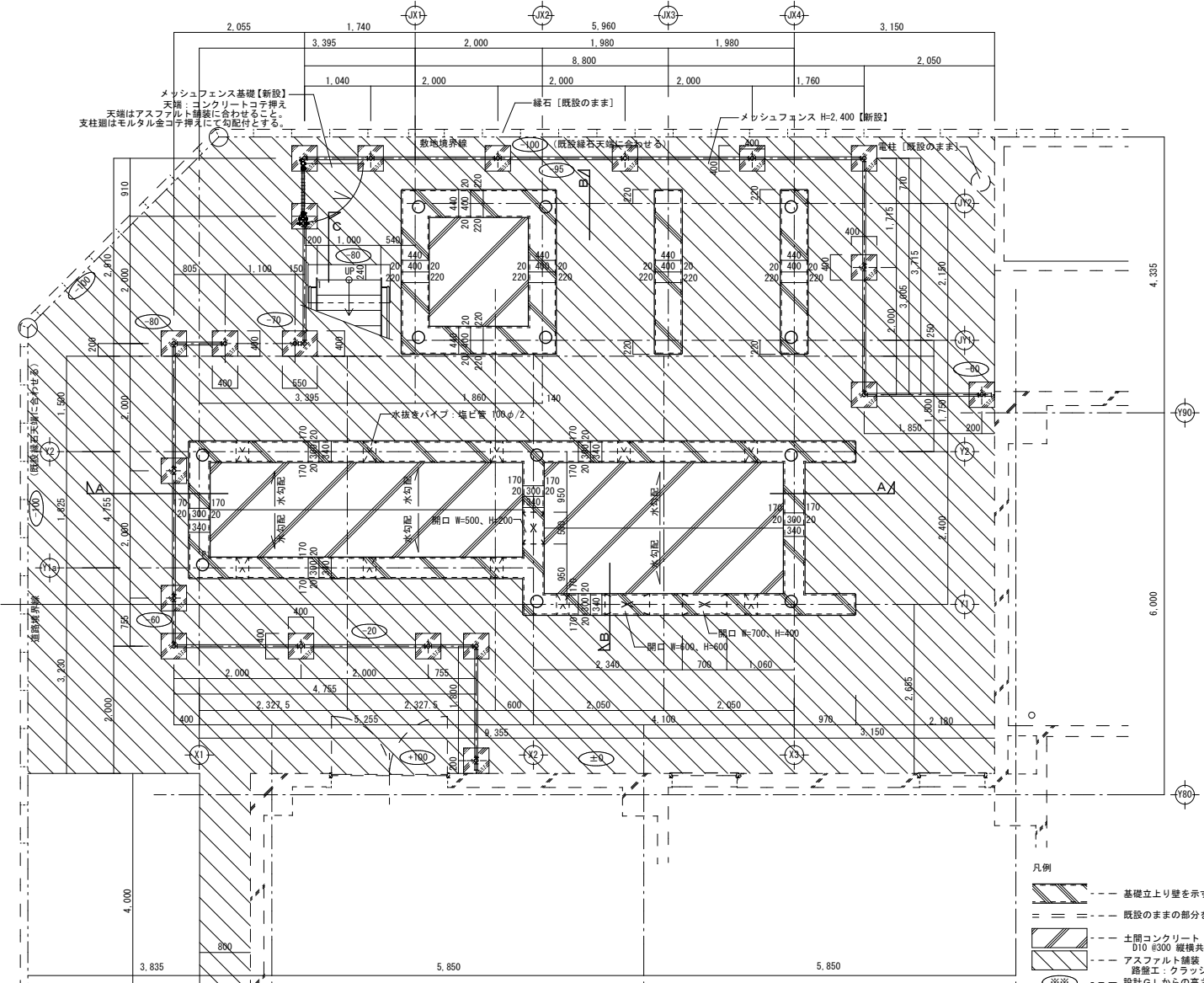
改修前 A~Aコンクリート壁断面詳細図 1/50



改修前 受水槽基礎C~C断面詳細図 1/50

- ※ 計画敷地は土壤汚染対策法における「形質変更時要届出区域」(自然由来特例区域)に指定されている。汚染の拡散を防ぐための必要な措置を行うこと。(※広島県環境管理課と協議、届出が必要)
- ※ 発生土 (汚染土) については、ガイドラインに沿って場内で保管して指定場所に埋戻しを行うこと。場外処分はしない。
- ※ 土砂 (汚染土) に接している既存コンクリートや既存アスファルト等の処分は、洗浄して処分すること。

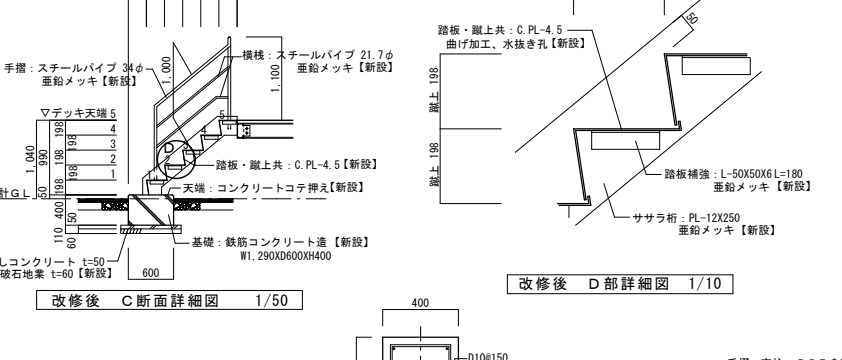
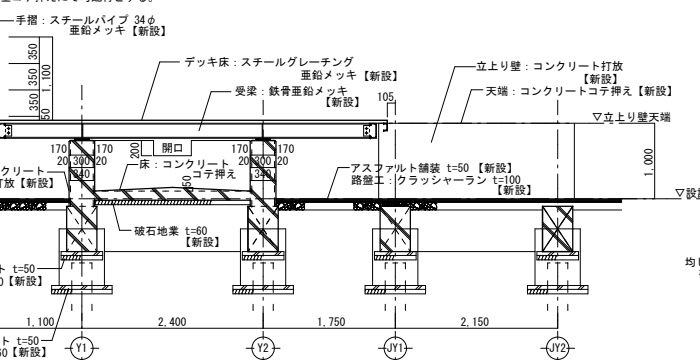
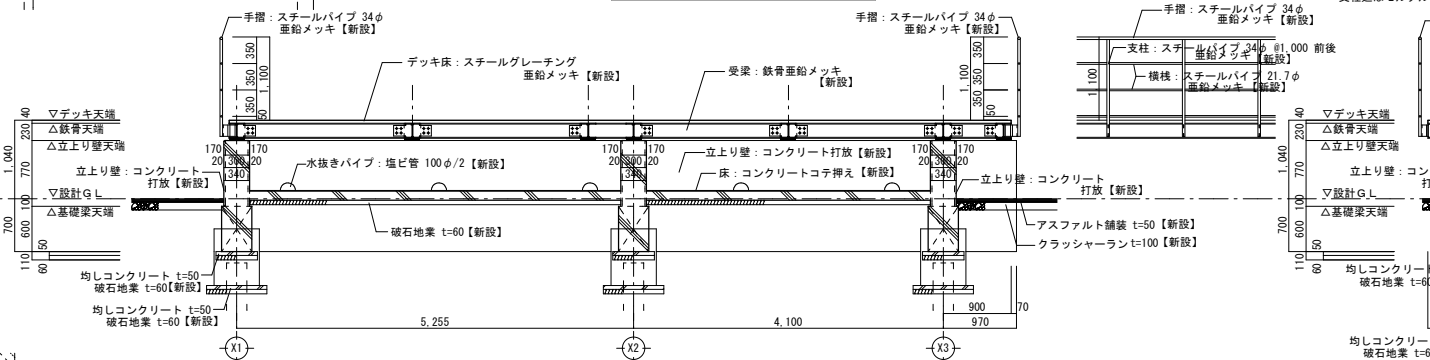
御注文先	三原市殿	御承認	記事	月 日	 中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出沙 2丁目 3番30号 TEL (082) (25) 5501-8	校閲	 藤本 誠二	工事名称	中央公民館長寿命化改修工事 (その1) 建築主体工事	図面番号	A-42
						1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685 号 藤本 誠二 1級建築士登録 第 262345 号 坂本 薫	設計	 坂本 薫	図面名称	改修前 受水槽廻改修詳細図	縮尺



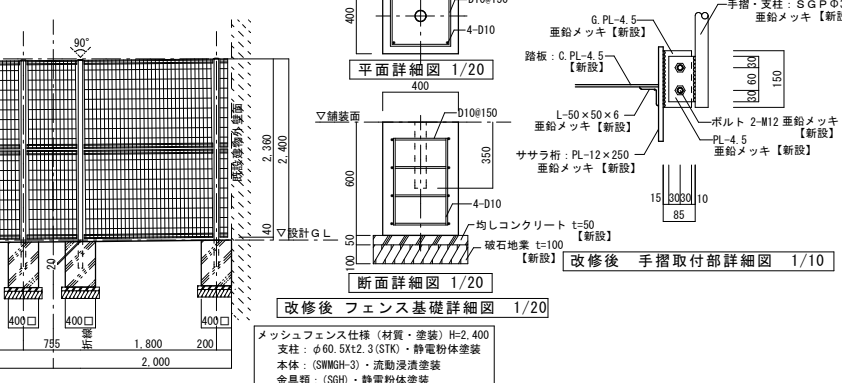
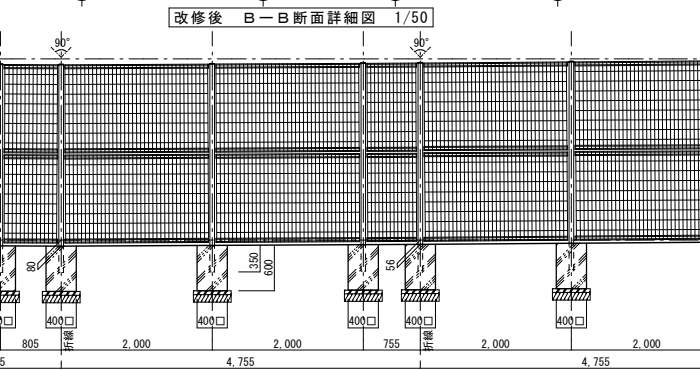
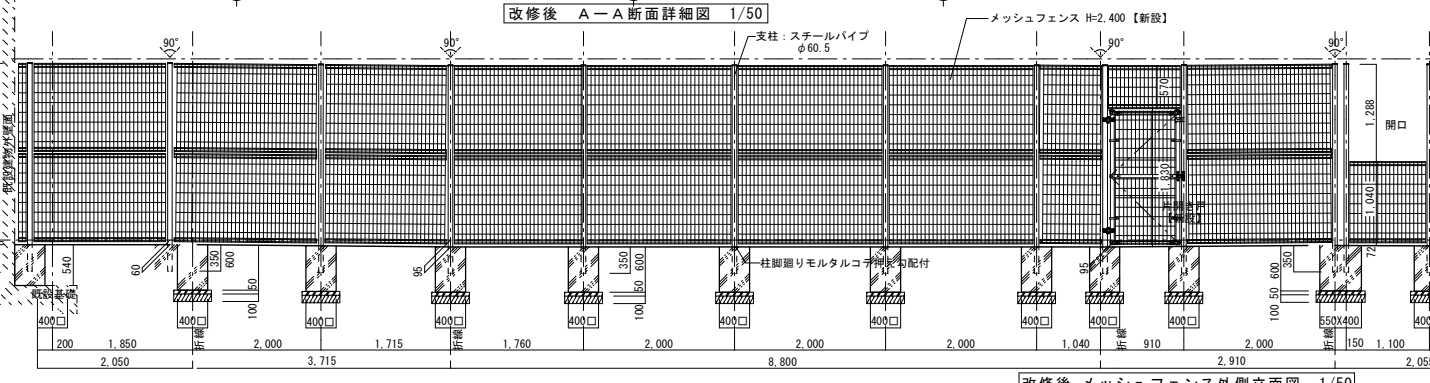
- 凡例
- 基礎立上り壁を示す。【新設】
 - 既設のまゝの部分を示す。
 - 土間コンクリート t=120【新設】範囲を示す。D10 #300 縦筋
 - アスファルト舗装 t=50【新設】範囲を示す。路盤工: クラッシャーラン t=100【新設】
 - 設計G.L.からの高さを示す。
 - メッシュフェンス基礎を示す。400X400XH600【新設】
 - 天端: コンクリートコテ押え 天端はアスファルト舗装に合わせる。支柱間はモルタル金コテ押えにて勾配付とする。

改修後 基礎廻り平面図 1/50

改修後 デッキ面平面図 1/50



改修後 D部詳細図 1/10



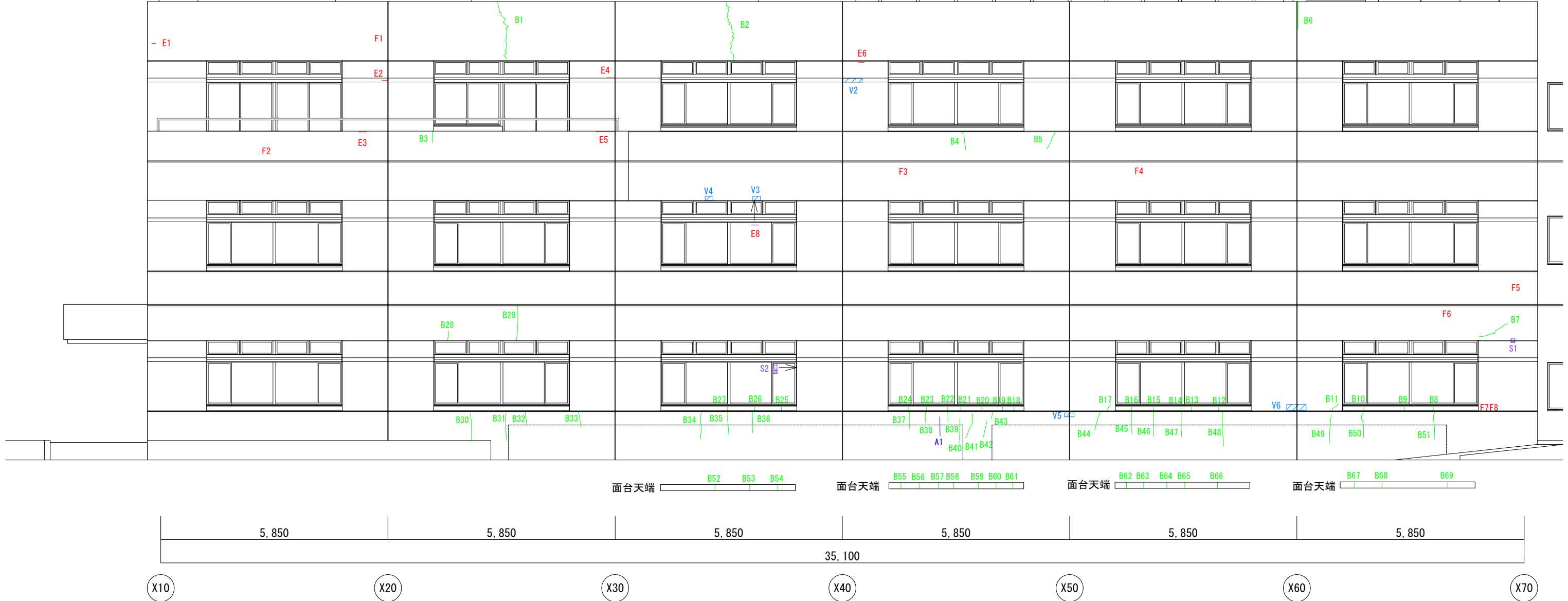
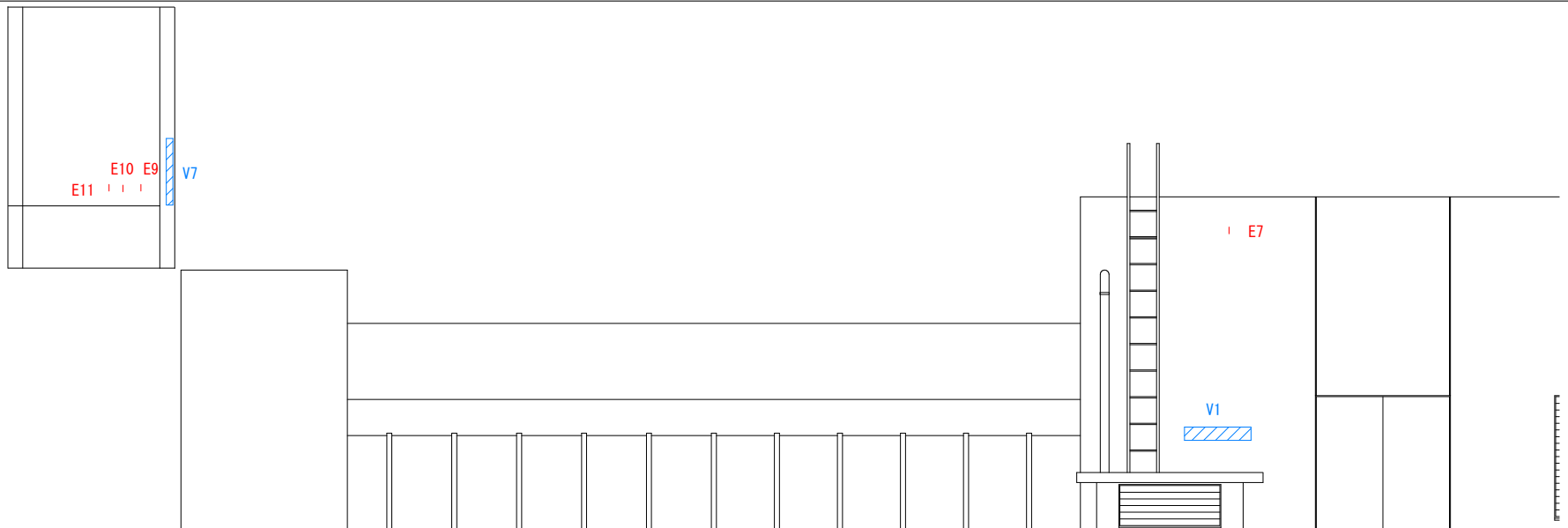
改修後 フェンス基礎詳細図 1/20

凡 例		外壁改修工事 特記仕様書 記号
記号	名 称	
AO	ひび割れ(幅0.2mm未満)	B-1 B-7
BO	ひび割れ(幅0.2mm以上~1.0mm未満)	
DO	ひび割れ(幅1.0mm以上)	B-2 B-6
EO	錆跡	C-1
FO	錆跡(箇所)	C-1
HO	浮き(0.25mm未満)一般部	D-2
JO	浮き(0.25mm未満)換幅部	D-2
MO	浮き(0.25mm以上)換幅部	D-3
SO	欠損	E-1
VO	硝子を伴う欠損	D-1

※劣化部の設計数量は調査数量×5倍を見込む
ただし、ひび割れ部の設計数量は調査数量×2倍を見込む

※外壁の下部隠蔽材にはアスベストを含有している。
外壁改修には劣化部のアスベスト除去を見込む。

内壁



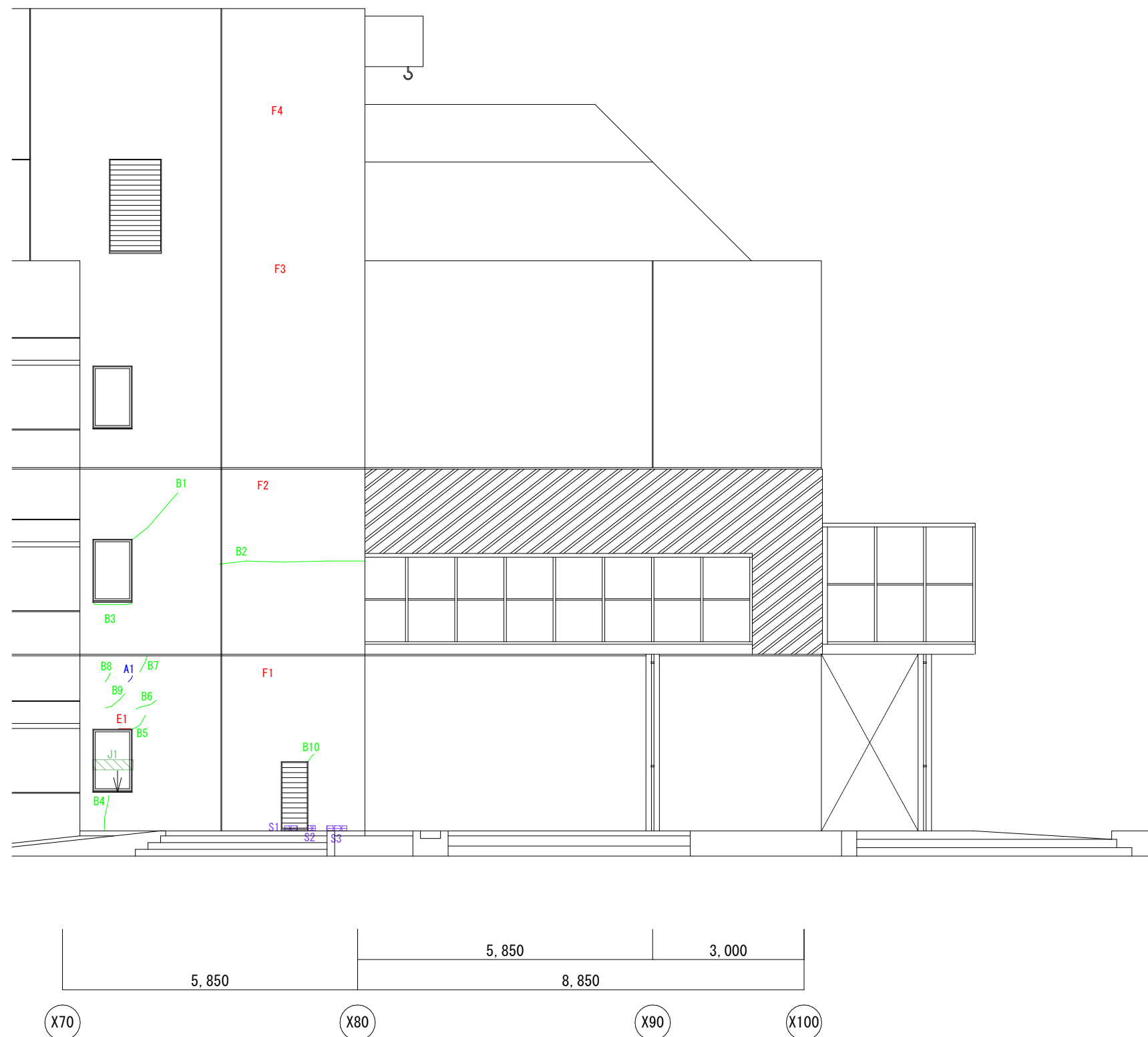
南立面図1

御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出歩 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685 号 藤本 誠二	1級建築士登録 第 262345 号 坂本 薫	校閲 藤本 設計 坂本	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1)建築主体工事 図面名称 南立面図1(外壁劣化部 参考図)	図面番号 A-44 縮尺 1/50
								設計年月日 2025.03		※A3: 50%縮小

凡 例		外壁改修工事 特記仕様書 (記号)
記号	名称	
A1	ひび割れ(幅0.2mm未満)	B-1、B-4
B1	ひび割れ(幅0.2mm以上～1.0mm未満)	
D1	ひび割れ(幅1.0mm以上)	
E1	剥離筋	
F1	剥離筋(箇所)	C-1
H1	砂吹き(0.25㎡未満)一般部	D-2
J1	砂吹き(0.25㎡未満)換気部	D-2
M1	砂吹き(0.25㎡以上)換気部	D-3
S1	欠損	E-1
V1	断りを伴う欠損	E-2

※劣化部の設計数量は調査数量×5倍を見込む
ただし、ひび割れ部の設計数量は調査数量×2倍を見込む

※外壁の下部調整材にはアスベストを含有している。
外壁改修には劣化部のアスベスト除去を見込む。



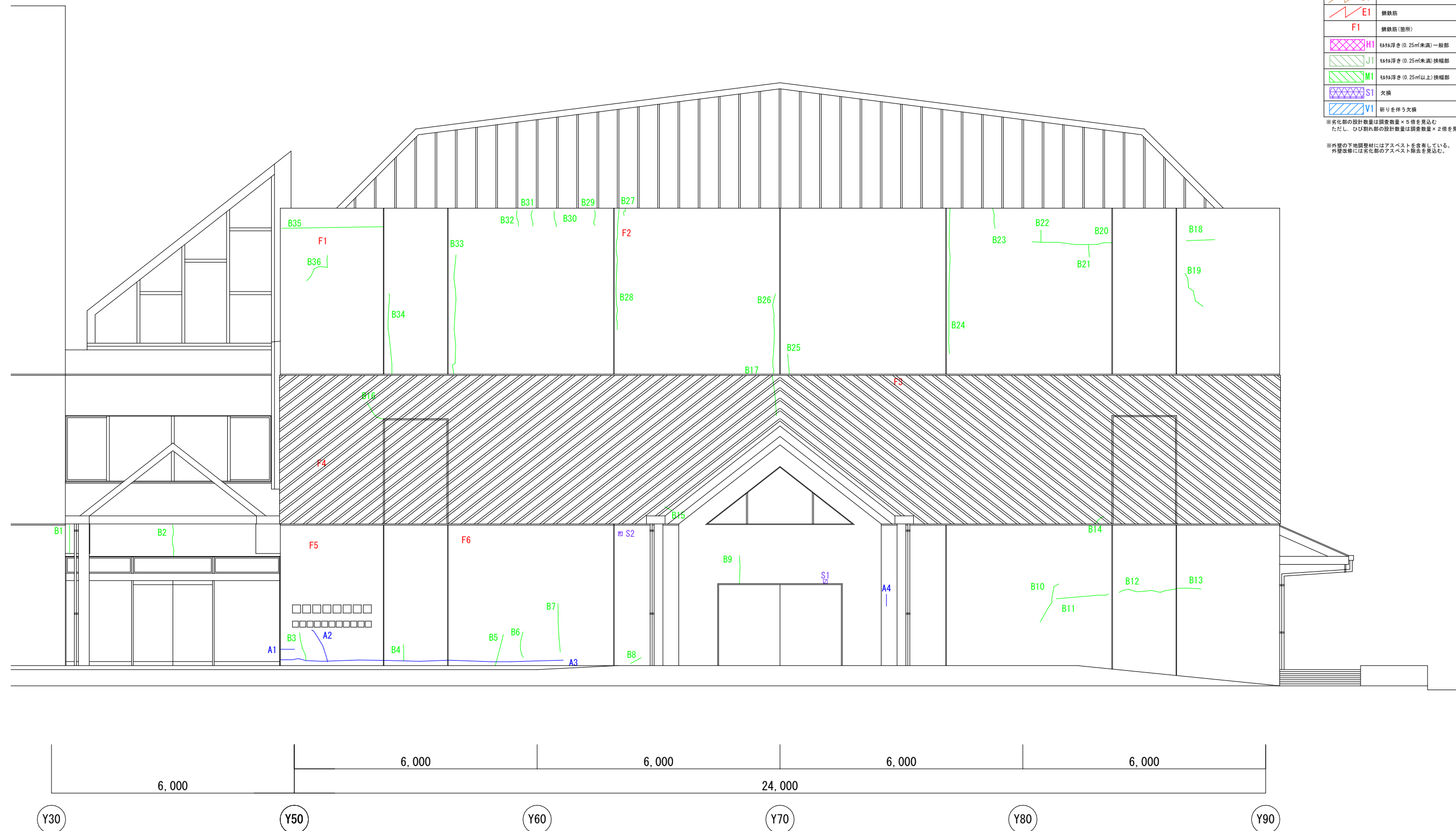
南立面図2

御注文先	三原市殿	御承認	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出歩 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685 号 藤本 誠二	1級建築士登録 第 262345 号 坂本 薫	校閲 藤本	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1)建築主体工事	図面番号 A-45
			記事				設計 坂本	設計年月日 2025.03	図面名称 南立面図2(外壁劣化部 参考図)
									縮尺 1/50

凡 例		外壁改修工事 特記仕様書 (記号)
記号	名 称	
A1	ひび割れ(幅0.2mm未満)	B-1, B-4
B1	ひび割れ(幅0.2mm以上~1.0mm未満)	
D1	ひび割れ(幅1.0mm以上)	
E1	錆跡	
F1	錆跡(箇所)	C-1
H1	珪藻土(0.25㎡未満)一般部	D-2
J1	珪藻土(0.25㎡未満)狭幅部	D-2
M1	珪藻土(0.25㎡以上)狭幅部	D-3
S1	欠損	E-1
V1	継ぎを伴う欠損	E-2

※劣化部の設計数量は調査数量×0.5倍を見込む
ただし、ひび割れ部の設計数量は調査数量×2倍を見込む

※外壁の下地調整材にはアスベストを含有している。
外壁改修には劣化部のアスベスト除去を見込む。



東立面図1

御注文先	三原市殿	御承認	月 日	 中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出歩 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685号 藤本 誠二 1級建築士登録 第 262345号 坂本 薫	校閲  設計 	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1)建築主体工事 図面名称 東立面図1(外壁劣化部 参考図)	図面番号 A-46 縮尺 1/50
------	------	-----	-----	--	---	--	--	----------------------------

※A3: 50%縮小

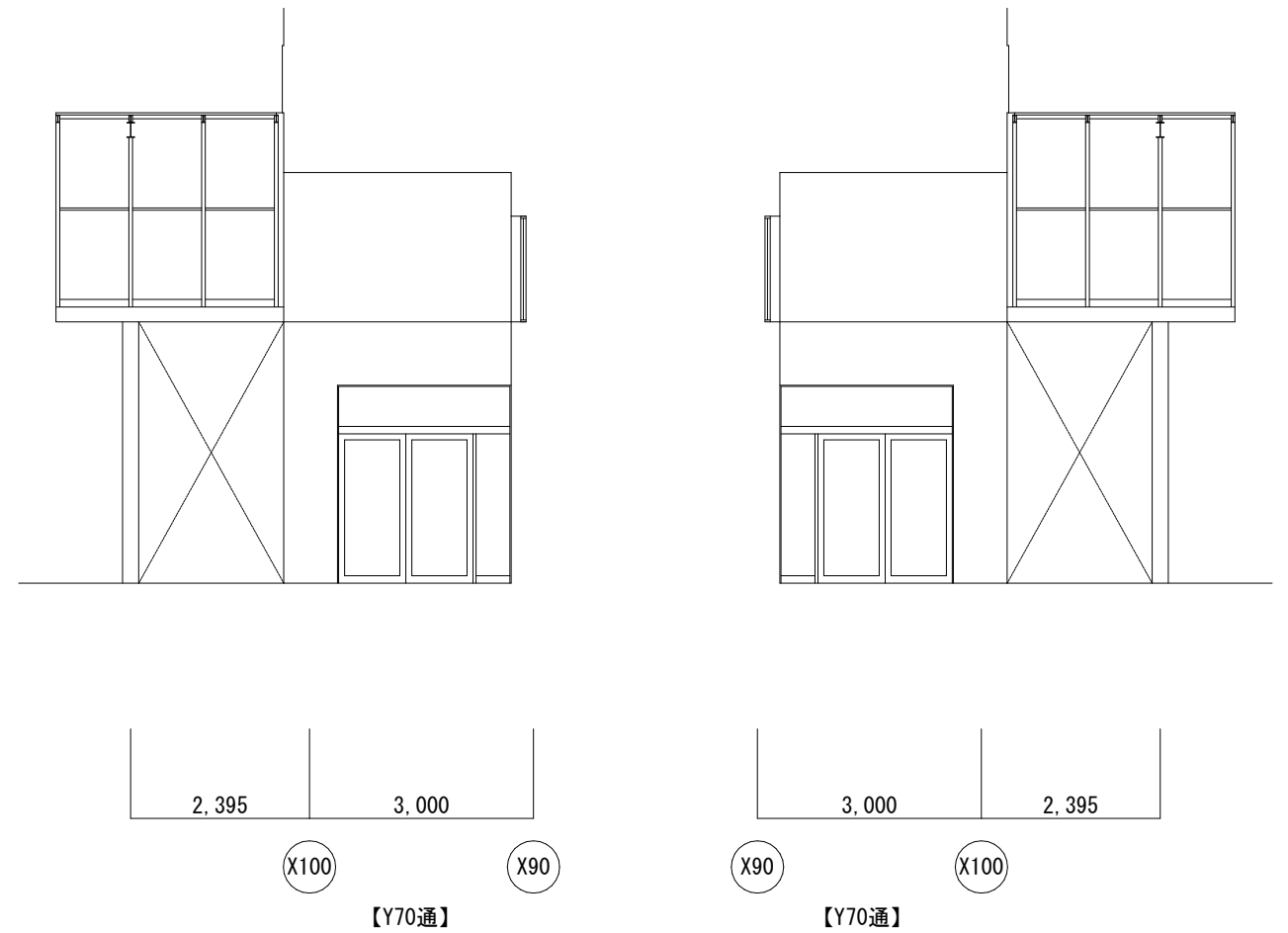
凡 例		外壁改修工事 特記仕様書 (記 号)
記 号	名 称	
A1	ひび割れ(幅0.2mm未満)	B-1, B-4
B1	ひび割れ(幅0.2mm以上~1.0mm未満)	
D1	ひび割れ(幅1.0mm以上)	
E1	錆鉄筋	
F1	錆鉄筋(箇所)	C-1
HI	砂状浮き(0.25㎡未満)一般部	D-2
J1	砂状浮き(0.25㎡未満)換気部	D-2
M1	砂状浮き(0.25㎡以上)換気部	D-3
S1	欠損	E-1
V1	斬りを伴う欠損	E-2

※劣化部の設計数量は調査数量×5倍を見込む。
ただし、ひび割れ部の設計数量は調査数量×2倍を見込む。

※外壁の下地調整材にはアスベストを含有している。
外壁改修には劣化部のアスベスト除去を見込む。



東立面図2



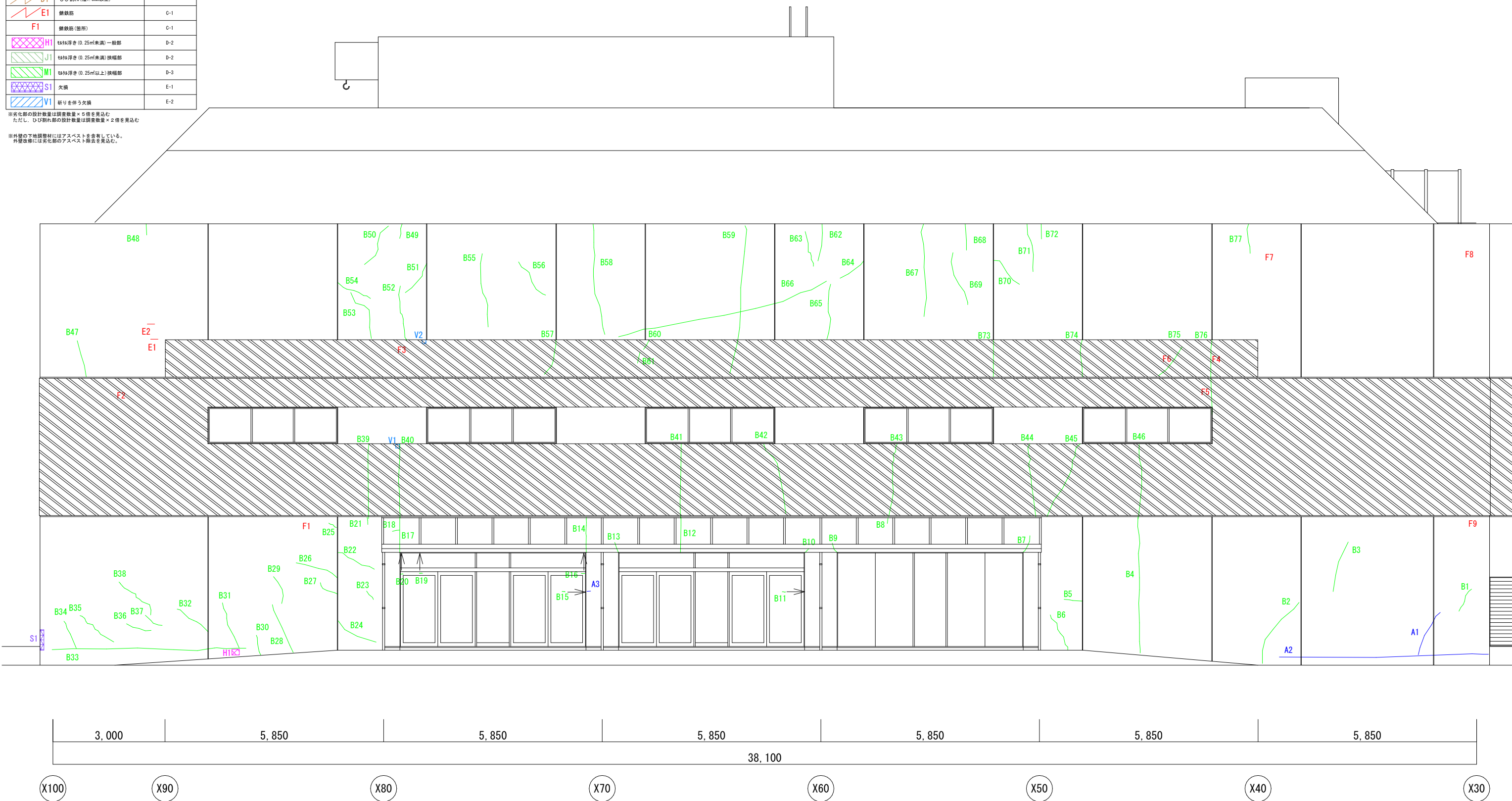
東展開図1

御注文先	三原市殿	御承認	月 日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出歩 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685 号 藤本 誠二	1級建築士登録 第 262345 号 坂本 薫	校閲 藤本	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1) 建築主体工事	図面番号 A-47
			記事				設計 坂本	設計年月日 2025.03	図面名称 東立面図2・東展開図1(外壁劣化部 参考図)
									縮尺 1/50

凡 例		外壁改修工事 特記仕様書 (記号)
記号	名称	
A1	ひび割れ(幅0.2mm未満)	B-1, B-4
B1	ひび割れ(幅0.2mm以上~1.0mm未満)	
D1	ひび割れ(幅1.0mm以上)	
E1	鉄筋	
F1	鉄筋(箇所)	C-1
H1	鉄筋浮き(0.25㎡未満)一般部	D-2
J1	鉄筋浮き(0.25㎡未満)換気部	D-2
M1	鉄筋浮き(0.25㎡以上)換気部	D-3
S1	欠損	E-1
V1	断りを伴う欠損	E-2

※劣化部の設計数量は調査数量×5倍を見込む
ただし、ひび割れ部の設計数量は調査数量×2倍を見込む

※外壁の下地調整材にはアスベストを含有している。
外壁改修には劣化部のアスベスト除去を見込む。



北立面図1

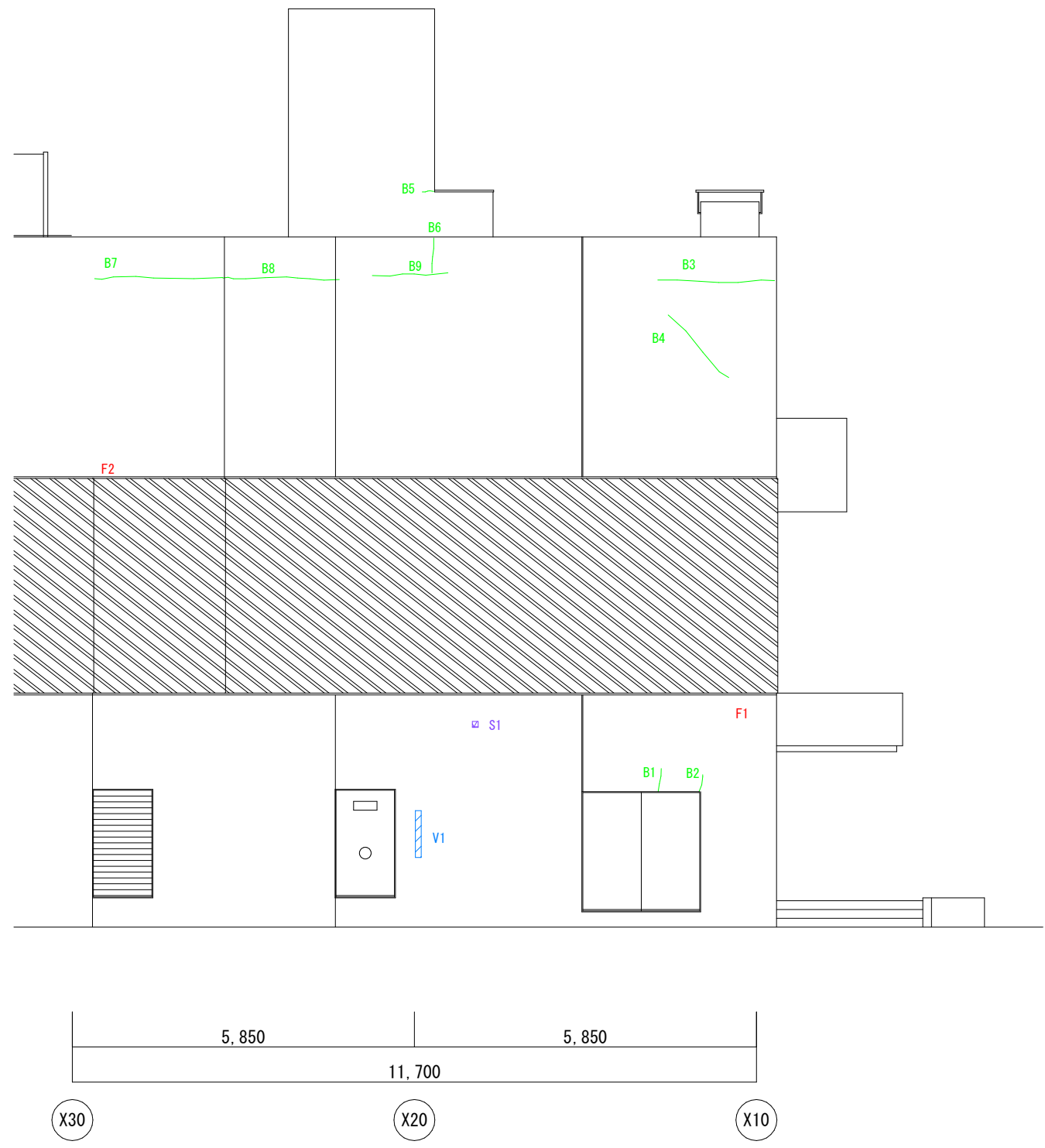
御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出歩 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第 262345号 坂本 薫	校閲 藤本	設計 坂本	設計年月日 2025.03	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1)建築主体工事	図面番号 A-48
										図面名称 北立面図1(外壁劣化部 参考図)	縮尺 1/50	

※A3: 50%縮小

凡 例		外壁改修工事 種別・数量 (記号)
A1	ひび割れ(幅0.2mm未満)	
B1	ひび割れ(幅0.2mm以上~1.0mm未満)	B-1, B-4
D1	ひび割れ(幅1.0mm以上)	B-2
E1	錆跡	C-1
F1	錆跡(箇所)	C-1
H1	砂状浮き(0.25㎡未満)一般部	D-2
J1	砂状浮き(0.25㎡未満)換気部	D-2
M1	砂状浮き(0.25㎡以上)換気部	D-3
S1	欠損	E-1
V1	研りを伴う欠損	E-2

※劣化部の設計数量は調査数量×5倍を見込む
ただし、ひび割れ部の設計数量は調査数量×2倍を見込む

※外壁の下部断材にはアスベストを含有している。
外壁改修には劣化部のアスベスト除去を見込む。



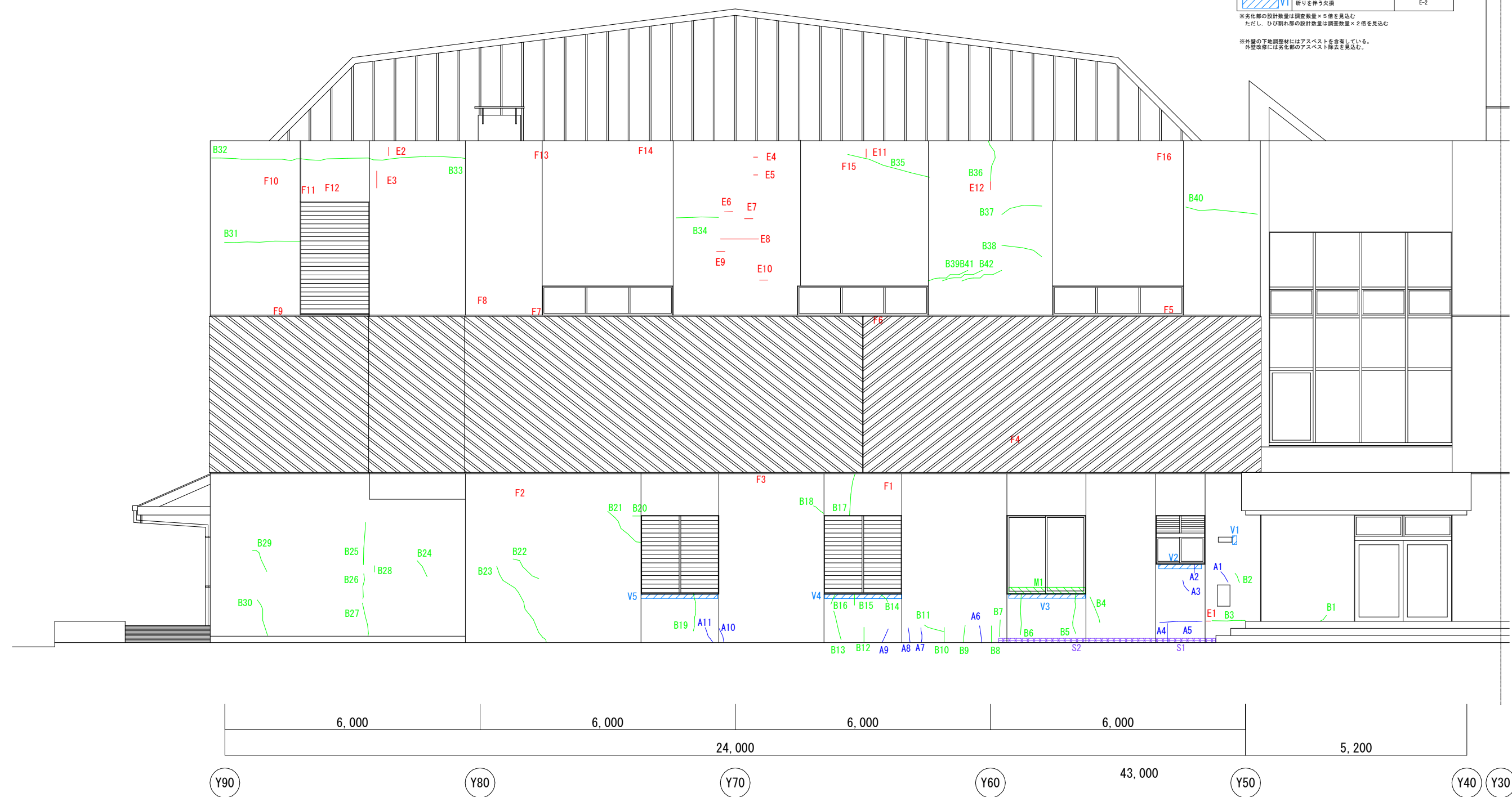
北立面図2

御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第 262345号 坂本 薫	校閲 藤本	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1)建築主体工事	図面番号 A-49	
								設計 坂本	設計年月日 2025.03	図面名称 北立面図2(外壁劣化部 参考図)	縮尺 1/50

凡 例		外壁改修工事 特記仕様書 (記号)
	A1 ひび割れ(幅0.2mm未満)	
	B1 ひび割れ(幅0.2mm以上~1.0mm未満)	B-1, B-4
	D1 ひび割れ(幅1.0mm以上)	B-2
	E1 鋼鉄筋	C-1
	F1 鋼鉄筋(箇所)	C-1
	H1 砂吹浮き(0.25mm未満)一般部	D-2
	J1 砂吹浮き(0.25mm未満)換気部	D-2
	M1 砂吹浮き(0.25mm以上)換気部	D-3
	S1 欠損	E-1
	V1 断りを伴う欠損	E-2

※劣化部の設計数量は調査数量×5倍を見込む
 ただし、ひび割れ部の設計数量は調査数量×2倍を見込む

※外壁の下部断材にはアスベストを含有している。
 外壁改修には劣化部のアスベスト除去を見込む。



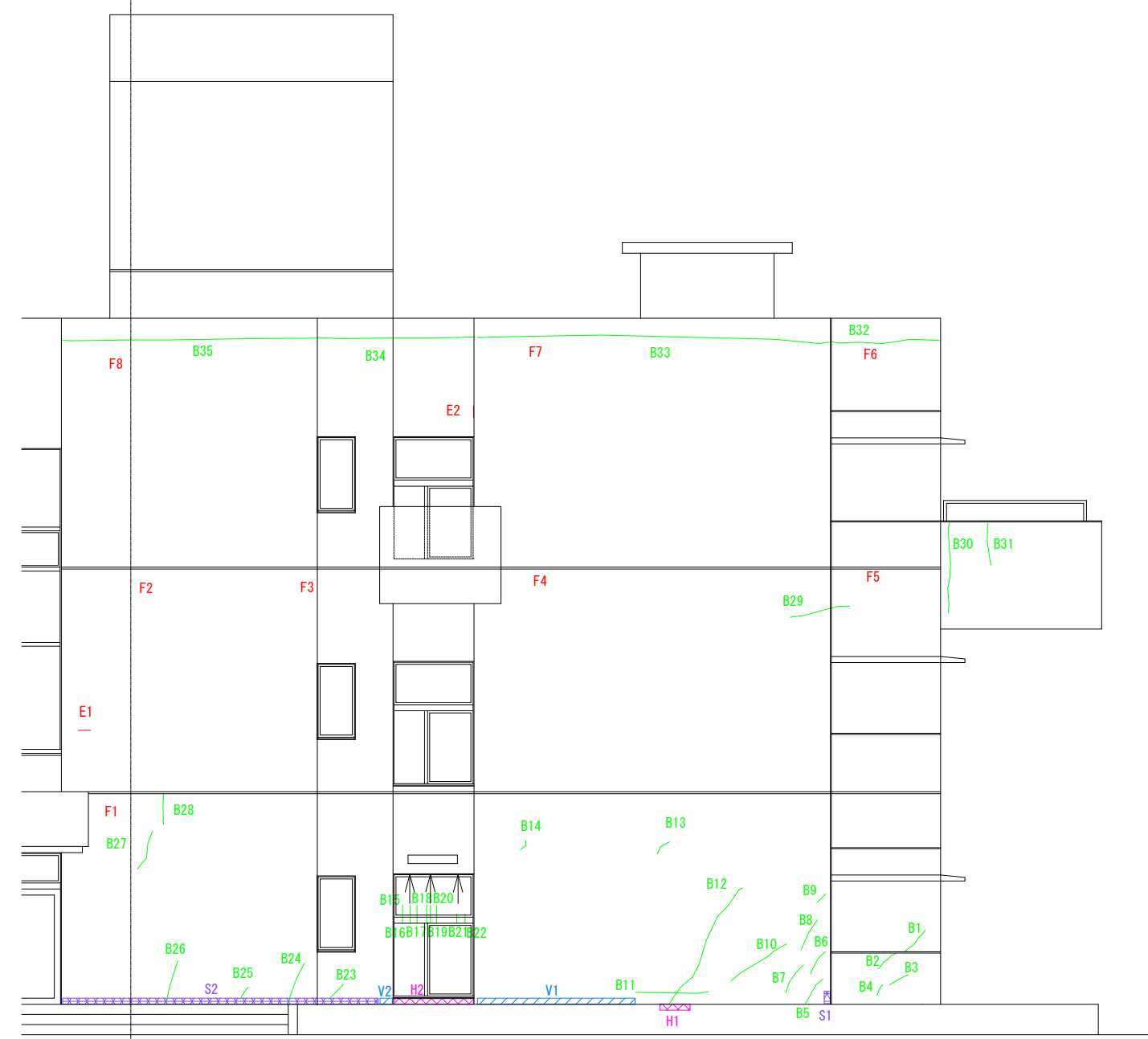
西立面図1

御注文先	三原市殿	御承認	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出歩 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685号 藤本 誠二 1級建築士登録 第 262345号 坂本 薫	校閲 藤本 設計 坂本	工事名称 中央公民館長寿寿命化改修工事(その1) 建築主体工事 図面名称 西立面図1(外壁劣化部 参考図) 設計年月日 2025.03	図面番号 A-50 縮尺 1/50 ※A3: 50%縮小
------	------	-----	----	---	---	------------------	---	------------------------------------

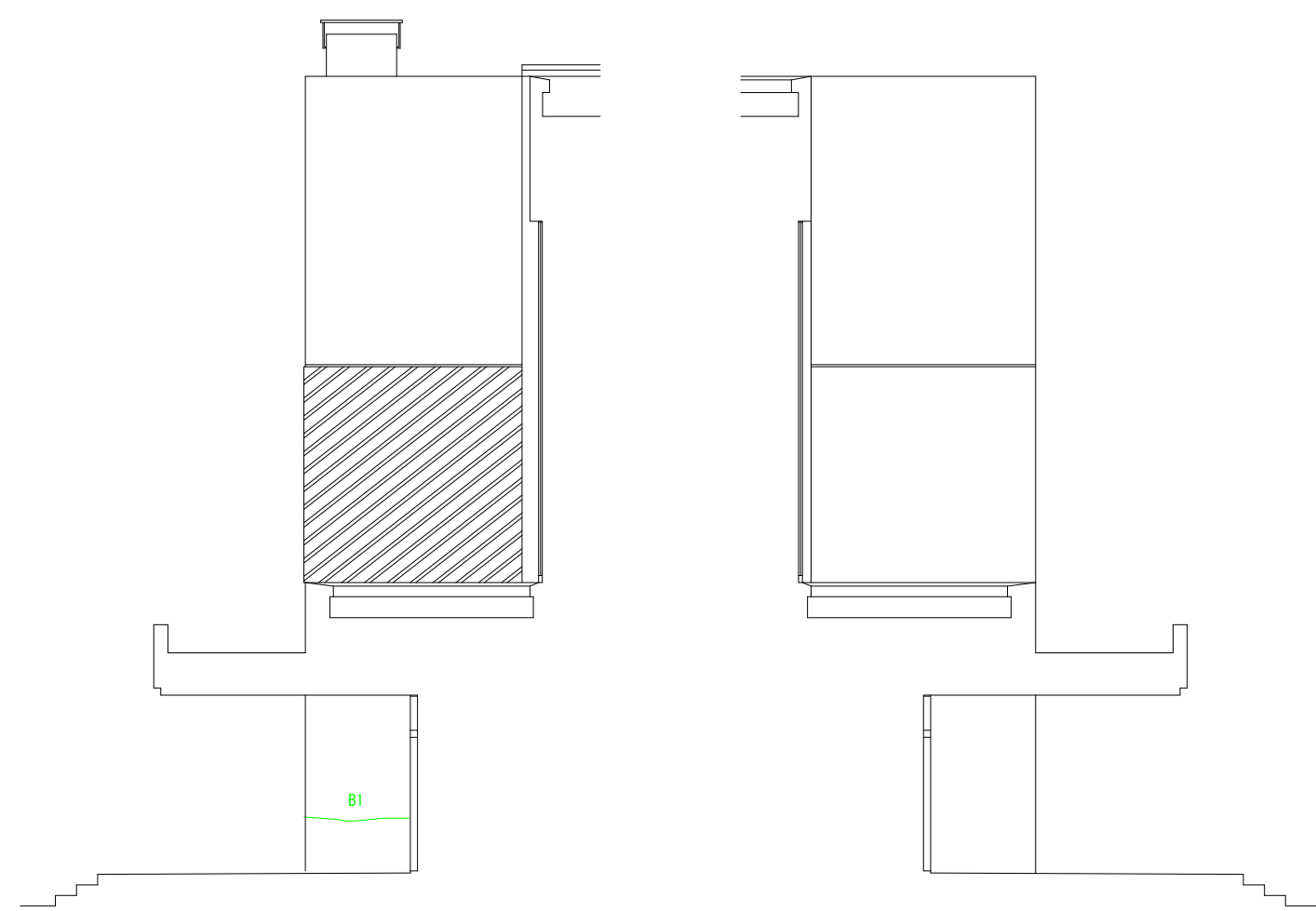
凡 例		外壁改修工事 特記仕様書 (記号)
記号	名 称	
A1	ひび割れ(幅0.2mm未満)	B-1, B-4
B1	ひび割れ(幅0.2mm以上~1.0mm未満)	
D1	ひび割れ(幅1.0mm以上)	
E1	錆跡	
F1	錆跡(箇所)	C-1
H1	砂状浮き(0.25㎡未満)一般部	D-2
J1	砂状浮き(0.25㎡未満)換気部	D-2
M1	砂状浮き(0.25㎡以上)換気部	D-3
S1	欠損	E-1
V1	断りを伴う欠損	E-2

※劣化部の設計数量は調査数量×5倍を見込む
 ただし、ひび割れ部の設計数量は調査数量×2倍を見込む

※外壁の下部調整材にはアスベストを含有している。
 外壁改修には劣化部のアスベスト除去を見込む。



西立面図2

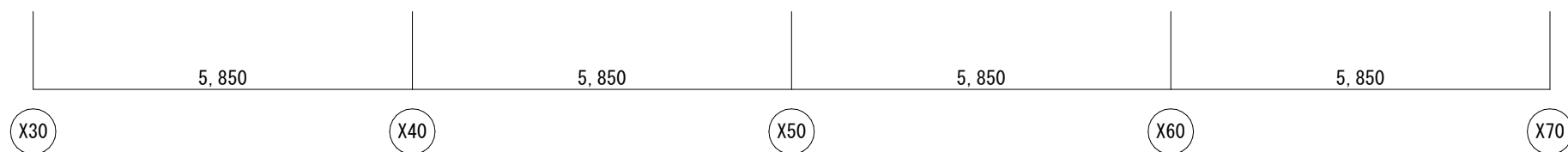
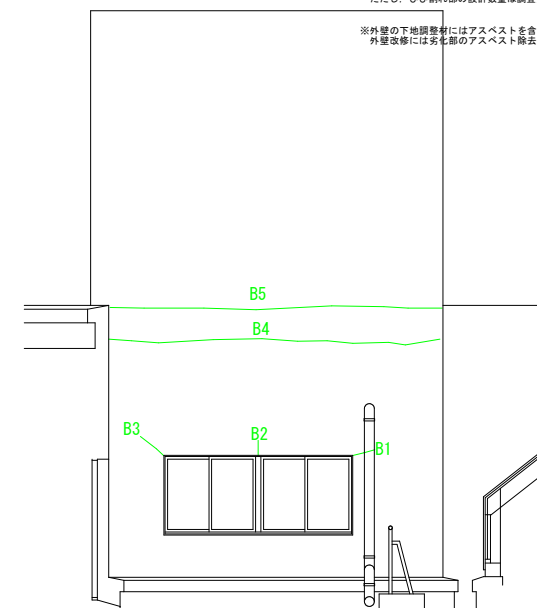
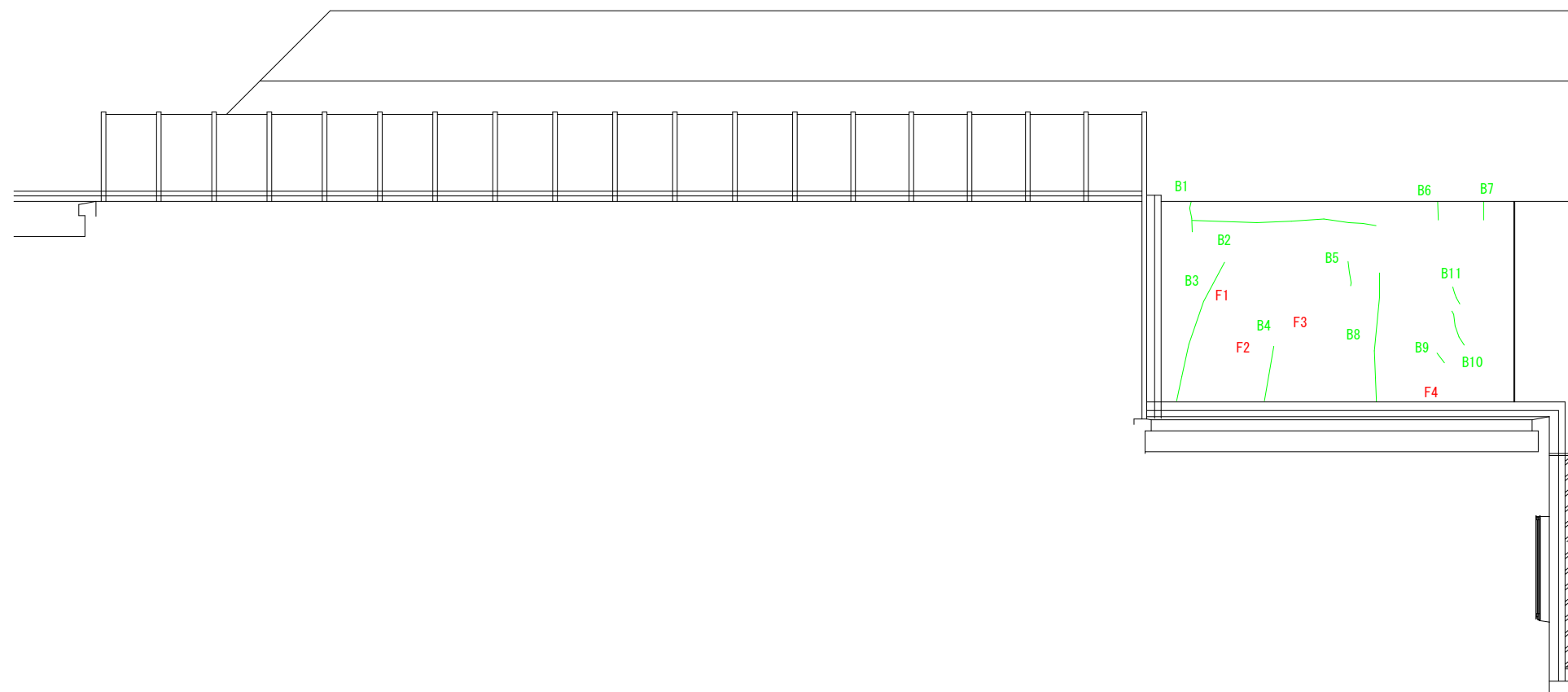


西展開図1

凡 例		外壁改修工事 特記仕様書 (記号)
記号	名 称	
	A1 ひび割れ(幅0.2mm未満)	B-1, B-4
	B1 ひび割れ(幅0.2mm以上~1.0mm未満)	
	D1 ひび割れ(幅1.0mm以上)	
	E1 鉄筋筋	
	F1 鉄筋筋(箇所)	C-1
	H1 鉄筋浮き(0.25㎡未満)一般部	D-2
	J1 鉄筋浮き(0.25㎡未満)換気部	D-2
	M1 鉄筋浮き(0.25㎡以上)換気部	D-3
	S1 欠損	E-1
	V1 新りを伴う欠損	E-2

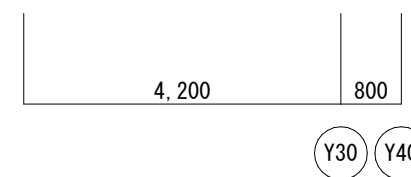
※劣化部の設計数量は調査数量×5倍を見込む
ただし、ひび割れ部の設計数量は調査数量×2倍を見込む

※外壁の下部調整時にはアスベストを含有している。
外壁改修には劣化部のアスベスト除去を見込む。



【Y50通】

南展開図1



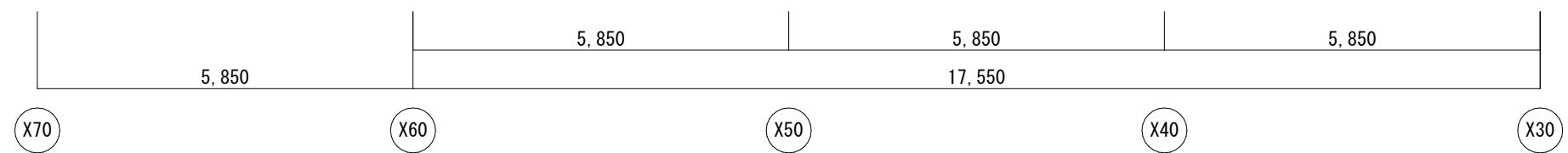
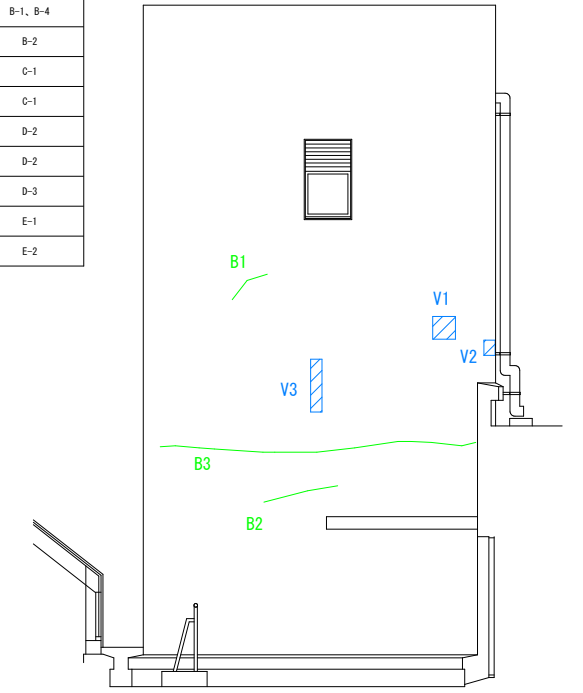
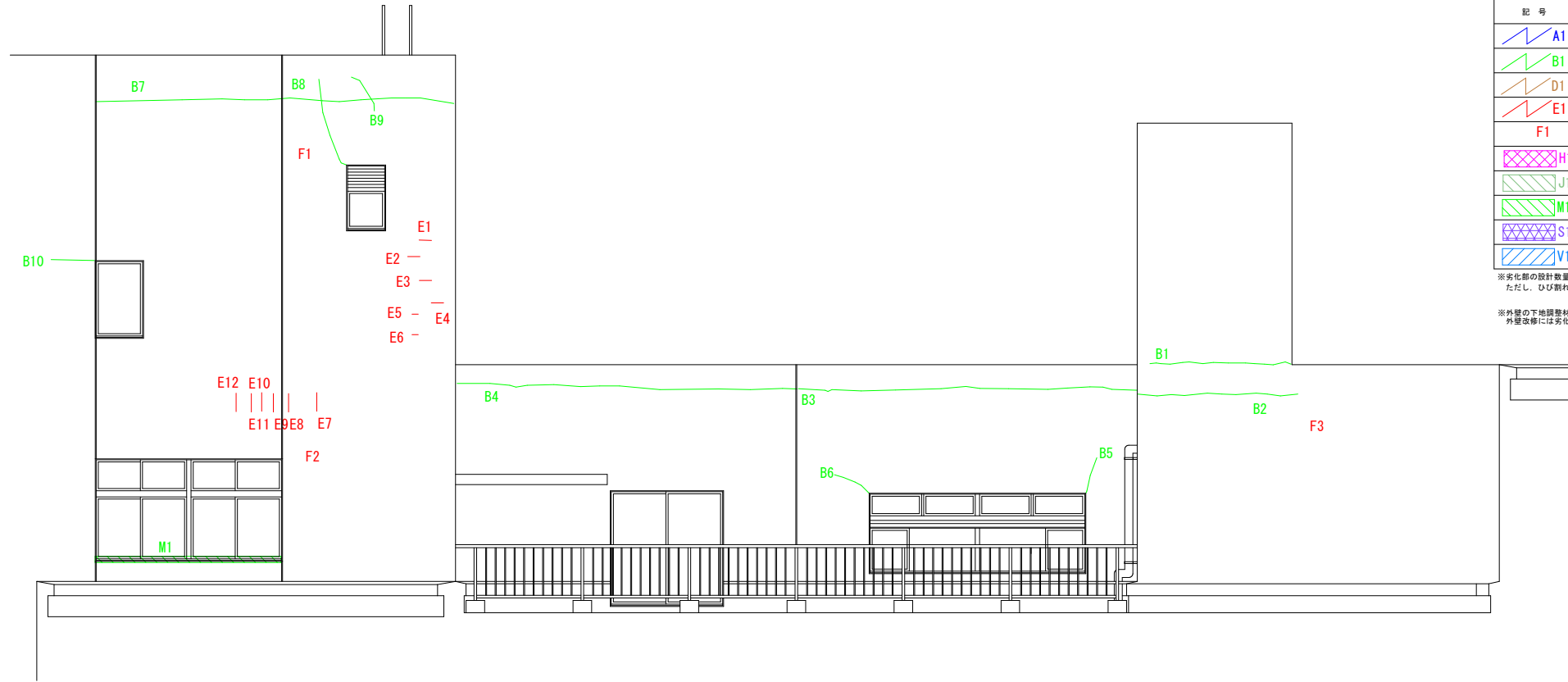
【X40通】

東展開図2

御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第 262345号 坂本 薫	校閲 藤本	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1) 建築主体工事	図面番号 A-52
							設計 坂本	設計年月日 2025.03	図面名称 南展開図1・東展開図2(外壁劣化部 参考図)	縮尺 1/50

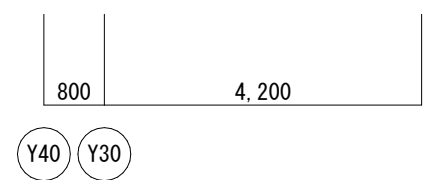
凡 例		外壁改修工事 特記仕様書 (記号)
A1	ひび割れ(幅0.2mm未満)	B-1, B-4
B1	ひび割れ(幅0.2mm以上~1.0mm未満)	
D1	ひび割れ(幅1.0mm以上)	
E1	錆鉄筋	C-1
F1	錆鉄筋(箇所)	C-1
H1	砂吹浮き(0.25mm未満)一般部	D-2
J1	砂吹浮き(0.25mm未満)換気部	D-2
M1	砂吹浮き(0.25mm以上)換気部	D-3
S1	欠損	E-1
V1	新りを伴う欠損	E-2

※劣化部の設計数量は調査数量×5倍を見込む
ただし、ひび割れ部の設計数量は調査数量×2倍を見込む
※外壁の下部調査材にはアスベストを含有している。
外壁改修には劣化部のアスベスト除去を見込む。



【Y30通】

北展開図1



【X60通】

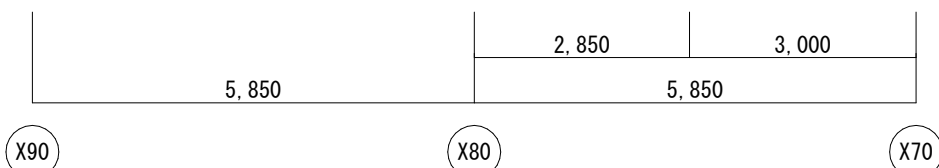
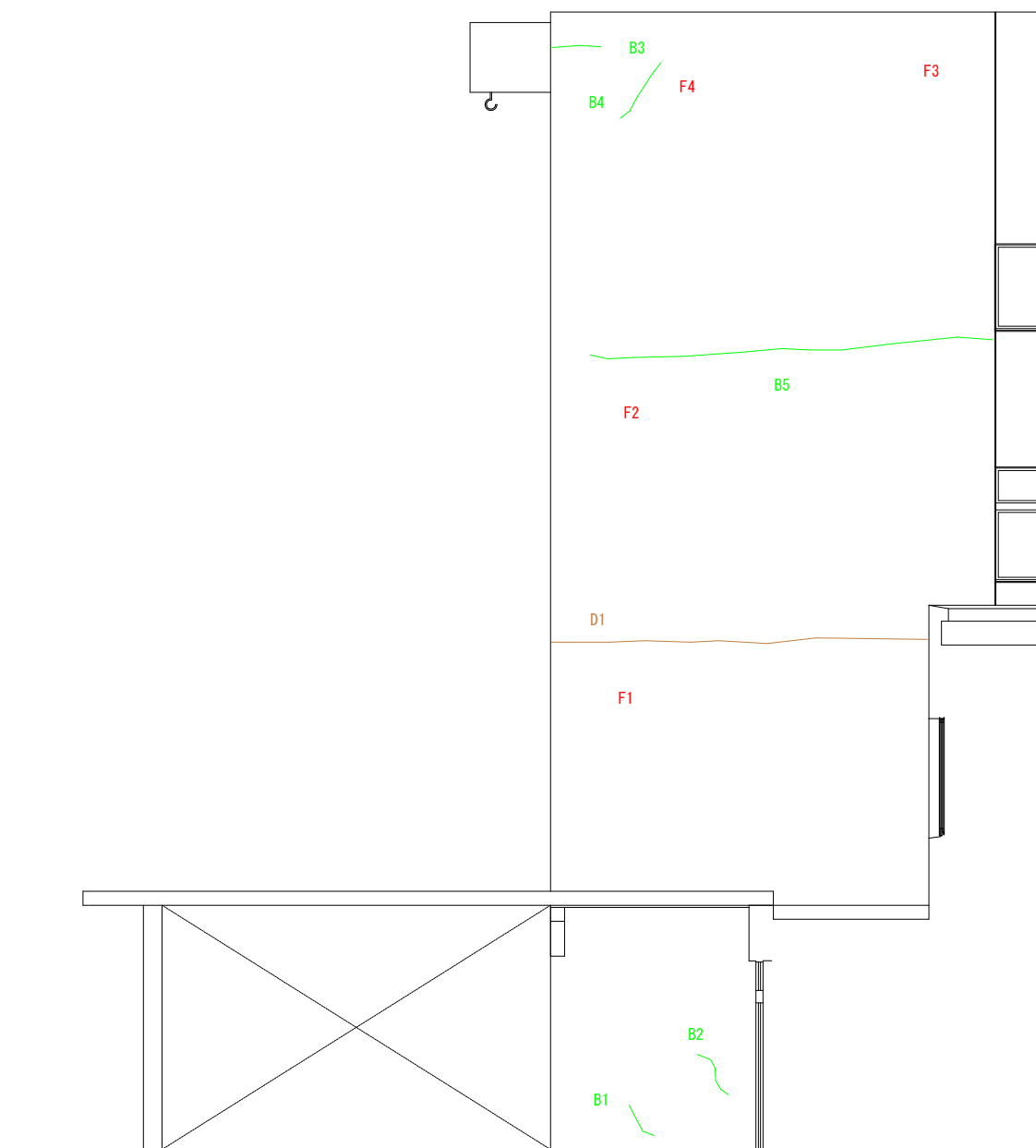
西展開図2

御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出歩 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第 262345号 坂本 薫	校閲 藤本	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1)建築主体工事	図面番号 A-53
							設計 坂本	設計年月日 2025.03	図面名称 北展開図1・西展開図2(外壁劣化部 参考図)	縮尺 1/50

凡 例		外壁改修工事 特記仕様書 (記号)
記号	名 称	
A1	ひび割れ(幅0.2mm未満)	B-1, B-4
B1	ひび割れ(幅0.2mm以上~1.0mm未満)	
D1	ひび割れ(幅1.0mm以上)	
E1	錆鉄筋	
F1	錆鉄筋(箇所)	C-1
H1	砂吹寄せ(0.25㎡未満)一般部	D-2
J1	砂吹寄せ(0.25㎡未満)狭幅部	D-2
M1	砂吹寄せ(0.25㎡以上)狭幅部	D-3
S1	欠損	E-1
V1	新りを伴う欠損	E-2

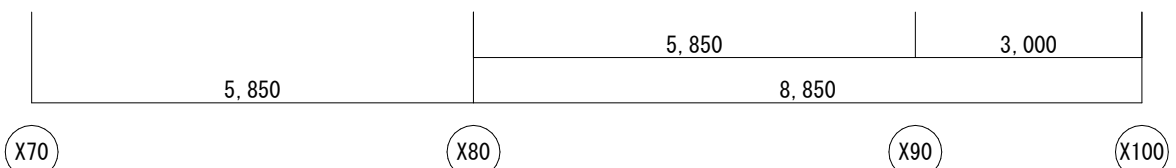
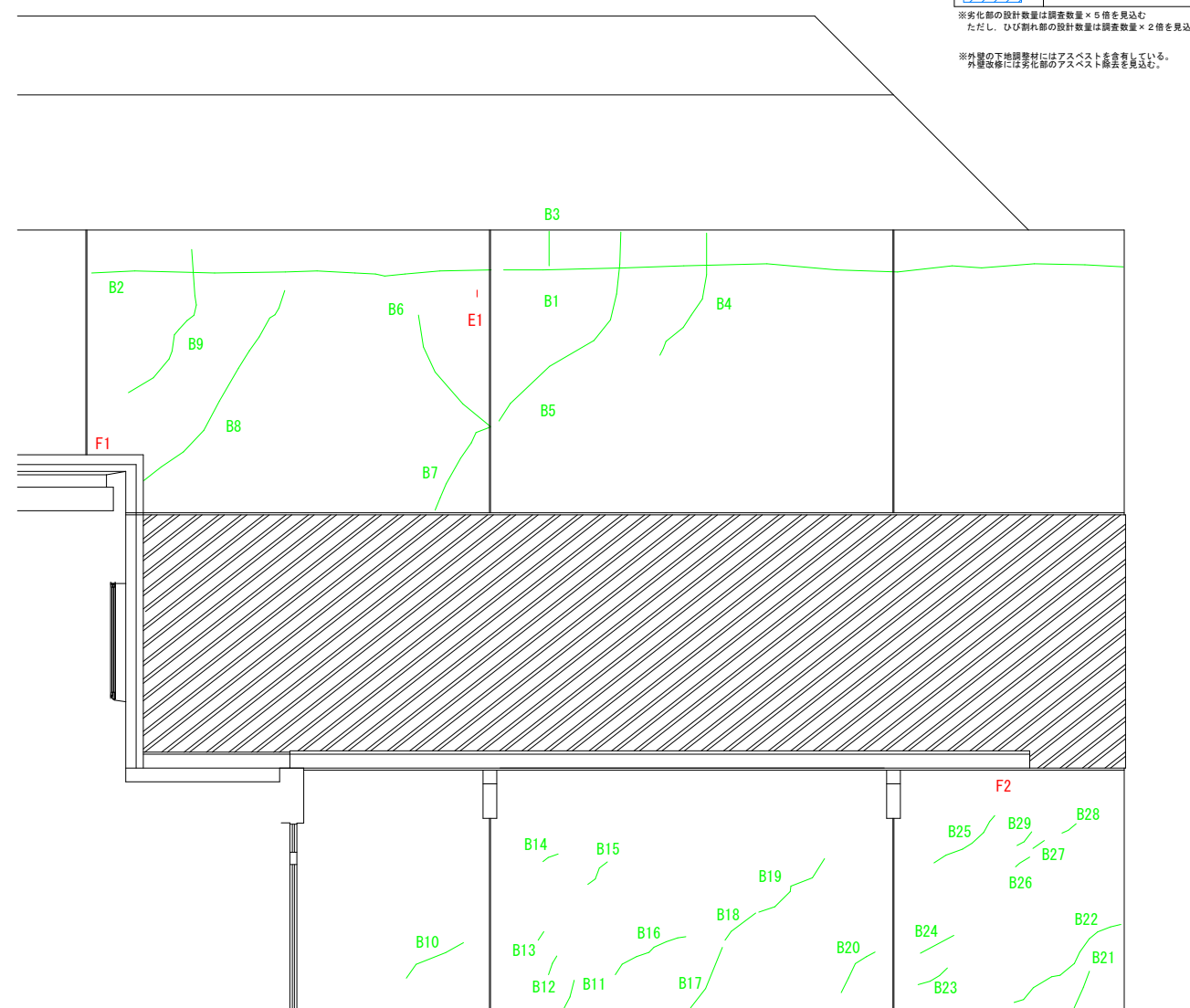
※劣化部の設計数量は調査数量×5倍を見込む。
ただし、ひび割れ部の設計数量は調査数量×2倍を見込む。

※外壁の下部隠蔽材にはアスベストを含有している。
外壁改修には劣化部のアスベスト除去を見込む。



【Y30通】

北展開図2

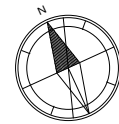


【Y50通】

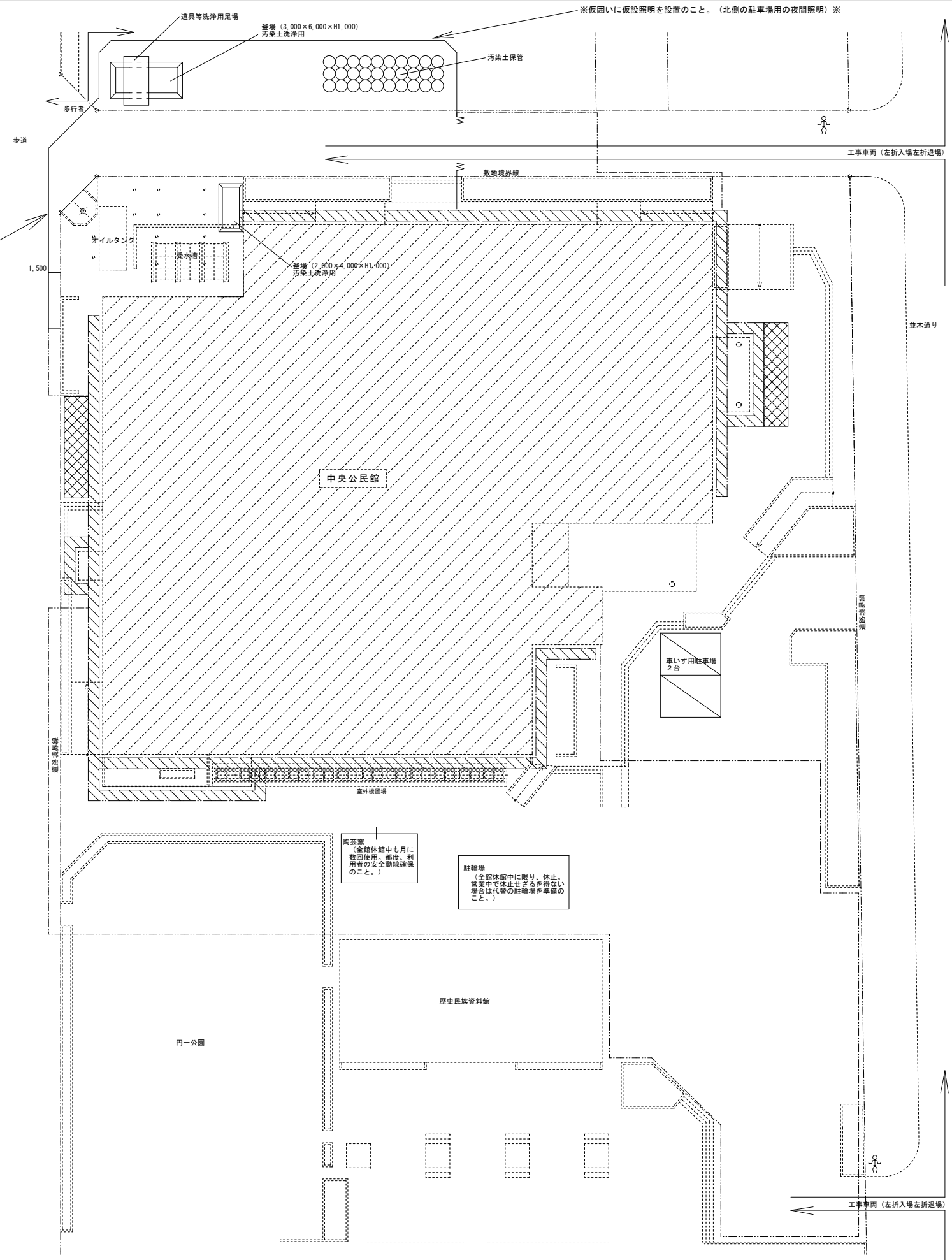
南展開図2

御注文先	三原市殿	御承認	月 日	 中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出歩 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第 262345号 坂本 薫	校閲  藤本 設計  坂本	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1)建築主体工事 図面名称 北展開図2・南展開図2(外壁劣化部 参考図)	図面番号 A-54 縮尺 1/50
------	------	-----	-----	--	---	------------------------	--	--	----------------------

①中央公民館 営業中



※杭施工中は、仮囲い上部にシート養生を行うこと。



凡 例	
	工事建物場所を示す。
	仮囲い (万能鋼板H3.0m、t=1.2mm、H形鋼2列据置式) の設置範囲を示す。
	ガードフェンス (H=1.8m) の設置範囲を示す。
M M	ハッチゲート (H=3.0m) の設置位置を示す。
	外部足場 枠組本足場 W=900+ブラケット足場 の設置範囲を示す (壁ツナギ要) 安全手摺・足場板・階段・作業床幅木付 養生シート張り (防音・防塵用・下端まで)
	仮設駐輪場の設置範囲を示す。(屋根:波板、軒樋付き)
	交通誘導員を示す [指定]

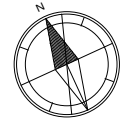
※仮設の構造検討は必ず施工者で行うこと。

仮設計画図 配置図 S=1/200

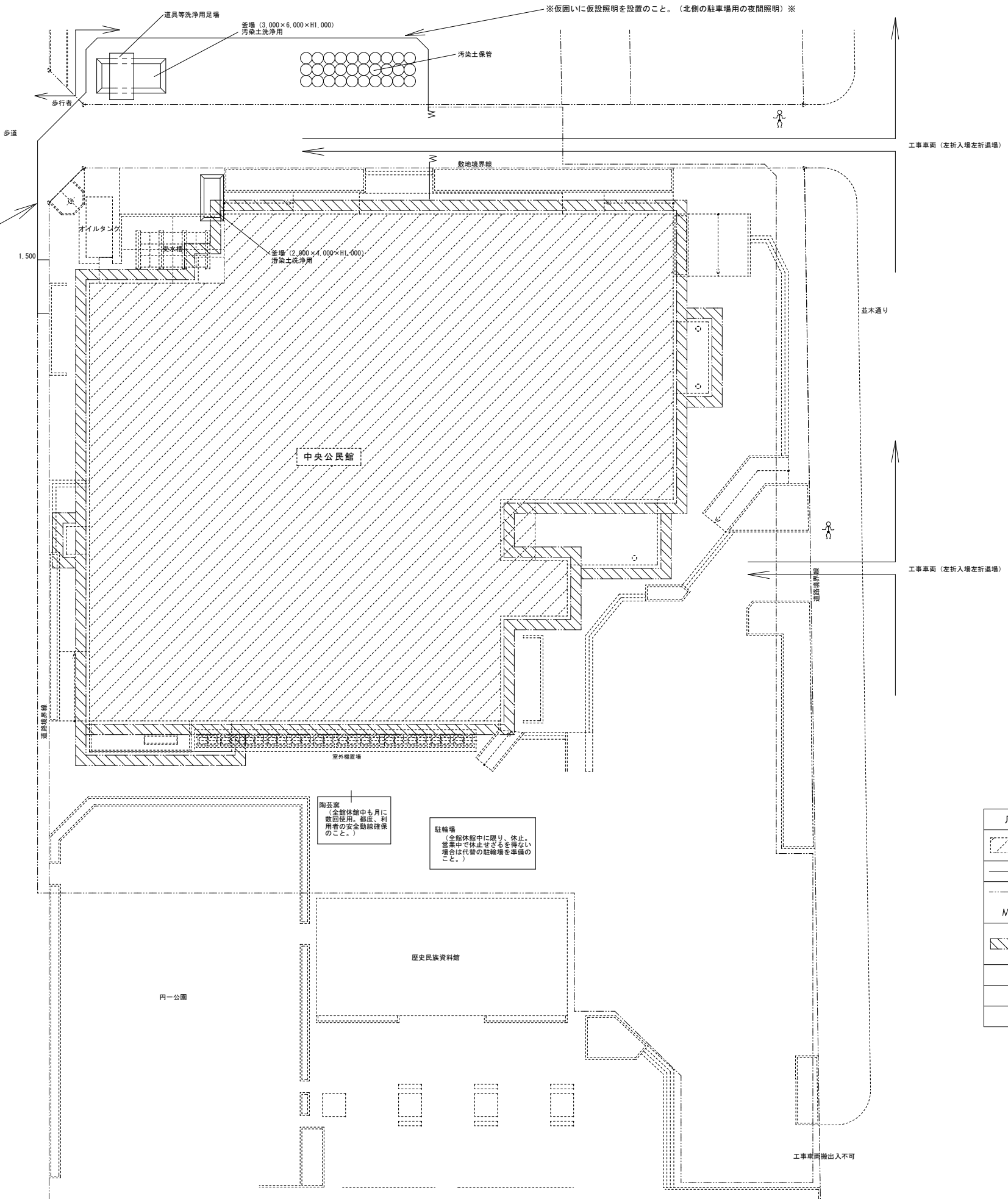
御注文先	三原市殿	御承認	記事	月 日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第 262345号 坂本 薫	校閲 設計	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事 (その1) 建築主体工事 図面名称 仮設計画図ー1-1 配置図 設計年月日 2025.03	図面番号 A-55-1 縮尺 1/200
------	------	-----	----	-----	--	---	------------------------	----------	--	-------------------------

※A3 : 50%縮小

②中央公民館 全館閉館中



※杭施工中は、仮囲い上部にシート養生を行うこと。



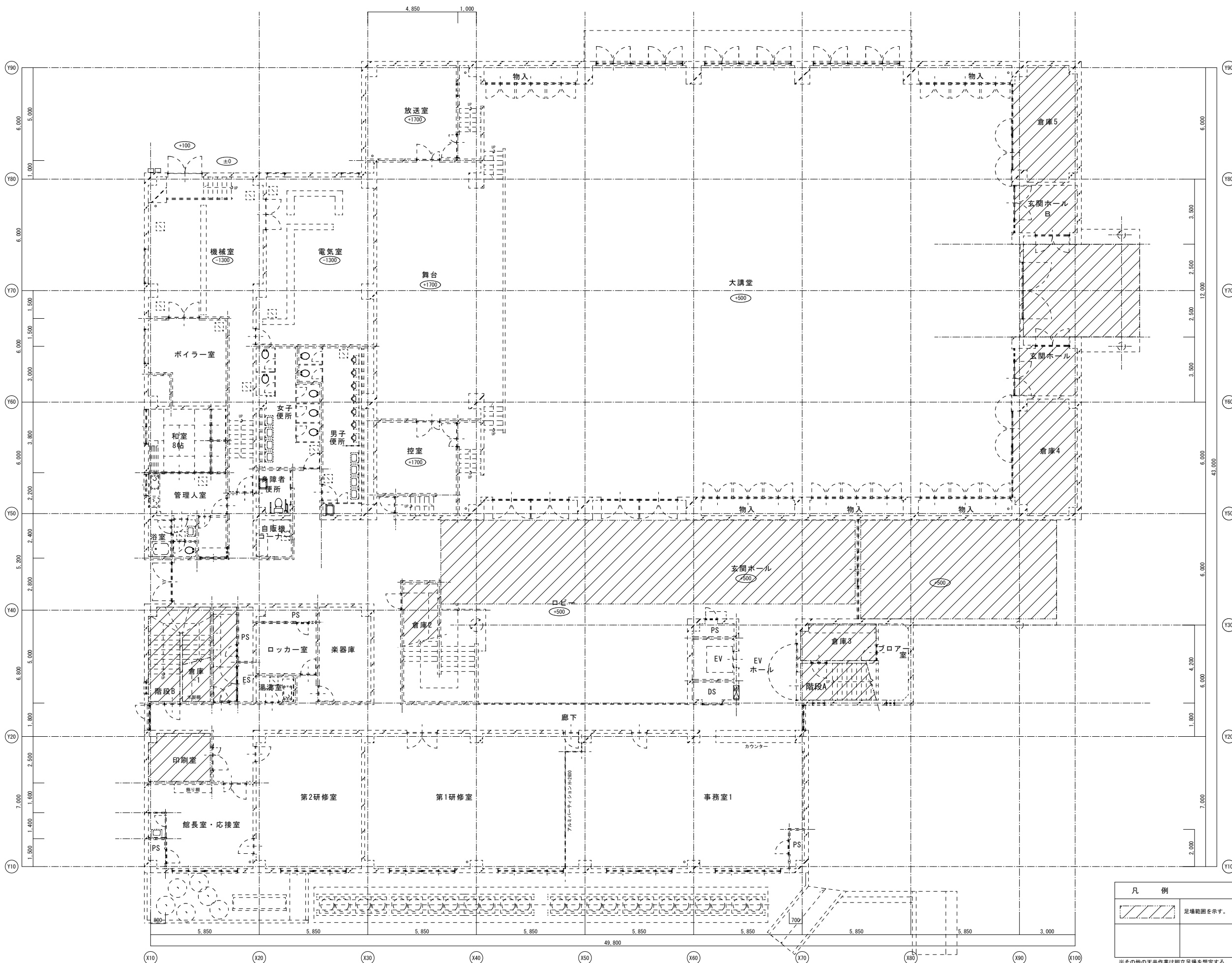
凡 例	
	工事建物場所を示す。
	仮囲い(万能鋼板H3.0m、t=1.2mm、H形鋼2列据置式)の設置範囲を示す。
	ガードフェンス(H=1.8m)の設置範囲を示す。
	安全ゲート(H=3.0m)の設置位置を示す。
	外部足場 特種本足場 W=900+ブラケット足場の設置範囲を示す(壁ツナギ要) 安全手摺・足場板・階段・作業床幅木付 養生シート張り(防音・防塵用・下端まで)
	交通誘導員を示す [指定]

※仮設の構造検討は必ず施工者で行うこと。

仮設計画図 配置図 S=1/200

御注文先	三原市殿	御承認	記事	月 日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出歩 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第 262345号 坂本 薫	校閲 設計	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1) 建築主体工事 設計年月日 2025.03 図面名称 仮設計画図-1-2 配置図	図面番号 A-55-2 縮尺 1/200

※A3: 50%縮小

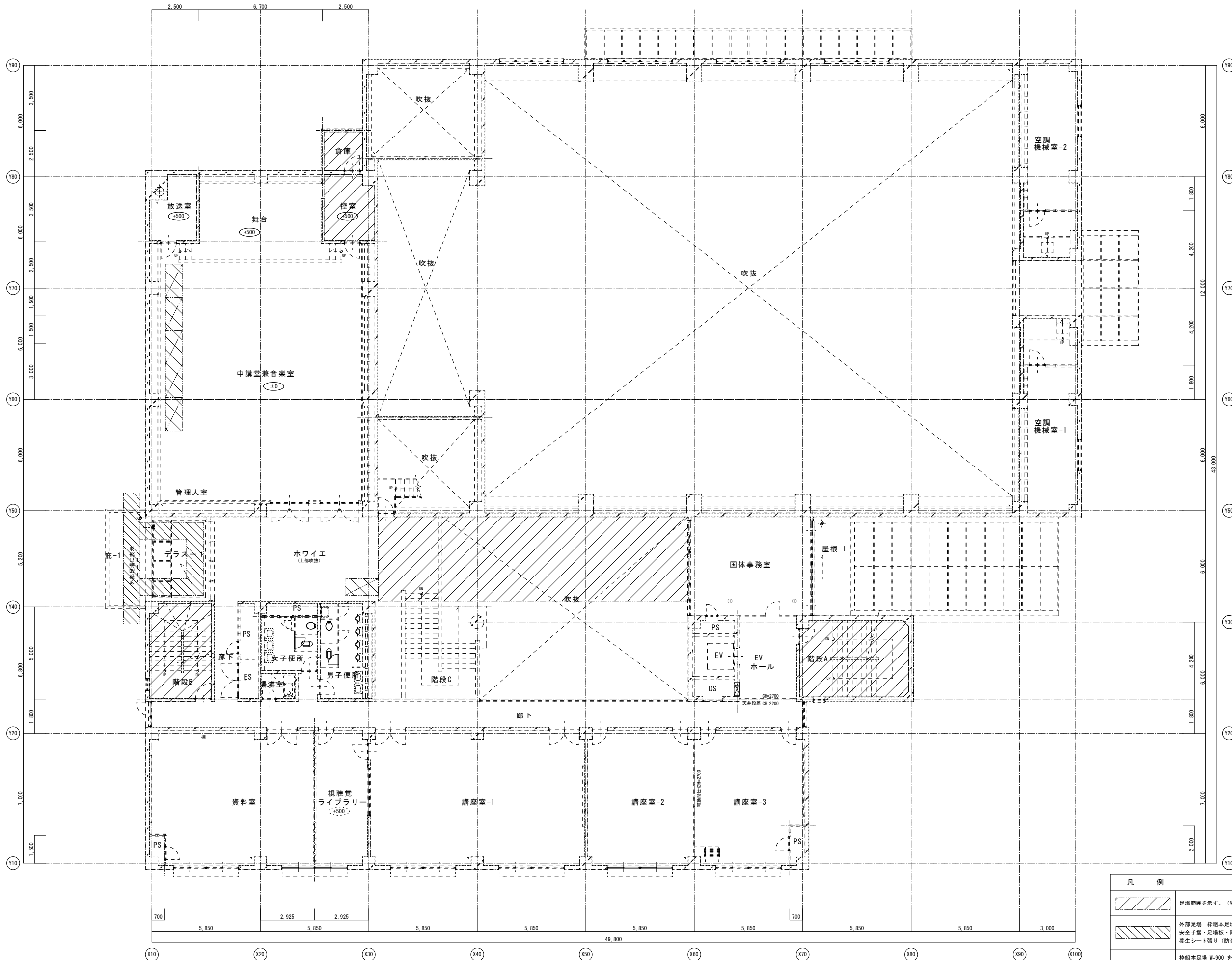


凡例	
	足場範囲を示す。(特記なき限り掘足場)
※その他の天井作業は掘立足場を想定する。	

仮設計画図 1階 1/100

御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685号 藤本 誠二 1級建築士登録 第 262345号 坂本 薫	校閲 設計	工事名称 中央公民館館長寿命化改修工事 (その1) 建築主体工事 図面名称 仮設計画図-2 1階平面図 設計年月日 2025.03	図面番号 A-56 縮尺 1/100
------	------	-----	----	----	--	---	----------	---	-----------------------

※A3: 50%縮小



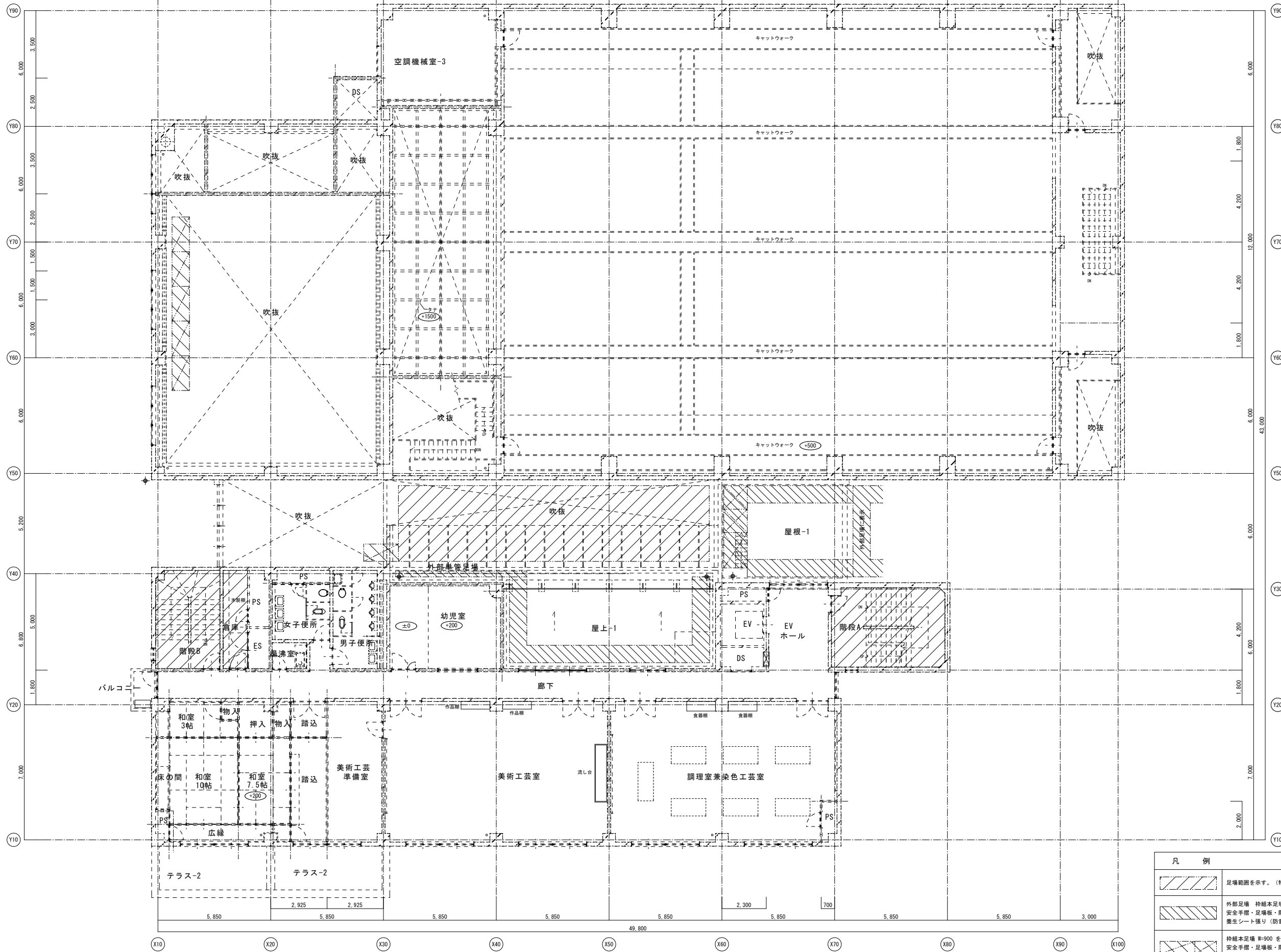
仮設計画図 2階 1/100

凡例	
	足場範囲を示す。(特記なき限り棚足場)
	外部足場 枠組本足場 W=900+ブラケット足場の設置範囲を示す(壁ツナギ要) 安全手摺・足場板・階段・作業床幅木付 養生シート張り(防音・防塵用・下端まで)
	枠組本足場 W=900 を示す。(壁ツナギ要) 安全手摺・足場板・階段・作業床幅木付

※その他の天井作業は脚立足場を想定する。

御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685 号 藤本 誠二 1級建築士登録 第 262345 号 坂本 薫	校閲		工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1)建築主体工事 図面名称 仮設計画図-3 2階平面図	図面番号	A-57
設計		設計年月日	2025.03	縮尺			1/100				

※A3: 50%縮小



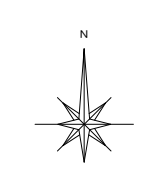
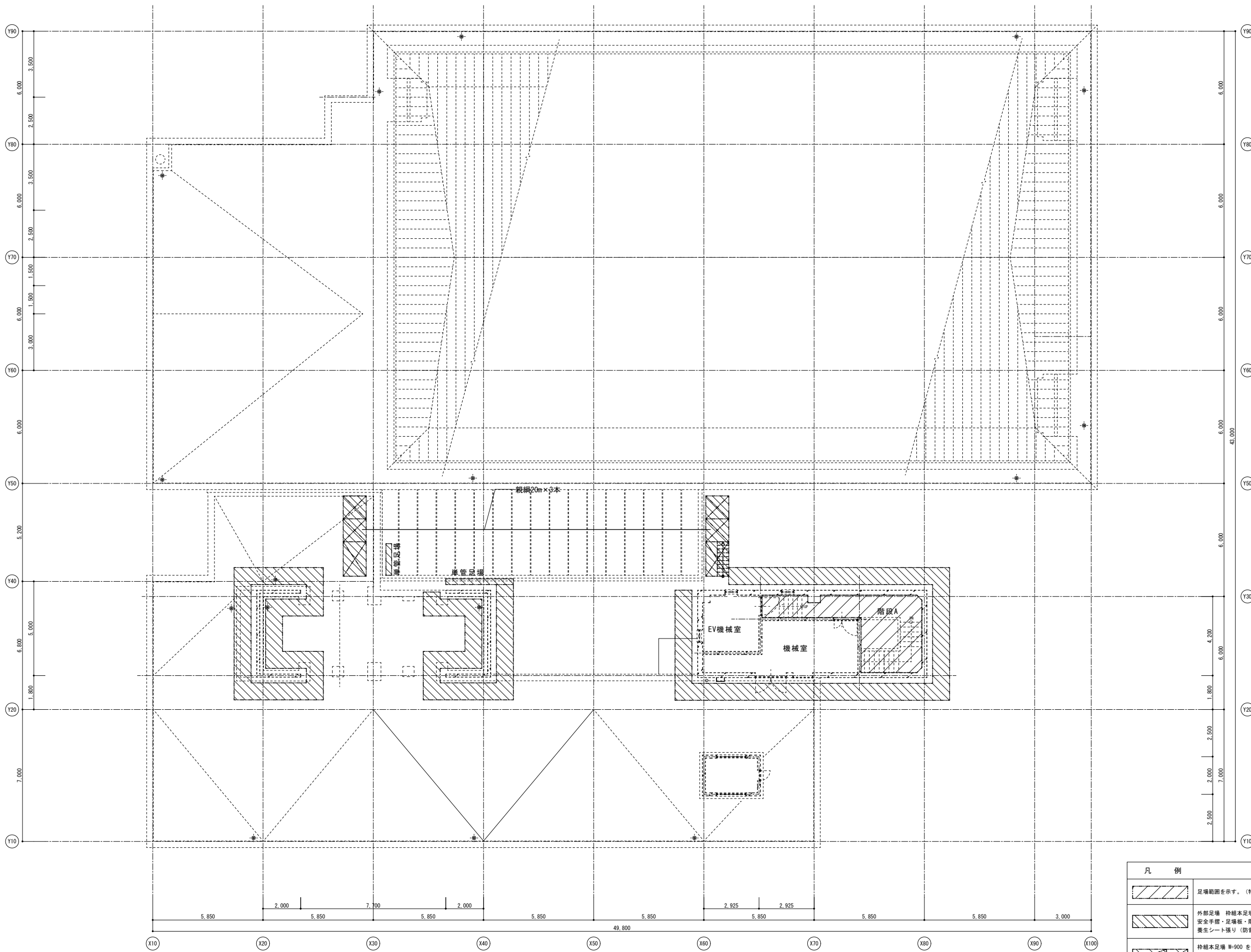
仮設計画図 3階 1/100

凡例	
	足場範囲を示す。(特記なき限り欄足場)
	外部足場 枠組木足場 W=900+ブラケット足場の設置範囲を示す(壁ツナギ要) 安全手摺・足場板・階段・作業床幅木付 養生シート張り(防音・防塵用・下端まで)
	枠組木足場 W=900 を示す。(壁ツナギ要) 安全手摺・足場板・階段・作業床幅木付
	縦網用足場 枠組木足場 W=1,200 を示す。(壁ツナギ要) 安全手摺・足場板・階段・作業床幅木付

※その他の天井作業は脚立足場を想定する。

御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8 1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685 号 藤本 誠二 1級建築士登録 第 262345 号 坂本 薫	校閲	藤本	工事名称	中央公民館長寿命化改修工事(その1)建築主体工事	図面番号	A-58	
						設計	坂本	設計年月日	2025.03	図面名称	仮設計画図-4 3階平面図	縮尺

※A3: 50%縮小

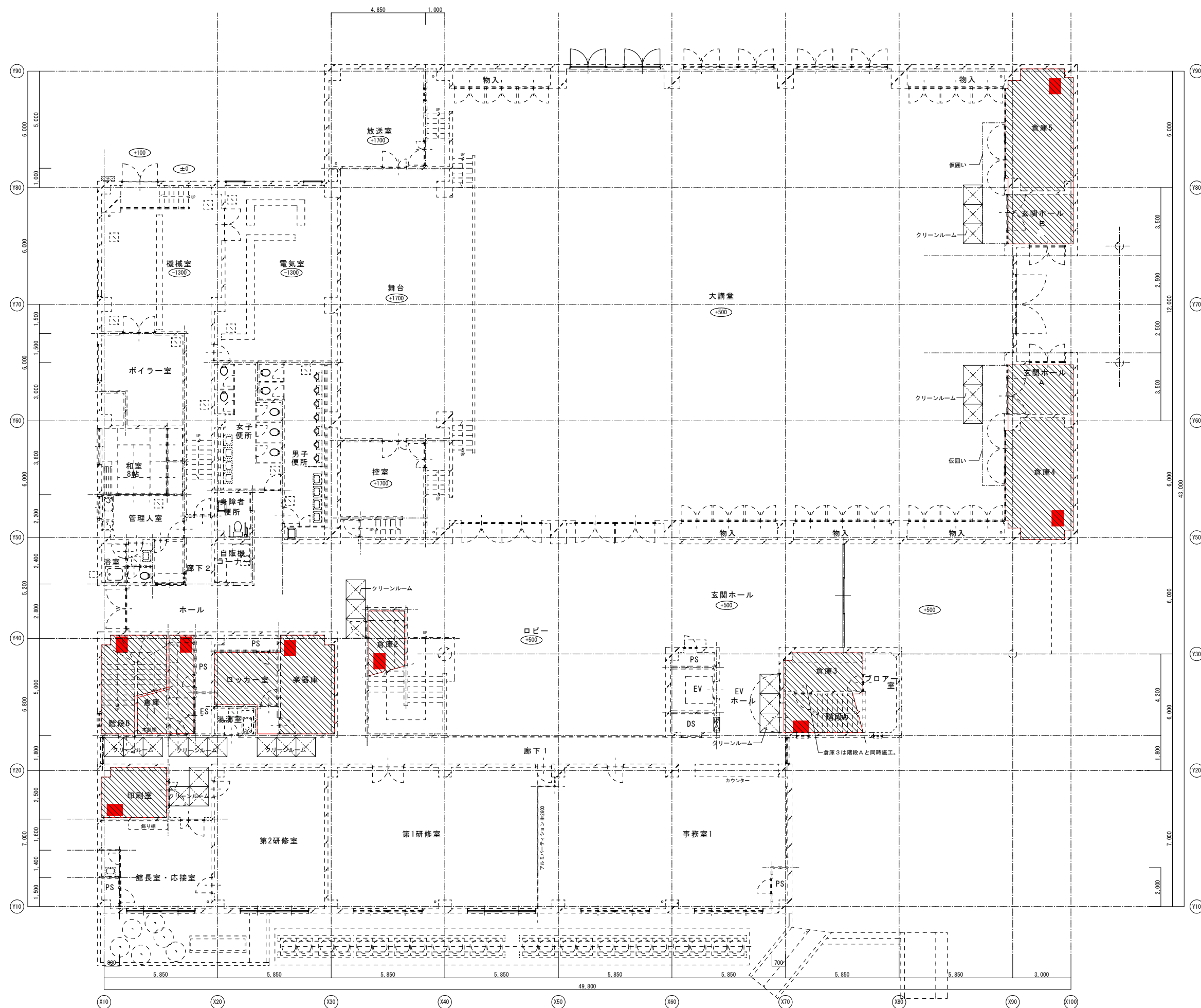


仮設計画図 R階 1/100

凡例	
	足場範囲を示す。(特記なき限り網足場)
	外部足場 枠組本足場 W=900+ブラケット足場の設置範囲を示す(壁ツナギ要) 安全手摺・足場板・階段・作業床幅木付 養生シート張り(防音・防塵用・下端まで)
	枠組本足場 W=900 を示す。(壁ツナギ要) 安全手摺・足場板・階段・作業床幅木付
	網網用足場 枠組本足場 W=1,200 を示す。(壁ツナギ要) 安全手摺・足場板・階段・作業床幅木付

御注文先	三原市殿	御承認	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685 号 藤本 誠二 1級建築士登録 第 262345 号 坂本 薫	校閲 設計	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1) 建築主体工事 図面名称 仮設計画図-5 R階平面図	図面番号 A-59 縮尺 1/100
			設計年月日	2025.03				

※A3: 50%縮小

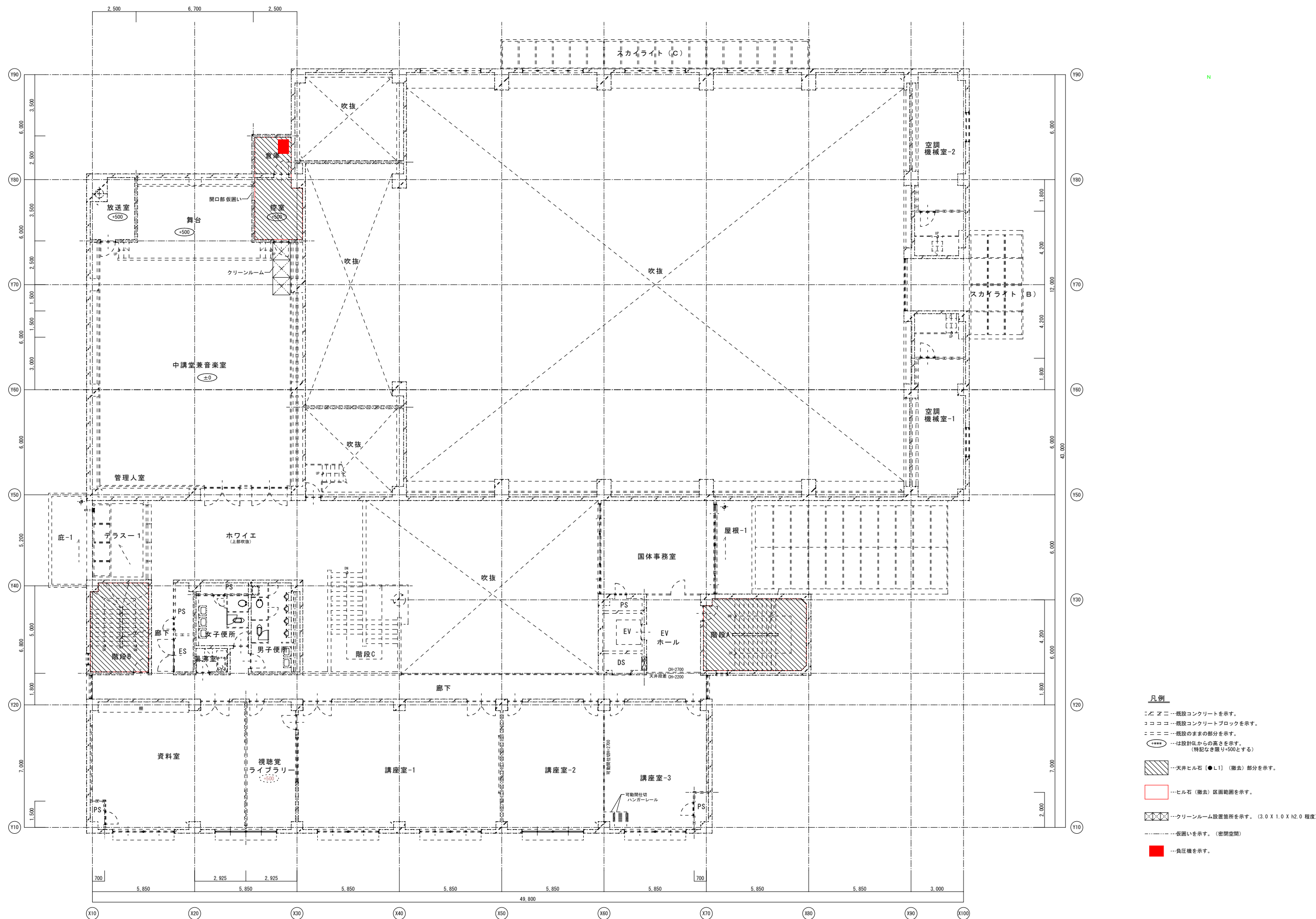


- 凡例**
- 既設コンクリートを示す。
 - ココココ 既設コンクリートブロックを示す。
 - ニニニニ 既設のままの部分を示す。
 - ***** は設計GLからの高さを示す。(特記なき限り+500とする)
 - 斜線 天井ヒル石【●L1】(撤去)部分を示す。
 - ヒル石(撤去)区画範囲を示す。
 - クリーンルーム設置箇所を示す。(3.0 X 1.0 X h2.0 程度)
 - 仮囲いを示す。(密閉空間)
 - 負圧機を示す。

改修前 1階平面図 1/100

御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第262345号 坂本 薫	校閲 藤本	設計 坂本	工事名称 中央公民館長寿化改修工事(その1) 建築主体工事	図面番号 A-60	
										設計年月日 2025.03	図面名称 ヒル石除去仮設計画図 1階平面図	縮尺 1/100

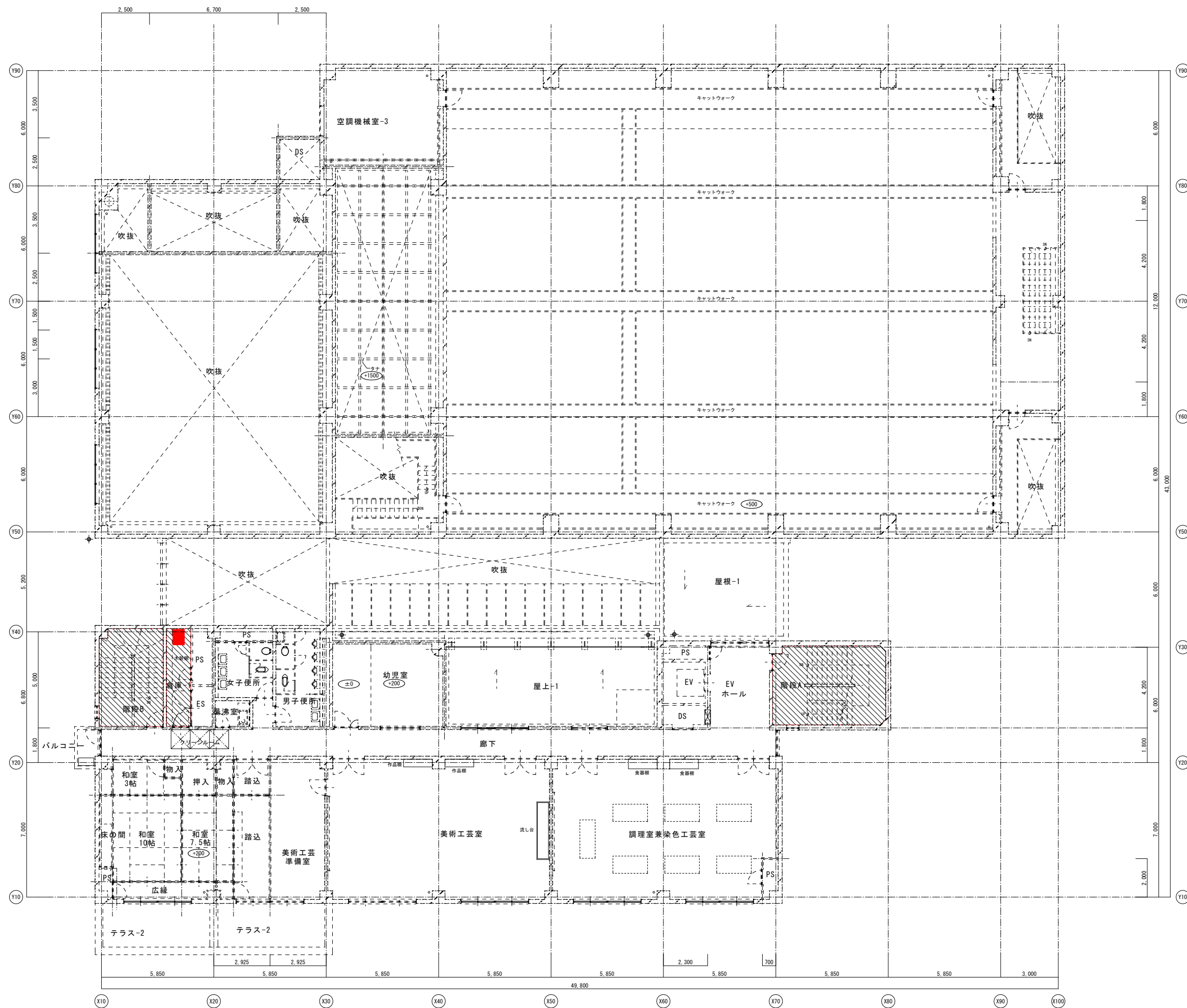
※A3: 50%縮小



- 凡例**
- コゴゴゴ...既設コンクリートを示す。
 - ココココ...既設コンクリートブロックを示す。
 - ニニニニ...既設のままの部分を示す。
 - *****...は設計GLからの高さを示す。(特記なき限り+500とする)
 - ...天井ヒル石【●L1】(撤去)部分を示す。
 - ...ヒル石(撤去)区画範囲を示す。
 - ...クリーンルーム設置箇所を示す。(3.0 X 1.0 X h2.0 程度)
 -仮囲いを示す。(密閉空間)
 - ...負圧機を示す。

改修前 2階平面図 1/100

御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685 号 藤本 誠二	1級建築士登録 第 262345 号 坂本 薫	校閲 藤本 設計 坂本	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1) 建築主体工事 図面名称 ヒル石除去仮設計画図 2階平面図 設計年月日 2025.03	図面番号 A-61 縮尺 1/100
										※A3: 50%縮小

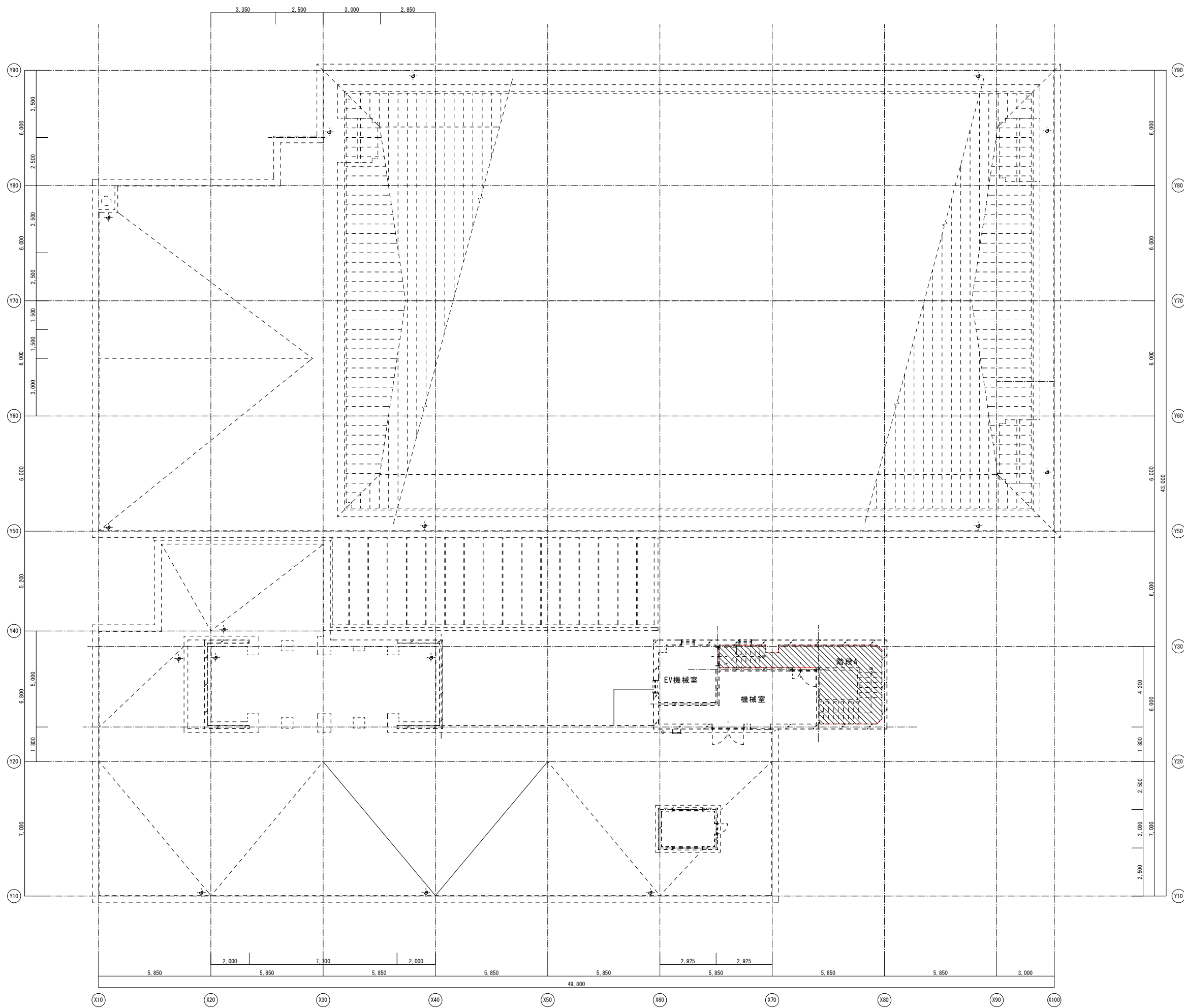


- 凡例**
- コシコシ...既設コンクリートを示す。
 - ココココ...既設コンクリートブロックを示す。
 - ニニニニ...既設のままの部分を示す。
 - *****...は設計GLからの高さを示す。(特記なき限り+500とする)
 - 斜線...天井ヒル石【●L1】(撤去)部分を示す。
 - 赤線...ヒル石(撤去)区画範囲を示す。
 - 掃除機...クリーンルーム設置箇所を示す。(3.0 X 1.0 X h2.0 程度)
 - ...仮囲いを示す。(密閉空間)
 - 赤色...負圧機を示す。

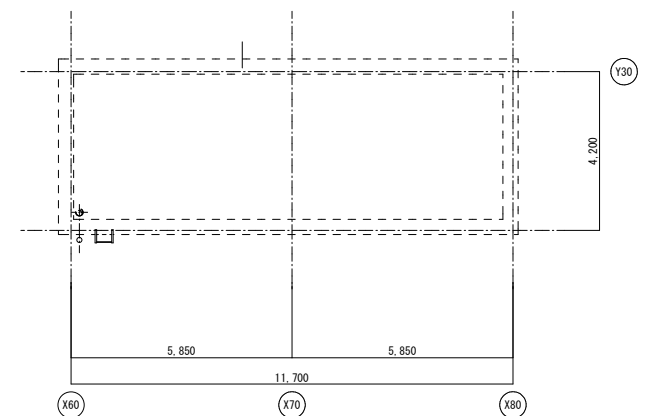
改修前 3階平面図 1/100

御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出歩 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685 号 藤本 誠二	1級建築士登録 第 262345 号 坂本 薫	校閲 藤本	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事(その1) 建築主体工事	図面番号 A-62
							設計 坂本	設計年月日 2025.03	図面名称 ヒル石除去仮設計図面 3階平面図	縮尺 1/100

※A3: 50%縮小



改修前 R階平面図 1/100



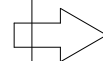
改修前 PHR階平面図 1/100

- 凡例**
- (with diagonal lines) ... 既設コンクリートを示す。
 - (with dots) ... 既設コンクリートブロックを示す。
 - (with horizontal lines) ... 既設のままの部分を示す。
 - (with asterisks) ... は設計GLからの高さを示す。(特記なき限り+500とする)
 - (with diagonal lines) ... 天井ヒル石 [●L1] (撤去) 部分を示す。
 - (with red border) ... ヒル石 (撤去) 区画範囲を示す。
 - (with cross-hatch) ... クリーンルーム設置箇所を示す。(3.0 X 1.0 X h2.0 程度)
 - ... 仮囲いを示す。(密閉空間)
 - (red) ... 負圧機を示す。

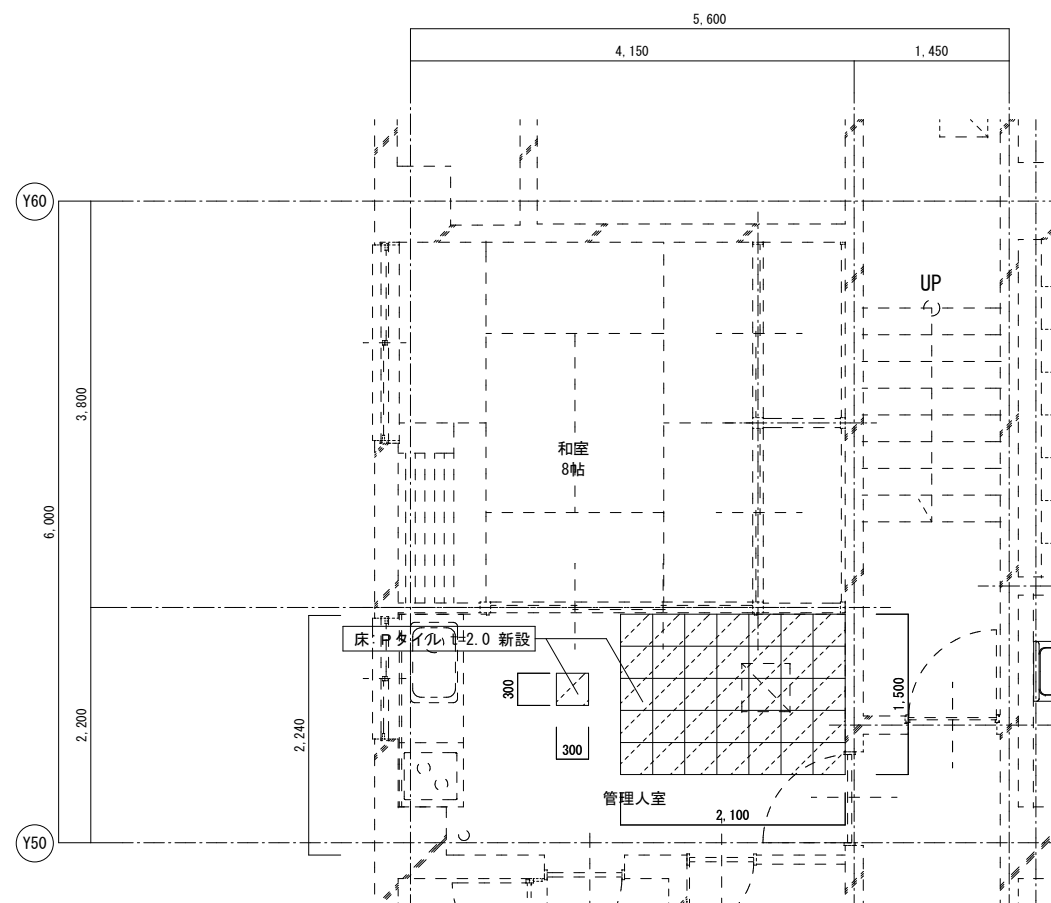
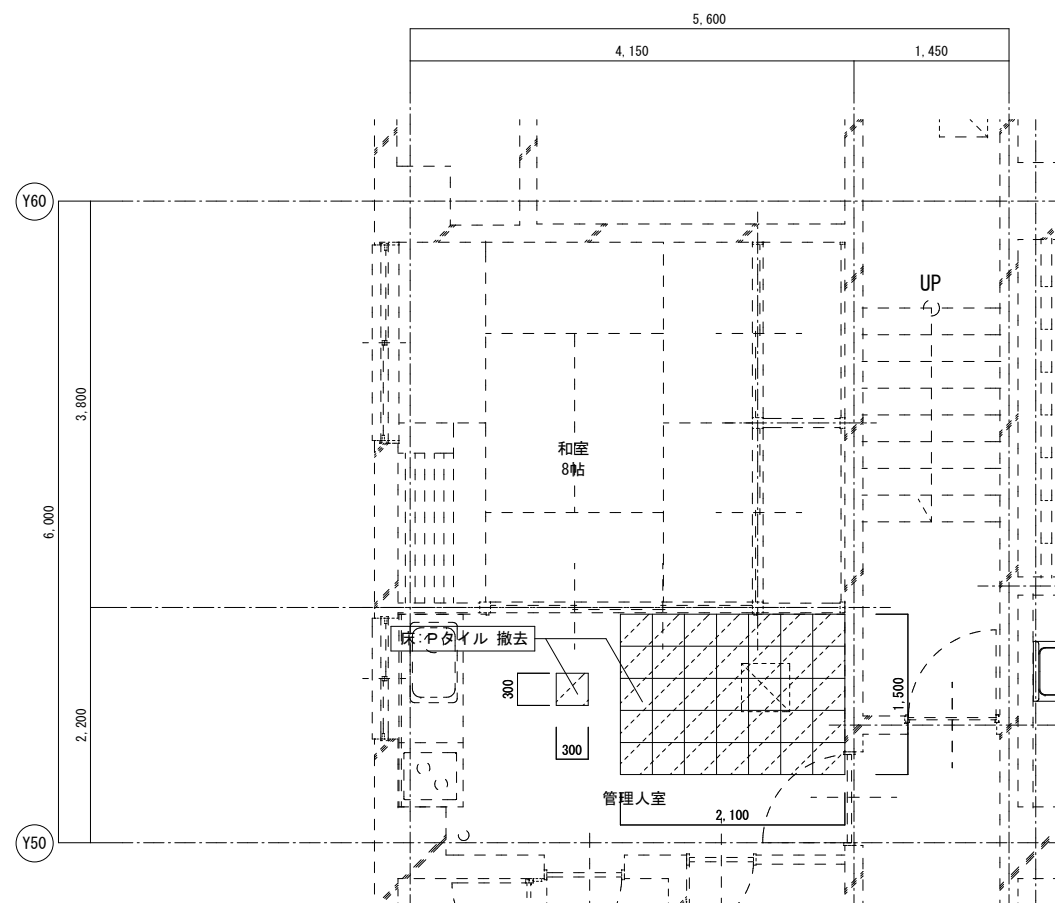
御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出歩 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第 262345号 坂本 薫	校閲 藤本	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事 (その1) 建築主体工事	図面番号 A-63
							設計 坂本	設計年月日 2025.03	図面名称 ヒル石除去仮設計画図 R階平面図	縮尺 1/100

※A3: 50%縮小

改修前



改修後



特記事項
 ・床材は、見なしアスベスト建材（レベル3）として処理すること。

特記事項
 ・床改修範囲は、既存仕上タイル割付に合わせて改修する。
 ・改修材料、接着材は、F☆☆☆☆とする。

三原市役所

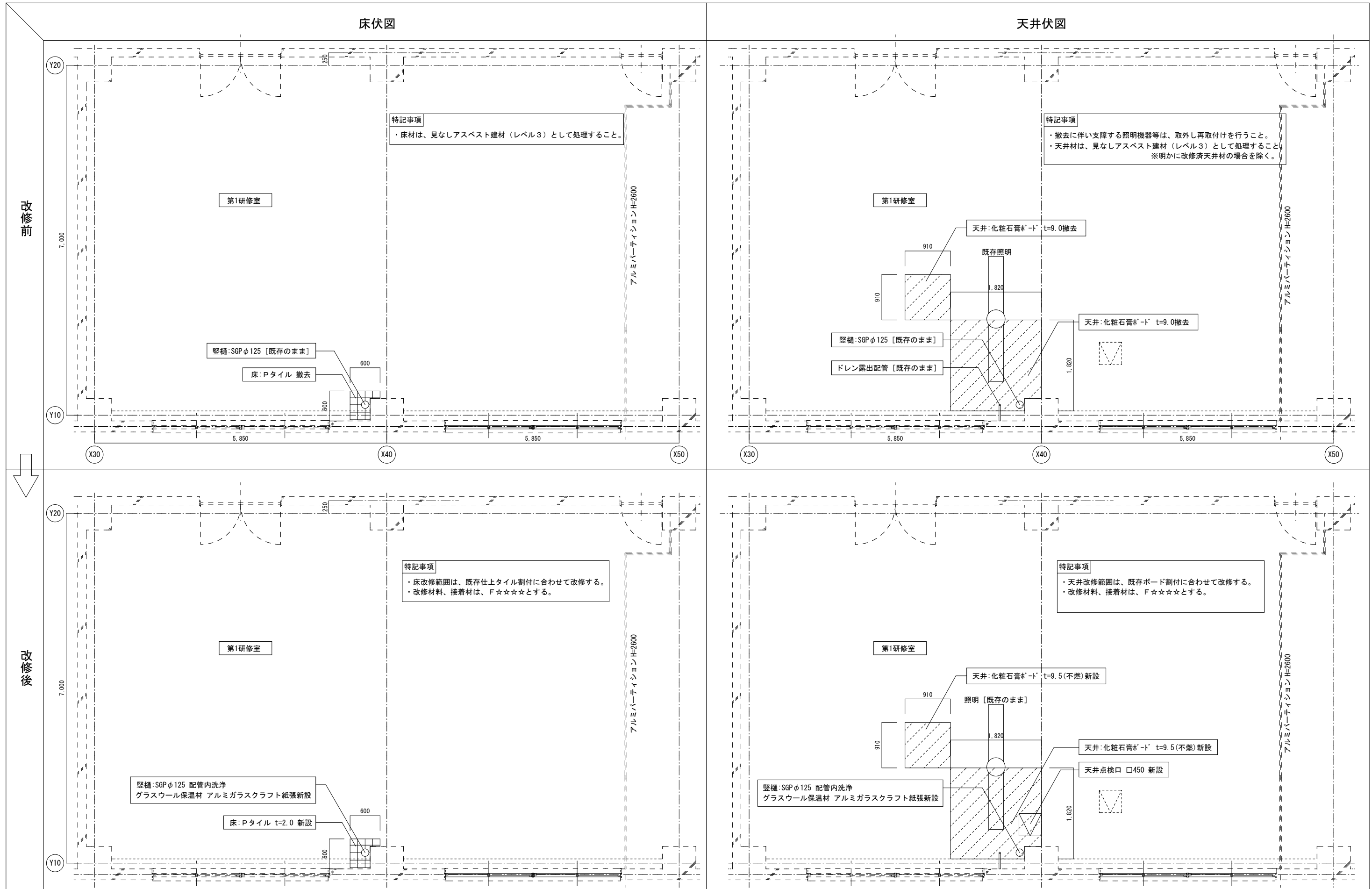
三原市港町3丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲	日付

備考
 建築士登録番号・氏名
 一級建築士事務所 協和組 建築設計部 岡正伸
 一級建築士登録第2456号 前岡正伸

工事名
 中央公民館長寿命化改修工事（その1）建築主体工事

図面名称	改修前・後 1階管理人室平面図	縮尺	1/50	図面番号	A-64
------	--------------------	----	------	------	------



三原市役所
三原市港町3丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲	日付

備考
建築士登録番号・氏名
一級建築士事務所 協同組合 建築設計 恒田 間
一級建築士登録第24505号 前岡 正伸

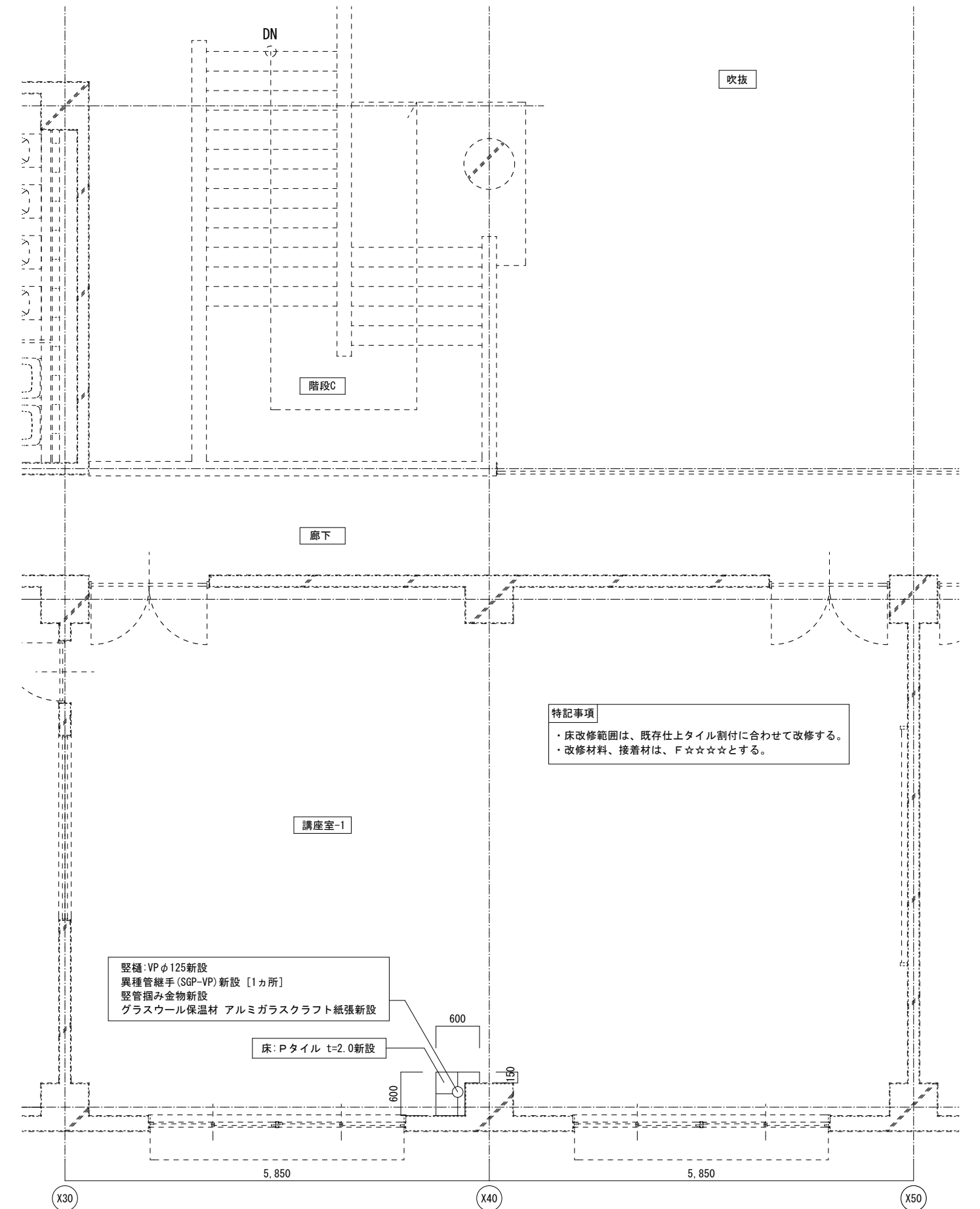
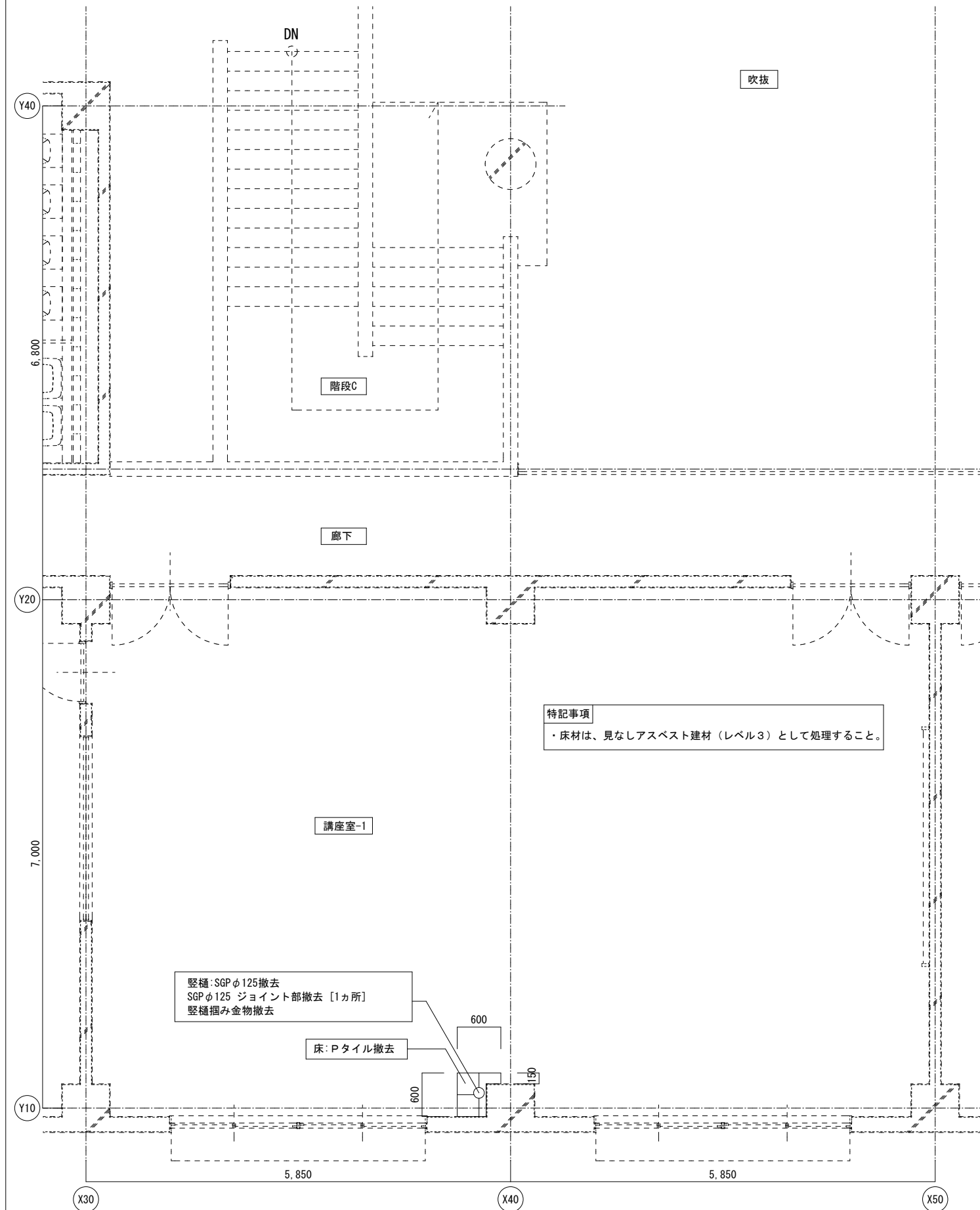
工事名
中央公民館長寿命化改修工事 (その1) 建築主体工事

図面名称	改修前・後 1階第1研修室平面図	縮尺	1/50	図面番号	A-65
------	---------------------	----	------	------	------

改修前



改修後



三原市役所

三原市港町3丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

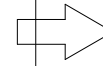
課長	係長	設計	校閲	日付	備考

建築士登録番号・氏名
 一級建築士事務所 協同組合 建築設計 恒田 剛
 一級建築士登録第24535号 前岡 正伸

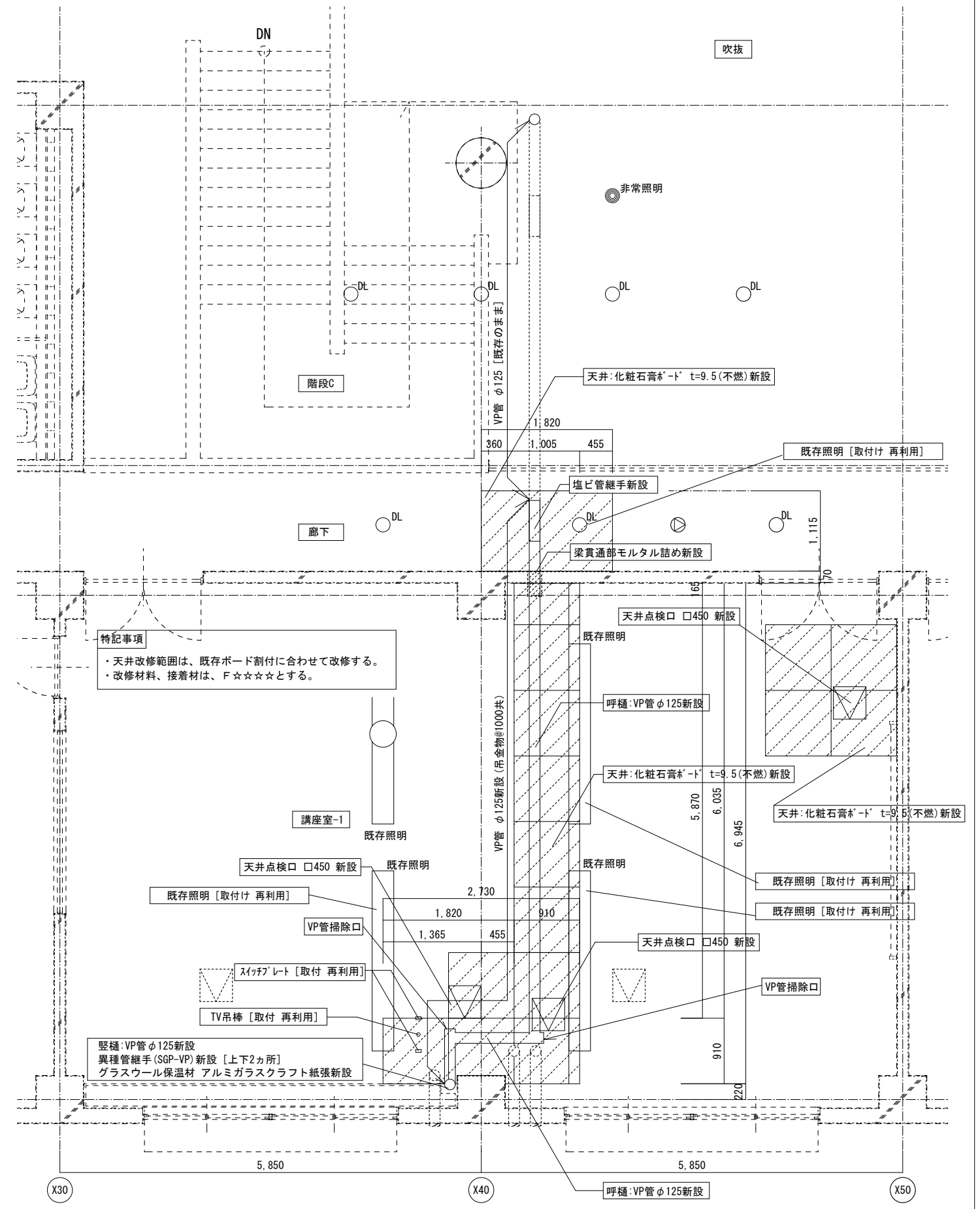
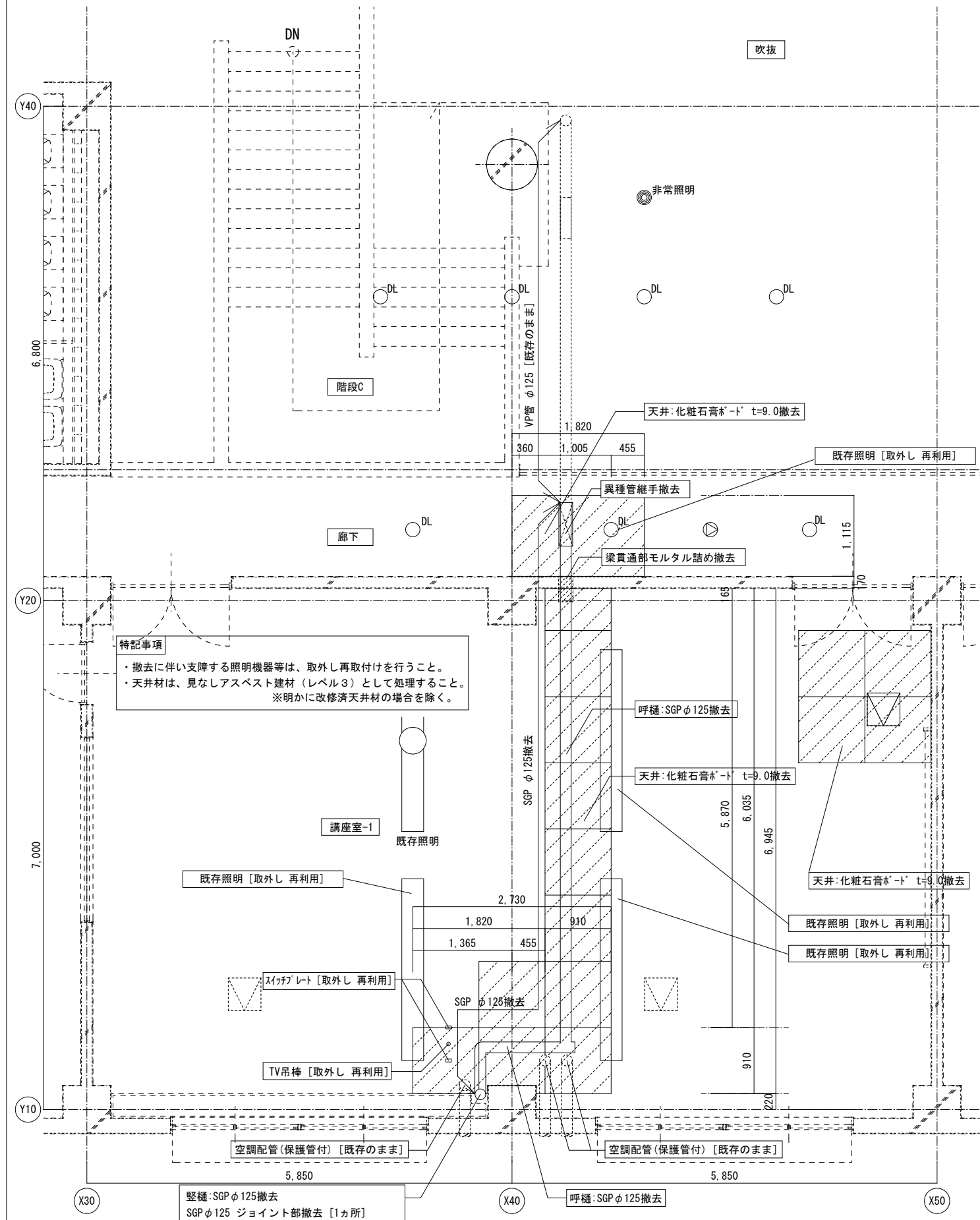
工事名
 中央公民館長寿命化改修工事(その1) 建築主体工事

図面名称	改修前・後 2階講座室-1平面図	縮尺	1/50	図面番号	A-66
------	---------------------	----	------	------	------

改修前



改修後



三原市役所

三原市港町3丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲	日付

備考

建築士登録番号・氏名
 一級建築士事務所 協同組合 建築士 佐藤 博 和 郎
 一級建築士登録第2435号 前岡 正 伸

工事名

中央公民館長寿命化改修工事(その1) 建築主体工事

図面名称

改修前・後
2階講座室-1天井伏図

縮尺

1/50

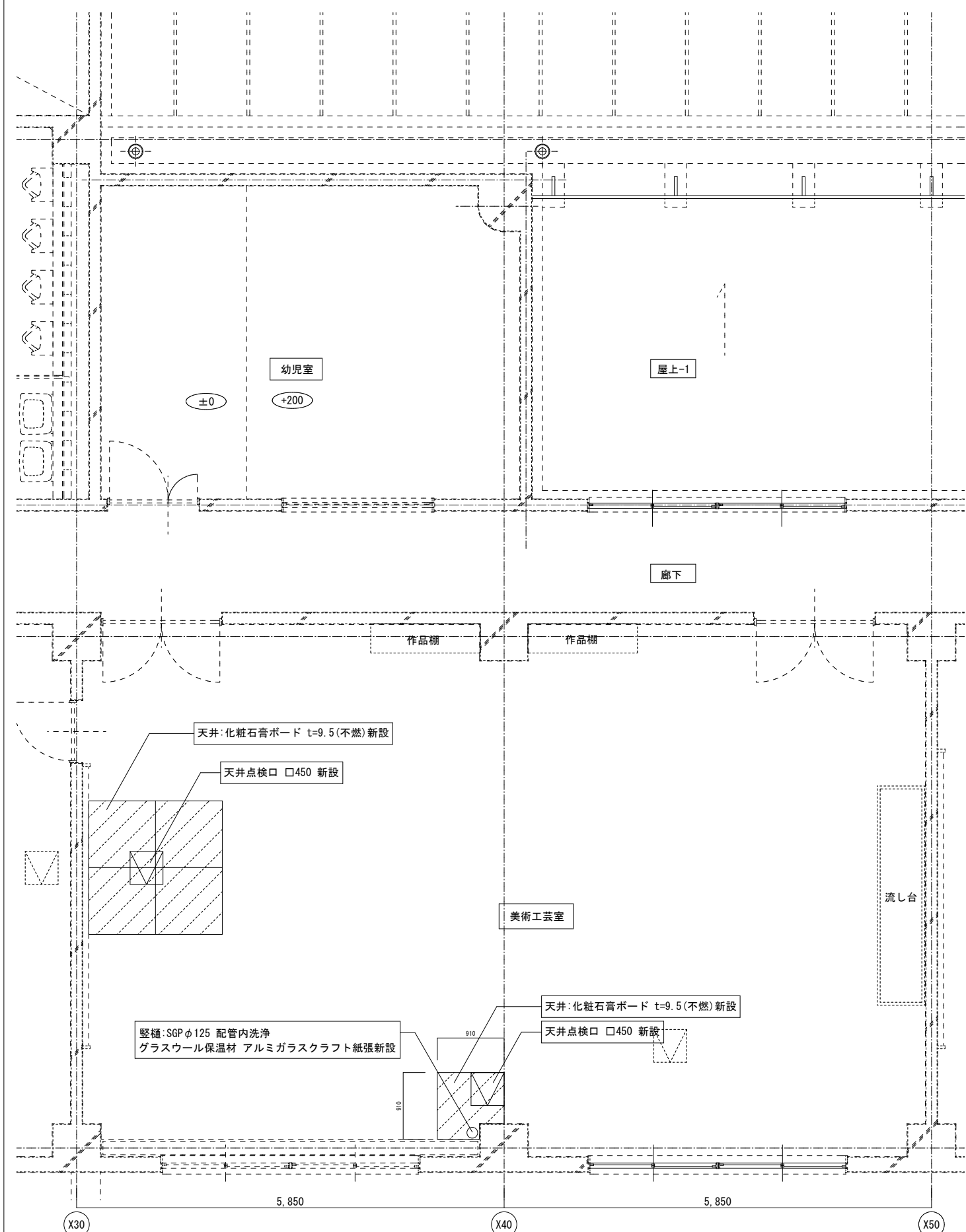
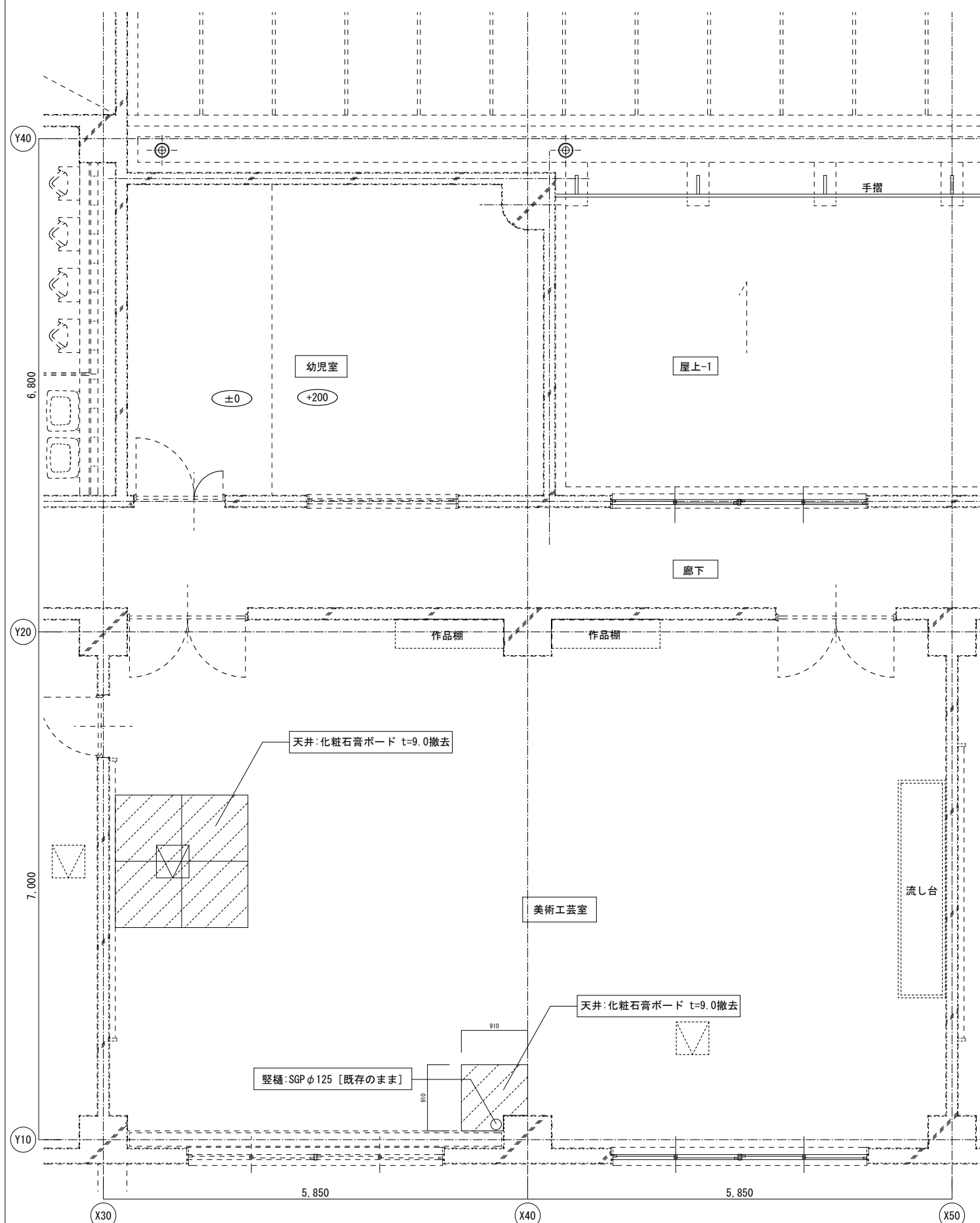
図面番号

A-67

改修前



改修後



三原市役所

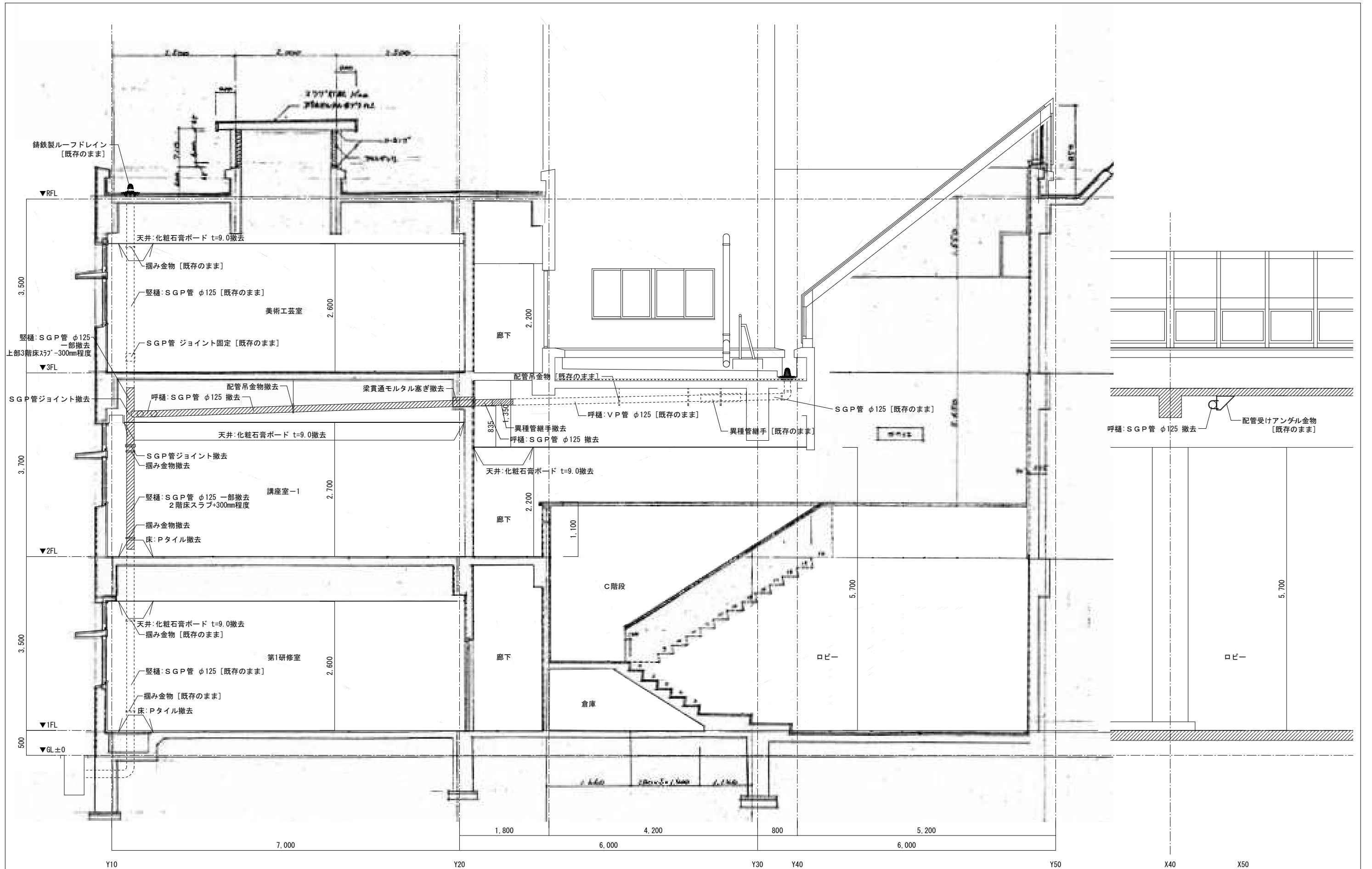
三原市港町3丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲	日付	備考

建築士登録番号・氏名
 一級建築士事務所 協同組合 建築保証100間
 一級建築士登録第2405号 前岡正伸

工事名
 中央公民館長寿命化改修工事 (その1) 建築主体工事

図面名称	改修前・後 3階美術工芸室天井伏図	縮尺	1/150	図面番号	A-68
------	----------------------	----	-------	------	------



三原市役所

三原市港町3丁目5番1号 TEL (0848) 64-2111

課長	係長	設計	校閲	日付	備考

工事名

中央公民館長寿命化改修工事(その1)建築主体工事

図面名称

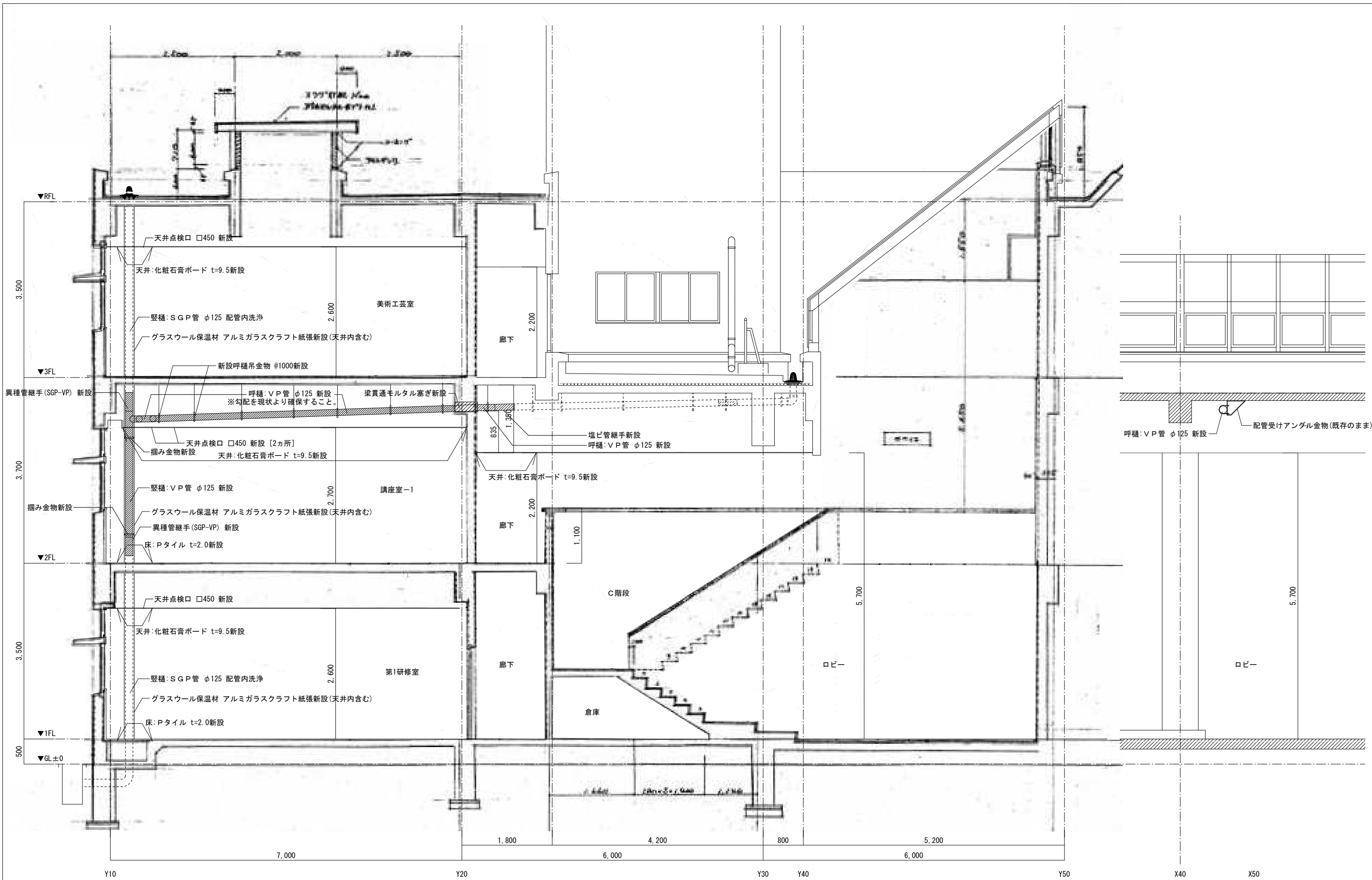
断面詳細図
(改修前)

縮尺

1/50

図面番号

A-69



三原市役所

三原市港町3丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲	日付	備考

工事名	中央公民館長寿命化改修工事(その1)建築主体工事
-----	--------------------------

図面名称	断面詳細図(改修後)	縮尺	1/50	図面番号	A-70
------	------------	----	------	------	------

エレベーター仕様

	既設エレベーター	改修後エレベーター
型式用途	P-11-C045 (乗用)	V07iGL (P-11-C045) (乗用)
定格積載質量	750kg/11人乗	同左
定格速度	45m/min	同左
制御方式	インバータ制御方式	同左
運転方式	乗合全自動方式	同左
停止階	3箇所 (1~3階)	同左
かご内法	間口 1400mm 奥行 1350mm	同左
出入口寸法	幅 800mm 高さ 2100mm	同左
電動機	AC 5.5kW	AC 3.7kW
動力用電源	AC 3φ 220V 60Hz	同左
照明用電源	AC 1φ 100V 60Hz	同左

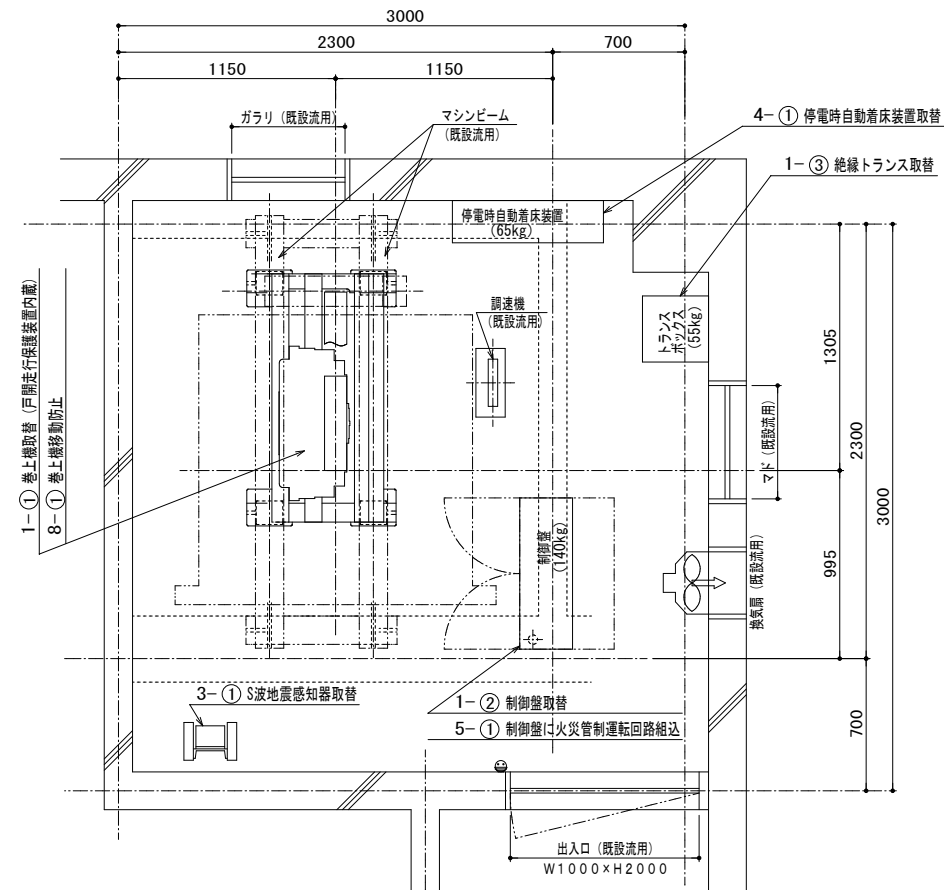
工事項目

工事区分	工事箇所	工事内容	形式	改修	新規			
1	機器改修	機械室	① 巻上機取替 (戸開走行保護装置内蔵)	メーカー標準品	●			
			② 制御盤取替	メーカー標準品	●			
			③ 絶縁トランス取付	メーカー標準品		●		
		昇降路	④ 主ロープ取替	メーカー標準品	●			
			⑤ 制御ケーブル取替	メーカー標準品	●			
			⑥ ロングエプロン取替	メーカー標準品	●			
		かご		⑦ 着床装置・誘導板取替	メーカー標準品	●		
				⑧ 器具ボックス取替	メーカー標準品	●		
				⑨ ドアモーター取替	メーカー標準品	●		
				⑩ 非常放送用スピーカー付 (既設流用)	メーカー標準品	●		
				⑪ 一般用操作盤取替 (カバー: SUS)	メーカー標準品	●		
				⑫ かご位置表示器取替 (液晶表示、一般用操作盤内に組込)	メーカー標準品	●		
				⑬ 多光軸赤外線ドアセンサー取替	メーカー標準品		●	
				⑭ 戸閉時LED点滅機能付セフティシュー取付	メーカー標準品		●	
				車いす用	⑮ 車いす用操作盤 (主・副共) 取替 (カバー: SUS)	メーカー標準品	●	
① 前側板取替 (SUS)	メーカー標準品				●			
2	意匠改修			かご室	② 前側板目地取替 (アルミ製)	メーカー標準品	●	
					③ 天枠取替 (SUS)	メーカー標準品	●	
		④ 幅木取替 (SUS)	メーカー標準品		●			
		⑤ 敷居取替 (SUS)	メーカー標準品		●			
		⑥ かご内現地化粧シート貼 (かご戸、側板、天井)	メーカー標準品		●			
		⑦ かご内現地床シート材貼替	メーカー標準品		●			
		⑧ かご内床保護マット取付	メーカー標準品		●			
		車いす用	⑨ 車いす用操作盤 (主・副共) 取替部側板取替 (鋼板: 現地化粧シート貼)		メーカー標準品	●		
			⑩ かご内手摺取替 (SUSパイプ、2方向)	メーカー標準品	●			
		乗場		⑪ かご内鏡取替 (SUS)	メーカー標準品	●		
				⑫ 全階乗場インジケータ取替 (カバー: SUS、ボックス流用)	メーカー標準品	●		
				⑬ 1階乗場インジケータカバーに運転休止スイッチ組込	メーカー標準品	●		
				⑭ 全階車いす用乗場ボタン取替 (カバー: SUS、ボックス流用)	メーカー標準品	●		
		3	地震時管制運転装置 (リスタート機能付)	機械室	① S波地震感知器取替	メーカー標準品	●	
昇降路	② P波地震感知器取付			メーカー標準品		●		
かご室	③ かご内表示灯 (かご位置表示器に組込)			メーカー標準品	●			
事務室	④ 管制スイッチボックス取替 (カバー: SUS、ボックス流用)			メーカー標準品	●			
4	停電時自動着床装置	機械室	① 停電時自動着床装置取付	メーカー標準品		●		
		かご室	② かご内表示灯 (かご位置表示器に組込)	メーカー標準品	●			
5	火災時管制運転装置	機械室	① 制御盤に火災管制運転回路組込	メーカー標準品		●		
		かご室	② かご内表示灯 (かご位置表示器に組込)	メーカー標準品	●			
6	音声合成案内装置	かご	① 器具ボックスに回路組込	メーカー標準品	●			
		かご室	② スピーカー取付 (かご位置表示器部に組込)	メーカー標準品	●			
7	インターホン		① インターホン取替	メーカー標準品	●			
8	耐震対策 (2014耐震、A14)	機械室	① 巻上機移動防止	メーカー標準品		●		
		昇降路	② つり合いおもり組品取替 かご・つり合いおもりの耐震対策	メーカー標準品	●			
9	既設品流用機器	機械室関係	マシンビーム・調速機	既設のまま				
		かご関係	かご枠・かご室・かご戸・かご天井・かご側板・かご床・非常止め・戸閉閉装置					
		乗場関係	三方枠・乗場戸・乗場敷居・インジケータボックス・車いす用ホールボタンボックス 乗場ドアレール・注意銘板					
		昇降路関係	レール・緩衝器					

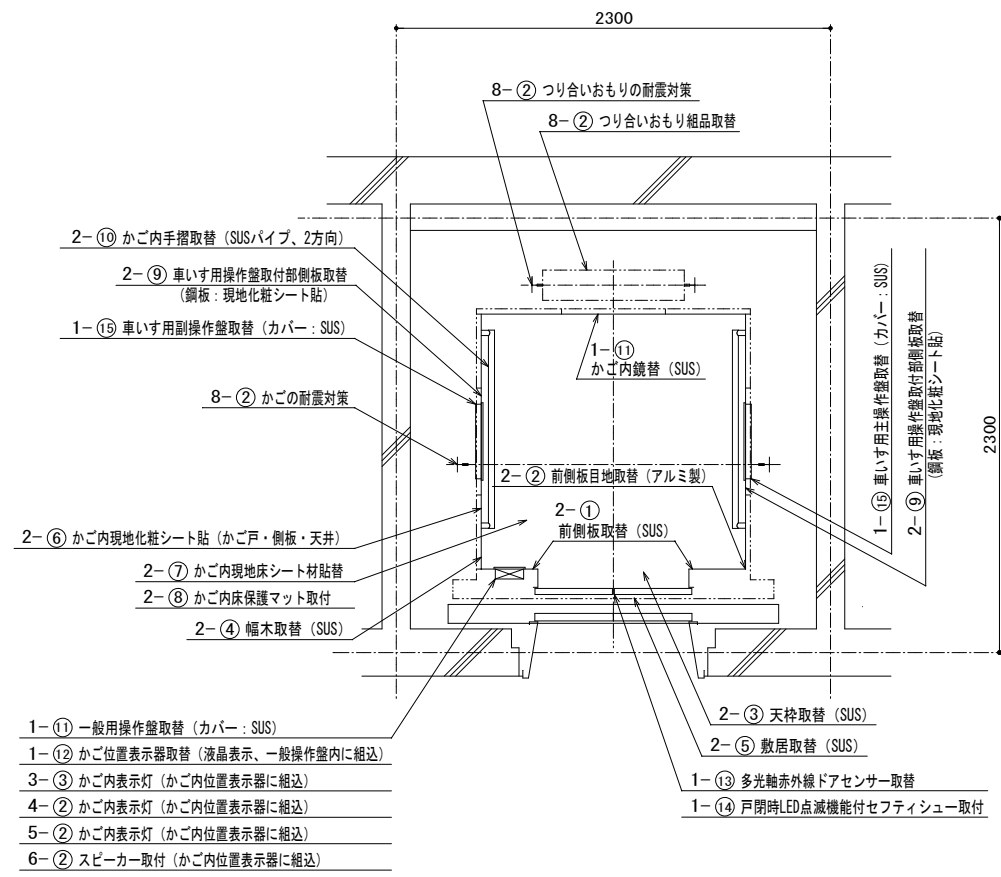
エレベーター除外工事

電気工事	火災報知設備~機械室制御盤	① 火災報知信号無電圧 a 接点支給及び配管配線 (印加電圧 DC24V 接点容量 1A)
------	---------------	---

御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	 中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8 <small>1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二 1級建築士登録 第262345号 坂本 薫</small>	校閲	 	工事名称	中央公民館長寿命化改修工事 (その1) (建築主体工事)	図面番号	EV-01
						設計	 	設計年月日	2025. 03	図面名称	昇降機仕様書
										縮尺	1/1

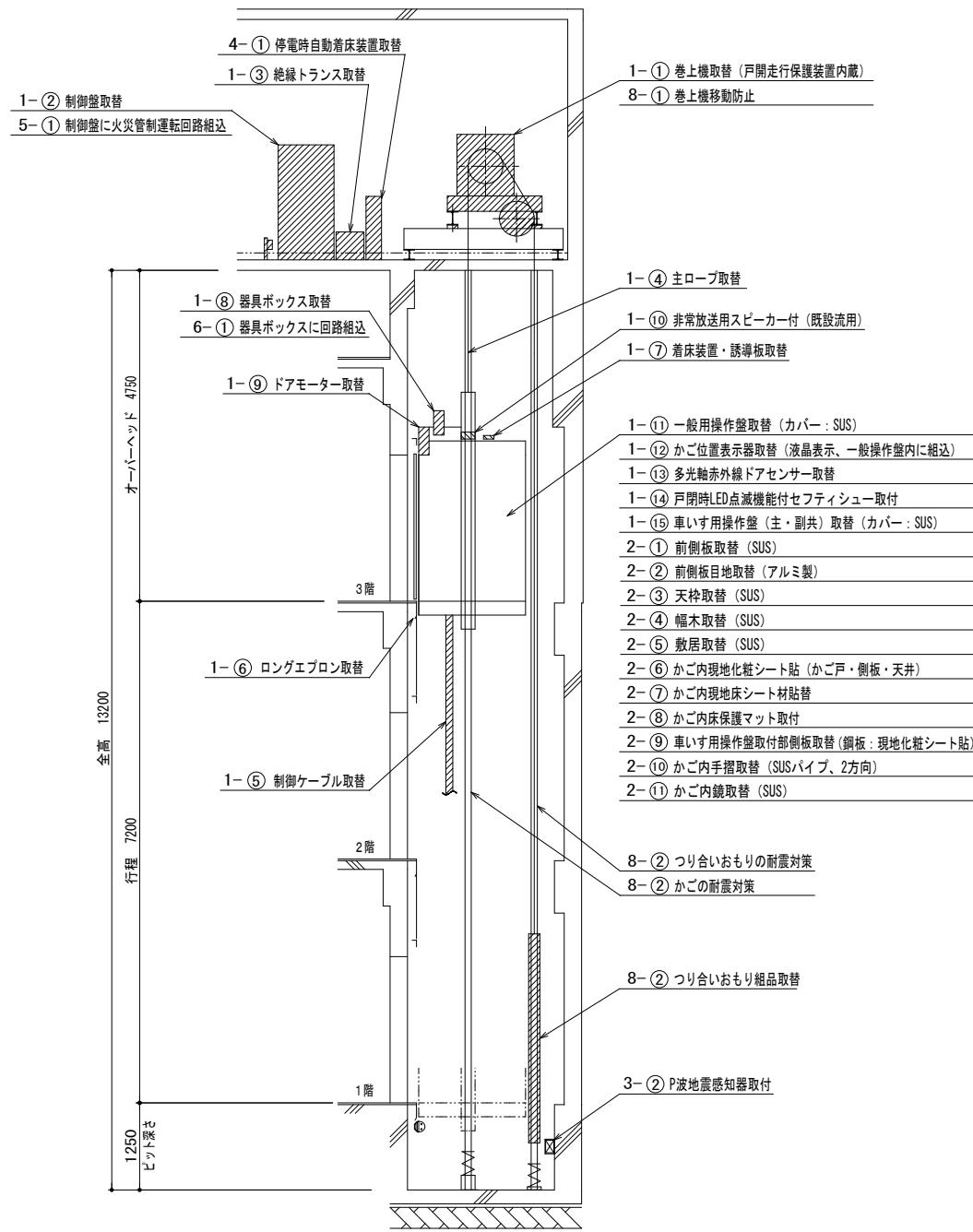


機械室平面図 (1:20)

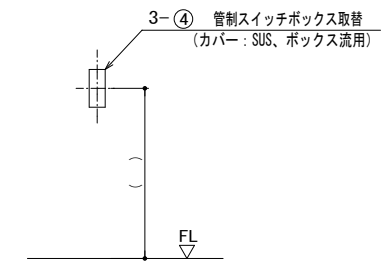


昇降路平面図 (1:20)

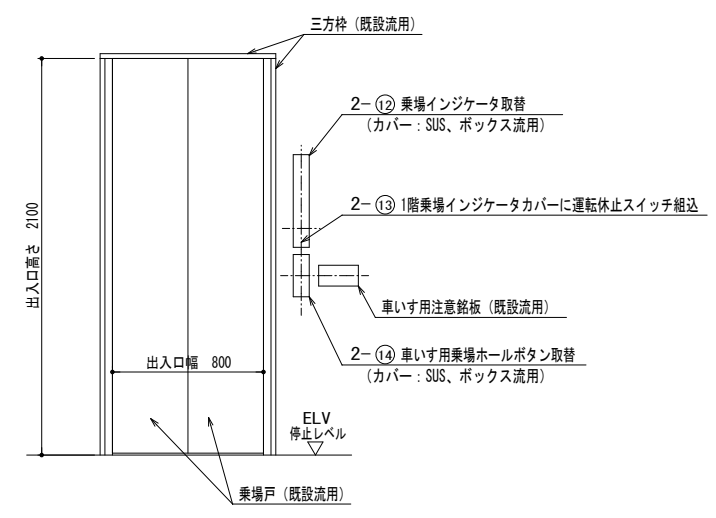
御注文先	三原市殿	御承認	記	月 日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8 1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685 号 藤本 誠二 1級建築士登録 第 262345 号 坂本 薫	校閲	藤本	工事名称	中央公民館長寿命化改修工事 (その1) (建築主体工事)	図面番号	EV-02	
			事			設計	坂本	設計年月日	2025. 03	図面名称	昇降路平面図 機械室平面図	縮尺



昇降路断面図 (1:50)



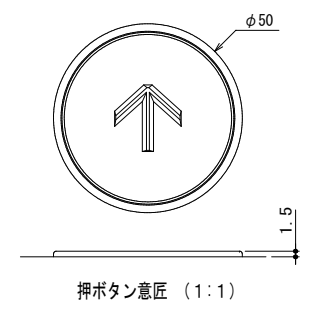
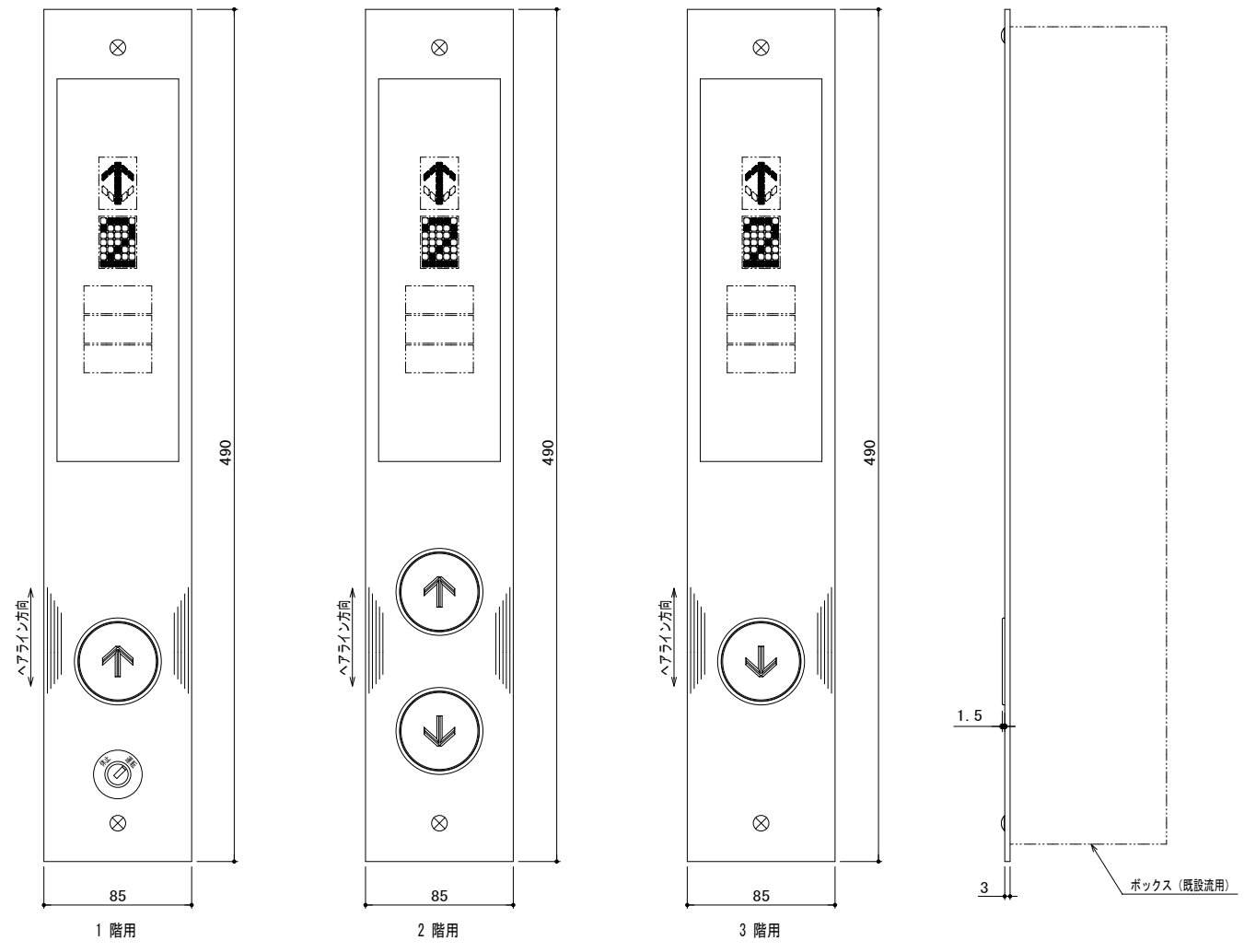
地震管制スイッチボックス意匠 (1:20)



出入口正面図 (1:20)

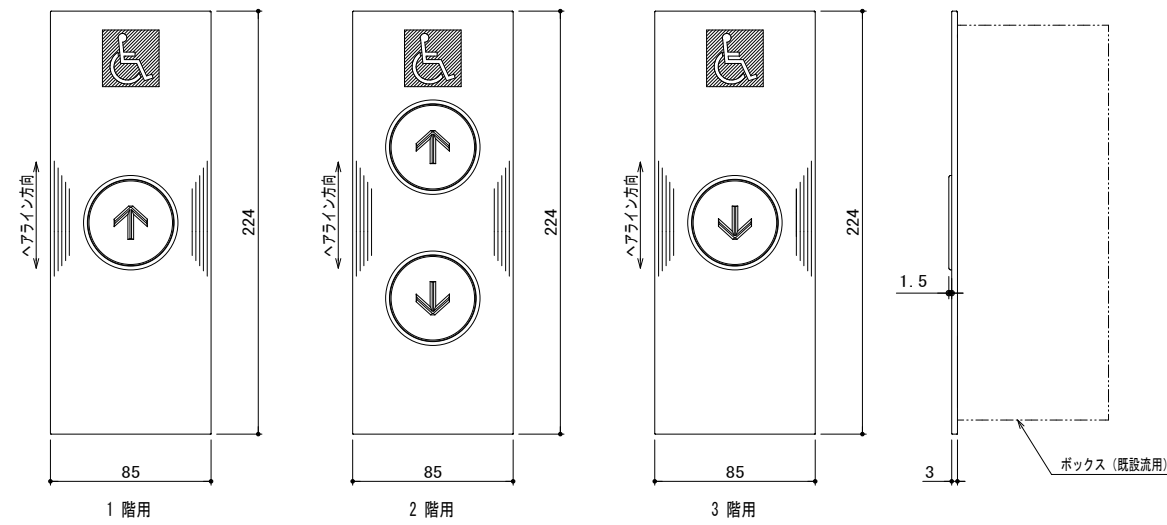
御注文先	三原市殿	御承認	記事	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685 号 藤本 誠二 1級建築士登録 第 262345 号 坂本 薫	校閲 設計	工事名称 中央公民館長寿命化改修工事 (その1) (建築主体工事) 図面名称 昇降路断面図 出入口正面図 設計年月日 2025. 03	図面番号 EV-03 縮尺 1/50 1/20
------	------	-----	----	----	--	---	----------	---	-------------------------------

※A3: 50%縮小



品名	仕様
押しボタン	ボタン部は白色、枠はライトグレープラスチック製、矢印はダークグレー 凸文字、周囲はオレンジ色点灯表示 (発光ダイオード)
カバー	ステンレスヘアライン仕上 3T
表示部	スモーク調プラスチック製
運転方向灯 位置表示灯	矢印、文字共、サンセットオレンジ色点灯表示 (発光ダイオード)
キースイッチ	キースイッチはクロームメッキ仕上 銘板はグレー調プラスチック製 貼付銘板 文字は白色
文字書体	和文字は新ゴシックM 英数字はフルーティガー・65ボールド

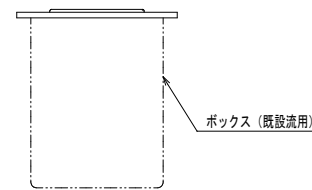
※A3 : 50%縮小



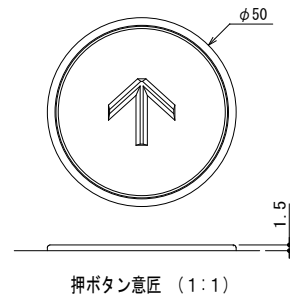
1 階用

2 階用

3 階用

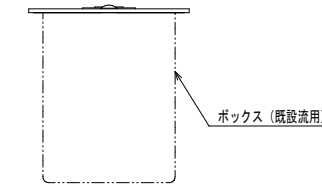
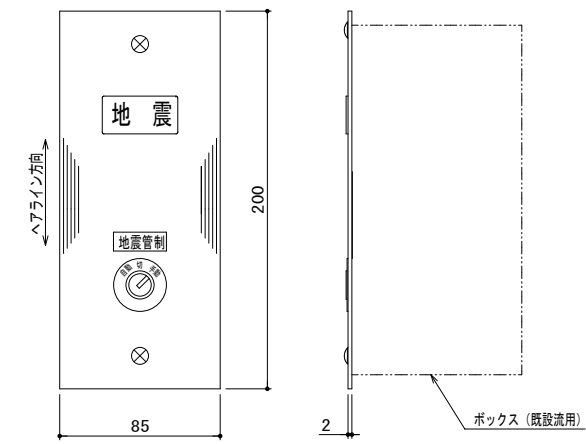


車いす用ホールボタン意匠図 (1:2)



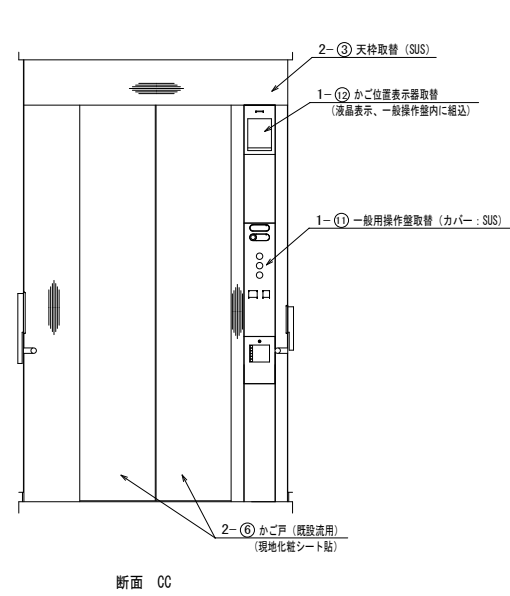
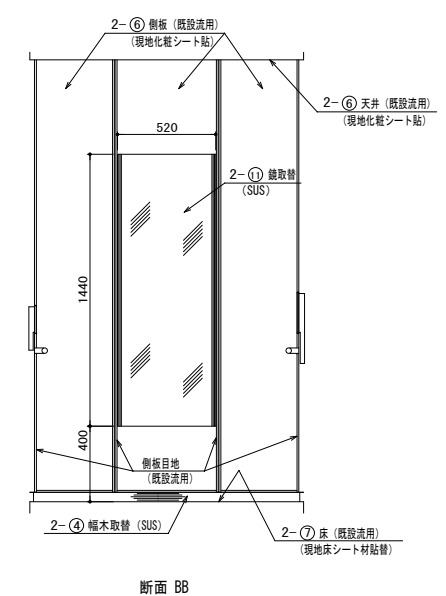
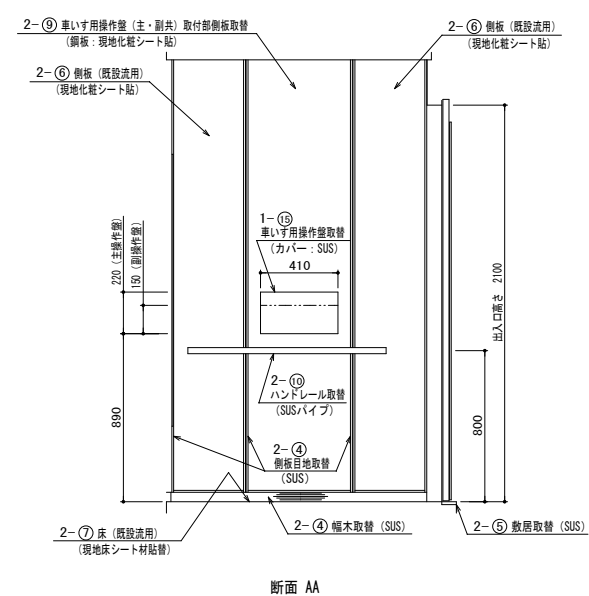
押ボタン意匠 (1:1)

品名	車いす用ホールボタン 仕様
押しボタン	ボタン部は白色、枠はライトグレープラスチック製、矢印はダークグレー 凸文字、周囲はオレンジ色点灯表示 (発光ダイオード)
カバー	ステンレスヘアライン3T
車いすマーク	マークは白色、地はブルー色 (貼付銘板)



地震管制スイッチボックス意匠図 (1:2)

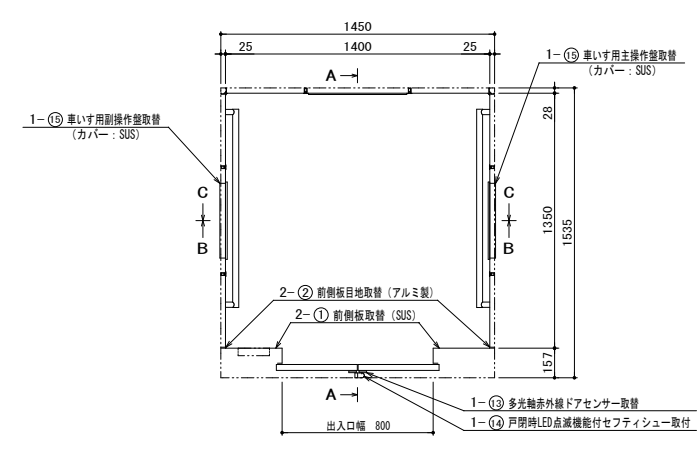
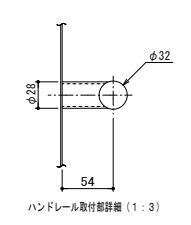
品名	管制スイッチボックス 仕様
カバー	ステンレスヘアライン仕上 2T
キースイッチ	キースイッチはクロームメッキ仕上 銘板はグレー調プラスチック製 文字は白色 (貼付銘板)



断面 AA

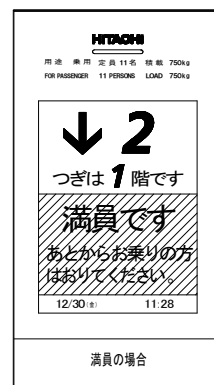
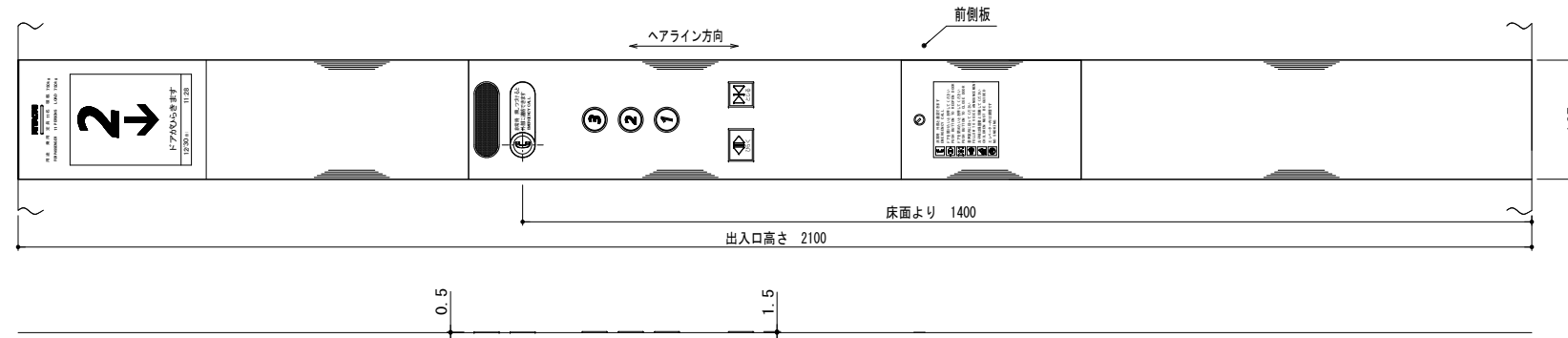
断面 BB

断面 CC

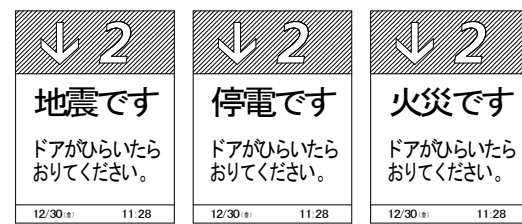


仕 様	
前側板	取替: ステンレスヘアライン仕上
天 枠	取替: ステンレスヘアライン仕上
戸	既設流用: 現地化粧シート貼
側 板	既設流用: 現地化粧シート貼 但し、車いす用操作盤 (主・副) 取付部側板取替 (鋼板: 化粧シート貼)
前側板目地	取替: アルミ製
側板目地	既設流用
天 井	既設流用: 現地化粧シート貼
天 井 照 明	既設流用
幅 木	取替: ステンレスヘアライン仕上
床	既設流用: 現地床シート材貼替
敷 居	取替: ステンレス製
手 摺	取替: ステンレスパイプ
鏡	取替: ステンレス鏡面 (両端ヘアライン仕上)
一般用操作盤	取替: カバー: ステンレスヘアライン仕上
車いす用操作盤 (主・副)	取替: カバー: ステンレスヘアライン仕上
位置表示器	取替: 液晶表示、一般用操作盤組込
光 電 装 置	新製: 多光軸赤外線ドアセンサー取付
セフティシュー	新製: 戸閉時LED点滅機能付
付 属 品	床保護マット

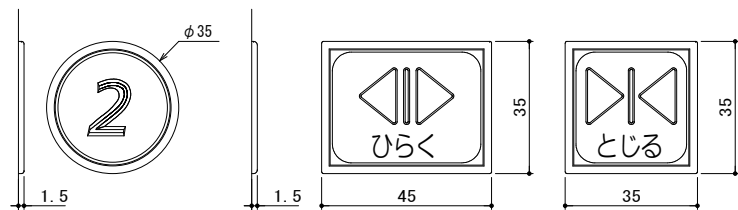
※A3: 50%縮小



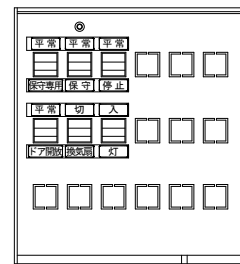
用途銘板及び表示部詳細図 (1:3)



カーポジションインジケータ表示パターン (1:3)



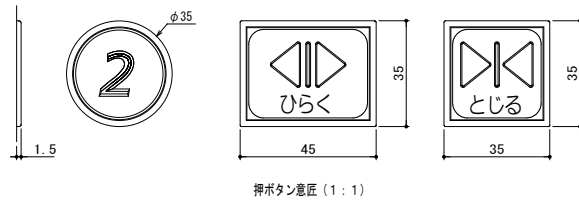
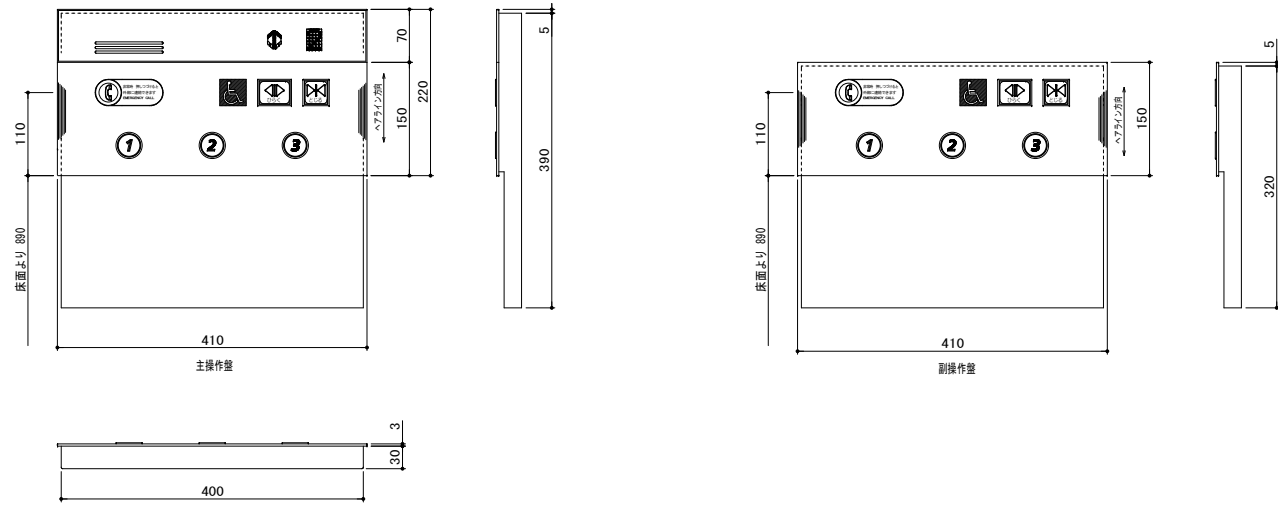
押ボタン意匠 (1:1)



下部スイッチボックス内 (1:2)

品名	カーポジションインジケータ 仕様
表面パネル	無色透明プラスチック製、裏面より黒色印刷
表示部	8.4インチ IPS液晶モニター
用途文字	裏面より白色印刷
文字書体	和文字は新ゴシックM 英数字はフルティガー・65ポールド

品名	操作盤 仕様
連絡装置	インターホン機内蔵 (相互同時通話方式) 音抜穴部はシルバー調メッシュシート
非常呼ボタン	ボタン部は黄色プラスチック製、 マークはダークグレー 凸文字、 マーク周囲はオレンジ色点灯表示 (発光ダイオード) 使用説明銘板はシルバー調プラスチック製、 文字は白色 (貼付銘板)
ドア開閉ボタン	ボタン部は白色、枠はライトグレープラスチック製、 「<D>」マーク・「ひらく」は緑色 凸文字、 「<X>」マーク・「とじる」はダークグレー 凸文字 マーク周囲はオレンジ色点灯表示 (発光ダイオード)
行先階ボタン	ボタン部は白色、枠はライトグレープラスチック製、 文字はダークグレー 凸文字 周囲はオレンジ色点灯表示 (発光ダイオード)
注意銘板	無色透明フィルム、文字・マークは白色 (貼付銘板)
カバー	ステンレスヘアライン仕上
ボタン	「ひらく」「とじる」：ナールD
銘板書体	階床：フルティガー・ポールド・イタリック
文字書体	和文字は新ゴシックM 英数字はフルティガー・65ポールド



品名	仕様
連絡装置	インターホン子機内蔵、相互同時通話方式
非常呼ボタン	ボタン部は黄色プラスチック製、マークはダークグレー 凸文字、マーク周囲オレンジ色点灯表示 (発光ダイオード)、使用説明銘板はシルバー調プラスチック製、文字は白色 貼付銘板
ドア開閉ボタン	ボタン部は白色、枠はライトグレープラスチック製、「<開>」マーク・「ひらく」は緑色 凸文字、「閉」マーク・「とじる」はダークグレー 凸文字、マーク周囲オレンジ色点灯表示 (発光ダイオード)
行先階ボタン	ボタン部は白色、枠はライトグレープラスチック製、文字はダークグレー 凸文字、周囲はオレンジ色点灯表示 (発光ダイオード)
カバー	ボタン部はステンレスヘアライン仕上 3T、表示部は黒色プラスチック製
表示部	スモーク調プラスチック製、表面より黒色印刷
運転方向灯位置表示灯	矢印、文字共、サンセットオレンジ色点灯表示 (発光ダイオード)
車いすマークボタン	マークは白色、地はブルー色 貼付銘板
銘板書体	階床：フルティガー・ボールド・イタリック
文字書体	和文字は新ゴシック、英数字はフルティガー・65ボールド

<p>巻上機</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>巻上機型式</th> <th>電動機容量</th> <th>重量</th> </tr> <tr> <td>MF100R2-CJ</td> <td>3.7kW</td> <td>698kg</td> </tr> </table>	巻上機型式	電動機容量	重量	MF100R2-CJ	3.7kW	698kg	<p>制御盤</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>材質</th> <td>カバー、扉：鋼板製 1.6T</td> </tr> <tr> <th>表面処理</th> <td>塗装仕上 (BG-03)</td> </tr> </table>	材質	カバー、扉：鋼板製 1.6T	表面処理	塗装仕上 (BG-03)	<p>停電時自動着床装置</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>バッテリー</th> <td>小型シールド鉛蓄電池：4個直列接続 (1個当たりの電圧12V 公称容量32Ah)</td> </tr> <tr> <th>材質</th> <td>天井・裏面カバー：鋼板製 2.3T 正面・側面カバー：鋼板製 1.6T</td> </tr> <tr> <th>表面処理</th> <td>塗装仕上 (BG-03)</td> </tr> <tr> <th>備考</th> <td>付属品：プルボックス</td> </tr> </table>	バッテリー	小型シールド鉛蓄電池：4個直列接続 (1個当たりの電圧12V 公称容量32Ah)	材質	天井・裏面カバー：鋼板製 2.3T 正面・側面カバー：鋼板製 1.6T	表面処理	塗装仕上 (BG-03)	備考	付属品：プルボックス
巻上機型式	電動機容量	重量																		
MF100R2-CJ	3.7kW	698kg																		
材質	カバー、扉：鋼板製 1.6T																			
表面処理	塗装仕上 (BG-03)																			
バッテリー	小型シールド鉛蓄電池：4個直列接続 (1個当たりの電圧12V 公称容量32Ah)																			
材質	天井・裏面カバー：鋼板製 2.3T 正面・側面カバー：鋼板製 1.6T																			
表面処理	塗装仕上 (BG-03)																			
備考	付属品：プルボックス																			

<p>絶縁トランスボックス</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th colspan="2">仕様</th> </tr> <tr> <th>容量</th> <td>7kVA</td> </tr> <tr> <th>カバー</th> <td>鋼板製 塗装仕上</td> </tr> <tr> <th>重量</th> <td>55kg</td> </tr> </table>	仕様		容量	7kVA	カバー	鋼板製 塗装仕上	重量	55kg	<p>かご上器具ボックス</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>材質</th> <td>天井・側面・裏面カバー：メッキ鋼板製 1.6T 正面カバー：メッキ鋼板製 1.2T</td> </tr> </table>	材質	天井・側面・裏面カバー：メッキ鋼板製 1.6T 正面カバー：メッキ鋼板製 1.2T	<p>地震感知器 (S 波)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th colspan="2">仕様</th> </tr> <tr> <td>1. 形式</td> <td>V-858N1</td> </tr> <tr> <td>2. 検出方向</td> <td>水平全方向</td> </tr> <tr> <td>3. 設定加速度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <th></th> <th>低</th> <th>高</th> </tr> <tr> <th>1</th> <td>200Gal</td> <td>300Gal</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(「エレベーター耐震設計施工指針」普通級に準拠)</td> </tr> </table>	仕様		1. 形式	V-858N1	2. 検出方向	水平全方向	3. 設定加速度			<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <th></th> <th>低</th> <th>高</th> </tr> <tr> <th>1</th> <td>200Gal</td> <td>300Gal</td> </tr> </table>		低	高	1	200Gal	300Gal	(「エレベーター耐震設計施工指針」普通級に準拠)		<p>地震感知器 (P 波)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th colspan="2">仕様</th> </tr> <tr> <td>1. 形式</td> <td>V-012P</td> </tr> <tr> <td>2. 検出方向</td> <td>垂直方向</td> </tr> <tr> <td>3. 設定加速度</td> <td>2.5/5Gal (2.5Galに設定)</td> </tr> </table>	仕様		1. 形式	V-012P	2. 検出方向	垂直方向	3. 設定加速度	2.5/5Gal (2.5Galに設定)
仕様																																							
容量	7kVA																																						
カバー	鋼板製 塗装仕上																																						
重量	55kg																																						
材質	天井・側面・裏面カバー：メッキ鋼板製 1.6T 正面カバー：メッキ鋼板製 1.2T																																						
仕様																																							
1. 形式	V-858N1																																						
2. 検出方向	水平全方向																																						
3. 設定加速度																																							
	<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <th></th> <th>低</th> <th>高</th> </tr> <tr> <th>1</th> <td>200Gal</td> <td>300Gal</td> </tr> </table>		低	高	1	200Gal	300Gal																																
	低	高																																					
1	200Gal	300Gal																																					
(「エレベーター耐震設計施工指針」普通級に準拠)																																							
仕様																																							
1. 形式	V-012P																																						
2. 検出方向	垂直方向																																						
3. 設定加速度	2.5/5Gal (2.5Galに設定)																																						

※A3：50%縮小

鉄筋コンクリート構造標準配筋図 (1)

1. 一般事項

鉄筋表示記号
鉄筋の断面表示は下記の記号による

異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	○	×	◇	●	○	◎	⊗	●

2. 鉄筋加工、かぶり

鉄筋の折曲げ(末端部)

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径(D)			備考
		SD295A, SD295B, SD345 D16以下	SD295B, SD345 D19~D38	SD390 D19~D38	
180°					
135°					
90°		3d以上	4d以上	5d以上	
135°及び90°					幅止め筋
90°未満		4d以上	6d以上	8d以上	

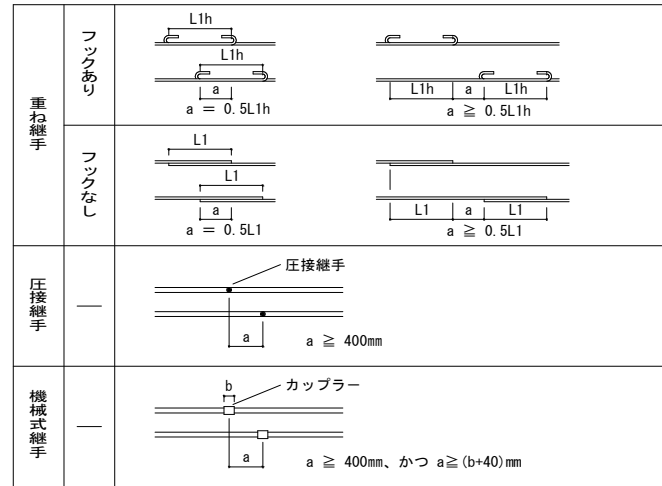
(注) 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。

鉄筋の重ね継手及び定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (F _c) (N/cm ²)	フックなし			フックあり			
		L1	L2	L3	L1h	L2h	L3h	L3h
SD295A SD295B	18	45d	40d	小梁 床版	10d かつ 150mm 以上	35d	30d	小梁 床版
	21	40d	35d			30d	25d	
	24, 27	35d	30d			25d	20d	
SD345	30, 33, 36	35d	30d	20d	10d かつ 150mm 以上	25d	20d	10d
	18	50d	40d			35d	30d	
	21	45d	35d			30d	25d	
SD390	24, 27	40d	35d	20d	10d かつ 150mm 以上	30d	25d	10d
	30, 33, 36	35d	30d			25d	20d	
	21	50d	40d			35d	30d	

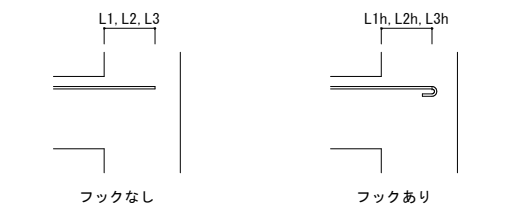
- (注) 1. L1, L1h: 2. 以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
 2. L2, L2h: 割裂破壊の恐れのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
 3. L3: 小梁及び床の下端筋の直線定着の長さ。但し、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁を除く。
 4. L3h: 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ。
 5. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。
 6. 次の部分に使用する異形鉄筋の末端部には、フックを付ける。
 ・柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場所及び最上階の柱頭にある場合。
 ・梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合。(基礎梁を除く)
 ・煙突の鉄筋。(壁の一部となる場合を除く)
 ・杭基礎のベース筋
 ・帯筋、あばら筋及び幅止め筋。

隣合う継手の位置

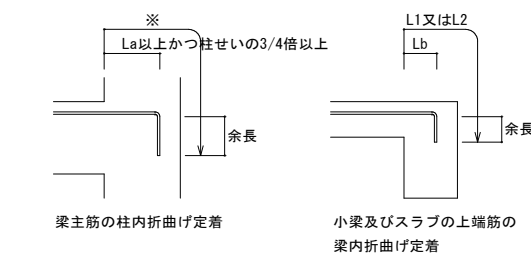


定着の方法

(1) 直線定着



(2) 折曲げ定着



※ 40d (軽量コンクリートの場合 50d) と L1 のうち大きい値とする。

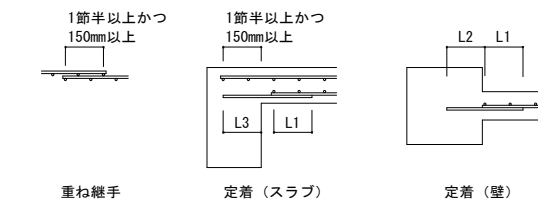
鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (F _c) (N/cm ²)	La	Lb
SD295A SD295B	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24, 27	15d	15d
SD345	30, 33, 36	15d	15d
	18	20d	20d
	21	20d	20d
SD390	24, 27	20d	20d
	30, 33, 36	20d	15d
	21	20d	20d

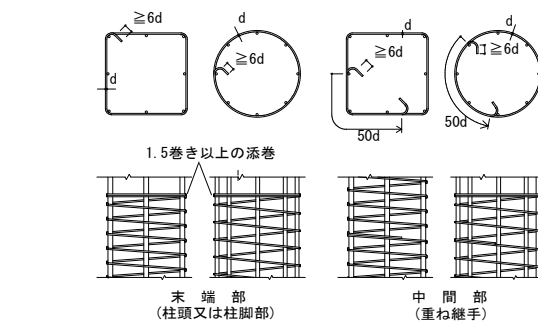
- (注) 1. La: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ。(基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む)
 2. Lb: 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ。(片持ち小梁及び片持ちスラブを除く)
 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

その他の鉄筋の継手及び定着の方法

・溶接金網の継手及び定着



・スパイラル筋の継手及び定着



鉄筋の最小かぶり厚さ

■ 鉄筋の最小かぶり厚さ (JASS5)

構造部分の種類	最小かぶり厚さ(mm)	
	仕上げあり	仕上げなし
土に接しない部分	床版、耐力壁以外の壁	20
	柱内	30
	屋外	30
	耐力壁	30
土に接する部分	柱、梁、床版、壁	*40
	基礎、擁壁、耐圧床版	*60
煙突等高温を受ける部分		60

(a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、上表による。

ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを、径の1.5倍以上として最小かぶり厚さを定める。

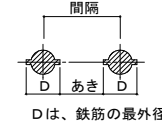
- *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、特記による。
- 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、耐久性上有効でない仕上げ(仕上塗料、吹付け又は塗装等)のものを除く。
- 床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、均しコンクリートの厚さを含まない。
- 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。
- 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

(b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

(c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

(d) 鉄筋相互のあきは、次の値のうち最大のものを以上とする。ただし、特殊な鉄筋継手の場合は、特記による。

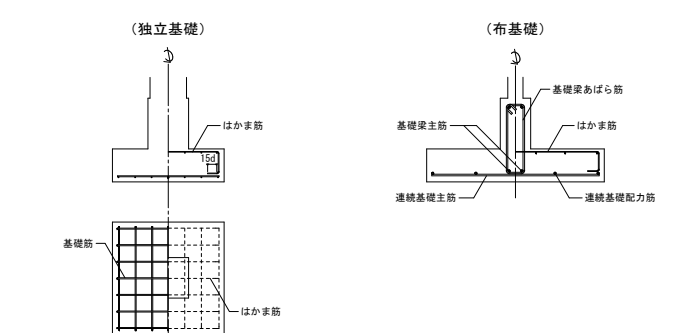
- 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- 25mm
- 隣り合う鉄筋の平均径(呼び名に用いた数値d)の1.5倍。



Dは、鉄筋の最外径

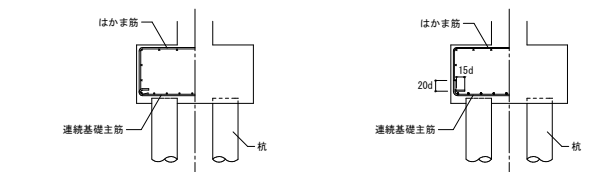
3. 基礎

(a) 基礎の配筋
(1) 直接基礎

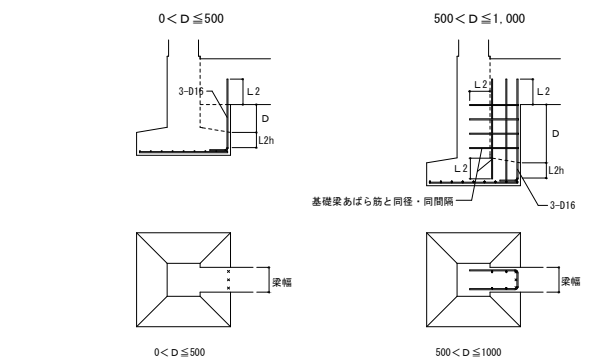


(2) 杭基礎

(基礎筋端部にフックを設ける場合) (基礎筋端部にフックを設けない場合)



(b) 基礎接合部の補強筋



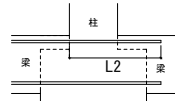
(注) L2hを確保できない場合は、全長をL2とし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さLbとする。

鉄筋コンクリート構造標準配筋図(2)

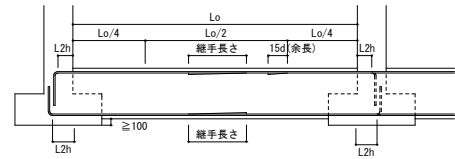
4. 基礎梁

(a) 基礎主筋の継手及び定着

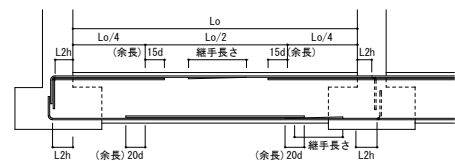
- 一般事項
 - 梁筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。
 - 梁筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
上端筋：曲げ降ろす。
下端筋：原則として曲げ上げる。



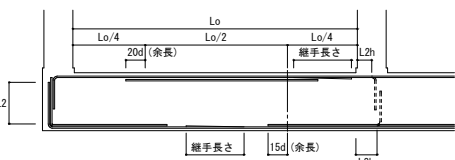
(2) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合



(3) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合

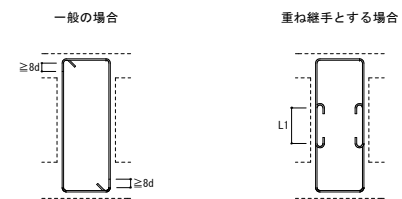


(4) 連続基礎及びびた基礎の場合



- (注) 1. 図示のない事項は、大梁にならう。
2. 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. L2hを確保できない場合は、全長を 40d とし、かつ、余長を 8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さ La かつ柱せいの3/4倍以上とする。

(b) 基礎梁のあばら筋

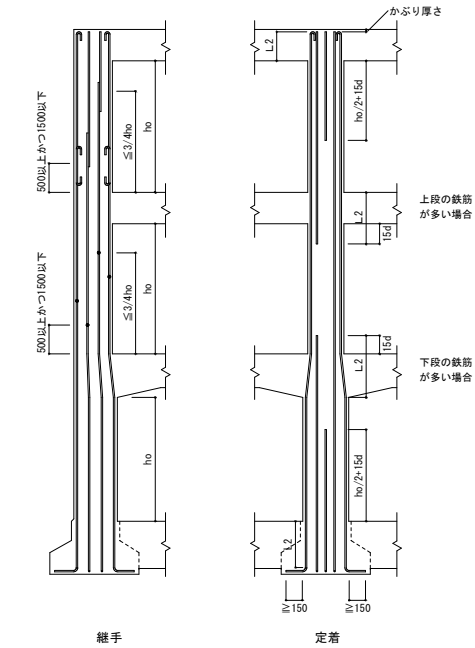


5. 柱

(a) 柱主筋の継手及び定着

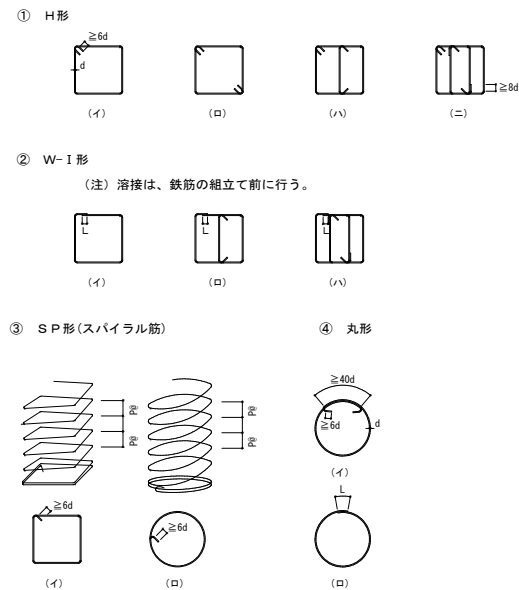
- 一般事項
 - 継手及び接合中心位置は、梁上端から500mm以上1500mm以下かつ、3/4ho(hoは柱の内法高さ)以下とする。
 - 重ね継手長さはL1とし、定着及び余長は下図による。ただし、柱頭定着長さL2が確保できない場合は、特記による。(構造計算等により必要長さの確認を行う)
 - 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックをつける。

(2) 柱の主筋



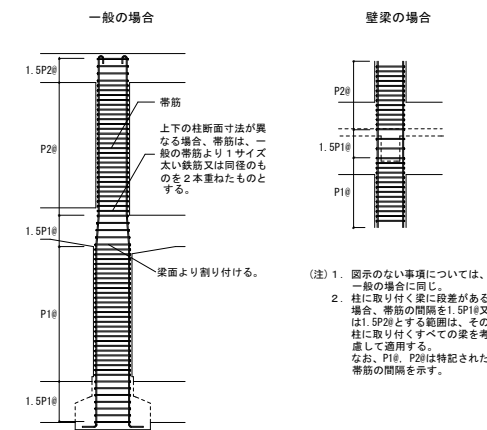
(b) 帯筋

- 帯筋の種類及び間隔は、特記による。
- 帯筋組立ての形は、下図とし種別は特記による。特記がなければ次による。
 - H形とする。
 - H形の135°曲げフックが困難な場合は、W-I形とする。
 - 溶接する場合の溶接長さは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。
 - S P形において、柱頭及主筋の端部は1.5巻き以上の添巻きを行う。
 - フック及び継手の位置は、交互とする。



(3) 帯筋の割付け

帯筋の割付けは、特記が無ければ下図による。

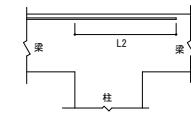


- (注) 1. 図示のない事項については、一般の場合に同じ。
2. 柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.SP1h又は1.SP2hとする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。
なお、P1h、P2hは特記された帯筋の間隔を示す。

6. 大梁

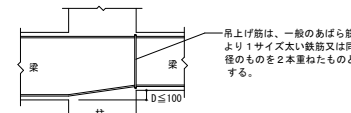
(a) 大梁筋の継手及び定着

- 一般事項
 - 梁主筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、2)により柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は下図による。

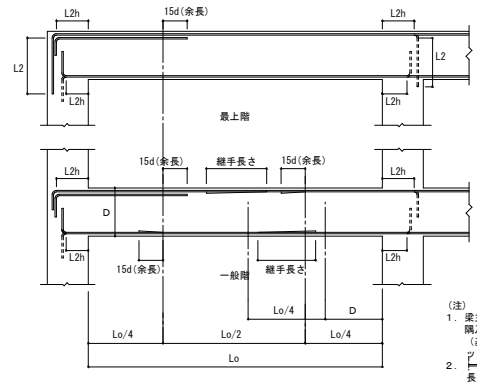


(2) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。

- 上端筋：曲げ降ろす。
下端筋：原則として曲げ上げる。
- 継手中心位置は、次による。
上端筋 — 中央 L0/2以内
下端筋 — 両端 柱面より梁せい(D)以上離し、L0/4を加えた範囲以内
- 梁にハンチをつける場合、その傾斜は特記による。特記がなければ1:4とする。
- 段違い梁は、下図によることができる。



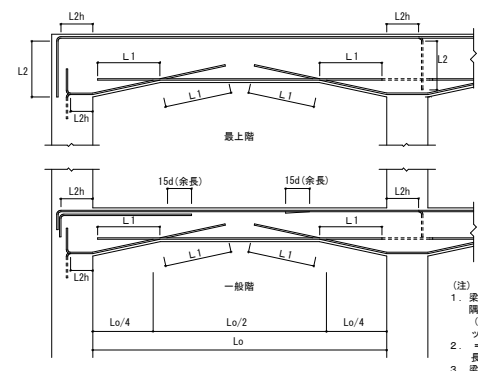
(2) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長



- (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下階の両端にある鉄筋(基礎梁を除く。)には、フックをつける。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 破線は、柱内定着を示す。

(注) L2hを確保できない場合は、全長を 40d とし、かつ、余長を 8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さ La かつ柱せいの3/4倍以上とする。

(3) ハンチのある場合の重ね継手、定着及び余長

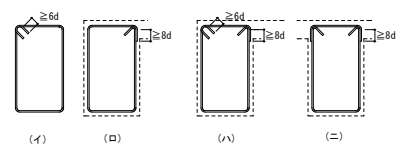


- (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下階の両端にある鉄筋(基礎梁を除く。)には、フックをつける。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 梁内定着の端部下階筋が接近するときは、□□□□のように引き通すことができる。
4. 破線は、柱内定着を示す。

(注) L2hを確保できない場合は、全長を 40d とし、かつ、余長を 8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さ La かつ柱せいの3/4倍以上とする。

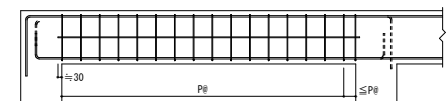
(b) あばら筋、腹筋及び幅止め筋

- 一般事項
 - あばら筋の種類、径及び間隔は、特記による。
 - 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
 - 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、特記がなければL2とする。
 - 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1000#程度とする。
- あばら筋組立ての形及びフックの位置
 - (イ)を標準とする。ただし、L形梁の場合は、(ロ)又は(ハ)、T形梁の場合は、(ロ)~(ニ)とすることができる。
 - フックの位置は、(イ)の場合は交互とし、(ロ)の場合は、L形では床版の付く側、T形では交互とする。なお、(ハ)の場合は、床版の付く側を90°折曲げとする。

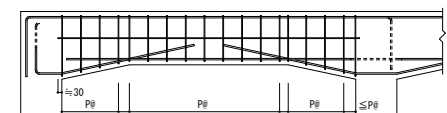


(3) あばら筋の割付け

(i) ハンチのない場合

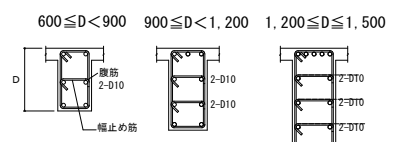


(ii) ハンチがある場合

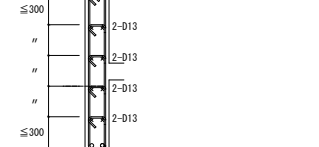


(4) 腹筋及び幅止め筋

(i) 一般の梁

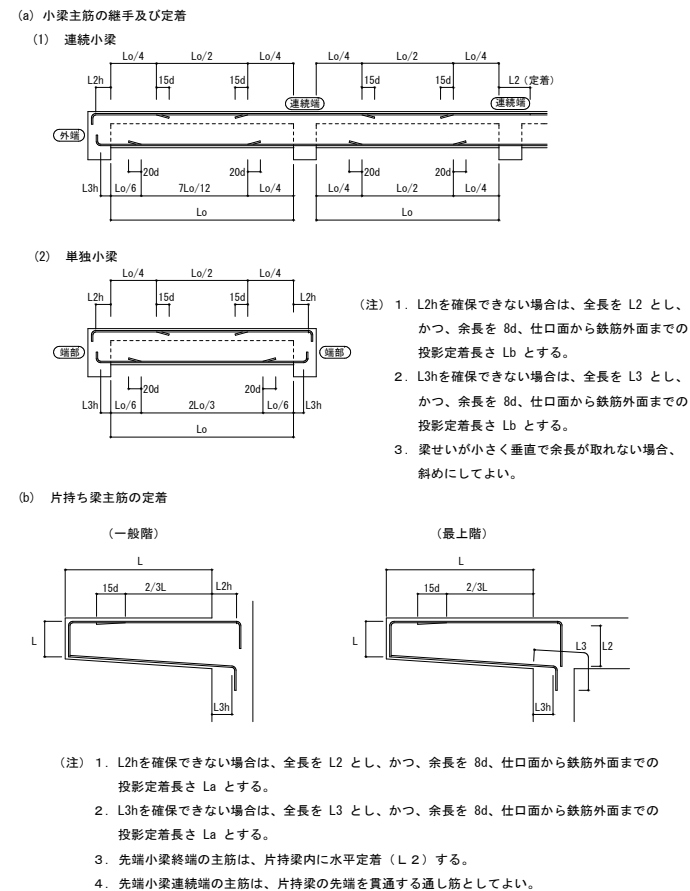


(ii) 壁梁

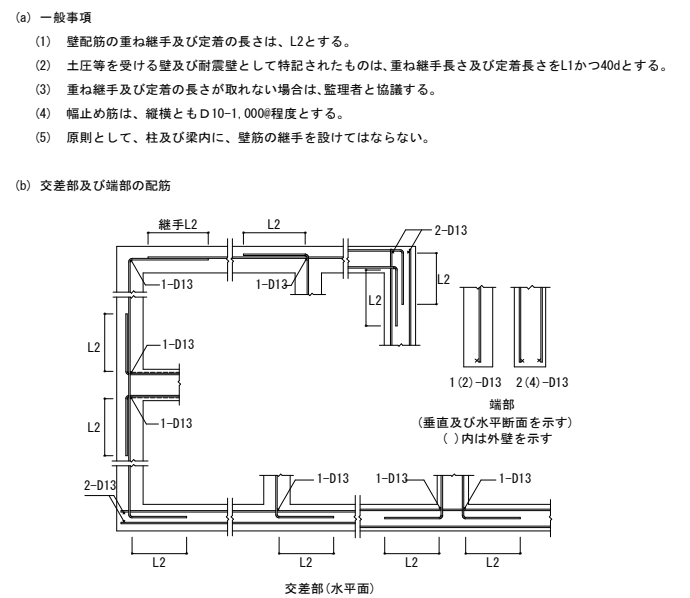


鉄筋コンクリート構造標準配筋図 (3)

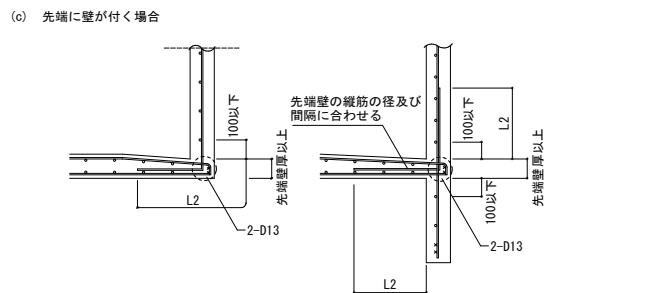
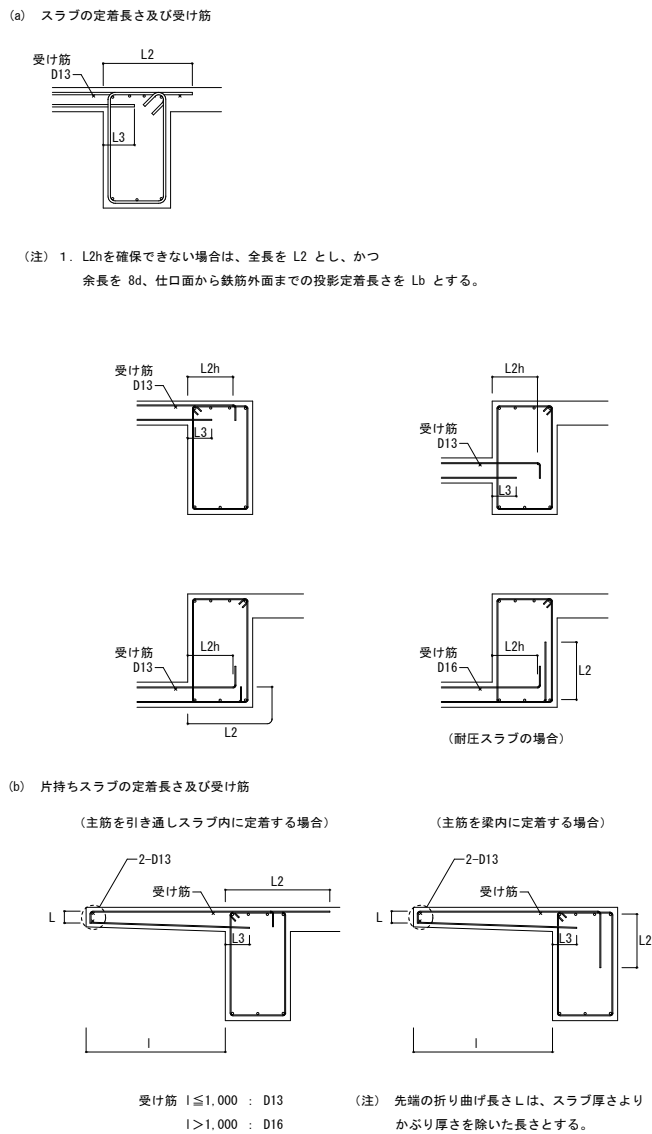
7. 小梁及び片持ち梁



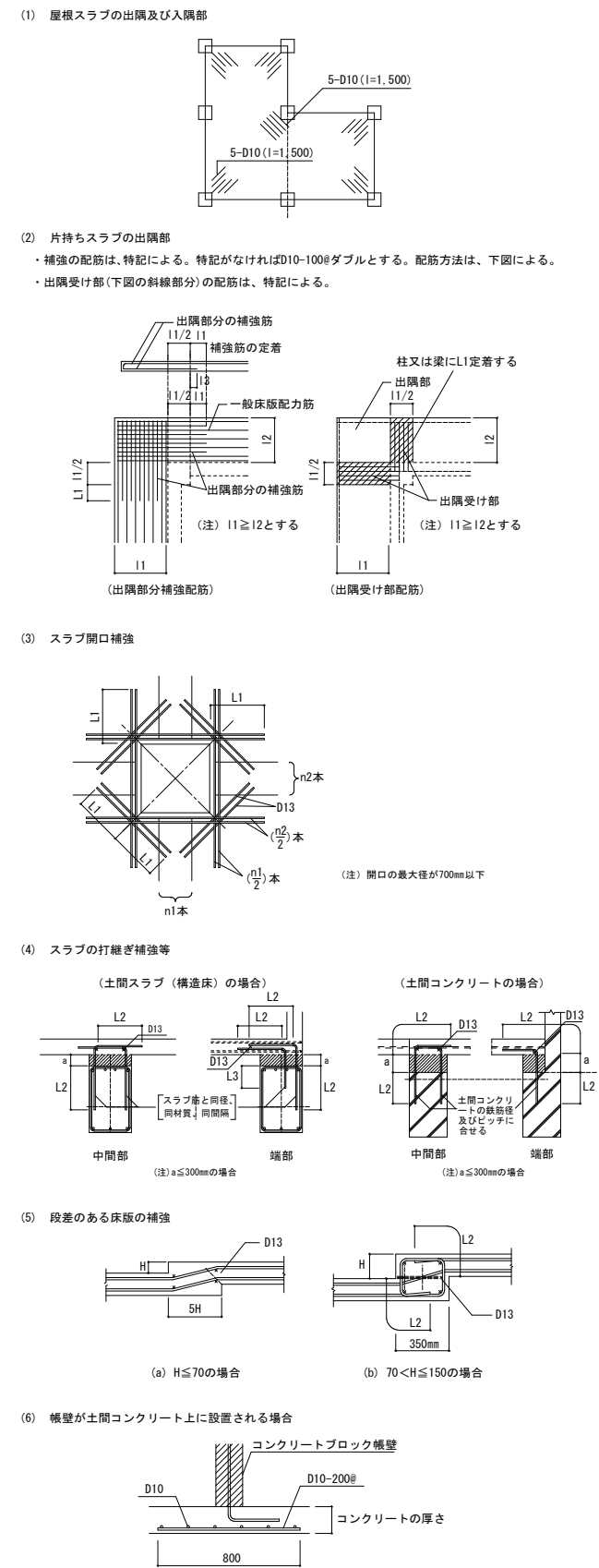
8. 壁



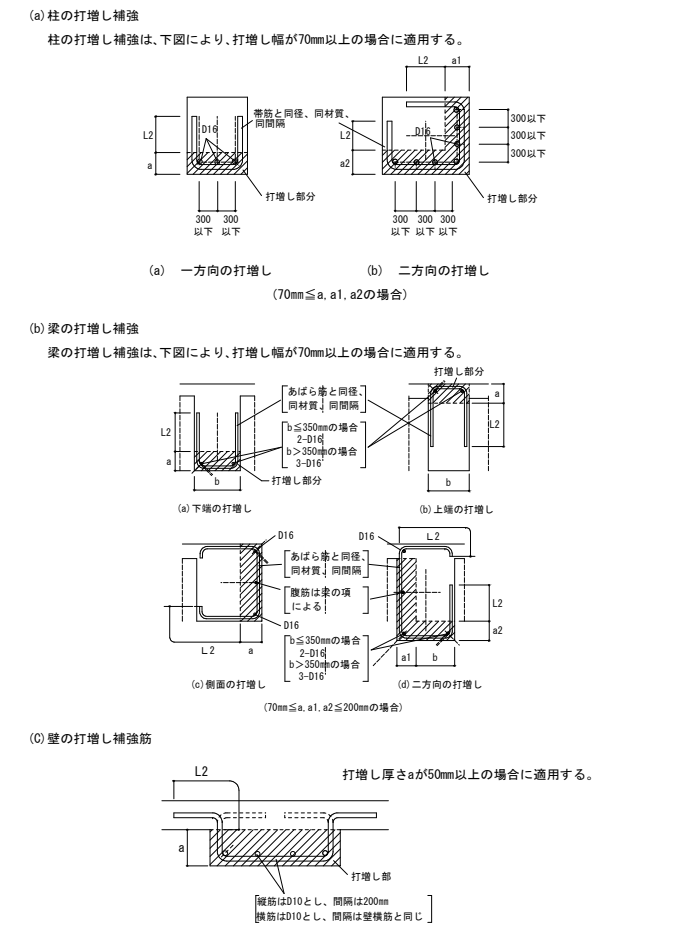
9. 床版



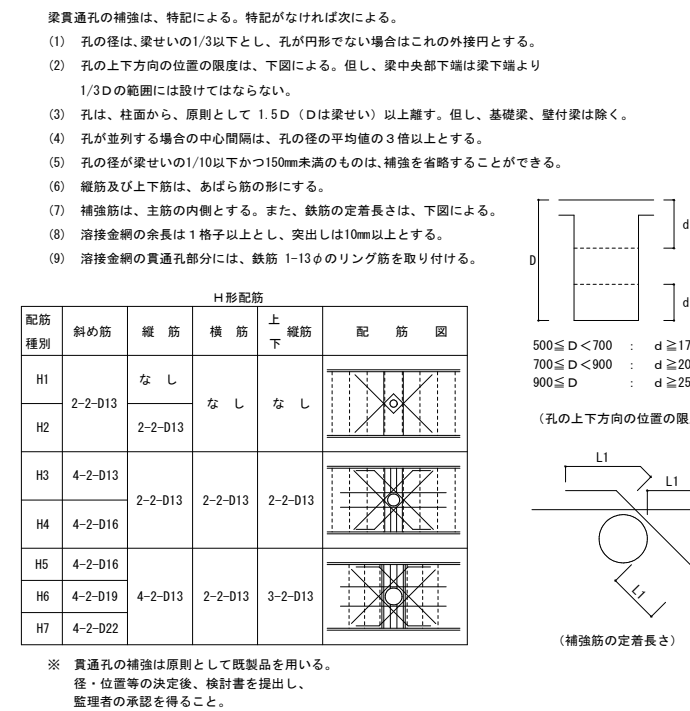
(d) その他の補強



10. 打増し補強



11. 梁貫通孔の補強



鉄骨構造標準図(1)

1. 溶接接合

1. 溶接継手の種類別開先形状

(1) 突合せ溶接

ア 突合せ継手(B)の開先標準は、図2.3による。

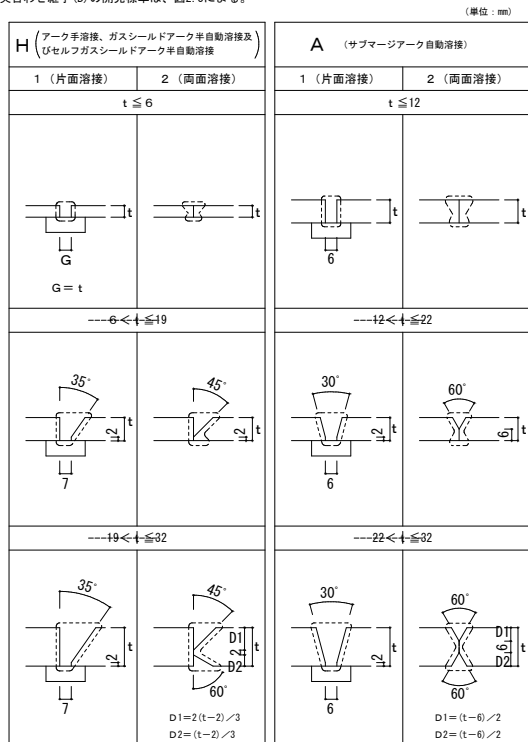


図2.3 突合せ継手の開先標準

イ T形継手(T)の開先標準は、図2.4による。

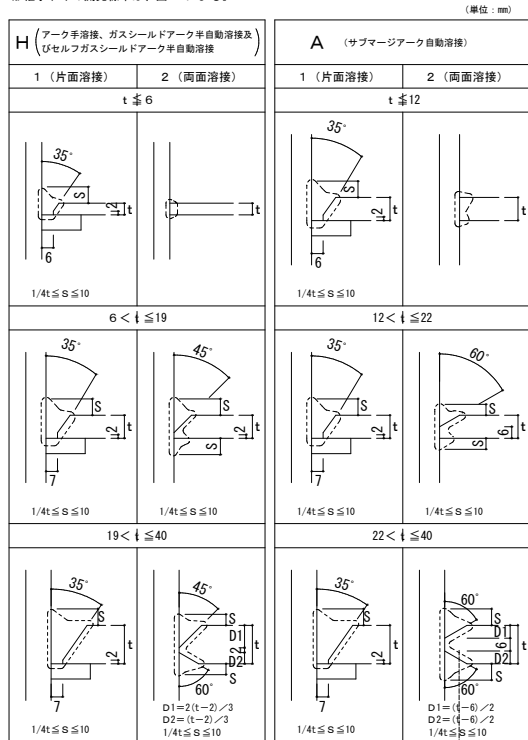


図2.4 T形継手の開先標準

(注) 1. 裏はつり

突合せ溶接における両面溶接は、原則として裏はつりを行う。裏はつりは、健全な溶着部分が現れるまではつり取った後、裏溶接を行う。ただし、自動溶接において完全溶込みが得られたことが超音波探傷試験等で確認できる場合は、裏はつりを省略することができる。

2. 裏当て金

(1) 突合せ溶接の片面溶接に用いる裏当て金は、原則としてフランジ内側に設置し、取付方法は、図2.6による断続隅肉溶接とし、溶接間隔は溶接部に支障を与えない程度とする。

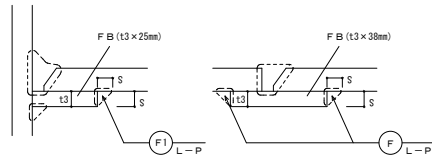


図2.6 裏当て金の溶接

(2) 裏当て金の厚さ、断続隅肉溶接のサイズ及び長さ等は表2.3、表2.4及び表2.5によるほか、裏当て金の材質は、原則として母材と同等以上のものとする。

表2.3 裏当て金の厚さ (単位: mm)

溶接工法	t3
手溶接	6以上
半自動溶接	9以上
自動溶接	12以上

表2.4 溶接のサイズ (単位: mm)

裏当て金の厚さ	S
t3 ≤ 9	5
t3 > 9	9

表2.5 断続隅肉溶接の長さ (単位: mm)

t3	溶接の長さ(L)	
	手溶接、半自動溶接	自動溶接
3.2以下	30程度	40程度
3.2を越え25未満	40程度	50程度
25以上	50程度	70程度

(2) 隅肉溶接

隅肉溶接(F)の開先標準は、図2.7により隅肉溶接のサイズ(S)は表2.6による。

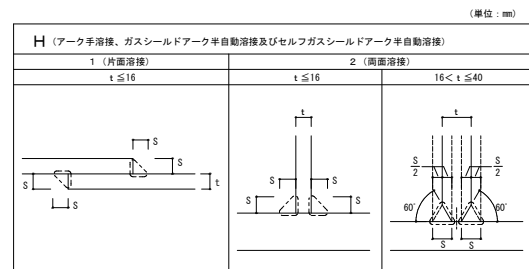
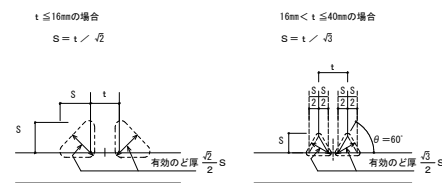


図2.7 隅肉溶接の開先標準

表2.6 隅肉溶接のサイズ

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	28	30	32	36	40	
S	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	28	30	32	36	40

(注) 1. 隅肉溶接のサイズ(S)は、有効のど厚の和が板厚(t)と等しくなるように次式により求めたものである。



2. 設計図書(図面及び仕様書をいう。)に示す断続隅肉溶接の長さは、次図の有効長さ(L)とし、隅肉のサイズ(S)の10倍以上とする。ただし、有効長さは、ビードの始点(La)及びクレーター(Lb)を除いた部分の長さとする。



(3) 部分溶込み溶接

部分溶込み溶接(P)の開先標準は、図2.8による。

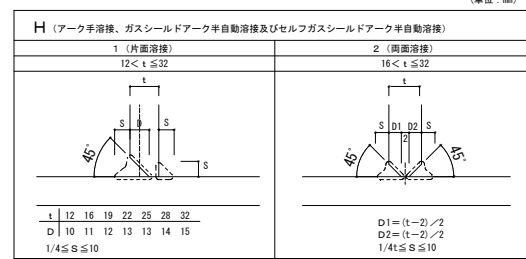


図2.8 部分溶込み溶接の開先標準

(注) 部分溶込み溶接のうち片面溶接においては、原則として開先をとらない側にも補強隅肉溶接を行う。

2. 溶接施工

(1) エンドタブ

エンドタブの材質は、母材と同等以上のものとし、形状は同厚・同開先のものを用い、長さは、図2.10及び表2.7のとおりとする。ただし、あらかじめ溶接付加試験によって溶接部に欠陥が生じないことが確認された材質及び形状のものを用いる場合は、この限りでない。

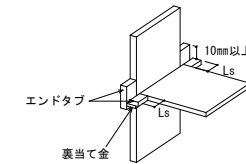


図2.10 エンドタブ

表2.7 エンドタブの長さ

溶接工法	LS
手溶接	35以上
半自動溶接	38以上
自動溶接	70以上

(解説)溶接付加試験とは、「エンドタブ工法(代替エンドタブ工法及びエンドタブ省略工法)に関する標準化方策」(日本鋼構造協会)にもとづいて実施するものをいう。

(2) スカラップ

開先加工はノンスカラップ工法を原則とする。
 ・スカラップを設ける場合、スカラップの円弧の曲線はフランジに滑らかに接するように加工する。r1は35mm程度、r2は10mm程度とする。
 なお、複合円は滑らかに仕上げることを。

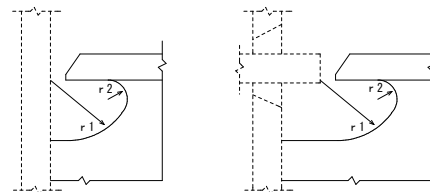


図2.2 スカラップの開先加工

(3) 補強隅肉溶接
 T形溶接、かど継手及び部分溶込み溶接の場合は、図2.12に示す補強隅肉を付加し、そのサイズ(S)は、突合せの板厚の1/4以上かつ10mm以下とする。

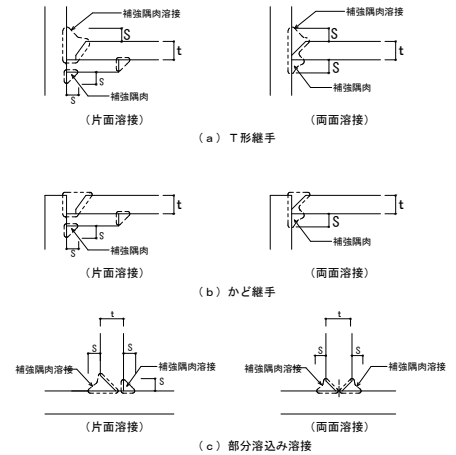


図2.12 補強隅肉溶接

(4) 余盛り

突合せ継手、かど継手、隅肉溶接及びフレア溶接の溶接部は、余盛りを行う。その高さの上限は、表2.9による。

表2.9 余盛りの限度

溶接継手	溶接工法	余盛りの限度
突合せ溶接	手溶接	3
	半自動溶接	4
かど溶接	手溶接	4
	半自動溶接	4
隅肉溶接	手溶接	4
	半自動溶接	3

(5) 溶接板の段差

突合せ継手において、突合せの部材の板厚に差があり、段差が手溶接及び半自動溶接で4mmを越え、自動溶接で3mmを越える場合は、図2.13のように原則として厚い方の板に1/5以下の勾配をとる。ただし、半自動溶接でI形開先の場合は、3mmを限度とする。

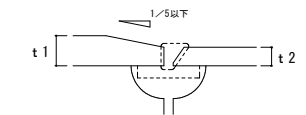


図2.13 溶接板の段差

(6) ハンチ部等の溶接

ハンチ部等のT形継手において溶接板が直交しない場合の開先標準は、図2.14による。

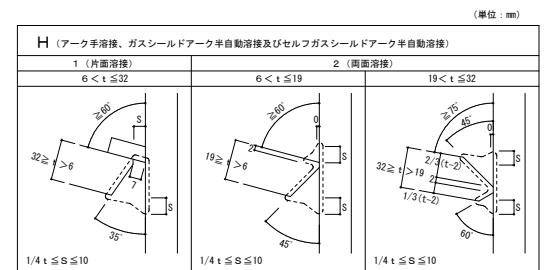


図2.14 ハンチ部の開先標準

鉄骨構造標準図 (2)

2. ボルト接合

1. ボルトの種類

- (1) 高力ボルト
高力ボルトの種類は、JIS B1186「摩擦接合用高力六角ボルト、六角ナット、平座金のセット」(2種 F10T、S10T) の規格品並びに建築基準法に基づき認定された特殊高力ボルト (2種 S10T) 及び溶融亜鉛メッキ高力ボルト (1種 F8T 相当) とする。
- (2) 普通ボルト
普通ボルトは、以下の組合わせによる中3級の規格品とし、ねじは、JIS B0205「メーテル並目ねじ」とする。
ア 六角ボルト: JIS B1180
イ 六角ナット: JIS B1181
ウ 座金: JIS B1256「平座金」の磨き丸

2. ボルトの表示記号

ボルトの表示記号は、表3.1による。

表3.1 ボルトの表示記号

ボルトの種類	ねじの呼び	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト (F10T、S10T)		●	◆	◆	◆	◆
溶融亜鉛メッキ高力ボルト (F8T)		○	◇	◇	◇	◇
普通ボルト		○	◇	◇	◇	◇

3. ボルト孔の径

ボルト用孔の径は、表3.2による。

表3.2 ボルト孔の径 (単位: mm)

ボルトの種類	ねじの呼び	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト (F10T、S10T)		14	18	22	24	26
溶融亜鉛メッキ高力ボルト (F8T)		18	22	24	26	
普通ボルト		12.5	16.5	20.5	22.5	24.5

4. ボルトの締付け長さに加える長さ

ボルトの締付け長さに加える長さは、表3.3による。

表3.3 ボルトの締付け長さに加える長さ (単位: mm)

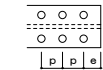
ねじの呼び	M12	M16	M20	M22	M24
締付け長さに加える長さ	25	30	35	40	45

5. 縁端距離及びボルト間隔

縁端距離及びボルト間隔は、表3.4の値を標準とする。ただし、引張材の接合部分において、せん断を受けるボルトが応力方向に3本以上並ばない場合の縁端距離は、ボルト軸径の2.5倍以上とする。

表3.4 縁端距離及びボルト間隔 (単位: mm)

ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M16	40	60
M20		
M22		
M24	45	70

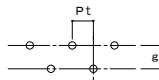


6. 千鳥打ちのゲージ及び間隔

千鳥打ちのゲージ及び間隔は表3.5の値を標準とする。

表3.5 千鳥打ちのゲージ及び間隔 (単位: mm)

ゲージ e	千鳥打ちの間隔 (pt)	
	ねじの呼び	
	M16, M20, M22	M24
35	50	65
40	45	60
45	40	55
50	35	50
55	25	45
60	-	40



3. 鉄骨標準詳細図

1. 仕口部詳細

- (1) 仕口パネル
仕口パネルの範囲は、図4.1を標準とし、材質は、取付く梁及び柱のウェブ材のうち、強度及び溶接性の最も優れたもの同一のものを用い、板厚は、いずれか厚いもの以上かつ9mm以上とする。(解説: ただし、仕口パネルは、せん断抵抗力の検討を行なって安全性を確認することが必要である。)

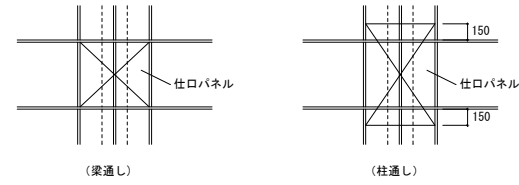


図4.1 仕口パネル (単位: mm)

(2) 水平スチフナ

- ア 十字形柱及びH形柱の仕口部に設ける水平スチフナの形状及び大きさは、図4.2を標準とし、材質は、SN490B材を用い、板厚は、はりフランジ厚+3mm以上かつ9mm以上とする。なお、はり幅が300mm以上の場合は、スニップカットの代わりにスカラップとすることができる。

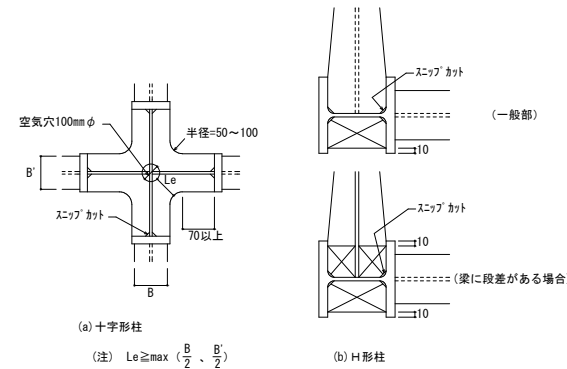


図4.2 水平スチフナ (単位: mm)

- イ 鋼管柱の仕口部に設けるダイヤラムの形状及び大きさは図4.3を標準とし、通しダイヤラムの場合の材質は、SN490C材を用い、板厚は、同一レベルに集まる梁フランジのうち最厚の板厚+6mm以上かつ柱の板厚以上とする。また、内ダイヤラムの場合の材質は、SN490B材を用い、板厚は、同一レベルに集まるはりフランジのうち最厚の板厚+3mm以上かつ9mm以上とする。ダイヤラム中心部には、最上部を除いて空気穴(約30mm程度)を設ける。ただし、スニップカットの代わりにスカラップを設ける場合には、空気穴を省略することができる。

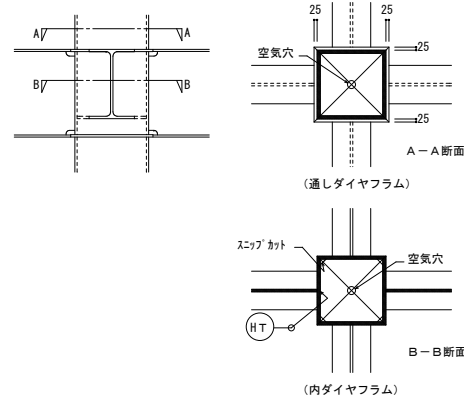
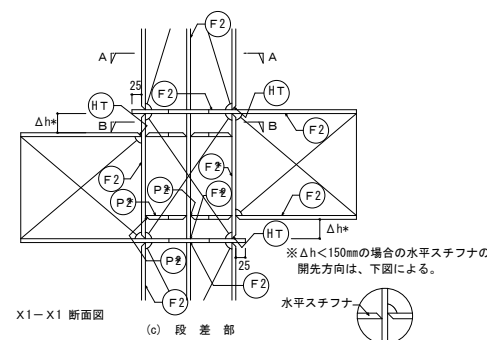
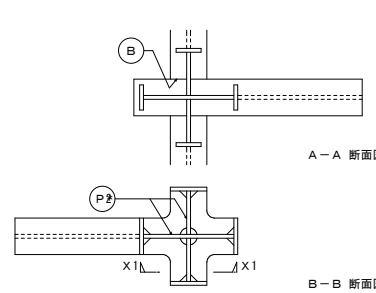
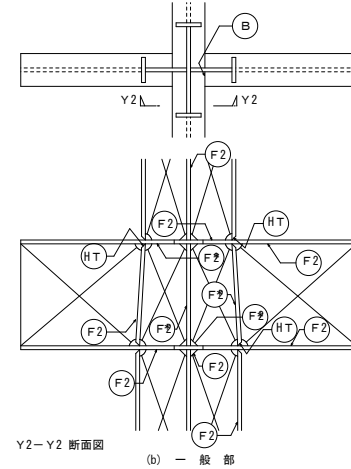
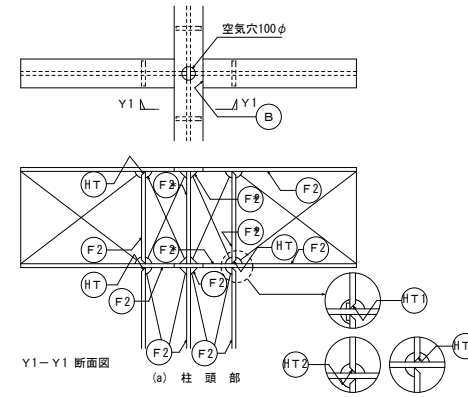
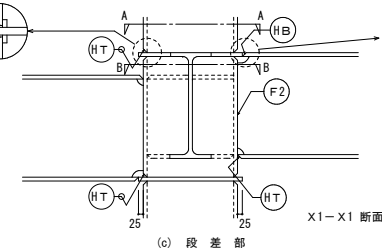
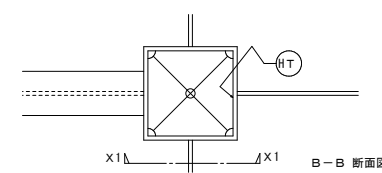
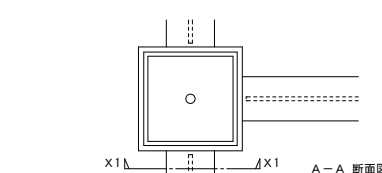
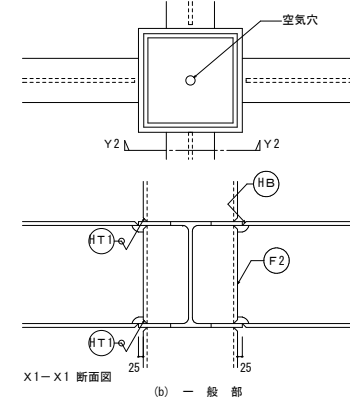
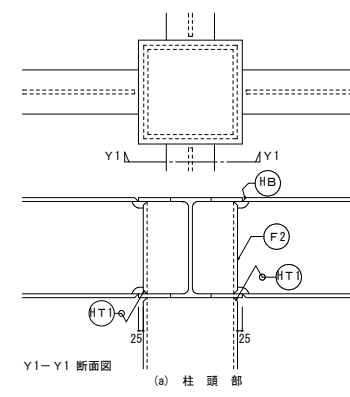


図4.3 ダイヤラム (単位: mm)



- (注) 1 溶接工法又は溶接面の指定のない場合は、いずれによってもよいものとする。
2 (F2): 仕口パネル厚が16mm以上のものについては(P2)とする。
3 (P2): 水平スチフナ厚が12mm以下の場合には(F2)とする。

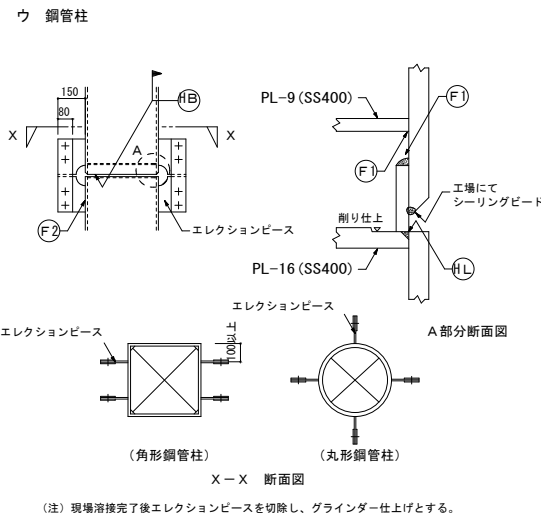
付図1.3 仕口部の溶接 (十字形柱はり通し) (単位: mm)



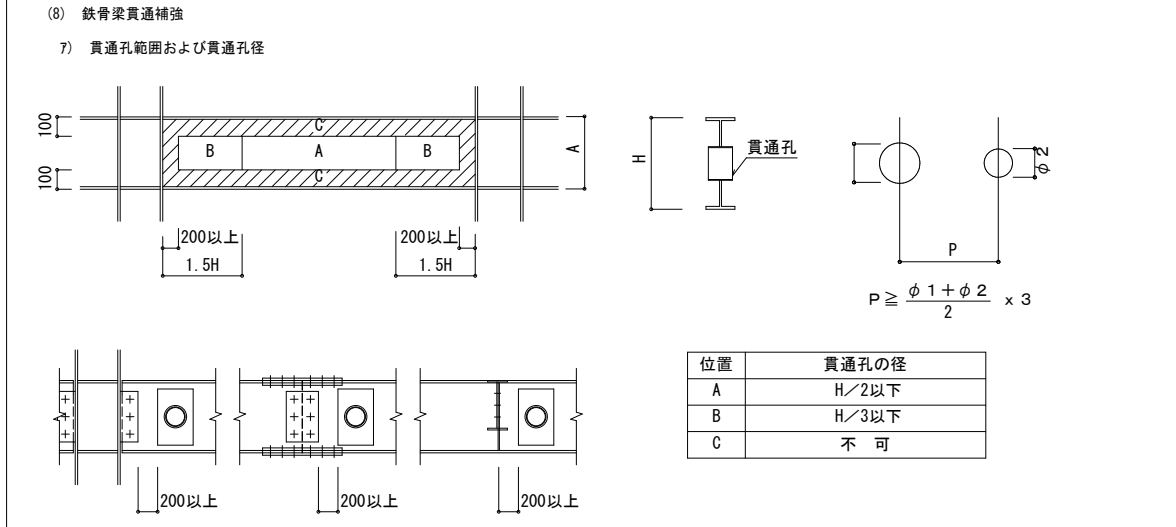
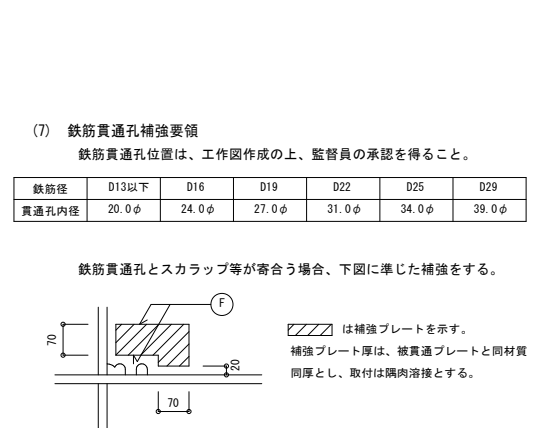
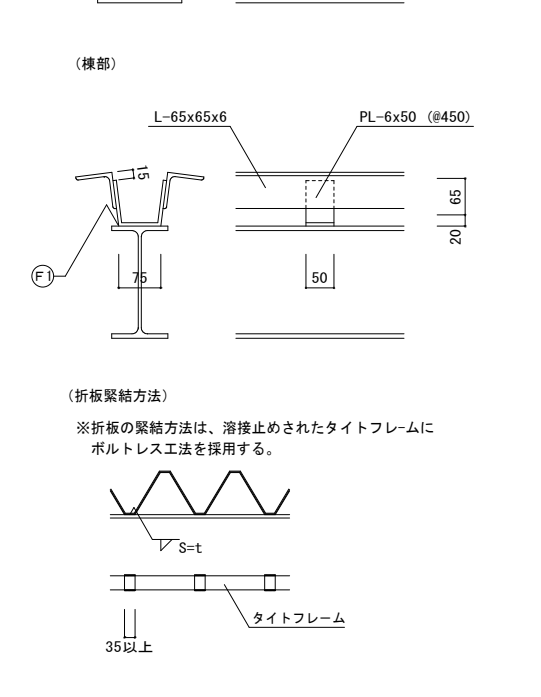
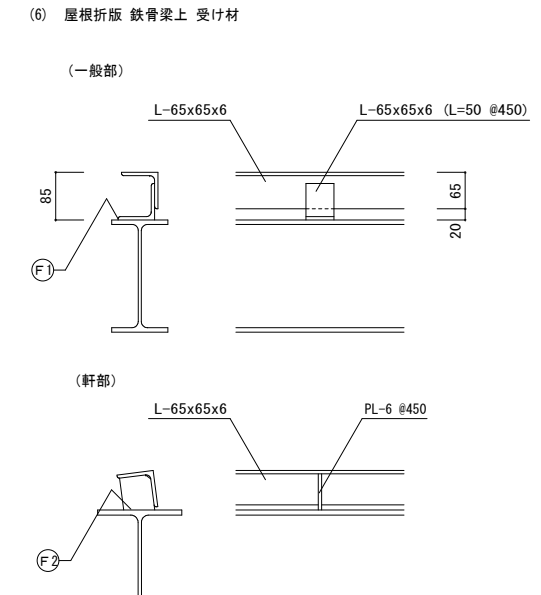
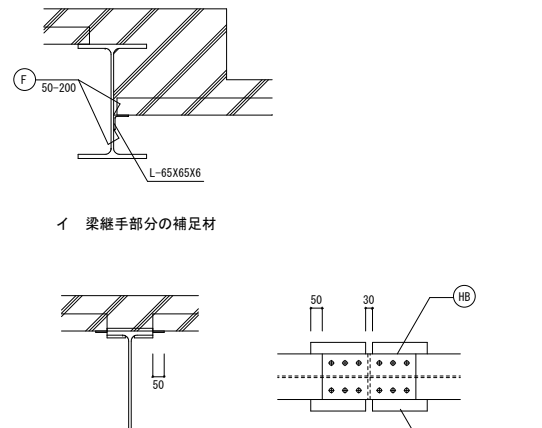
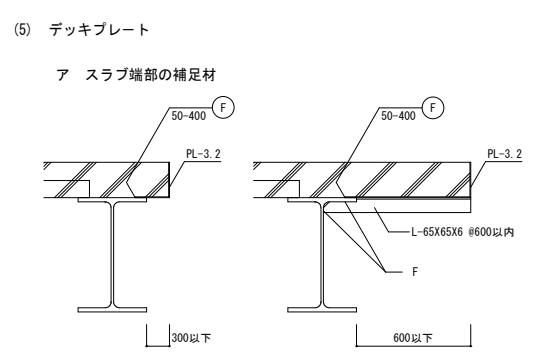
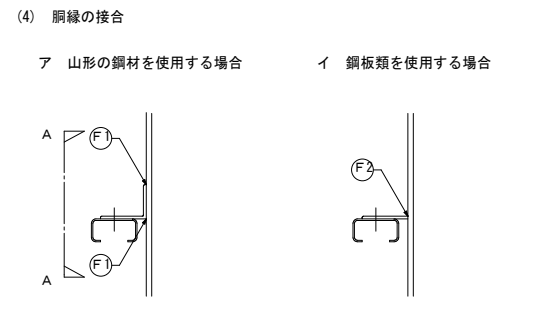
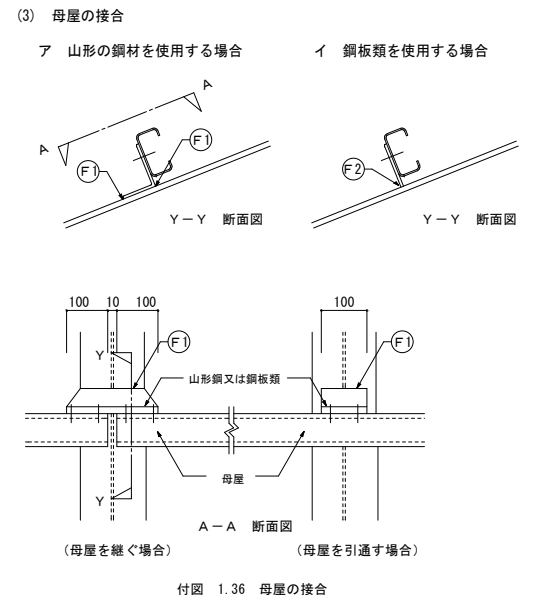
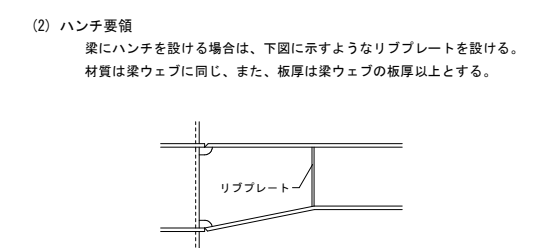
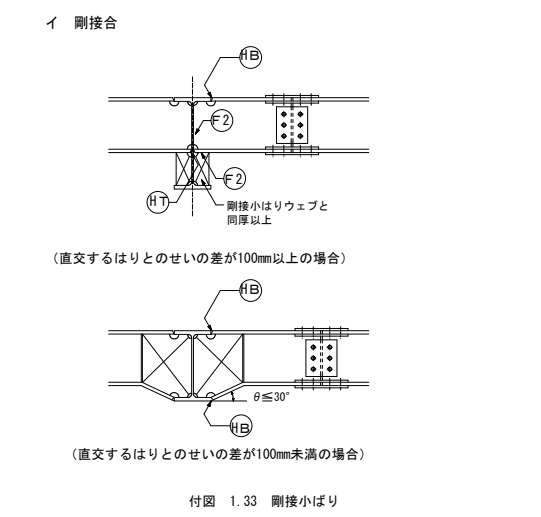
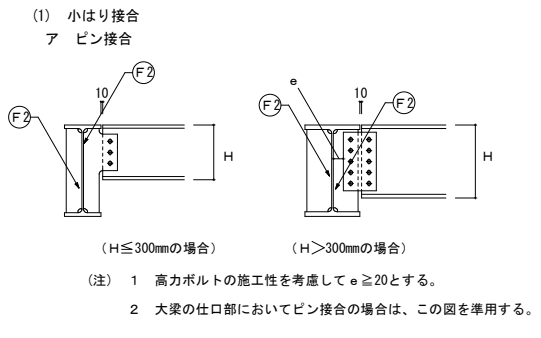
- (注) 溶接工法又は溶接面の指定のない場合は、いずれによってもよいものとする。

付図1.12 仕口部の溶接 (角形鋼管柱) (単位: mm)

鉄骨構造標準図 (3)



3. その他の接合詳細

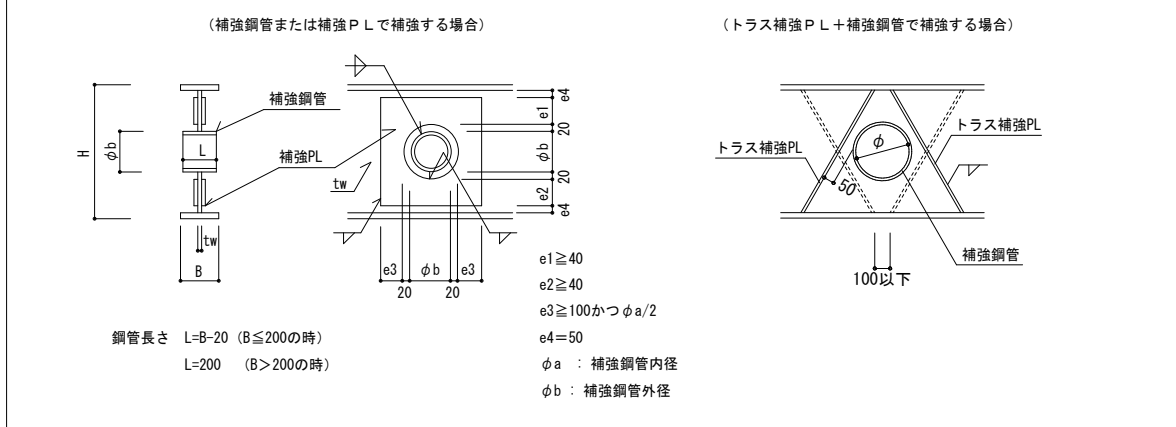


4) 鉄骨部分貫通孔補強要領

※この補強要領は、細幅系のロールH形鋼に適用する。

貫通孔径	鉄骨せい (H)					
	600	500	450	400	350	300
75φ	P	P	P	P	P	P
100φ	P	P	PL-6	PL-6	P	P
125φ	PL-6	PL-9	PL-9	PL-12		
150φ	PL-6	PL-9	PL-9	2PL-9		
175φ	PL-9	PL-12	PL-12	2PL-9		
200φ	PL-12	2PL-9	2PL-12			
250φ	2PL-9	TPL-9				
300φ	TPL-12					

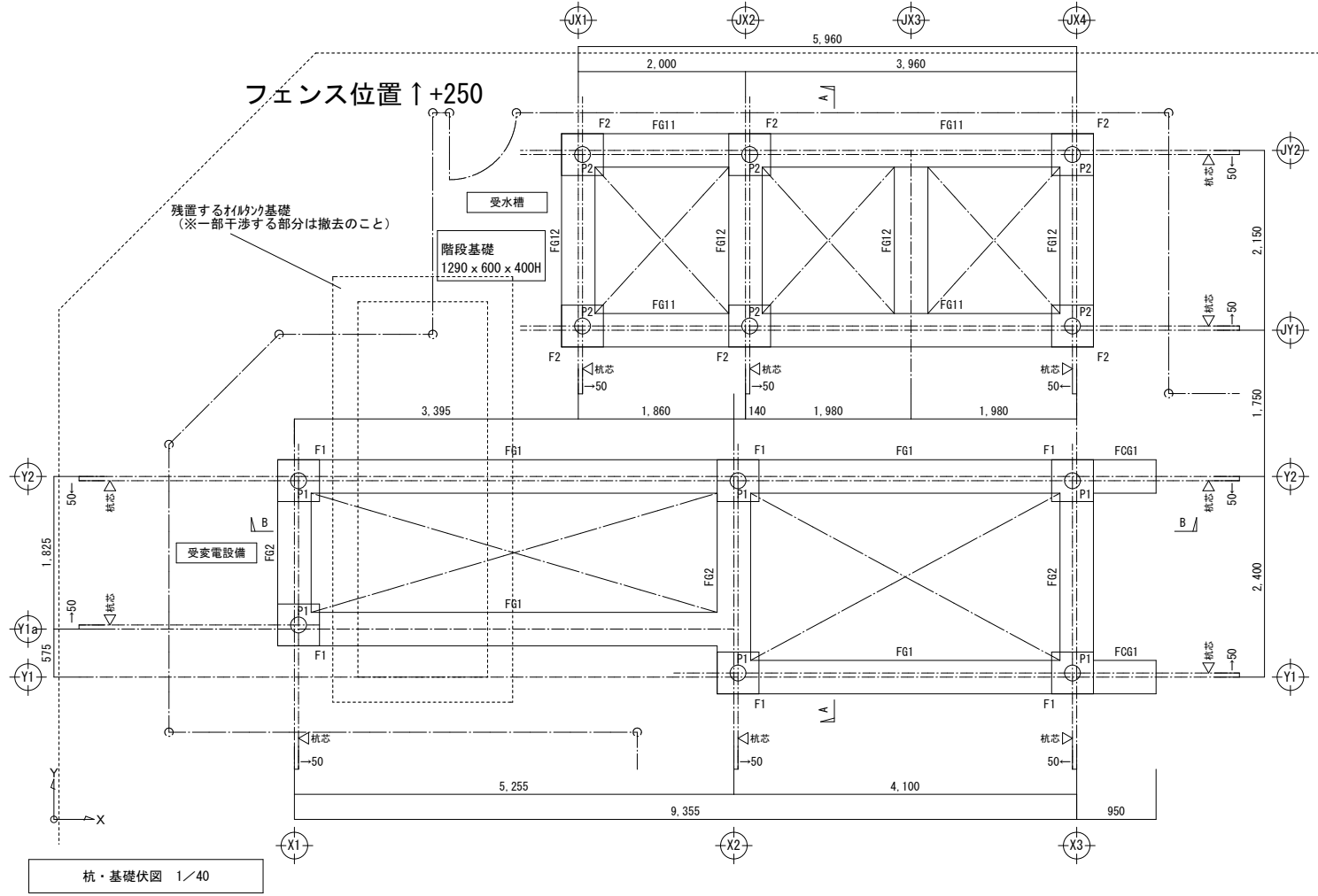
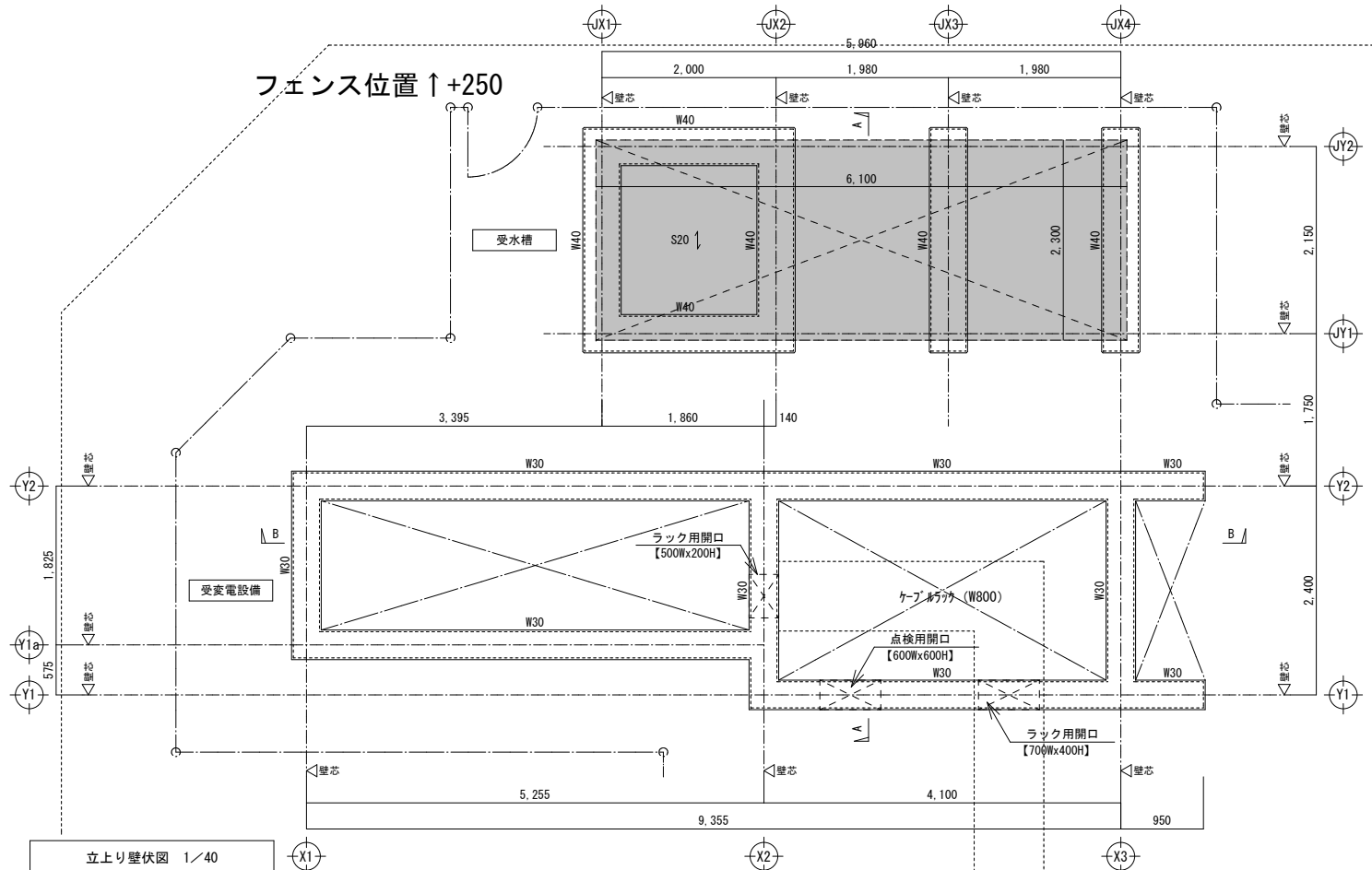
P : 補強鋼管のみで補強
 PL-9 : 補強PLのみで補強
 TPL-9 : トラス補強PL+補強鋼管で補強
 (斜線): 貫通不可



共通事項

(1) 材質 補強鋼管: 母材 SN490B → 補強鋼管 STK490
母材 SN400B, SN400A → 補強鋼管 STK400
補強 PL: 母材 SN490B → 補強PL SN490B又はSM490A
母材 SN400B, SN400A → 補強PL SN400B又はSS400
(トラス補強PLも同様とする)

(3) 上記補強要領は、「建築構造設計基準及び同解説 平成16年版」(社)公共建築協会に準拠した補強要領であり、別の方法を使用する場合は、施工前に梁貫通補強要領書を提出し監督者の承認を受けること。



壁断面サスト 1/30

符号	W30		W40	
	20	300	20	400
配筋図【立面図】				
壁厚	(20)+300+(20)		(20)+400+(20)	
タテ筋	D13-#200φ'ブル		D13-#200φ'ブル	
ヨコ筋	D13-#200φ'ブル		D13-#200φ'ブル	
開口補強	タテ筋 4-D13 ヨコ筋 4-D13 斜筋		タテ筋 4-D13 ヨコ筋 4-D13	
巾止筋	D10-#1,000φ'リ		D10-#1,000φ'リ	
備考	※タテ筋は外側へ配置すること。		※タテ筋は外側へ配置すること。	

基礎梁断面リスト 1/30

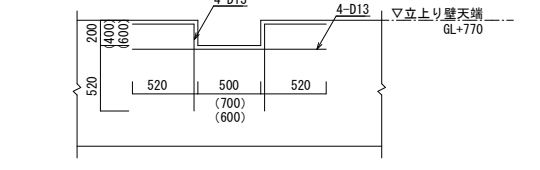
注記
1. 幅止め筋は、D10#1,000以下とする。
2. 土に接する基礎梁下地業は、捨てコン厚50mmとする。
3. X方向上端筋、Y方向下端筋を一次筋とする。

符号	FG1・FCG1	FG2	FG11	FG12
位置	全断面	全断面	全断面	全断面
断面	400x600	400x600	400x600	400x600
断面				
上端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22
下端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22
あばら筋	□-D13-#200	□-D13-#200	□-D13-#200	□-D13-#200
腹筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13

基礎断面・配筋リスト 1/30

符号	断面 [Dx x Dy]	配筋		ハカマ筋	
		X方向	Y方向	有・無	配筋
F1	500 x 500	3-D16	3-D16	有	3-D13
F2	500 x 500	3-D16	3-D16	有	3-D13

ラック開口部補強筋要領図1/30



杭リスト 1/30

名称	符号	杭先端 設計GL	杭本体部			杭先端羽根部			杭長 [m]	継手箇所数 【箇所】	杭セット数 【本】	長期支持力 【kN/本】	杭頭補強筋		
			杭径Do [mm]	厚さt [mm]	材質	杭径Dw [mm]	厚さts [mm]	材質					1セット当たりの 鉄筋本数	溶接長さ [mm]	
受変電 設備	P1	-0.85m	190.7	7.0	STK490	400.0	19.0	SM490A	21.00	10	6	150	6-D13 (SD295)	520	60
受水機	P2	-0.85m	190.7	7.0	STK490	400.0	19.0	SM490A	21.00	10	6	150	6-D13 (SD295)	520	60

特記事項
1. 腐食しろは、1.0mmを見込んでいます。
2. 杭の接続部は、『機械式継手』とする。
3. 杭頭接合部は、『鉄筋フレア溶接』とする。

※EAZET工法（先端羽根付き鋼管杭と同等の工法としては、NSエコパイル、A.M.Z工法、EGS PILE工法等があるが他の杭工法へ変更する場合は、監督員と協議の上、再度構造計算を行い、安全性を確認すること。

<特記事項>

- 【S〇】は、スラブ符号、→ は、主筋方向を示す。
- 土に接する基礎下地業は、砕石厚60mm、捨てコン厚50mmとする。
- 鋼材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
但し、高力ボルト接合を行う摩擦面は、マスキング処理を施すこと。
【不メッキ処理とする】
- 立上り壁【W30】は、誘発目地<#3,000以内>を設けること。
目地位置、目地幅・深さは、意匠図による。
- は、鉄骨床架上に設置する設備機器の位置を示す。
受水機[ポンプ室]の最大重量は、1,200[kg]見込んでいます。
受変電装置の最大重量は、2,000[kg]見込んでいます。
給油ポンプの最大重量は、500[kg]見込んでいます。

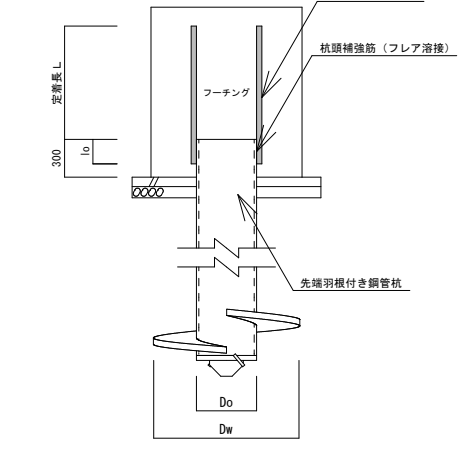
スラブ配筋リスト

符号	版厚	位置	主筋方向	配筋方向	受け筋	備考
			全域	全域		
S20	200	上端筋	D13-#200	D13-#200	D16	スラブ天端 = GL+1,000
			D13-#200	D13-#200		

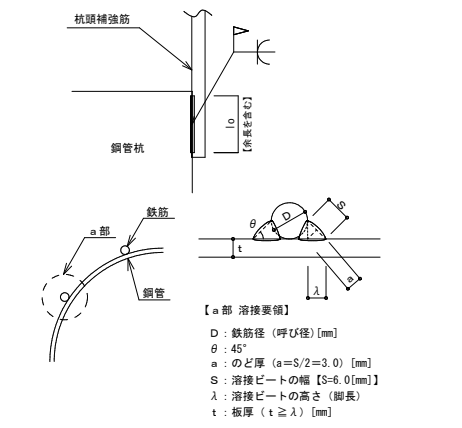
<使用材料>

- 使用材料は、下記とする。
- コンクリート (設計基準強度 F_c)
 $F_c=24$ $S_L=18$ (躯体全般)
 - $F_c=18$ $S_L=15$ (捨てコン)
 - ※セメントの種類：普通ポルトランドセメント
 - ※単位水量の最大値：185kg/m³
 - ※混和剤：A E減水剤
 - 鉄筋 SD295 (D16以下)
SD345 (D19以上)
 - 鉄骨 SS400
 - 高力ボルト F8T

杭頭補強要領図

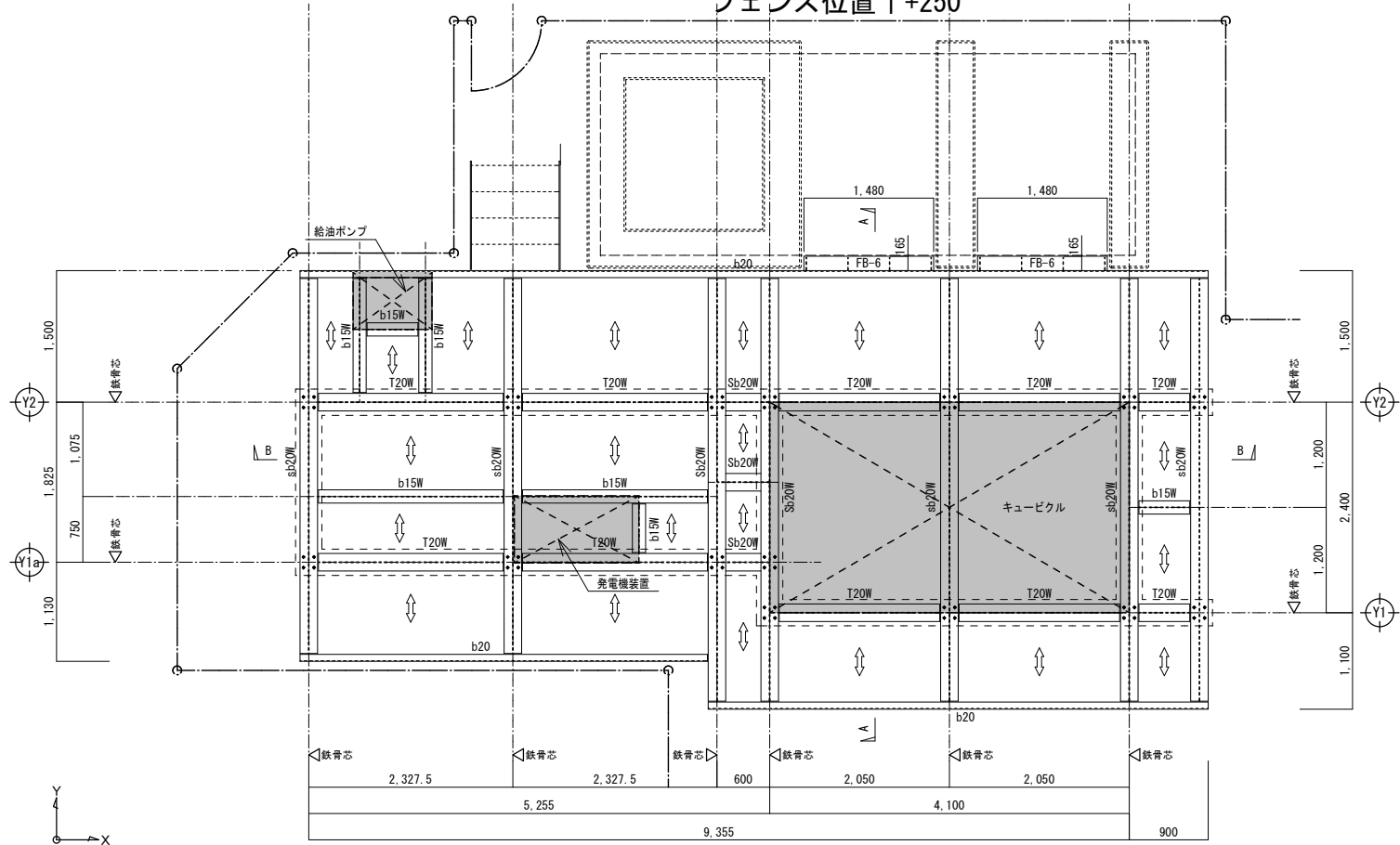


杭頭補強筋定着詳細図



【a部 溶接要領】
D: 鉄筋径(呼び径)[mm]
 $\theta: 45^\circ$
a: のど厚 ($a=S/2=3.0$)[mm]
S: 溶接ビートの幅 [$S=6.0$][mm]
 λ : 溶接ビートの高さ(脚長)
t: 板厚 ($t \geq \lambda$)[mm]

フェンス位置 ↑+250



鉄骨部材リスト

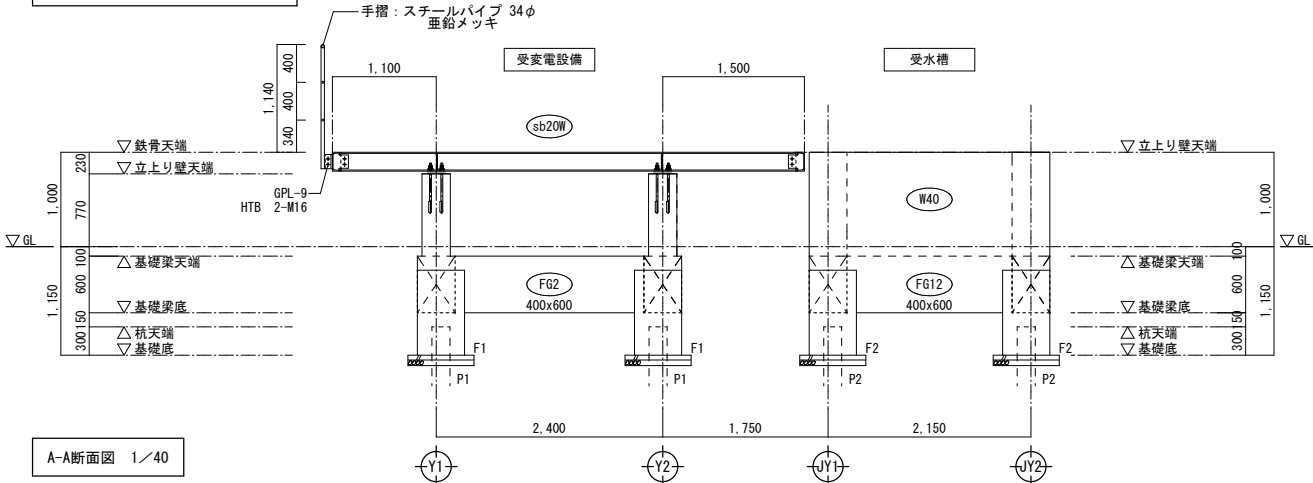
特記なき限り 下記とする。

1. フィラーPLを設ける場合は、SS400とする。
2. 高力ボルトは、溶融亜鉛めっき高力ボルト【F8T】とする。

3. 中ボルトによる接合は、スプリングワッシャーもしくは、2重ナットによる緩み止めを施す。

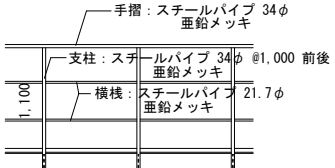
名称	符号	部材	鋼材	継手	接合部	備考
横架材	sb20W	H-200x200x8x12	SS400	—	【脚部仕様】： A. BOLT 4-M16【SS400】 フック付き ダブルナット 座金付 座金 PL-9x50x50 躯体内定着長 La=320【mm】以上 無収縮モルタル【厚：30mm】	JIS H 8641 溶融亜鉛めっき HDZT 77
	T20W	H-200x200x8x12	SS400	TJ20W	【sb20Wとの接合】： G. PL-12 HTB 4-M20【F8T】	JIS H 8641 溶融亜鉛めっき HDZT 77
	b20	[-200x80x7.5x11	SS400	bJ20	【sb20Wとの接合】： G. PL-9 HTB 2-M20【F8T】	JIS H 8641 溶融亜鉛めっき HDZT 77
	b15W	H-150x150x7x10	SS400	bJ15W	【sb20Wとの接合】： G. PL-9 HTB 2-M20【F8T】	JIS H 8641 溶融亜鉛めっき HDZT 77
補強補助材	FB-6	PL-6	SS400	—	【b20との接合】： 隅肉溶接	JIS H 8641 溶融亜鉛めっき HDZT 77
鉄骨階段 リフト用	ササラ桁	PL-12x250	SS400	—	【b20との接合】： G. PL-9 HTB 2-M16【F8T】 【脚部仕様】： B. PL-16x300x120 A. BOLT 2-M16【SS400】 フック付 躯体内定着長 La=320【mm】以上 ダブルナット 座金付 座金 PL-9x50x50	JIS H 8641 溶融亜鉛めっき HDZT 77
	段板	C. PL-4.5 ※【曲げ加工】	SS400	—	踏板補強へ溶接	JIS H 8641 溶融亜鉛めっき
	踏板補強	L-50x50x6	SS400	—	L=180【ササラ桁へ溶接】	JIS H 8641 溶融亜鉛めっき HDZT 77
リフト用デッキ	←→	250x40x25x2.0 形状：【MN型（ノンスリップ）】 型式：MN250-40-2.0	SS400	—	【横架材鉄骨下地へ『固定金具』により接合】	【JIS H 8641 溶融亜鉛めっき HDZT 56】

メンテナンス鉄骨架台伏図 1/40

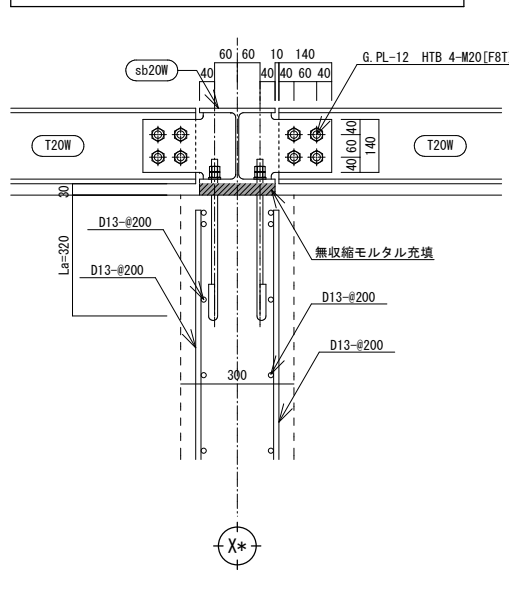


A-A断面図 1/40

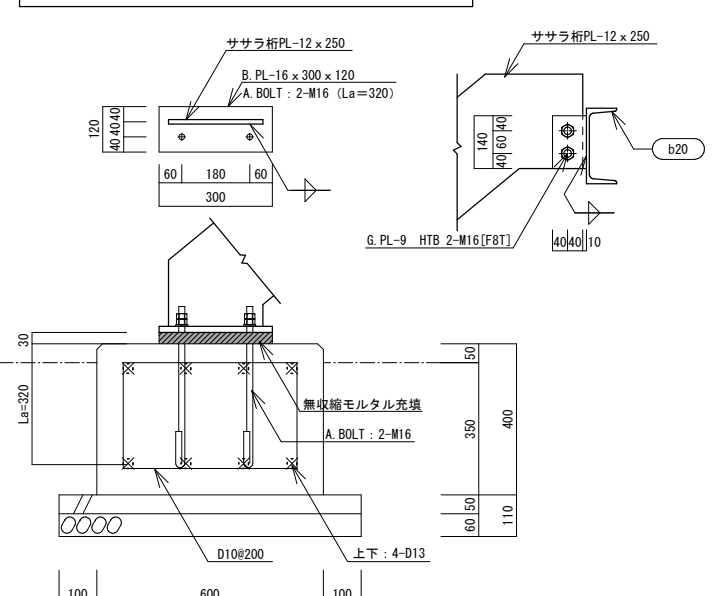
手摺詳細図 1/40



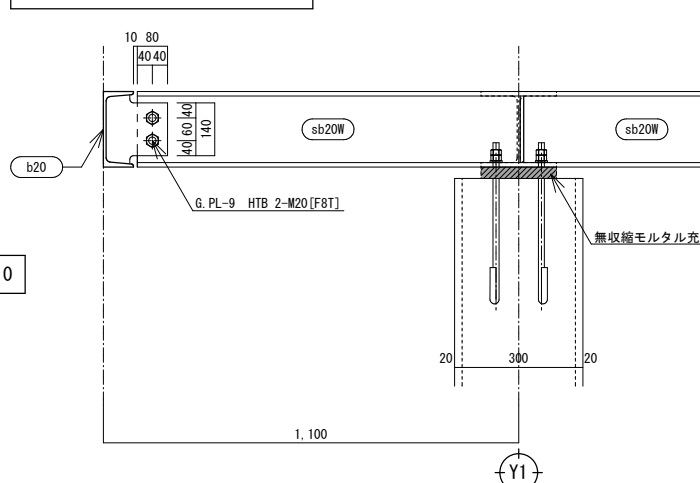
脚部【sb20W】・継手【TJ20W】詳細図 1/10



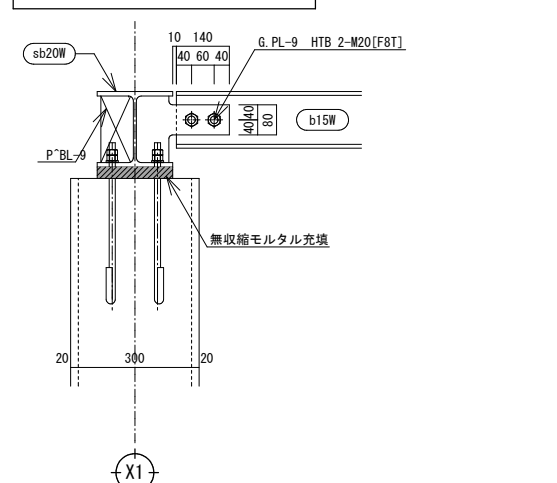
鉄骨階段基礎配筋・脚部・接合部詳細図 1/10



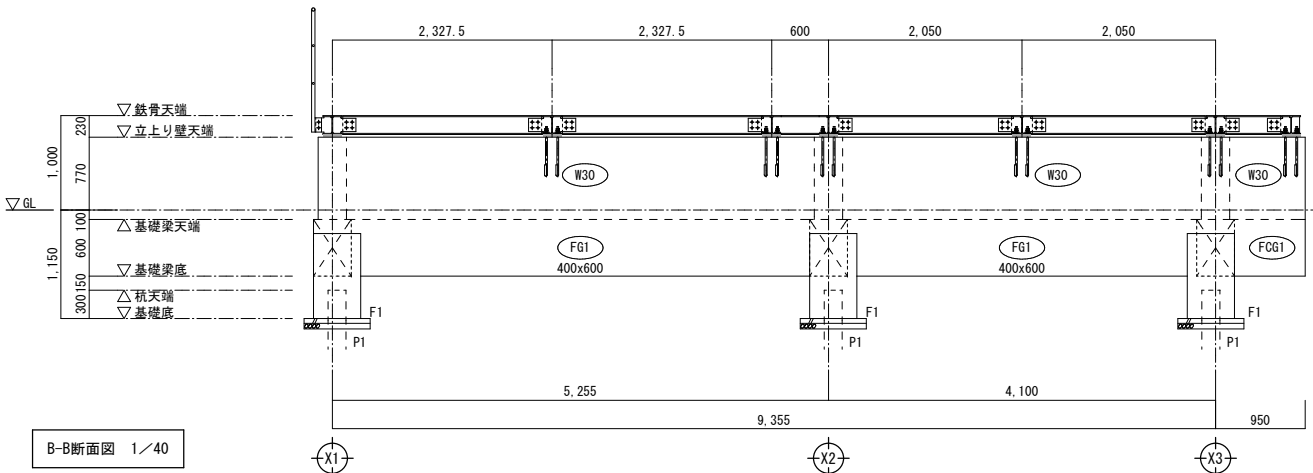
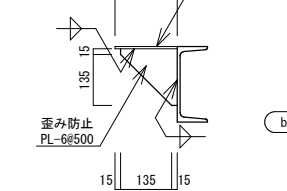
継手【bJ20】詳細図 1/10



継手【bJ15W】詳細図 1/10



補強補助材 詳細図 1/10



B-B断面図 1/40

※設備ユニット固定のための鉄骨穴開け（40箇所）は本工事で見込む

御注文先	三原市殿	御承認	記事	月 日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出歩 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5501-8	1級建築士事務所 登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第 293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第 262345号 坂本 薫	校閲 藤本	工事名称 中央公民館長寿寿命化改修工事（その1）（建築主体工事）	図面番号 S-08
							設計 坂本	設計年月日 2025.03	図面名称 発電機設備 構造図（2）（改修後）	縮尺 1/40

スクリーパイルEAZET(イーゼット)設計施工標準(中四国・九州地区(沖縄含))

・引抜き評定適用時の許容支持力及び適用範囲については別途カタログをご参照ください。
 ・掲載内容及び仕様については、予告なしに変更することがあります。
 ・掲載内容及び仕様は、2022年10月現在のものです。

【許容支持力および適用範囲】

1. 件名
 先端羽根付き鋼管杭 スクリューパイルEAZET

2. 本工法により施工される基礎ぐいの許容支持力を定める際に求める長期ならびに短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力

1) 長期に生ずる力に対する地盤の許容支持力

$$R_a = \frac{1}{3} [\alpha \bar{N} A_p + (\beta \bar{N}_s L_s + \gamma \bar{q}_u L_c) \Psi] \text{ (kN)} \dots (i)$$

2) 短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力

$$R_a = \frac{2}{3} [\alpha \bar{N} A_p + (\beta \bar{N}_s L_s + \gamma \bar{q}_u L_c) \Psi] \text{ (kN)} \dots (ii)$$

ここで、(i)、(ii)式において、

α : 基礎ぐいの先端付近の地盤(地震時に液化化するおそれのある地盤を除く)におけるくい先端支持力係数 ($\alpha=300$)

β : 基礎ぐいの周囲の地盤(地震時に液化化するおそれのある地盤を除く)のうち砂質地盤におけるくい周囲摩擦係数 ($\beta N_s=15$ を満たす β)

γ : 基礎ぐいの周囲の地盤(地震時に液化化するおそれのある地盤を除く)のうち粘土質地盤におけるくい周囲摩擦係数 ($\gamma q_u=15$ を満たす γ)

\bar{N} : 基礎ぐいの先端付近(くい先端位置より下方に1Dw (Dw: 羽根の直径)、上方に1Dwの範囲)の地盤の標準貫入試験による打撃回数(回)の平均値

ただし、基礎ぐいの先端地盤が砂質地盤(礫質地盤含む)の場合は $15 \leq \bar{N}$ とし、60を超える場合は60を上限とする。

また、基礎ぐいの先端地盤が粘土質地盤の場合は $12 \leq \bar{N}$ とし、60を超える場合は60を上限とする。

A_p : 基礎ぐいの先端の有効断面積 (m²)

$$A_p = A \cdot e$$

e: 有効面積率 (e=0.5)

$$A = \pi \cdot D_w^2 / 4 \text{ (m}^2\text{)}$$

\bar{N}_s : 基礎ぐいの周囲の地盤のうち砂質地盤の標準貫入試験による打撃回数(回)の平均値

ただし、 $0 < \bar{N}_s$ とし、30を超える場合は30とする。なお、 N_s 値が0の場合、周囲摩擦力を考慮しない。

\bar{q}_u : 基礎ぐいの周囲の地盤のうち粘土質地盤の一軸圧縮強度の平均値 (kN/m²)

ただし、 $0 < \bar{q}_u$ とし、200を超える場合は200を上限とする。なお、 q_u 値が0の場合、周囲摩擦力を考慮しない。

L_s : 基礎ぐいの周囲の地盤のうち砂質地盤に接する有効長さの合計 (m)

L_c : 基礎ぐいの周囲の地盤のうち粘土質地盤に接する有効長さの合計 (m)

Ψ : 基礎ぐいの周囲の有効長さ (m)

$$\Psi = \pi \cdot D_o$$

D_o : くい本体部径 (m)

3. くい材から決まる許容鉛直支持力

$$R_a \geq f_e \cdot A_e \times 10^{-3}$$

R_a : くい材から決まる長期許容鉛直支持力 (kN)

f_e : くい材の長期許容応力度 (= $F^*/1.5$)

F^* : 設計基準強度 (N/mm²)

$$F^* = F \cdot (0.80 + 2.5te / r) \text{ かつ } F^* \leq F$$

F: くい材の許容応力度を決定する場合の基準値 (STK400→235N/mm²、STK490→325N/mm²、SEAH590[STKT590]→440N/mm²)

te: 腐食しを除去した鋼管の肉厚 (mm)

r: 鋼管の半径 (mm)

Ae: 腐食しを考慮したくい材の有効断面積 (mm²)

4. 適用範囲

1) 適用する地盤の種類

基礎ぐいの先端付近の地盤:

砂質地盤(礫質地盤含む) TACP-0635

粘土質地盤 TACP-0353

基礎ぐいの周囲の地盤: 砂質地盤及び粘土質地盤

2) 最大施工深さ (m)

杭本体部径	114.3	139.8	165.2	190.7	216.3	267.4	318.5	355.6	406.4
先端砂質地盤(礫質地盤)	14.85	18.17	21.47	24.79	28.11	34.76	41.40	46.22	51.37
先端粘土質地盤	14.8	18.1	21.4	24.7	28.1	34.7	41.0	45.8	-

3) 適用する建築物の規模

床面積の合計が500,000m²以下の建築物

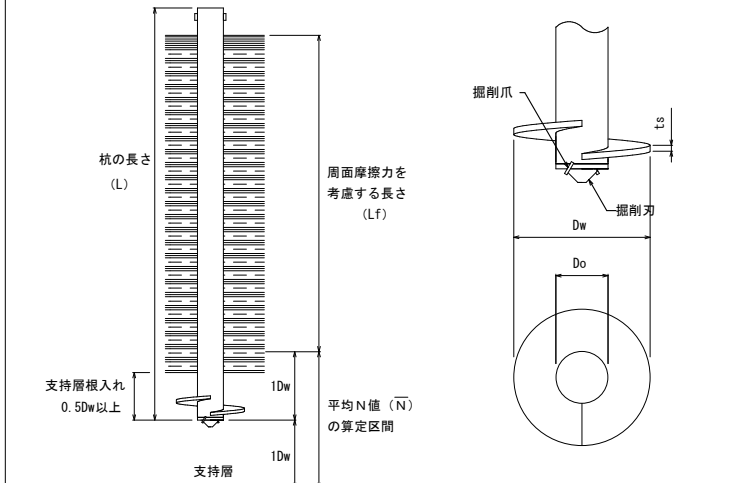
【EAZET(イーゼット)の構造・規格】

1. 中四国・九州地区向け杭材仕様(沖縄含) : 本工事に該当

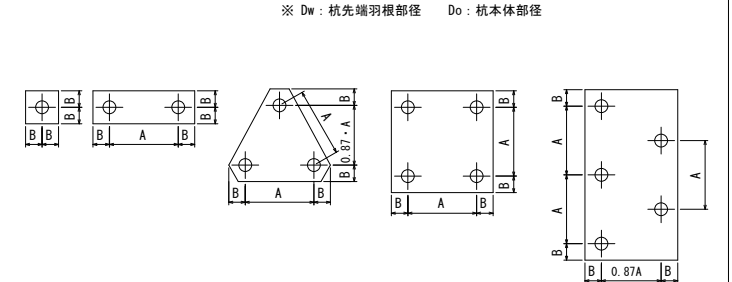
径 Do (mm)	杭本体部			杭先端羽根部		材質
	STK400	STK490	SEAH590 [STKT590]	径 Dw (mm)	厚 ts (mm)	
114.3	<6.0>	-	-	250	12	SM490A
				300	16	
				300	16	
				350	19	
				400	19	
139.8	<6.6>	-	-	350	16	
				450	22	
				400	19	
165.2	-	7.1	-	350	16	
				450	22	
				400	19	
190.7	-	7.0	-	500	22	
				570 ※2	22	
				470	22	
				550	25	
				600	28	
216.3	-	8.2 <12.7>	<8.2>	650	28	
				500	22	
				580	28	
				650	28	
				700	28	
267.4	-	8.0 <9.3>	<8.0 12.7>	750	32	
				800 ※1	28	
				600	22	
				750	28	
				800	32	
318.5	-	<7.9 12.7>	-	700	28	
				800	32	
				700	28	
355.6	<9.5>	<12.7>	-	750	28	
				800	32	
				800	28	
406.4	-	<9.5 12.7>	-	800	28	
				880	32	

※1: N値30まで限定 ※2: N値40まで限定
 ※<>の仕様は標準標準材です。ご検討される場合は弊社担当までお問い合わせください。

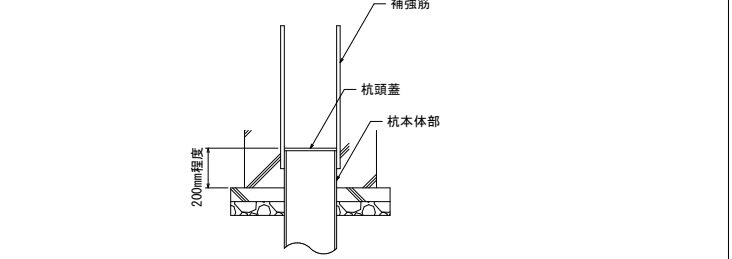
部材	規格
杭本体部	JIS G 3444 一般構造用炭素鋼鋼管 STK400、STK490
	MSTL-0230 国土交通大臣認定 建築構造用テーパー鋼管 NS-490TPP
	MSTL-0419 国土交通大臣認定 基礎ぐい用高張力鋼管 SEAH590[STKT590]
杭先端部	JIS G 3106 溶接構造用圧延鋼材 SM490A



【基礎とフーチング形状例】

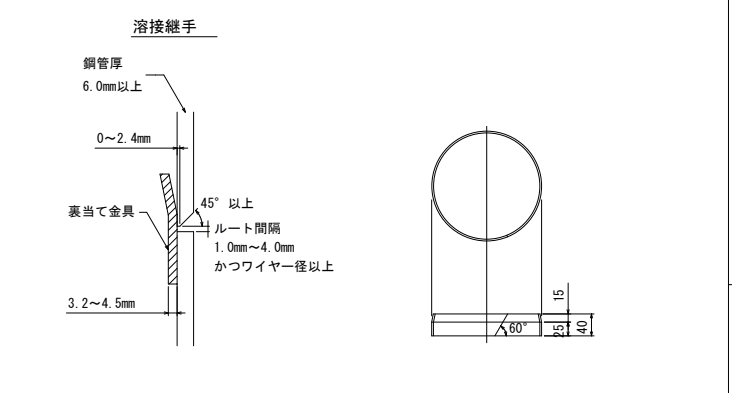
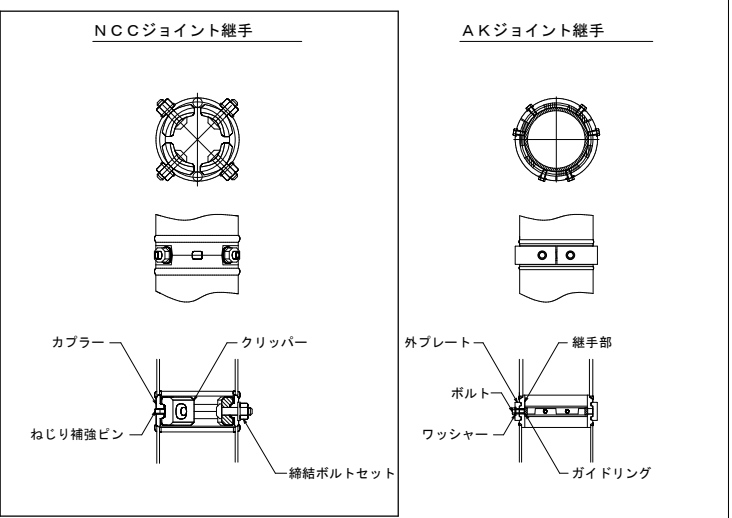


【杭頭接合例】



※杭頭接合部の設計は、認定書・評定書の中で規定されていませんので、設計者の判断に委ねられています。

【継手接続例】



【施工管理項目一覧】

工程	管理項目	管理方法	管理値
杭材の受け入れ	材料寸法	・搬入時に測定検査	・杭径、杭長、肉厚、羽根径、羽根厚に誤りがないこと
	外観不良・数量	・搬入時に目視確認	・継手部に異常がないこと
回転履歴	杭心からのずれ	・逃げ心棒にて測定	・偏心量±2cm以内 ※気泡が中央にあること
	杭の鉛直性	・水準器で確認	・傾斜 1/100以内
	回転トルク	・施工機械の管理装置(トルク計)	・杭体のねじり強さ以内
溶接継手	杭の鉛直性	・水準器で確認	・傾斜 1/100以内 ※気泡が中央にあること
	接続状況	・目視により確認	・異常なアンダーカット、ピット、割れがないこと
NCC ジョイント	一次締付けトルク	・トルクレンチによる	・ボルトM16→約100N・m ・ボルトM20→約150N・m
	本締め	・シャレンチによる	・ピンテールの破断、ボルト余長はネジ山2山以上
	共廻り防止	・マーキングで確認	・マーキングのずれ
AKジョイント	一次締付けトルク	・トルクレンチによる	・締付トルク 90N・m±10%
	本締めトルク		・締付トルク 180N・m±10%
	締め忘れ防止	・マーキングで確認	・マーキングのずれ
支持層の確認	支持層到達確認	・施工機械のトルク計	・施工回転トルクの変化傾向 ・地盤調査データのN値の推移 ・施工回転トルクの管理目標値
	根入れ長さ	・施工機械の深度計	・支持層に0.5Dw以上 かつ設計時に設定された根入れ長さ以上
	回転貫入量	・専用紙に記録する	・回転貫入量の管理値による
杭頭のずれ	偏心量	・逃げ心棒にて測定	・±10cm以内

【EAZET(イーゼット)取得済認定、公的評価】

名称	認定番号	取得年月日	
先端羽根付き鋼管杭(名称: スクリューパイルEAZET) (先端地盤: 砂質地盤(礫質地盤含む))	TACP-0635	令和4年2月7日	
先端羽根付き鋼管杭(名称: スクリューパイルEAZET) (先端地盤: 粘土質地盤)	TACP-0636	令和4年2月7日	
一般財団法人 日本建築センター 評定			
件名	番号	取得年月日	
鋼管くいに用いる無溶接継手(クリッパー式継手)	BCJ評定-FD0045-09	令和4年10月14日	
鋼管杭に用いる接続プレート・嵌合方式無溶接継手(AKジョイント)	BCJ評定-FD0509-03	令和元年6月20日	
一般財団法人 ベタリーピング 評定			
件名	認定区分	番号	取得年月日
スクリーパイルEAZET工法における引抜き方向の許容支持力(先端地盤: 砂質地盤礫質地盤を含む)	一般評定	CBL FP004-07号	令和5年7月6日
※φ406.4は砂質地盤[礫質地盤を含む]の場合でも、引抜き支持力に対しては適用できません			
一般財団法人 日本建築センター 評定			
件名	番号	取得年月日	
スクリーパイルEAZET工法による基礎ぐいの引抜き方向の地盤の許容支持力(先端地盤: 粘土質地盤)	BCJ評定-FD0579-02	令和5年4月14日	

旭化成建材株式会社

広島県広島市中区鉄砲町7-18 (東芝フコク生命ビル 9F)
 TEL. 082-511-5120 FAX. 082-222-8036

福岡県福岡市中央区白金1-2-0-3 (紙与薬院ビル 10F)
 TEL. 092-526-2109 FAX. 092-526-2493

参 考 数 量 書

工 事 名 称 中央公民館長寿命化改修工事（その1）建築主体工事

工 事 場 所 三原市円一町二丁目

[工 事 概 要]

用途、構造、面積

公民館、鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造3階建て、床面積3,320㎡

工 事 範 囲

改修工事一式（建築主体工事）

別 途 発 注 工 事

中央公民館長寿命化改修工事（その1）電気設備工事、中央公民館長寿命化改修工事（その1）機械設備工事

工 期

契約締結日の翌日 ～ 令和9年11月29日

一 般 事 項

《 工事予算内訳 》

合 計 金 額

〈内 訳〉

区 分

金 額

概 要

設 計 金 額

消 費 税 額

合 計 金 額

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

建築工事 中科目別内訳

本館改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修	撤去	1	式		
防水改修	改修	1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
内部雨漏り改修	改修	1	式		

建築工事 中科目別内訳

本館改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
内部雨漏り改修	撤去	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					
外構・躯体改修	撤去	1	式		
外構・躯体改修	改修	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処分		1	式		
計					

本館改修		建具改修			撤去	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鋼製戸撤去	片開き戸 扉のみ 集積共	3.6	m ²			
木製戸撤去	片開き戸 扉のみ 集積共	4.4	m ²			
発生材積込み		1	式			
計						

本館改修		建具改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
< 新設鋼製建具 >						
SD-11	W2185xH2375 特定防火設備 建具・付属金物一式 煙感知器連動	3	か所			
運搬・取付費		1	式			
< 新設鋼製軽量建具 >						
LSD-1	W1025xH1800 建具・付属金物一式 鋼製が 列固定式付 小窓 (型板が 5t=4) 共	1	か所			
運搬・取付費		1	式			
< 新設アルミ・テイクオン >						
AS-2	W1075xH2000 建具・付属金物一式	1	か所			
運搬・取付費		1	式			
< 改修鋼製建具 >						
SG-2-1	W1000xH1800 ｶﾞｰﾄﾞ工法 建具・付属金物一式	1	か所			
SG-2-2	W1000xH1800 ｶﾞｰﾄﾞ工法 建具・付属金物一式	1	か所			
SW-2	排煙用ﾊﾞﾚｰ新設取替え 既設撤去・処分共	3	か所			
運搬・取付費		1	式			
< 改修アルミ製建具 >						

本館改修		建具改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
AW-1	排煙用ハレター新設取替え 既設撤去・処分、運搬・取付共	9	か所			
AW-16	排煙用ハレター新設取替え 既設撤去・処分、運搬・取付共	1	か所			
AD-1	排煙用ハレター新設取替え 既設撤去・処分、運搬・取付共	1	か所			
< 改修トランプス建具 >						
TB-7	W600xH1900 戸当り・エッジ・既設頭ツキ 改修共	2	か所			
TB-8	W600xH1900 戸当り・エッジ・既設頭ツキ 改修共	2	か所			
運搬・取付費		1	式			
計						

本館改修		内装改修		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
< 内装 >						
床タイル・床人研ぎ撤去	集積共	0.3	m ²			
床タイル撤去	下地タイル共 集積共	0.1	m ²			
ビニル床タイル撤去	一般 集積共	0.3	m ²			
天井下地撤去	集積共	157	m ²			
天井合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	1.8	m ²			
天井廻縁撤去	塩ビ製 集積共	170	m			
加ッテ入れ	タイル外面 厚さ20~30mm	4.5	m			
< 雑 >						
手摺撤去		4	か所			
発生材積込み		1	式			
計						

本館改修		内装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
<床>						
床外塗り	金ごてビニル系床材下地 厚28	0.3	m ²			
床外塗り	木ごて一般外下地 厚37	1.4	m ²			
床外張り	磁器質二丁掛(部分改修)	0.1	m ²			
床外イタビ張り	ユニット張 施工手間 - 25mm角 下地タイル別途 (部分改修)	1.3	m ²			
ビニル床タイル	厚さ2.0 コホーションビニル床タイルKT 一般床 -	0.3	m ²			
<天井>						
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし ③300 イサト含む	157	m ²			
天井 せっこうボード張り(GB-R)	厚 9.5 準不燃 突付け	1.8	m ²			
天井 化粧 せっこうボード張り(GB-D)	厚 9.5 不燃 900角 突付け	114	m ²			
天井 けい酸 加シム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 4 突付け	41.6	m ²			
天井 ビニルクロス張り		1.8	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	265	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	170	m			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	42	か所			

本館改修		内装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
<雑>						
流し台	W900xD619xH1398 Combi	1	か所			
授乳ソファ	1200x600 Combi	1	か所			
おむつ交換台	550x800 Combi	1	か所			
L型手摺		4	か所			
天井カーテンル	アルミ製D型 L=1000	1	か所			
同上、カーテン	防煙タイプ L=1000 H=2300	1	か所			
室名案内図	カットイングシート張(扉に直貼り) 650x350	1	か所			
利用案内板	ステンレスt=3.0 450x450 カットイングシート張	1	か所			
ルバー改修	サンドイッチパネルt=50新設 H=1650程度 撤去・処分共	6	本			
計						

本館改修		内部雨漏り改修		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ビニル床外壁撤去	アスベスト含有見込	3.9	m ²			
化粧PB撤去	t=9.5 アスベスト含有見込	16.7	m ²			
LGS下地撤去		16.7	m ²			
廻縁撤去	塩ビ製	9.2	m			
SGP呼樋切断	125	3	カ所			
SPG呼樋、豎樋撤去	125	13.8	m			
梁貫通詰めモルタル撤去	200	1	カ所			
FL照明取外し	再利用	4	カ所			
計						

本館改修		塗装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
< 外部塗装 >						
D P 塗り	鋼製建具面 1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	10.4	m ²			
D P 塗り 改修仕様	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程C塗料A(鉛・クマドリ-1種) 下地RB種(塗替え面)	247	m ²			
D P 塗り 改修仕様 (糸幅300mm以下)	鉄鋼面 細巾 工程B種 塗料1種 錆止工程C塗料A(鉛・クマドリ-1種) 下地RB種(塗替え面)	51.3	m			
D P 塗り (糸幅300mm以下)	塩ビ面 細巾 工程B種(一般) 素地B種	20.8	m			
< 内部塗装 >						
E P - G 塗り	ル-ル'-ル' 補面 工程B種(一般) 素地B種	5.5	m ²			
E P - G 塗り	ケレン面 工程B種(見上) 素地B種	41.6	m ²			
E P - G 塗り	コンクリート面 工程B種(一般) 素地B種	1	m ²			
E P - G 改修仕様	コンクリート面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	126	m ²			
S O P 塗り (糸幅300mm以下)	鋼製建具面 工程B種	4.9	m			
計						

本館改修		外構・躯体改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
<土工>						
根切り	つぼ、布掘り 深さ2.5m程度	98.9	m3			
床付け	つぼ、布掘り	31.9	m ²			
埋戻し(B種)	- 発生土	81.3	m3			
土工機械運搬 (バックホウ)	排出ガス対策型 油圧式加-5型0.28m3	2	往復			
<地業>						
杭工事	先端羽付鋼管杭 スクルーバールEAZET工法 杭長21m 12本 土対法がイトライAppendix12に準拠 ケーシング 700 : GL-12mまで設置	1	式			
同上、発生土運搬	汚染土壌	65	m3			
同上、発生土処分	汚染土壌	65	m3			
砂利地業	再生切込砕石	3.3	m3			
<鉄筋>						
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.2	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	2	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D16	0.1	t			

本館改修		外構・躯体改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345 D22	1.7	t			
鉄筋加工組立	小型構造物	3.8	t			
鉄筋運搬費	4t車 30km程度	3.8	t			
鉄筋スクラップ 控除		0.1	t			
鉄筋ガス圧接	D22 -D22	60	か所			
ルアー溶接	D13 L=60	72	か所			
あと施工アカー(接 着系)	D10 下向き 埋込L=80 定着L=400	12	本			
あと施工アカー(接 着系)	D10 上向き 埋込L=80 定着L=400	12	本			
あと施工アカー(接 着系)	D10 横向き 埋込L=80 定着L=400	18	本			
<コンクリート>						
普通コンクリート	JIS A5308 FC=27 S18 粗骨材20	40.4	m3			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21 S15 粗骨材20	2.1	m3			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21 S15 粗骨材20	2.3	m3			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=18 S15 粗骨材20	1.8	m3			
コンクリート構造物強度 補正		1	式			

本館改修		外構・躯体改修			改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	躯体 S15~S18 ﾌﾞｯｸﾞ打設	40.4	m ³				
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	基礎部 S15~S18 ﾌﾞｯｸﾞ打設	2.1	m ³				
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	土間 S15~S18 ﾌﾞｯｸﾞ打設	2.3	m ³				
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ S15~S18 ﾌﾞｯｸﾞ打設	1.8	m ³				
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞｯｸﾞ圧送	基本料金別途加算	46.5	m ³				
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞｯｸﾞ圧送基本料金		4	回				
< 型枠 >							
型枠	普通合板型枠 壁式構造 基礎部	93.1	m ²				
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度	78.8	m ²				
型枠運搬費	4t車 30km程度 往復	172	m ²				
打放し面補修	B種ｺｰﾝ処理 部分目違いばらい	78.8	m ²				
< 鉄骨 >							
鋼材費		1	式				
鉄骨ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		0.12	t				
工場加工組立	工場溶接共	3.7	t				

本館改修		外構・躯体改修			改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
溶融亜鉛メッキ	工場	3.7	t				
鉄骨運搬		3.7	t				
鉄骨建方	ﾎﾙﾄﾞﾝ・現場溶接共	1	式				
建方重機費		1	式				
ｱﾝｶｰﾎﾙﾄﾞﾝ取付	M16 L=320 ﾀﾞﾌﾞﾙﾈｯﾄ ﾌｯｸ付 座金PL-9x50x50付	64	本				
ﾃﾞｯｷ床	ｽﾃｰﾙｸﾞﾚｰﾃｯｸ 亜鉛メッキ 250x40x25x2 MN型(ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ) 材工共	37.6	m ²				
ﾃﾞｯｷ手摺	ｽﾃｰﾙﾊﾞｲﾌﾞ 亜鉛メッキ 手摺・支柱・横棧 材工共	28.8	m				
階段手摺	ｽﾃｰﾙﾊﾞｲﾌﾞ 亜鉛メッキ 手摺・支柱・横棧 材工共	2	m				
ﾊﾞｰｽ下地無収縮ﾓﾙﾄﾙ	厚30 200x200	14	か所				
ﾊﾞｰｽ下地無収縮ﾓﾙﾄﾙ	厚30 300x120	2	か所				
< 外装 >							
ｱｽﾌﾙﾄ舗装	A-5-10 密粒 クﾗｯｼﾞﾔﾗﾝ 500m ² 未満	117	m ²				
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	36.8	m ²				
床ﾓﾙﾄﾙ塗り	金ごて ﾓﾙﾄﾙ仕上げ 厚30	0.5	m ²				
< その他雑 >							

本館改修		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
塵出し		1	式			
塵出し(内部改修)	個別改修	157	m ²			
計						
養生		1	式			
養生(外壁改修)		392	m ²			
養生(内部改修)	個別改修	157	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			
整理清掃後片付け(外壁改修)		392	m ²			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	157	m ²			
計						

本館改修		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部足場		1	式			
枠組本足場(手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 12m未満 6か月	3,450	m ²			
枠組本足場(手すり先行方式)	建枠1200×1700 布枠500×2枚 12m未満 - 6か月	48.4	m ²			
単管本足場	10m未満 -	46.2	m ²			
安全手すり(手すり先行方式)	枠組本足場用 6か月	419	m			
計						
内部足場		1	式			
内部仕上足場	脚立足場 階高4.0m以下 3か月	182				
内部階段仕上足場		123				
内部仕上足場(手すり先行方式)	枠組棚足場 階高4.0m未満 3か月	28				
内部仕上足場(手すり先行方式)	枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満 3か月	124				
内部仕上足場(手すり先行方式)	枠組棚足場 階高9.1m以上10.8m未満 3か月	74.3				
計						

本館改修		外構・躯体改修			撤去	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込み		1	式			
発生材積込み	コンクリート類 機械	65.4	m3			
発生材積込み	アスファルト類 機械	12.9	m3			
発生材積込み	土砂 機械	0.8	m3			
計						

本館改修		外構・躯体改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鋼材費		1	式			
H形鋼(SS400)	H-200x200x8x12	2.68	t			
H形鋼(SS400)	H-150x150x7x10	0.28	t			
溝形鋼(SS400)	[-200x80x7.5x11	0.52	t			
山形鋼(SS400)	L-50x50x6	0.01	t			
鋼板(SS400)	PL-16	0.01	t			
鋼板(SS400)	PL-12	0.18	t			
鋼板(SS400)	PL-9	0.08	t			
鋼板(SS400)	PL-6	0.03	t			
編鋼板(SS400)	PL-4.5	0.1	t			
高力ボルト(F8T)	HTB M20 L=55	92	本			
高力ボルト(F8T)	HTB M20 L=50	60	本			
高力ボルト(F8T)	HTB M16 L=50	4	本			
アンカーボルト(SS400)	M16 L=320 ダブルナット フック付 座金PL-9x50x50付	64	本			
計						

本館改修		発生材処分				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材処分費		1	式			
発生材処分費	コンクリート類	60.6	m3			
発生材処分費	アスファルト類	12.9	m3			
発生材処分費	珉石類	0.2	m3			
発生材処分費	金属屑	3.3	m3			
発生材処分費	ホ-ド類	0.02	m3			
発生材処分費	ビ-コ-シート類	0.3	m3			
発生材処分費	木屑	0.2	m3			
発生材処分費	廃プラ類	0.3	m3			
発生材処分費	土砂類(特殊 土対法の土)	0.8	m3			
発生材処分費	ホ-ド類 石綿含有建材L3	1.3	m3			
	処分費 廃プラスチック(特別管理)	19	m3			
計						

